MultiWriter 2850N / 2850 2350N / 2350 2150

レーザープリンター

ユーザーズマニュアル

893-810005-001-A
初版

このユーザーズマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。

安全にかかわる表示

プリンターを安全にお使いいただくために、このユーザーズマニュアルの指示に従って操作してください。
このユーザーズマニュアルには製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、製品内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズマニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

	指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
	指示を守らないと、火傷やけがのおそれ、および物的損害の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起

注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。		火傷を負うおそれがあることを示します。
	レーザー光による失明のおそれがあることを示します。		指などがはさまれるおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。
	感電のおそれがあることを示します。		

行為の禁止

行為の禁止は「⃠」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンターを分解・修理・改造しないでください。**感電や火災**のおそれがあります。		指定された場所には触らないでください。**感電や火傷などの傷害**が起こるおそれがあります。

行為の強制

行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

	プリンターの電源プラグをコンセントから抜いてください。**感電や火災**のおそれがあります。

本文中で使用する記号の意味

このユーザーズマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記号	内　　容
重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。
チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが正しく動作しないことがあります。

商標について

NEC、NECロゴ、FontAvenueは日本電気株式会社の商標、または登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Netscape、Netscape Navigatorは米国 Netscape Communications Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
i486は米国Intel Corporationの商標です。
HPは米国Hewlett-Packard Companyの商標です。
ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
NetWareは米国Novell, Inc.の登録商標です。
Macintosh、Mac OS、QuickDraw、QuickDraw GX、TrueType、漢字Talkは米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
UNIXはThe Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。
Ethernetは米国ゼロックス社の登録商標です。
Adobe、Acrobat、Acrobat ReaderおよびPhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標、または商標です。
MULTIWRITER、PrintAgent、MOPYING、NMPS、DocuWorksは富士ゼロックス株式会社の登録商標、または商標です。
その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

OSの表記について

Windows XPはMicrosoft Windows XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft Windows XP Professional operating systemの略です。Windows MeはMicrosoft Windows Millennium Edition operating systemの略です。Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows 2000 Advanced ServerはMicrosoft Windows 2000 Advanced Server operating systemの略です。Windows 2000 Datacenter ServerはMicrosoft Windows 2000 Datacenter Server operating systemの略です。Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。Windows NT Server 4.0, Terminal Server EditionはMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0,Terminal Server Editionの略です。Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0はMicrosoft Windows NT Server, Enterprise Edition network operating system Version 4.0の略です。Windows NT 3.51はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.51およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.51の略です。Windows 3.1はMicrosoft Windows operating system Version 3.1の略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウエアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

はじめに

このたびはNECのプリンターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150は高性能なCPUを採用し、省スペース、高速ウォームアップ、スループットの高速化を実現した、レーザープリンターです。さらに、用途に合わせた豊富な給紙を実現しています。

それぞれの特長を以下に示します。

- MultiWriter 2850N
  - 最高28ページ/分の印刷速度（A4サイズ横の場合）
  - ネットワークインターフェース標準装備
  - USBインターフェース標準装備
  - 両面印刷機能を標準
  - 2段カセット標準
  - 最大給紙容量1850枚
  - 最高1500dpi相当の解像度（600dpi＋SET）
- MultiWriter 2350N
  - 最高21ページ/分の印刷速度（A4サイズ横の場合）
  - ネットワークインターフェース標準装備
  - USBインターフェース標準装備
  - 両面印刷機能を標準
  - 2段カセット標準
  - 最大給紙容量1350枚
  - 最高2400dpi相当の解像度（1200dpi＋SET）
- MultiWriter 2150
  - 最高17ページ/分の印刷速度（A4サイズ横の場合）
  - USBインターフェース標準装備
  - 両面印刷機能を標準
  - 2段カセット標準
  - 最大給紙容量1350枚
  - 最高1500dpi相当の解像度（600dpi＋SET）
- MultiWriter 2850
  - 最高28ページ/分の印刷速度（A4サイズ横の場合）
  - USBインターフェース標準装備
  - 両面印刷機能を標準
  - 2段カセット標準
  - 最大給紙容量1850枚
  - 最高1500dpi相当の解像度（600dpi＋SET）
- MultiWriter 2350
  - 最高21ページ/分の印刷速度（A4サイズ横の場合）
  - USBインターフェース標準装備
  - 両面印刷機能を標準
  - 2段カセット標準
  - 最大給紙容量1350枚
  - 最高2400dpi相当の解像度（1200dpi＋SET）

また、Windows環境でより簡単に、より快適に使用していただける印刷統合管理ソフトウエア「PrintAgent」に対応しています。PrintAgentにより、プリンターの状態や印刷の進行状況を確認したり、より快適な「MOPYING」*を実現しています。

* 「MOPYING」については、「プリンティングスタイル「MOPYING」とは」(8ページ)をお読みください。

マニュアルをお読みになり、MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150を十分にご活用ください。

2002年6月　初版

目次

4章　操作パネルについて 97

5章　印刷するには 119

6章　日常の保守 131

7章　故障かな？と思ったら 139

8章　ユーザーサービス 171

9章　オプション 179

付録　技術情報 207

用語解説 213

索引 222

マニュアルの種類と使い方

MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150本体や付属のプリンターソフトウエアの取り扱い方を説明したマニュアルには、「ユーザーズマニュアル(本書)」と「活用マニュアル(添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録)」があります。また、各プリンターソフトウエアの詳細については画面上の「ヘルプ」をご覧ください。

MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150　ユーザーズマニュアル(本書)

プリンターのセットアップから、プリンターの基本的な操作方法、および困ったときの対処方法などを、この1冊で説明しています。本書はいつでもご覧になれるようにお手元に置いてください。

閲覧用

印刷用

MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150　活用マニュアル(プリンターソフトウエアCD-ROMに収録)

ネットワーク環境で印刷する場合の設定方法、プリンターソフトウエアやメニューモードの詳細、および技術情報などについて説明しています。

活用マニュアルには、HTML形式を採用した汎用のブラウザーで閲覧する「活用マニュアル(閲覧用)」と、PDF形式を採用したAdobe社のAcrobat Readerで参照および印刷ができる「活用マニュアル(印刷用)」があります。ご使用の目的に応じて活用してください。記載内容については活用マニュアルの内容(xiページ)をご覧ください。

また、活用マニュアル(閲覧用)の開き方についてはixページ、活用マニュアル(印刷用)の開き方、および印刷方法についてはxページをご覧ください。

ユーザーズマニュアルと活用マニュアルそれぞれを、目的に応じてお使いいただくために、次ページに目的別マニュアルガイドを示します。

目的別マニュアルガイド

セットアップするには

目的	参照先
プリンターを安全に使うために	ユーザーズマニュアル 安全にお使いいただくために
プリンターを設置する コンピューターと接続する ネットワークに接続する	ユーザーズマニュアル　1章
プリンターソフトウエアをインストールする プリンターソフトウエアについて	ユーザーズマニュアル　2章

セットアップができたら

目的	参照先
用紙について	ユーザーズマニュアル　3章
スイッチ・ランプについて	ユーザーズマニュアル　4章
アプリケーションから印刷する	ユーザーズマニュアル　5章
IPP、LPR(TCP/IP)を使って印刷する	活用マニュアル　3章
MOPYINGしたい 便利な機能を使って印刷する	活用マニュアル　5章
メニューモードを使って設定する	活用マニュアル　7章
制御コードを使う	活用マニュアル　付録

必要に応じて

目的	参照先
EPカートリッジを交換する プリンターの清掃について	ユーザーズマニュアル　6章
ユーザーサービスについて	ユーザーズマニュアル　8章
オプションについて	ユーザーズマニュアル　9章
ユーティリティーを使ってIPアドレスを設定する	活用マニュアル　3章
うまく印刷できないときには 紙づまりのときは	ユーザーズマニュアル　7章 活用マニュアル　9章
ネットワークで困ったときには	活用マニュアル　9章
このプリンターの性能は？	ユーザーズマニュアル　付録
印刷範囲が知りたい	活用マニュアル　付録
文字コード表が見たい	活用マニュアル　付録
わからない用語がある	ユーザーズマニュアル 用語解説

活用マニュアル(閲覧用)を見るには

活用マニュアル(閲覧用)はHTMLファイル形式です。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されており、お手持ちのコンピューターの画面上でブラウザーを使って閲覧できます。なお、閲覧するにはブラウザーはMicrosoft Internet Explorer 4.0以上またはNetscape Navigator 4.0以上が必要です。あらかじめインストールして以下の手順を行ってください。

❶ **お使いのOS(日本語版)を起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

「プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー」が起動します。

お使いのコンピュータによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ **[オンラインマニュアル]をクリックする。**

右側のボックスにオンラインマニュアルの名称が表示されます。

❹ **右側のボックスの[MultiWriter2850N/2850/2350N/2350/2150活用マニュアル(閲覧用)]を選び、[オンラインマニュアルを読む]をクリックする。**

ブラウザーが起動して、活用マニュアルのトップページが表示されます。

活用マニュアル(印刷用)を印刷するには

活用マニュアル(印刷用)はPDFファイル形式です。活用マニュアルをお手元で見られるように印刷したい場合には、活用マニュアル(印刷用)をお使いください。なお、印刷するにはAdobe Acrobat Reader 4.0以上(添付のプリンターソフトウエアCD-ROMには、Adobe Acrobat Reader 5.0を収録しています)が必要です。あらかじめインストールしてください。

このオンラインマニュアルはA4サイズの大きさで作成されています。ここではWindows XPの環境でMultiWriter 2850Nを使って活用マニュアルを両面印刷する手順を説明します(あらかじめプリンタードライバーをインストールする必要があります。本書の2章を参照してインストールしてください)。他のOSをお使いの方は多少画面表示が異なりますが、手順は同じです。

❶ **前ページの手順❶〜❸を行い、オンラインマニュアル一覧を表示する。**

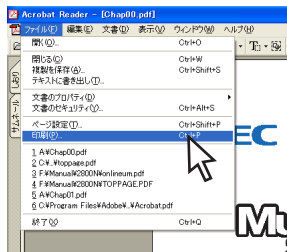
❷ **右側のボックスの[MultiWriter2850N/2850/2350N/2350/2150活用マニュアル(印刷用)]を選び、[オンラインマニュアルを読む]をクリックする。**

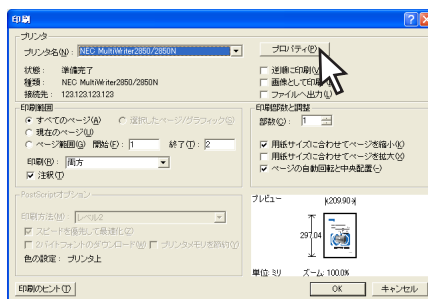
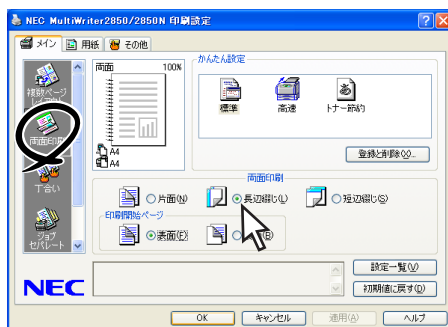
Adobe Acrobat Readerが起動して、活用マニュアル(印刷用)のトップページが表示されます。

❸ **印刷したい章を選び、クリックする。**

印刷したい章のイメージアイコンをクリックしてください。希望の章が開きます。

❹ **[ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。**

[印刷]ダイアログボックスが表示されます。

❺ **[プロパティ]をクリックする。**

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

❻ **[メイン]シートの左側にある[機能選択バー]から[両面印刷]を選び、[長辺綴じ]をクリックする。**

❼ **[用紙]タブをクリックする。**

[用紙]シートが表示されます。

❽ **[用紙サイズ]から[A4]を選択し、[OK]をクリックする。**

[印刷]ダイアログボックスに戻ります。

❾ **印刷部数を指定して[OK]をクリックする。**

両面印刷で出力されます。

活用マニュアルの内容

活用マニュアルに記載されている主な内容は、以下のとおりです。

1章　オプション

増設ホッパー、LANボード、LANアダプター、増設メモリーの取り付け、取り外し手順および、使用できるコンピューターとプリンターケーブルを記載しています。（記載内容は本書と同じです。）

2章　プリンターソフトウエアのインストール

プリンターソフトウエアをインストールしてプリンターを使用できる手順について各OS毎に記載しています。また、プリンター管理者用インストール手順、PrintAgentの追加・削除についても説明しています。

- プリンターソフトウエアCD-ROMについて
- プリンターソフトウエアの動作環境
- インストール方法の選択
- 「インストールプログラム」からのインストール
- 「プラグ・アンド・プレイ」によるインストール
  - パラレルインターフェースで接続
  - USBインターフェースで接続
- プリンタードライバーの削除
- PrintAgentの追加・削除
- プリンター管理者用インストール
- 日本語MS-DOS環境

3章　ネットワークでの設定

MultiWriterを使ってネットワーク印刷するための設定手順について説明しています。

- LANボードおよび無線LANボードを使用するためのIPアドレスなどの設定手順
- DHCPの設定
- ネットワーク印刷するための各OSネットワークポートの設定（印刷先の変更）

  IPP（Internet Printing Protocol）、UNIX用印刷サービス（LPR）、Standard TCP/IP Port（LPR）、LPRバイトカウント機能、NEC Internet Printing System（IPP）、Microsoft TCP/IP印刷（LPR）、ターミナルサービス環境
- ユーティリティーによるLANボード設定

  WWWブラウザー、Telnet、PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ
- より便利なネットワーク機能

  SNMP、アクセス制限

4章　より進んだ使い方

プリンターソフトウエアを使ったMultiWriterの便利な機能の紹介および設定方法について説明しています。

- MOPYING設定ウィンドウ
- 「PrintAgent」ツールバー
- プリンタステータスウィンドウ
- リプリント機能
- 文書結合
- 仕分け印刷の設定（ジョブセパレート機能、丁合い機能、電子ソート機能）
- 両面印刷の設定
- 拡大・縮小印刷
- 複数ページ印刷
- 印刷位置の調整
- 定形外用紙サイズの設定
- プリンタ自動切替
- 保守情報のメール通知
- 印刷ログの出力
- リモート電源制御
- Web PrintAgent
- プリンタ利用情報通知機能
- プリンタドライバのバージョンアップ

5章　用紙のセット

使用できる用紙の種類や用紙についての注意事項、ホッパー、MP、手差しへの用紙セット方法について説明しています。（記載内容は本書と同じです。）

6章　操作パネル

プリンターの操作パネル上のディスプレイ、ランプ、スイッチについて詳しく説明しています。

7章　メニューモード

ESC/Pエミュレーションモードおよびプロッターエミュレーションモードを含めてメニューモードの詳細について説明しています。

- メニューモードでの設定変更のしかた
- メニューモード設定項目一覧（メモリースイッチの設定変更のしかた、メニューツリー）
- メニューの詳細
- メモリースイッチの内容
- 動作エミュレーションの切り替え（ESC/Pエミュレーションモード、プロッターエミュレーションモード）

8章　日常の保守

EPカートリッジの交換手順、清掃手順について説明しています。（記載内容は本書と同じです。）

9章　故障かな？と思ったら

故障かな？と思った場合の原因と処置方法を以下の症状に分けて説明しています。また、プリンターの運搬、消耗品の廃棄について記載しています。

- 修理に出す前に
- 印刷できないときは
- アラーム表示が出ているときは
- 印刷に異常が見られるときは
- 思うように印刷できないときは
- PrintAgentシステムが起動しないときは
- プリンタステータスウィンドウがおかしいときは
- リプリント機能が動作しないときは
- ジョブセパレート機能が動作しないときは
- PrintAgentを正しく動作させるために
- ネットワークで思うように印刷できないときは
- 紙づまりのときは
- プリンターを運搬するときは
- プリンター・消耗品を廃棄するときは

10章　ユーザーサービス

お客様登録された方へ用意されているさまざまなユーザーサービス、プリンターの寿命、ユーザーズマニュアルの再購入について説明しています。

付録　技術情報

本書に記載しているプリンターの仕様、用紙の規格の他に文字コード表、印刷範囲などの詳細な技術情報について記載しています。

- 仕　様
- 用紙の規格
- 文字の種類
- 文字コード表
- 印刷範囲
- NPDLの初期状態
- 制御コード
- 機能拡張制御コード
- ディスプレイ表示一覧
- テスト印刷のプリント結果
- 増設メモリー対応表
- 電子ソート機能有効時の印刷保証枚数表
- インターフェース
- 用語解説

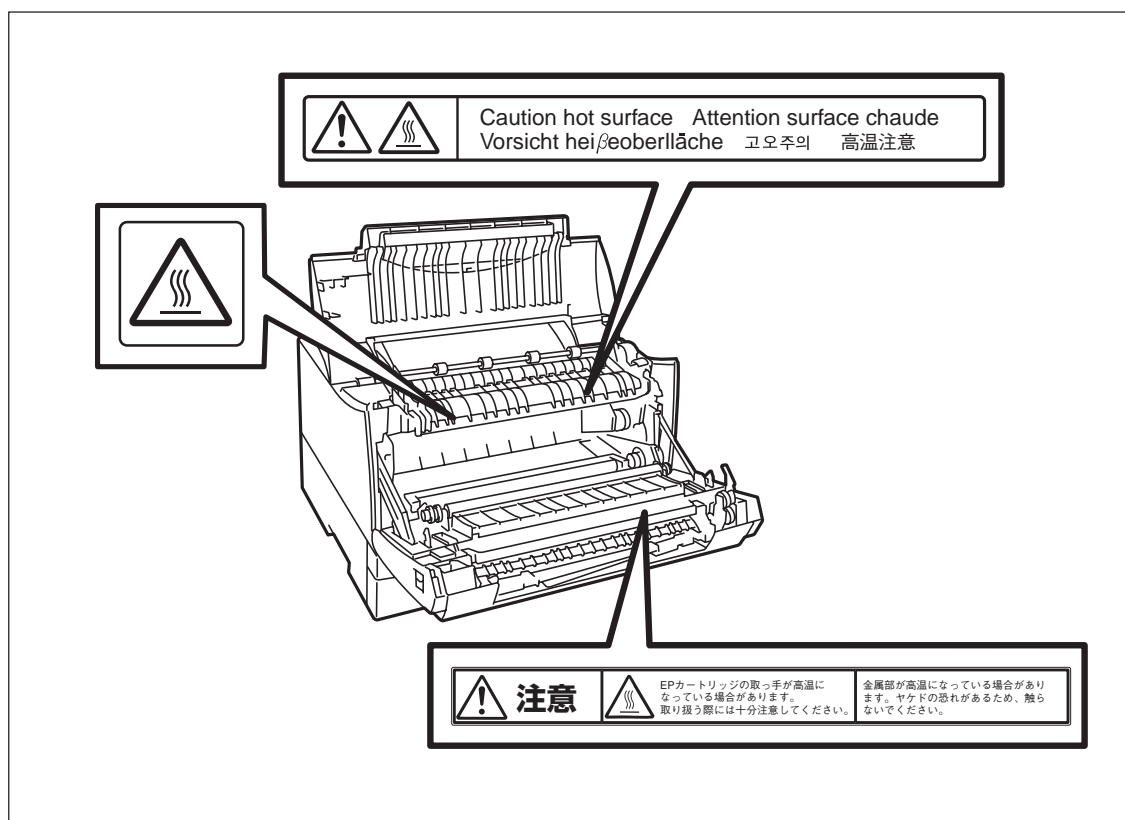
安全にお使いいただくために

警告ラベルについて

MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150プリンター内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンターを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

警告ラベルは下図に示す場所に貼られています。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして読めない場合は、販売店または、NEC サービス窓口にご連絡ください。

Caution hot surface Attention surface chaude
Vorsicht heißeoberlläche 고오주의 高温注意

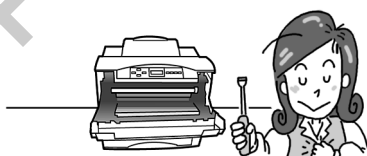
注意
EPカートリッジの取っ手が高温になっている場合があります。取り扱う際には十分注意してください。
金属部が高温になっている場合があります。ヤケドの恐れがあるため、触らないでください。

安全上のご注意

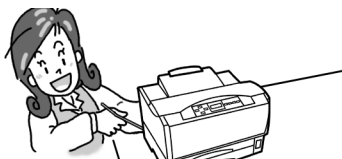
ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の「安全にかかわる表示について」を参照してください。

⚠ 警告

プリンターの内部をのぞかない

このプリンターはレーザー（レーザーダイオード）を使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります（レーザー光は目に見えません）。

分解・修理・改造はしない

ユーザーズマニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。プリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

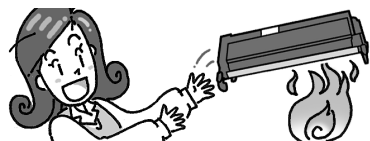
針金や金属片を差し込まない

通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電するおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら電源OFF

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となるおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜かない

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

EPカートリッジを火の中に投げ入れない

EPカートリッジを火の中に投げ入れないでください。EPカートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどをするおそれがあります。

⚠ 注 意

こわれた液晶ディスプレイには触らない

こわれた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が、口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。

雷が鳴りだしたらプリンターに触らない

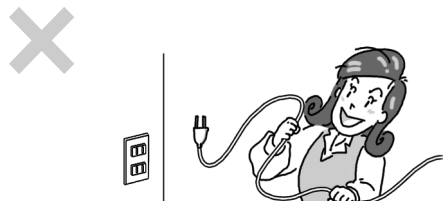
火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて装置には触らないでください。

電源コードに薬品類をかけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

プリンター内に異物を入れない

プリンター内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。

電源コードを抜くときはコードを引っ張らない

電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

損傷した電源コードは使わない

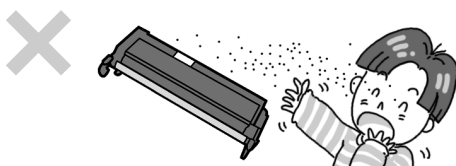
電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、すぐに同じ電源コードを取り替えてください。

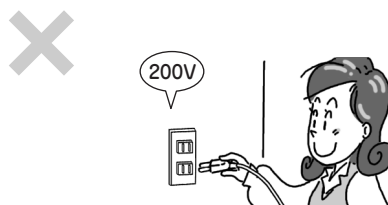
高温注意

プリンターのカバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。プリンターの内部には使用中に高温になる定着ユニットという部品があり、触ると火傷するおそれがあります。

巻き込み注意

プリンターの動作中は用紙挿入口、排出口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

目や口にトナーを入れない

EPカートリッジに入っているトナーを目や口に入れないでください。トナーが目や口に入ると健康を損なうおそれがあります。特にお子様の手の届かないところに保管し、お子様が触れないようにしてください。

100V以外のコンセントに差し込まない

電源は指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

直射日光が当たるところには置かない

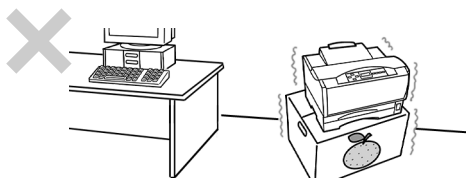
プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンターが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

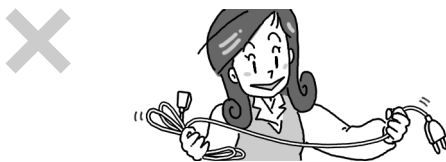
プリンターを1人で持ち上げない

プリンターの質量はそれぞれ次のとおりです。(EPカートリッジ含まず)。

- MultiWriter 2850N/2850：約17.7kg
- MultiWriter 2350N/2350/2150：約16.7kg

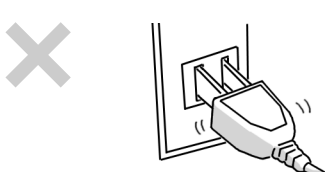
装置側面の取っ手を持ち、装置前面に手を添えて2人以上で運んでください。1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。

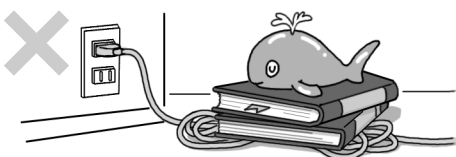
不安定な場所に置かない

プリンターを不安定な場所には置かないでください。プリンターが破損するおそれがあるばかりではなく、思わぬけがや周囲の破損の原因となることがあります。

専用電源コード以外は使わない

プリンターに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると火災になるおそれがあります。

電源コードをたこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグを中途半端に差し込まない

電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。

電源コードは曲げたりねじったりしない

電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

無線LANボードに関する安全上のご注意

オプションの無線LANボードを取り付けた場合の注意事項について説明します。

心臓ペースメーカーに
近づけない

埋め込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、無線LANボードをペースメーカー装着部から22cm以上離して使用してください。心臓ペースメーカーの近くで使用するとペースメーカーが正しく動作しないおそれがあります。

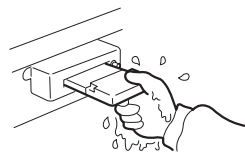
飛行機内では
使用しない

飛行機内では無線LANボードを装着したプリンターの電源は切ってください。電子機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。現在、各航空会社では航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器・電子機器などの使用を禁止しており、無線LANボードもその該当機器となります。詳しい内容については、各航空会社にお問い合わせください。

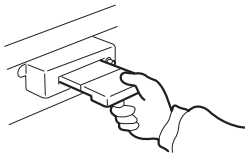
使用禁止区域では
使用しない

心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用している方が近接する可能性がある場所では使用しないでください。特に医療機関側が無線LANボードの使用を禁止した区域では、無線LANボードを使用しないでください。また、医療機関側が無線LANボードの使用を認めた区域でも、近くで医療用電気機器が使用されている場合には、プリンターの電源は切ってください。

無線LANボードの電波出力は、例えば携帯電話などに比べてはるかに低く抑えられており、医療電気機器に与える影響は極めて少ないものですが、医療機器が正しく動作しないおそれがあります。使用に際しては各医療機関の指示に従ってください。詳しい内容については、各医療機関にお問い合わせください。

ぬれた手で触らない

無線LANボードがプリンターに取り付けられているときに、ぬれた手で無線LANボードやプリンターに触らないでください。ぬれた手で触ると感電するおそれがあります。

⚠ 注意

無線LANカードの差し込む向きを間違えない

無線LANボードのPCカードスロットに無線LANカードを取り付けるときは、カードの向きを間違えないでください。差し込む向きを間違うと故障や発火の原因となるおそれがあります。

補聴器のそばで使用しない

補聴器を装着されている方、またはその近くで無線LANボードを使用しないでください。補聴器を装着されている方の近くで無線LANボードを使用すると、補聴器にノイズを引き起こし、事故の原因となるおそれがあります。

プリンティングスタイル MOPYINGとは

～MultiWriterを使って手間もコストも大幅削減！～

MOPYING(Multiple Original coPY and printING)とは、オリジナルのドキュメントをコピー機で複数コピーするのではなく、MultiWriterで必要部数を直接印刷する新しいドキュメント処理スタイルのことです。MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150に搭載されているPrintAgentの機能を使うと、MultiWriterをコピー機のような使い方ができるばかりでなく、手間のかかる原稿の準備作業がパソコン上でできます。

コピー機を使ってドキュメントを複数コピーする作業と比較すると、導入コストやランニングコストを低く抑えることができます。しかも、オリジナル出力なので仕上がりがきれいです。

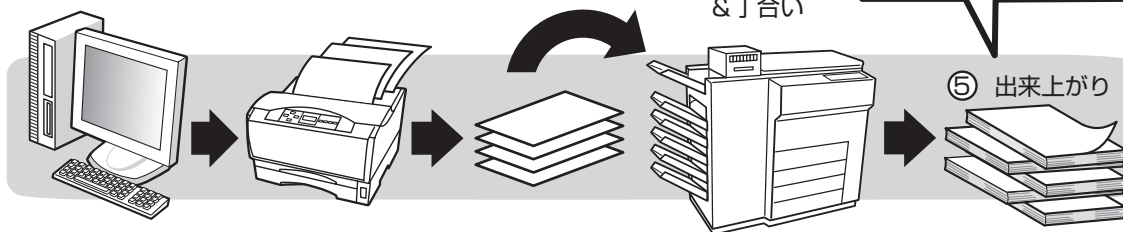
コピー機を使わずに必要部数をそのまま印刷

MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150はジョブセパレート機能による簡単仕分け印刷、両面印刷機能を標準でサポートしています。例えば、会議の資料は原稿をコピー機で複数コピーするのではなく、MultiWriterで必要な分だけ直接印刷すれば、オリジナルの品質で資料が作成できます。

コピー機を使った複写出力

① 原稿を作成　② 原稿を出力　③ 原稿の順番を揃える　④ 必要部数を両面コピー＆丁合い　⑤ 出来上がり

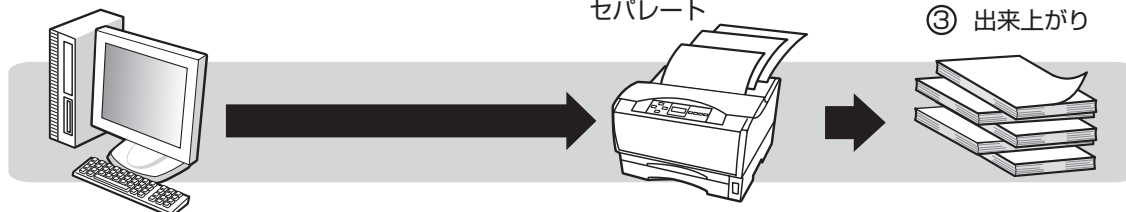
網かけ、グラデーションが黒くつぶれた仕上がり

Logo

MOPYINGによるオリジナル出力

MultiWriter 2850N/2850/2150の場合、600dpi(23.6ドット/mm)で、MultiWriter 2350N/2350の場合、1200dpi(47.2ドット/mm)の解像度に対応しています。オリジナル出力なので写真やグラフの網かけ、グラデーションがきれいに出ます。コピー機のように、いちいち原稿に合わせて濃度調整をする必要はありません。

① 原稿の作成・順番を揃える　② 必要部数を両面印刷＆丁合い＆ジョブセパレート　③ 出来上がり

資料がすべてオリジナルだからきれいな仕上がり

Logo

￥ コピー機よりコストが安い

MultiWriterを使った場合、コピー機のような契約によるコピーチャージや定期保守費用などを必要としません。MultiWriterは感光体とトナーを一体型にしたEPカートリッジを採用することで、トナー交換の作業を容易にし、メンテナンスを不要にしています。

さらに、MultiWriter 2850N/ 2850は、約14,000ページ*1印刷可能なEPカートリッジ(型番：PR-L2800-12)は、1枚あたり約3円*2、約6,000ページ*1印刷可能なEPカートリッジ(型番：PR-L2800-11)は、1枚あたり約5円*2と低コスト。
MultiWriter 2350N/2350/2150は、約12,000ページ*1印刷可能なEPカートリッジ(型番：PR-L2300-12)は、1枚あたり約4円*2、約6,000ページ*1印刷可能なEPカートリッジ(型番：PR-L2300-11)は1枚あたり約5円*2と低コスト。

MultiWriterの導入は同等機能のコピー機を導入する場合と比較した場合、ランニングコストが半分以下で済みます。

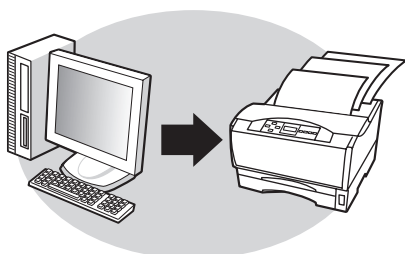
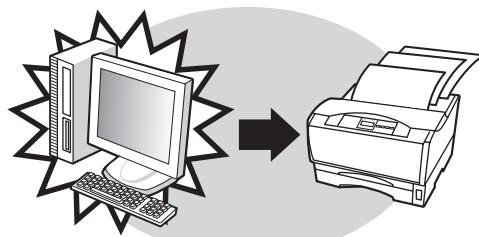
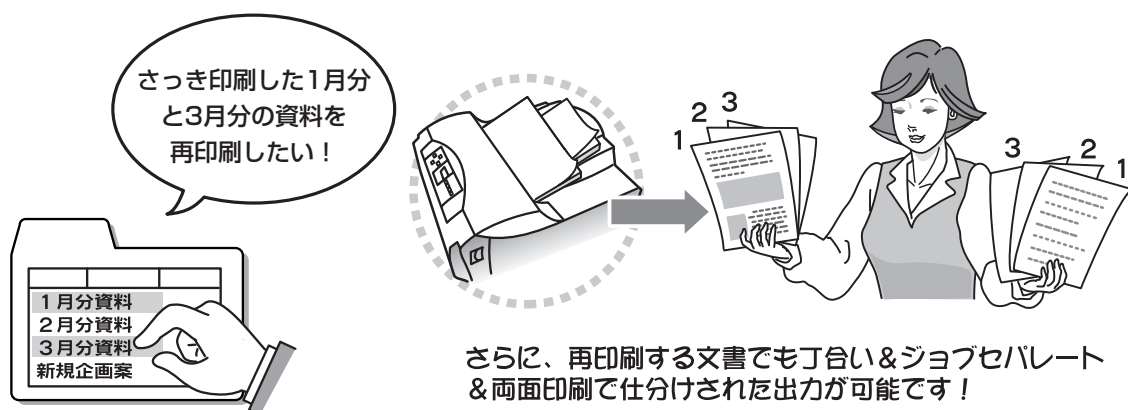
*1　A4サイズ1枚あたりの画像面積比（1ページ中の黒い部分の面積比と印刷範囲との比率）が約5%の片面連続印刷時
*2　平成14年6月現在

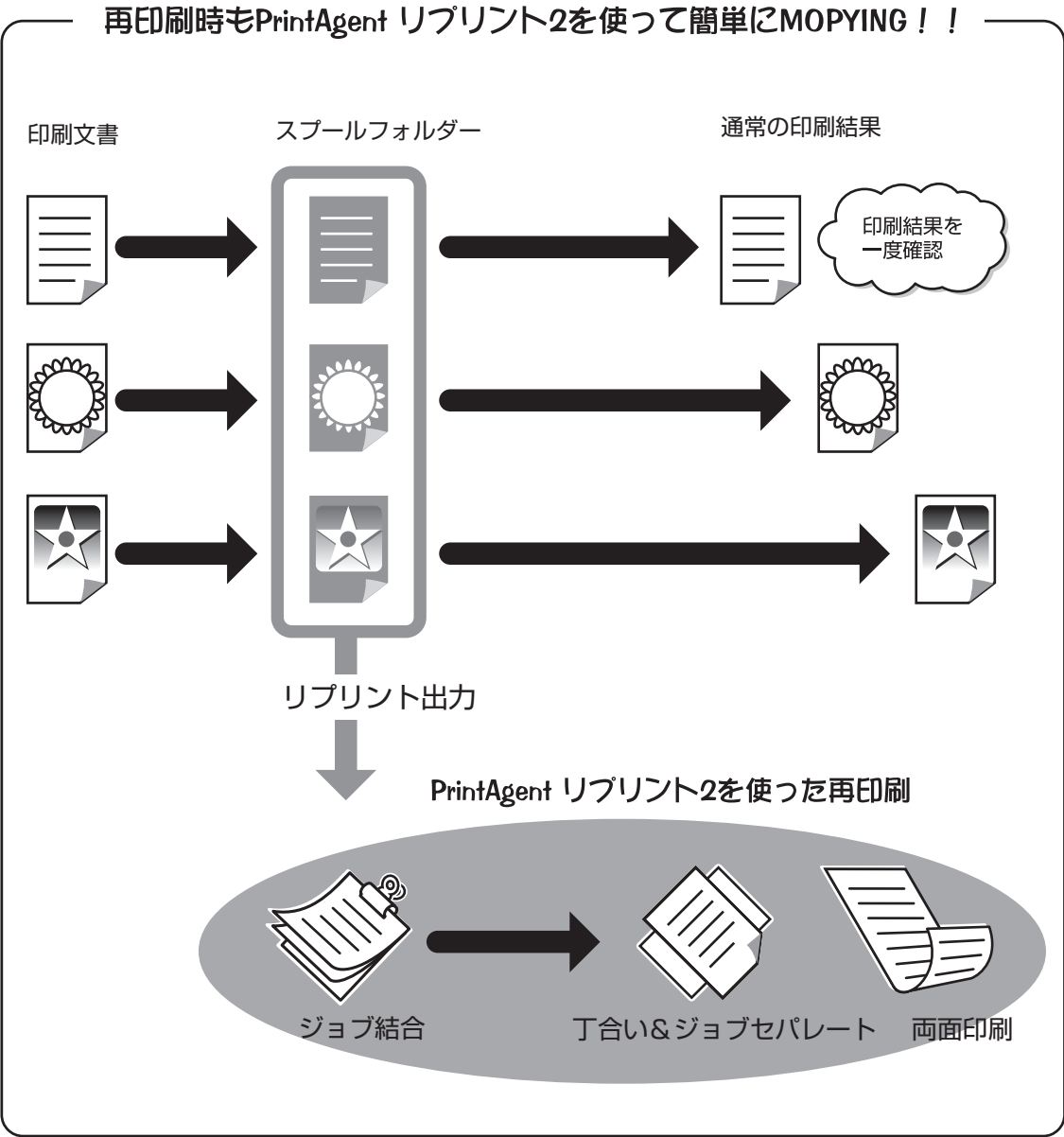
一度印刷した文書なら、すぐリプリント（再印刷）

PrintAgentの「リプリント機能」を使うと、一度印刷したデータを設定範囲内でパソコンのスプールフォルダーに残しておき、再印刷することができます。これを使えば、いちいちアプリケーションを立ち上げずにコピー感覚ですぐ再印刷が可能。

しかも蓄えた印刷データを自由に組み合わせて再印刷することも可能です。

コピー作業のように原稿を持って席とコピー機を往復することはありません。自席でPrintAgentを使って作業は終了です。

① 一度印刷したデータなら・・・

② PrintAgentが覚えているのでアプリケーションを立ち上げなくてもすぐ印刷

しかも、覚えているドキュメントで自由な組み合わせが可能（ジョブ結合）

さらに、再印刷する文書でも丁合い＆ジョブセパレート＆両面印刷で仕分けされた出力が可能です！

リプリント機能はMultiWriterに添付されている印刷統合ソフトウエア「PrintAgent」のPrintAgent リプリント2が提供します。

MOPYING設定ウィンドウで簡単設定

MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150では、印刷開始前にプリンタドライバのプロパティで設定を忘れても大丈夫。アプリケーションの印刷を選択した後に「MOPYING設定ウィンドウ」が表示される*ので、複数ページ印刷や両面印刷の設定が印刷開始後でも簡単に行えます。これによって、より快適にMOPYINGを実現できます。

アプリケーションで印刷・・・

自動的にMOPYING設定ウィンドウが開きます

用途に合わせて複数ページレイアウト、両面印刷などを選択

複数ページレイアウト印刷、両面印刷、仕分け印刷などのMOPYINGが簡単にできます！

* 標準設定ではMOPYING設定ウィンドウは表示されません。MOPYING設定ウィンドウを表示させるには、プリンターソフトウエアのインストール時、またはプロパティダイアログボックスで有効にする必要があります。手順については「MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する」(123ページ)をご覧ください。

高速印刷・電子ソートですばやい仕上がり

MultiWriter 2850N/2850は、毎分28ページ、MultiWriter 2350N/2350は、毎分21ページの高速印刷を実現(MultiWriter 2150は毎分17ページ)。しかも電子ソート機能[*1]を使えばプリンターのメモリーに印刷データを蓄えて必要部数を印刷するので、パソコンからプリンターへ部数分のデータ転送が不要です[*2]。これによって、トータル印刷処理時間が短縮されます。

*1　電子ソート機能を有効にする場合、64MB以上のメモリー増設(オプション)が必要です。

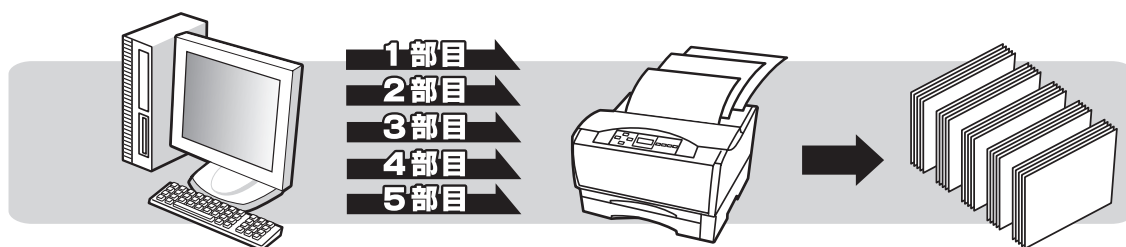
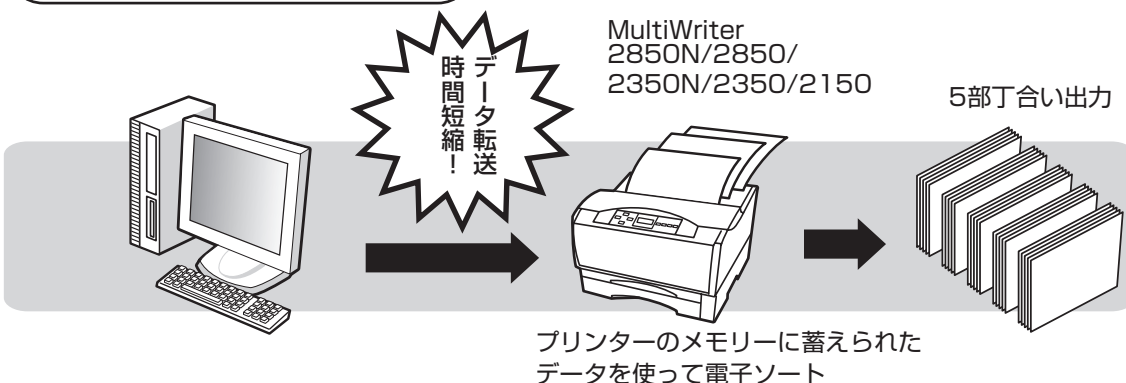
*2　増設メモリー容量、ページ数により必要枚数分データ転送を行う場合があります。

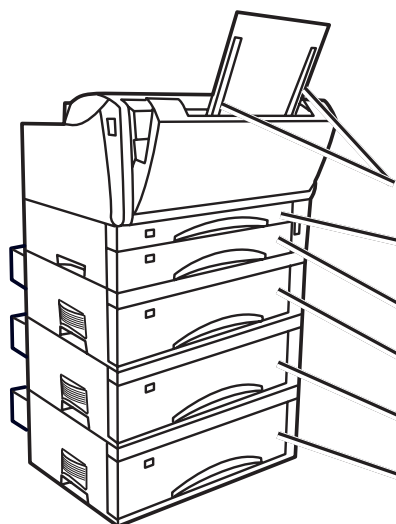
従来の丁合い機能を使った出力

部数分のデータ転送が必要

5部丁合い出力

電子ソート機能を使った出力

プリンターのメモリーに蓄えられたデータを使って電子ソート

MultiWriter 2850N/2850は、増設ホッパーを最高3段まで増設可能です。標準ホッパー、MPも合わせた用紙容量は最大1,850枚になります。

MultiWriter 2350N/2350/2150は増設ホッパーを最高2段まで、増設が可能です。標準ホッパー、MPも合わせた用紙容量は最大1,350枚になります!!

手差し:1枚

MP:100枚

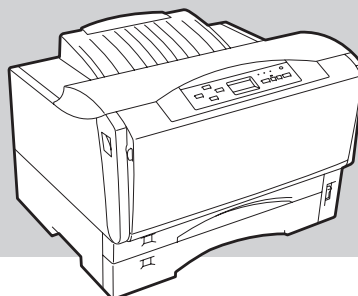
ホッパー1段目(標準):250枚

ホッパー2段目(オプション):250枚か500枚

ホッパー3段目(オプション):250枚か500枚

ホッパー4段目[*3](オプション):250枚か500枚

*3　MultiWriter 2850N/2850のみ使用可能です。

1章 プリンターの設置

この章では、お買い上げになったプリンターの箱を開けてから、中身を確認し、テスト印刷、ネットワークでプリンターが使えるようになるまでを以下の手順で説明します。

1 設置に必要なスペースを用意する

2 箱の中身を確認する

3 固定用部材を取り外す

4 各部の名称を確認する

5 EPカートリッジを取り付ける

6 用紙をセットする

7 電源コードを接続する

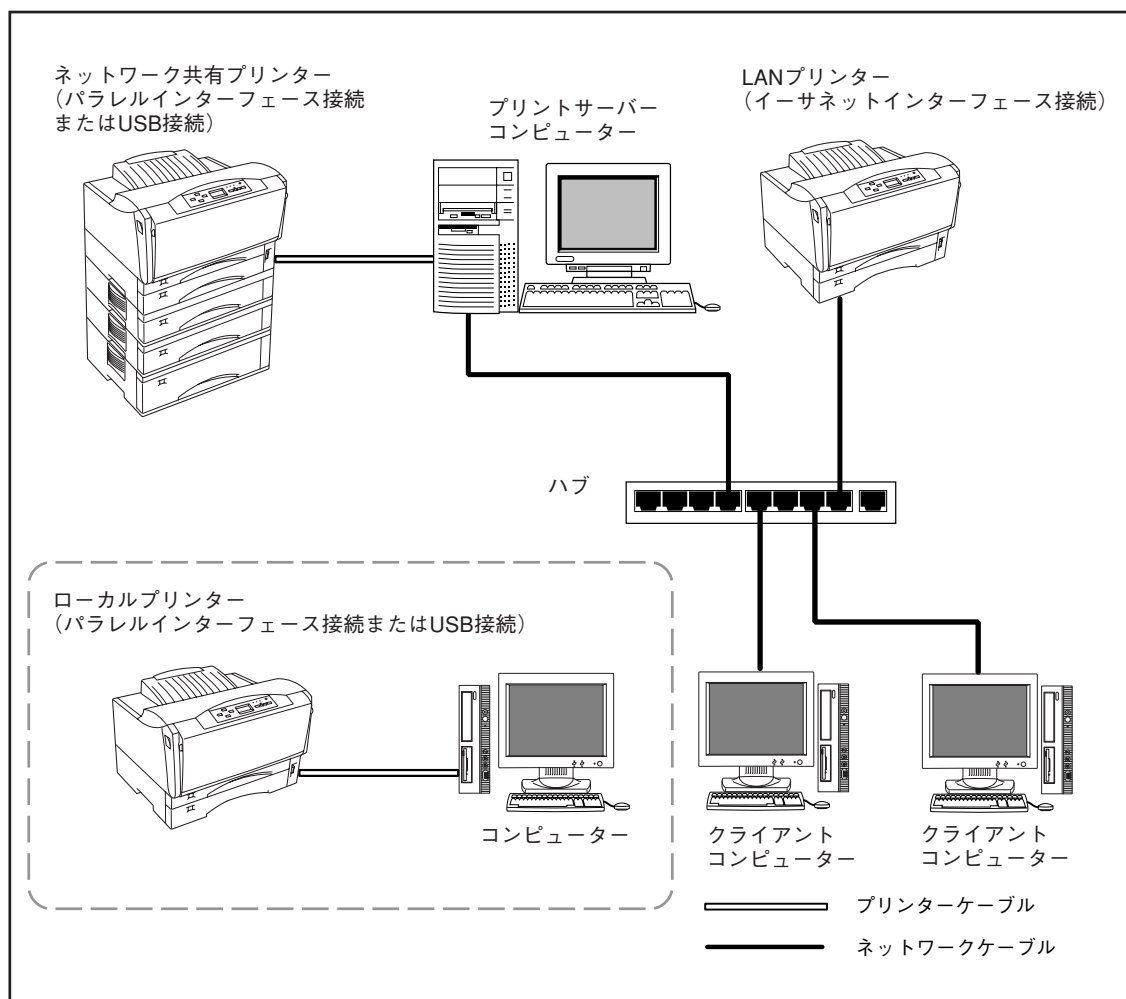
8 テスト印刷をする

9 コンピューターに接続する

10 ネットワークに接続する

Step 1　LANボード／無線LANボード／LANアダプターを取り付ける
Step 2　ネットワークケーブルを接続する
Step 3　コンフィグレーションページを印刷する
Step 4　IPアドレスとサブネットマスクを設定する

MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150はパラレルインターフェース接続、USBインターフェース接続、およびネットワーク接続ができます。お使いの環境や目的に合わせて接続してください(接続方法については「9　コンピューターに接続する」または「10　ネットワークに接続する」をご覧ください)。

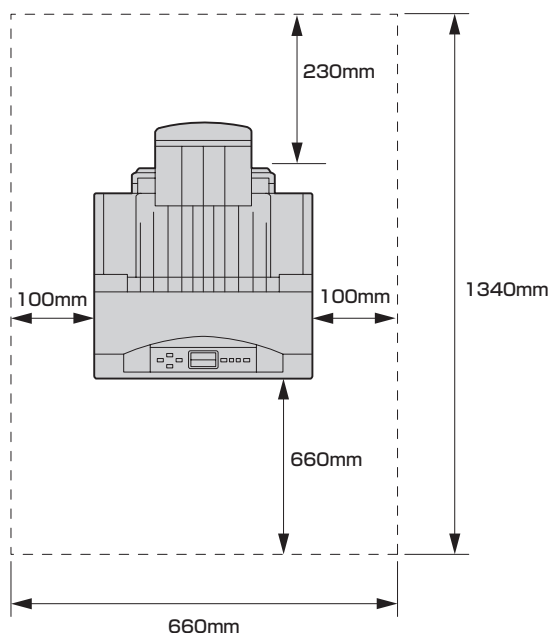
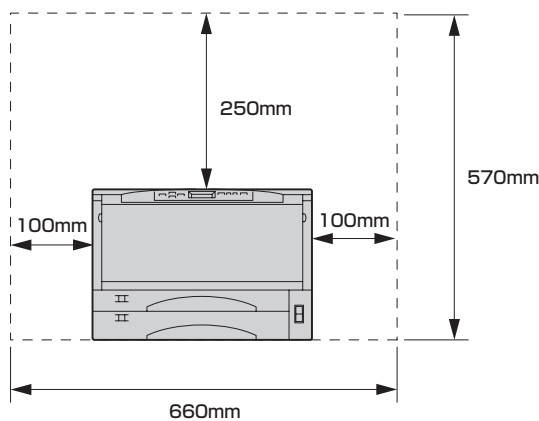
以下は、MultiWriter 2850Nの接続例です。

MultiWriter 2850Nの接続例

1 設置に必要なスペースを用意する

MultiWriter 2850N/2820/2350N/2350/2150を安全、快適にご使用いただくためには次ページの「設置してはいけない場所」をよくお読みになり、下図に示すスペースを確保してください。

230mm
100mm
100mm
1340mm
660mm
660mm

プリンター上面

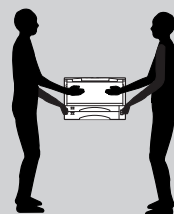
250mm
570mm
100mm
100mm
660mm

プリンター正面

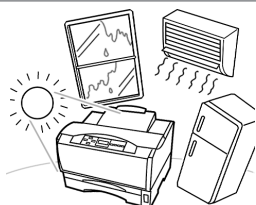
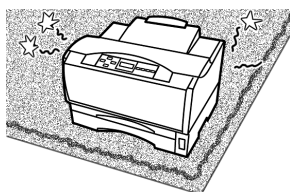
⚠ 注意

プリンターを移動する際は、装置側面の取っ手を持ち、装置前面に手を添えて2人以上で運んでください。プリンターの質量はそれぞれ次のとおりです（EPカートリッジ含まず）。

- MultiWriter 2850N/2850：約17.7kg
- MultiWriter 2350N/2350/2150：約16.7kg

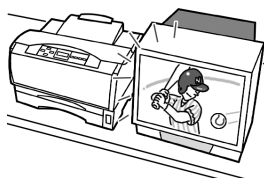
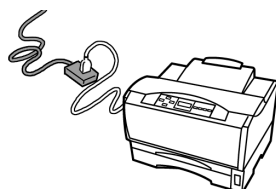
1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。

また、装置の重心は前面にありますので、前面方向へ倒れないように注意してください。

設置してはいけない場所

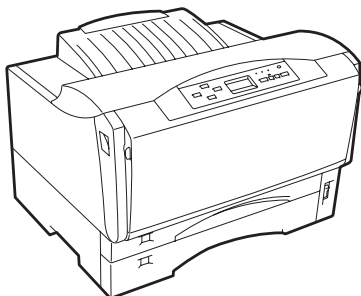
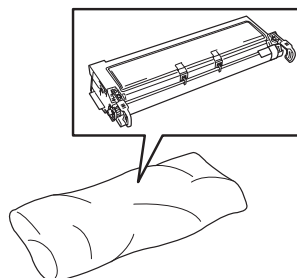
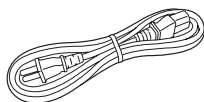
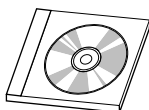
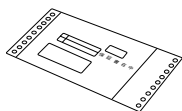
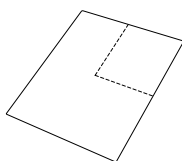
次のような場所には設置しないでください。

直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、温度変化の激しい場所(暖房器、エアコン、冷蔵庫などの近く)には設置しないでください。温度変化により結露現象が起こり故障の原因となることがあります。

じゅうたんを敷いた場所では使用しないでください。静電気による障害で装置が正しく動作しないことがあります。

強い振動の発生する場所に設置しないでください。装置が正しく動作しないことがあります。

腐食性ガスの発生する場所、薬品類がかかるおそれのある場所には設置しないでください。部品が変形したり傷んだりして装置が正しく動作しなくなることがあります。

上から物が落ちてきそうな場所には設置しないでください。衝撃などにより装置が正しく動作しなくなることがあります。

ラジオやテレビなどの近くには設置しないでください。プリンターのそばで使用すると、ラジオやテレビの受信機などに受信障害を与えることがあります。

添付の電源コードだけで、コンセントに届かない場所に設置しないでください。延長コードの過容量、延長コードへのコンセントの差し込みにより発熱するおそれがあります。

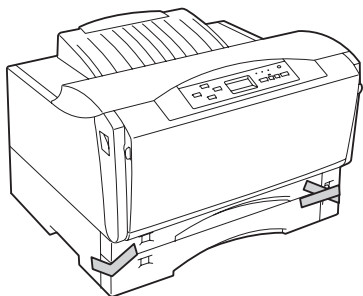
2 箱の中身を確認する

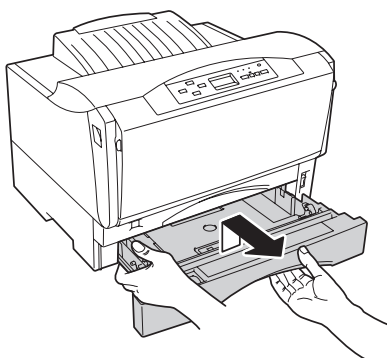
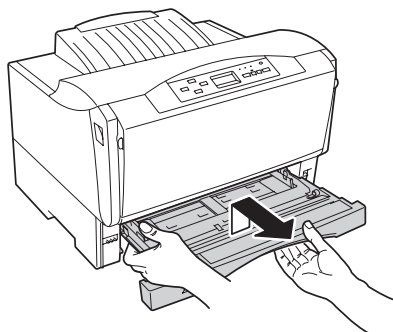
箱を開けて、まず次のものがすべてそろっていることを確認し、それぞれの点検を行ってください。万一足りないものや損傷しているものがある場合には、販売店に連絡してください。
梱包材料(箱や緩衝材など)はプリンターを運搬するときに必要となります。大切に保存しておいてください。

プリンターの箱を開けたら次のことを忘れずに行ってください

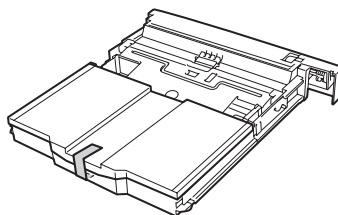
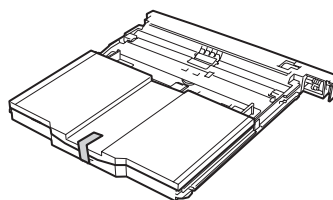
- お客様登録申込書に所定事項を記入して投函してください。(FAXでも受け付けております。詳しくはお客様登録申込書をお読みください。)
- 保証書、NECサービス網一覧表をなくさないよう大切に保管してください。

3 固定用部材を取り外す

プリンターは輸送中の損傷を防ぐために、動きやすい、あるいは外れやすい箇所をテープで固定してあります。次の手順に従ってテープを取り除きます。

❶ **プリンターの外側に貼り付けてあるテープ(3か所)をはがす。**

❷ **標準カセット、MPカセットをゆっくりと取り外す。**

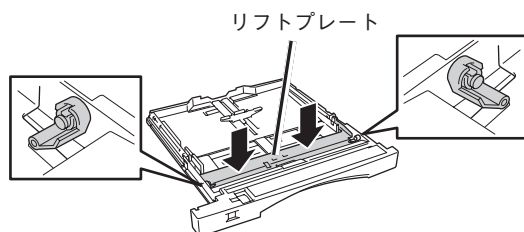
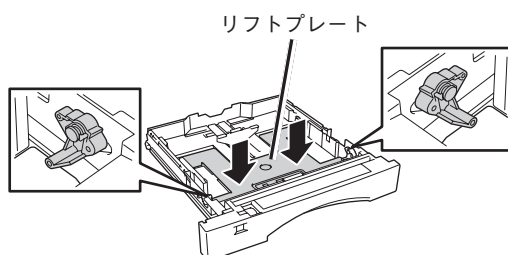
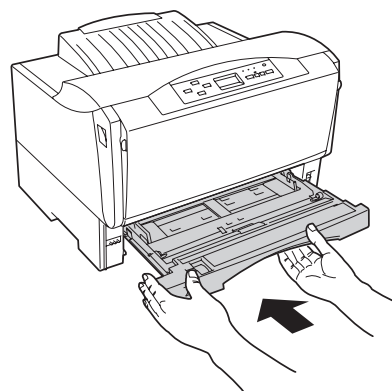
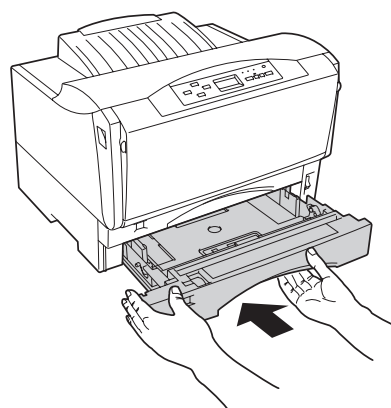
カセットを取り外す際は、カセットを軽く持ち上げて取り外してください。

標準カセット(下)

MPカセット(上)

❸ **標準カセット、MPカセットにそれぞれ貼り付けてあるテープ(1か所)をはがす。**

標準カセット

MPカセット

❹ MPカセット、標準カセットをそれぞれ取り付ける。

✔チェック

MPカセット、標準カセットを取り付ける前に、それぞれのカセット内のリフトプレートが確実に下がっていることを確認してください。

リフトプレートが完全に下がっていないと標準カセット、MPカセットをホッパー、MPにそれぞれ取り付けることはできません。

MPカセット

標準カセット

MPカセット

標準カセット

4 各部の名称を確認する

MultiWriter 2850N/2350NとMultiWriter 2850/2350/2150で各部の名称が異なります。プリンターを使用する前にそれぞれの名称と位置を確認してください。

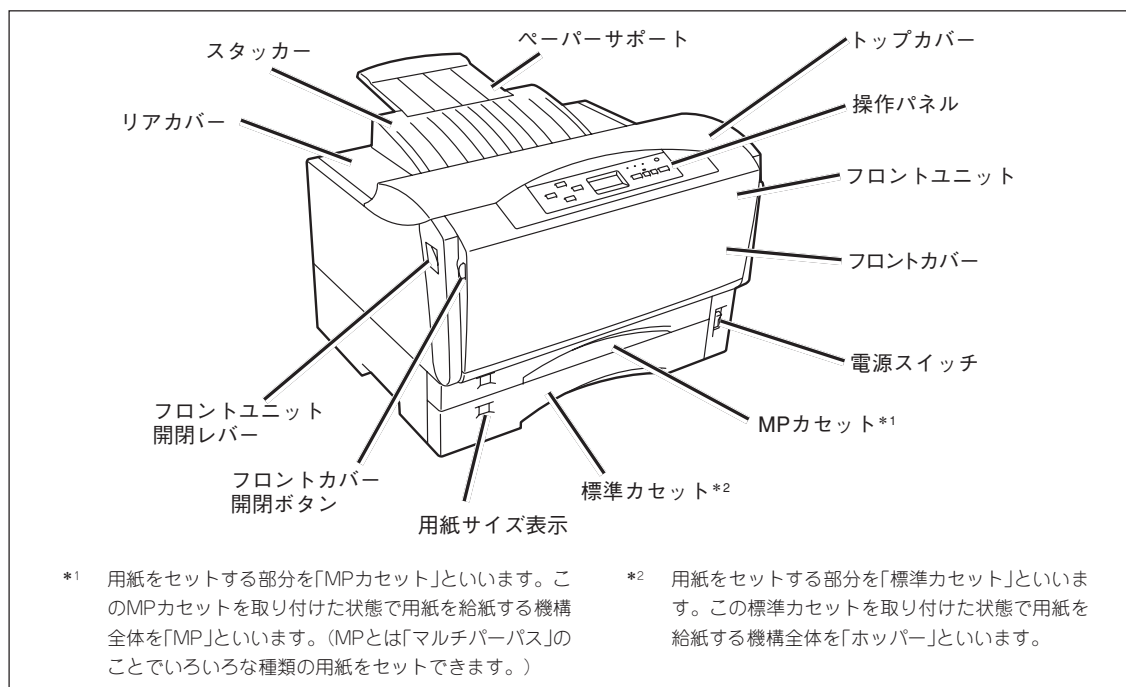
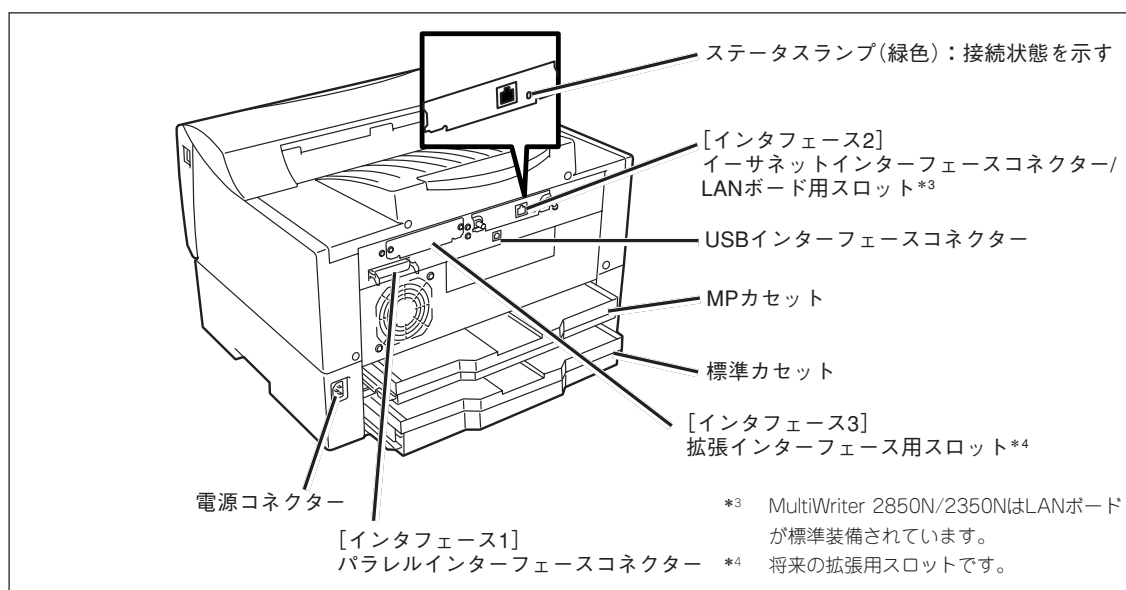
MultiWriter 2850N/2350N

*1 用紙をセットする部分を「MPカセット」といいます。このMPカセットを取り付けた状態で用紙を給紙する機構全体を「MP」といいます。（MPとは「マルチパーパス」のことでいろいろな種類の用紙をセットできます。）

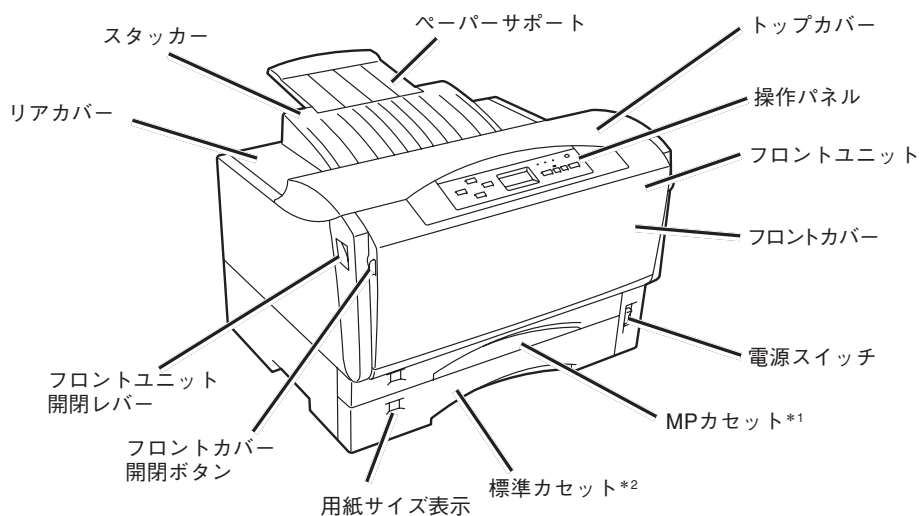
*2 用紙をセットする部分を「標準カセット」といいます。この標準カセットを取り付けた状態で用紙を給紙する機構全体を「ホッパー」といいます。

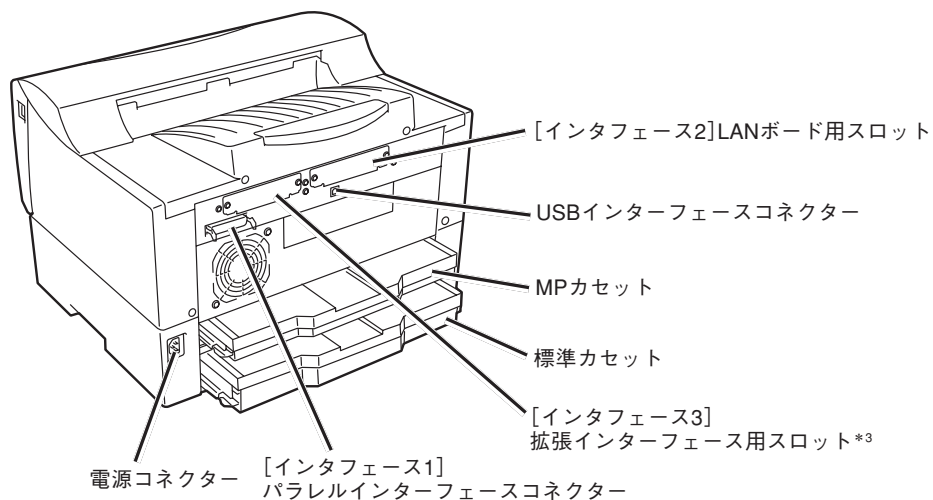
プリンター前面

*3 MultiWriter 2850N/2350NはLANボードが標準装備されています。

*4 将来の拡張用スロットです。

プリンター背面

MultiWriter 2850/2350/2150

*1　用紙をセットする部分を「MPカセット」といいます。このMPカセットを取り付けた状態で用紙を給紙する機構全体を「MP」といいます。（MPとは「マルチパーパス」のことでいろいろな種類の用紙をセットできます。）

*2　用紙をセットする部分を「標準カセット」といいます。この標準カセットを取り付けた状態で用紙を給紙する機構全体を「ホッパー」といいます。

プリンター前面

*3　MultiWriter 2850/2350では将来の拡張用スロットとなります。また、MultiWriter 2150は使用できません。

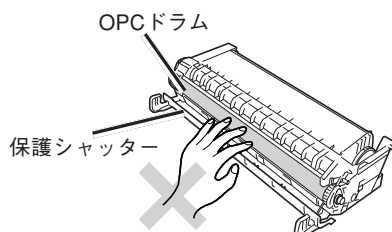
プリンター背面

5 EPカートリッジを取り付ける

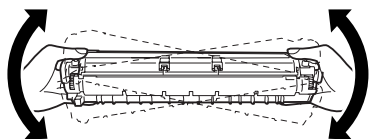
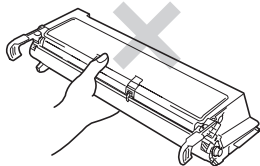
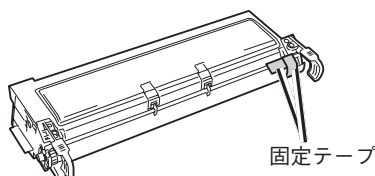
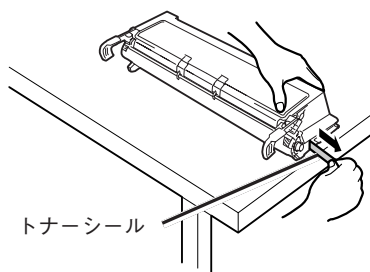
EPカートリッジは印刷を行うためのトナーやOPCドラム、現像ユニットなどが一体化されたものです。消耗品のため、印刷が薄くなったら交換します(交換手順については、6章の「EPカートリッジの交換」をご覧ください)。

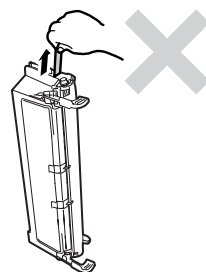
ここではまず、添付のEPカートリッジを取り付ける手順を説明します。取り付けの際は、強い光が当たる場所を避け、できるだけ5分以内で作業を終了してください。

❶ **EPカートリッジを袋から取り出す。**

EPカートリッジのOPCドラム保護シャッター、およびOPCドラムには触らないようにしてください。

❷ **EPカートリッジのトナーを均一にするため、水平に持って10回程度、図に示す方向にゆっくり振る。**

重要

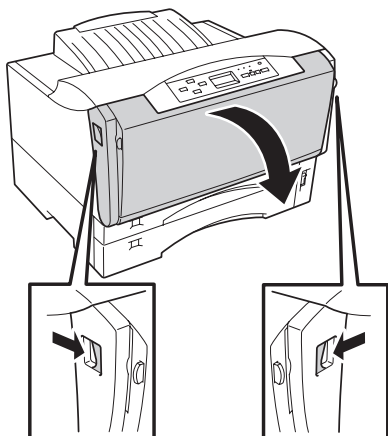
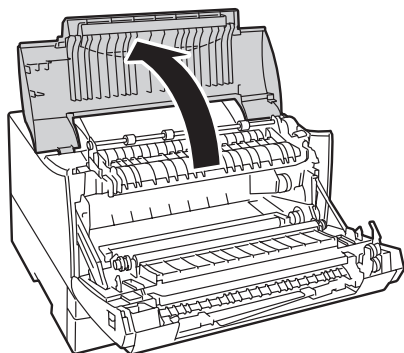
- EPカートリッジは取っ手を持たず、図のように両端部を軽く持ってゆっくり振ってください。激しく振ると、落下やOPCドラムに傷がつくおそれがあります。

- EPカートリッジの中央部を持たないでください。

❸ **保護シャッターを留めているテープ(1か所)を上から下方向へはがす。**

❹ **EPカートリッジの取っ手を手前にして、机など水平な面に置いて、側面から出ているトナーシールの端を持ち、ゆっくり引き抜く。**

重要

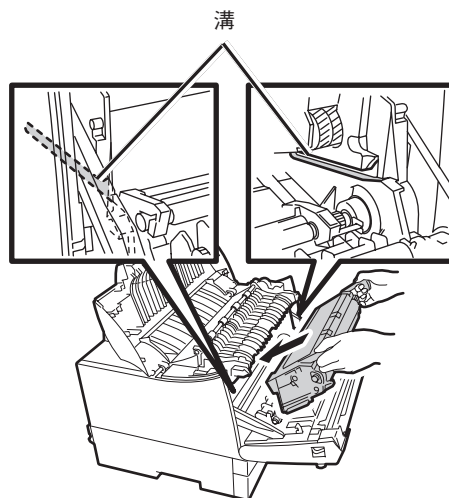
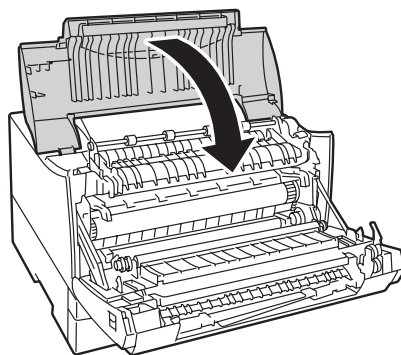
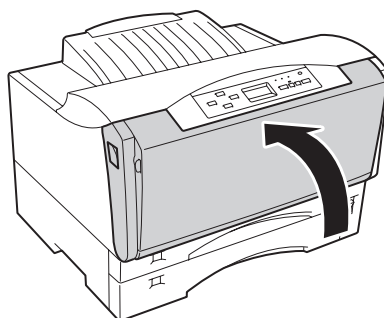
EPカートリッジを立てた状態でトナーシールを引き抜かないでください。EPカートリッジを立てた状態でトナーシールを引くと途中で引き抜けなくなるか、切れてしまうおそれがあります。

もしトナーシールが途中で引き抜けなくなった状態、あるいは途中で切れた状態のままセットすると、印刷品質が劣化するばかりでなくプリンター本体に障害が生じることがあります。

重要

- 正常に引き抜けた場合のトナーシールの長さは約70cmです。正常に引き抜けなかった場合は、プリンターを購入された販売店に連絡してください。
- トナーシールを引き抜くときに少量のトナーが出ることがあります。手や衣服などを汚さないように気をつけてください。万一、トナーが手や衣服についたら、水で洗い流してください。

5 左右のフロントユニット開閉レバーを押しながら手前に引いて、フロントユニットをゆっくりと開ける。

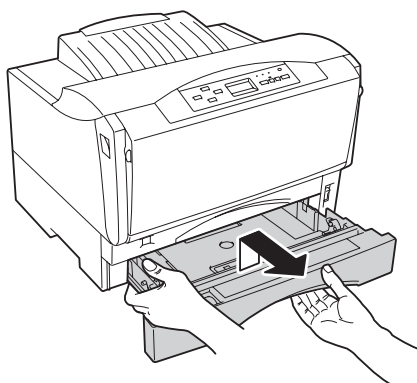
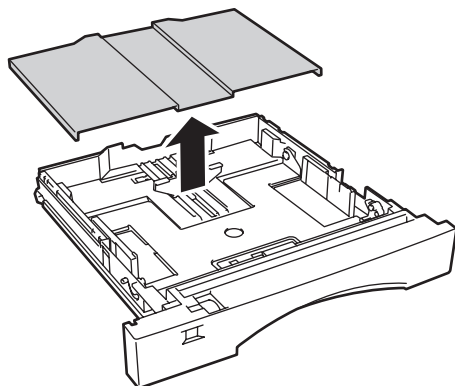
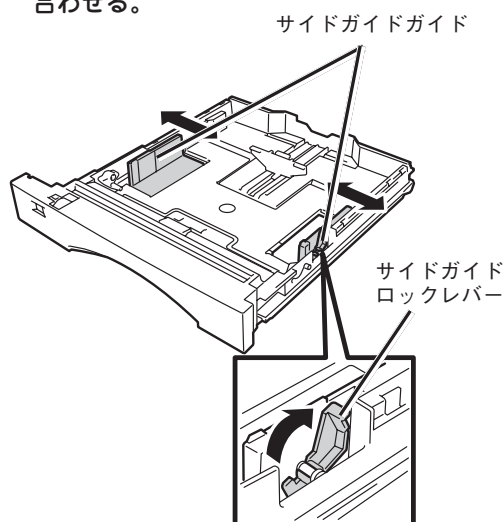
フロントユニットが開いて止まります。

6 トップカバーの左右を持ち、ゆっくりと開ける。

7 図のようにEPカートリッジをプリンター正面に向けて、EPカートリッジの取っ手を持ちEPカートリッジの両側の突起部をプリンターの内側の溝に合わせてスライドさせ、セットする。

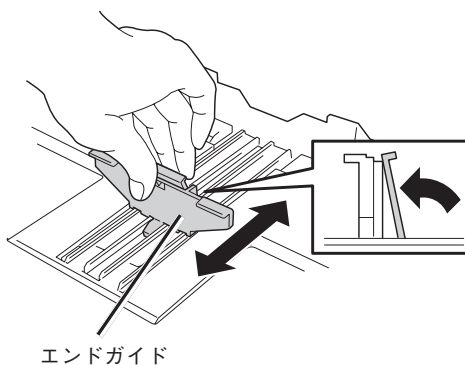
EPカートリッジが浮き上がっていたり、斜めになったりせず、確実に奥までセットされていることを確認してください。

8 トップカバーをゆっくりと閉じる。

9 フロントユニットをゆっくりと閉じる。

6 用紙をセットする

テスト印刷するためにA4サイズの用紙を横置きにホッパーにセットする手順を説明します。その他の用紙のセット方法、使用できる用紙については「3章　用紙のセット」(83ページ)をご覧ください。

重要

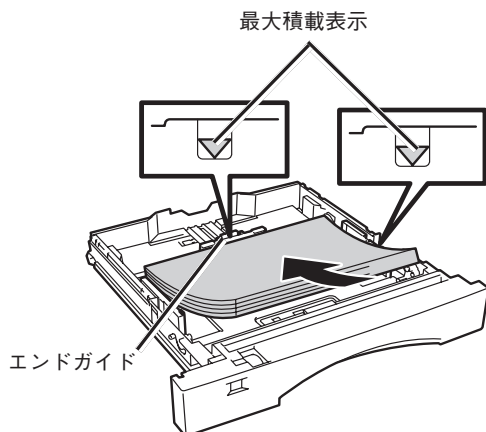
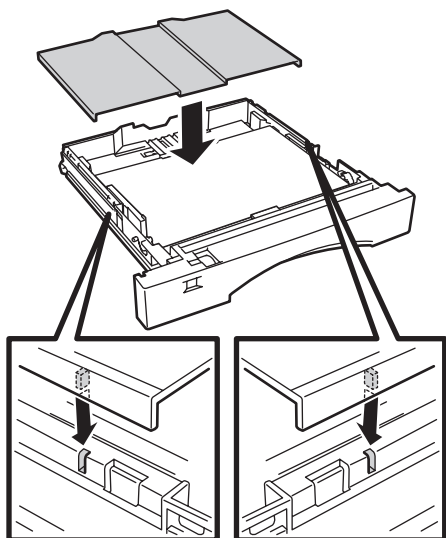
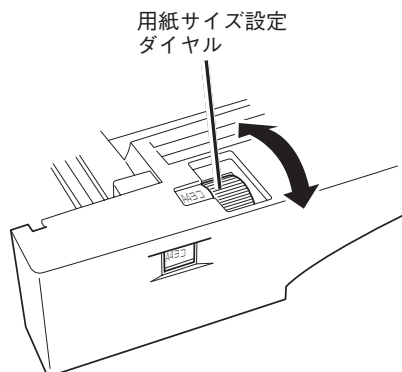
プリンターにセットする用紙は、両面とも印刷されていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙をプリンターにセットしないでください。
一度印刷された用紙をセットして印刷すると、給紙できない、紙づまりになるなどプリンターの故障の原因となる場合があります。

❶ **標準カセットを両手で軽く持ち上げ、ゆっくりと取り外す。**

❷ **カセットカバーを取り外す。**

❸ **サイドガイドロックレバーを押し上げてサイドガイドをスライドさせ、「A4ヨコ」の表示に合わせる。**

❹ **エンドガイドをスライドさせ、「A4ヨコ」の表示に合わせる。**

エンドガイドは中央部のつまみを前に押しながらスライドさせます。

❺ 印刷する面を上にして、エンドガイド側から用紙をそろえてセットする。

用紙を入れた後サイドガイドを再セットします。

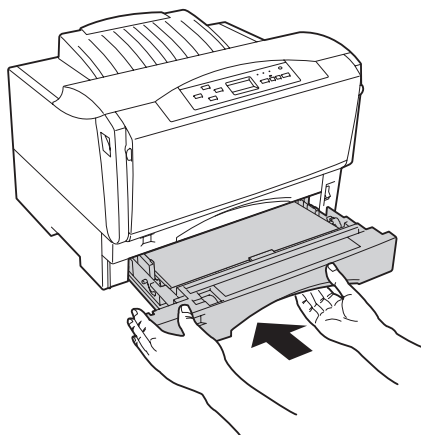
✔チェック

- リフトプレートが下がっていることを確認してください。
- 用紙は、エンドガイドの最大積載表示(▽)を越えないようにセットしてください。

❻ カセットカバーを標準カセットの溝に合わせて取り付ける。

❼ 用紙サイズ設定ダイヤルを「A4ヨコ」に設定する。

重要

セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示を合わせてください。セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示が異なると紙づまりなどの障害の原因になることがあります。

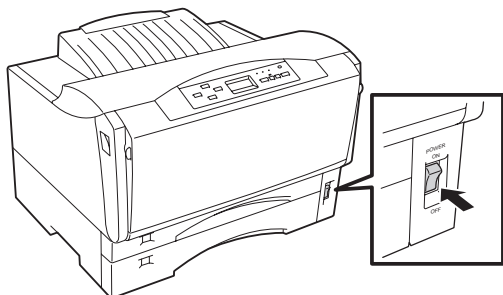
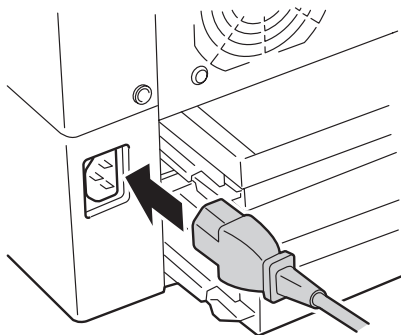
❽ 標準カセットをプリンターに取り付ける。

標準カセットは両手で持ち、ゆっくり差し込んでください。

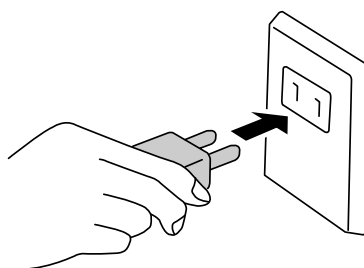
重要

用紙をセットし終えた標準カセットは、重くなっています。取り付ける際は、標準カセットを両手で持ってプリンターに差し込んでください。

7 電源コードを接続する

⚠注意　電源コードは、添付されているものを使用してください。定格に満たない電源コードを使うと火災や感電、故障のおそれがあります。

❶ **プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認する。**

❷ **電源コードの三極プラグをプリンター背面の電源コネクターに差し込む。**

❸ **もう一方の電源プラグを壁付きコンセント(電流容量10A以上)に差し込む。**

重要

- 電源プラグは電流容量10A以上の壁付きコンセントに差し込んでください。
- プリンターの電源コードは、コンピューター本体の補助コンセントには接続しないでください。

8 テスト印刷をする

コンピューターに接続する前に、プリンターが正常に動くことを確かめるためにプリンターの操作パネルのスイッチを使って、テスト印刷をします(操作パネルについては4章をご覧ください)。また、あらかじめ「6　用紙をセットする」(24ページ)でA4サイズの用紙をホッパーにセットしてから行ってください。

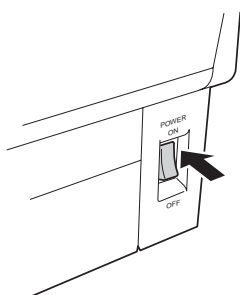
このテスト印刷は「7章　故障かな？と思ったら」の処置が終った後にも実行することをお勧めします。

印刷中は電源スイッチをOFFにしないでください。印刷中にOFFにすると紙づまりおよび故障の原因になります。

標準カセットにA4サイズの用紙がセットされていることを確認してください。

❶ 電源スイッチをONにする。

ディスプレイに次のメッセージが順に表示されます。

“イニシャライズチュウ”
“ウォームアップチュウ”

❷ ブザーが2回鳴り、印刷可ランプが点灯することを確認する。

印刷可

```
ホッパ゜    A4ヨコ ポ゜ート
                NPDL
```

❸ 操作パネルの[印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。

❹ [メニュー]スイッチを押す。

ディスプレイには“テストメニュー　→”と表示されます。

```
テストメニュー          →
```

❺ [▶]スイッチを押す。

ディスプレイ下段には“←ステータスインサツジッコウ→”と表示されます。

```
テストメニュー
←ステータスインサツシ゛ッコウ→
```

❻ [▶]スイッチを押す。

データランプが点灯し、プリンターはテスト印刷を開始します。ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されテスト印刷を開始します。

```
テストインサツチュウ
```

❼ 印刷結果を確認する。

＊＊　プリンタ環境設定　＊＊　　　　MultiWriter2850/2850N
00000000

H/W情報

項目	設定	値
Version	エンジン	00．00
	コントローラ	00．00
LANボード	有線LAN	
給紙構成	ホッパ１	Ａ４　横
	MP	Ａ４　縦
	手差し	Ａ４　縦

項目	設定
メモリ容量	24MB

メニュー情報

項目	設定	値
印刷設定メニュー	コピー枚数	1枚
	トナー節約	OFF
	印字濃度	普通
用紙メニュー	ホッパ初期設定	ホッパ1
	用紙種別	
	MP	普通紙
	手差し	普通紙
	定形外用紙	
	MP	OFF
	手差し	OFF
	リレー給紙設定	
	ホッパ1	OFF
	MP	OFF
	ジョブセパレート機能	無効
印字位置設定	ホッパ1微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	MP微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	手差し微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	表面微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	裏面微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
両面印刷メニュー	初期設定	OFF
	綴じ代	ロング1
	余白	0mm
	クリップ	ON
運用メニュー	節電機能	有効
	節電時間設定	10分
	自動排出	無効
	メモリ設定	標準
	解像度設定	600DPI
	プロッタ縮小機能	無効
フォントメニュー	1バイト系ゼロ	0
	2バイト系ゼロ	0
	ANK	標準
	漢字	明朝
	文字セット	JIS1978
	国別	日本

項目	設定	値
動作メニュー	動作エミュレーション	
	インタフェース1	NPDL
	インタフェース2	NPDL
	USB	NPDL
	動作自動切り替え	
	インタフェース1	OFF
	インタフェース2	OFF
	USB	OFF
NPDL設定	A4ポート桁数	78桁
	エミュレーション	201PL
	136桁モード	無効
プロッタ設定	ペン幅設定	
	ペン1	0.1mm
	ペン2	0.1mm
	ペン3	0.1mm
	ペン4	0.1mm
	ペン5	0.1mm
	ペン6	0.1mm
	ペン7	0.1mm
	ペン8	0.1mm
	原点位置設定	左下
	任意スケール	100%
	回転角度設定	0゜
	線端形状	なし
	接続形状	マイタ
	マイタリミット	なし
	SPコマンド排出	OFF
	ミラー設定	OFF
	オーバレイ設定	OFF
	NRコマンド動作	オンライン
	カルーゼル番号	1
	拡張モード	無効
I/F設定	インタフェース1	
	双方向設定	ニブル
	インタフェース2	
	IPアドレス	11.22.33.44
	サブネットマスク	255.0.0.0
	ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ	0.0.0.0
	DHCP	OFF
	アクセス制限	OFF
メモリスイッチ		12345678
	MSW1	00000000
	MSW2	00000000
	MSW3	00000000
	MSW4	00000000
	MSW5	00000000
	MSW6	00000000
	MSW7	00000000
	MSW8	00000000
	MSW9	00000000
	MSW10	00000000

MultiWriter 2850Nのステータス印刷結果

これでテスト印刷は終了です。

次に、プリンターをコンピューターまたはネットワークへ接続します。

プリンターをコンピューターと接続するには「9 コンピューターに接続する」(次ページ)、プリンターをネットワークに接続するには「10 ネットワークに接続する」(30ページ)に進んでください。

9 コンピューターに接続する

ここでは、プリンターとコンピューターをプリンターケーブルで接続する方法を説明します。プリンターをネットワークへ接続してお使いになる場合は、「10　ネットワークに接続する」(次ページ)に進んでください。

本プリンターにはプリンターケーブルは添付しておりません。お使いになる環境に合わせて別途お買い求めになる必要があります。プリンターケーブルの種類については、「使用できるプリンターケーブル」(205ページ)をご覧になり、ご使用のコンピューターに合ったプリンターケーブルを確認してください。

重要

パソコン本体とプリンターとの接続は、当社指定のケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用したり、市販のプリンターバッファー、プリンター切り替え器、プリンター共有器、コピープロテクターなどを使用すると、機能の一部または全部が正常に動作しない場合があります。

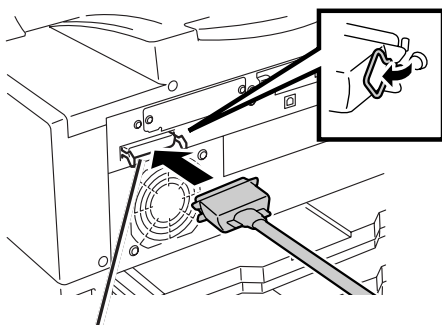
ケーブル接続について

本プリンターの背面にはパラレルインターフェースコネクターおよびUSBインターフェースコネクターがそれぞれ1つずつあります。プリンターケーブルを接続してお使いになれます。

❶ プリンターおよびコンピューターの電源をOFFにする。

❷ プリンターケーブルを接続する。

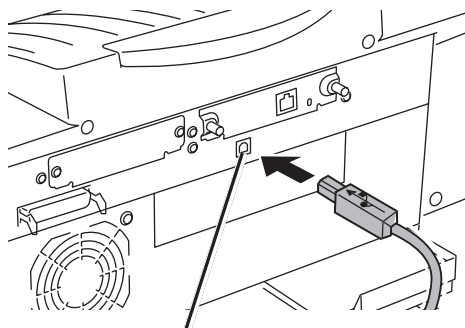
<パラレルインターフェースの場合>

① プリンターケーブルを[インタフェース1]コネクターに差し込み、コネクター両端のロックスプリングで固定します。

[インタフェース1]コネクター

② プリンターケーブルのもう一方のコネクターをコンピューターに接続します。

コンピューターのインターフェースコネクターの位置については、コンピューターのマニュアルを参照してください。

<USBインターフェースの場合>

① USBケーブルをUSBインターフェースコネクターに差し込みます。

USBインターフェースコネクター

② USBケーブルのもう一方のコネクターをコンピューターに接続します。

これでコンピューターへの接続は終了です。

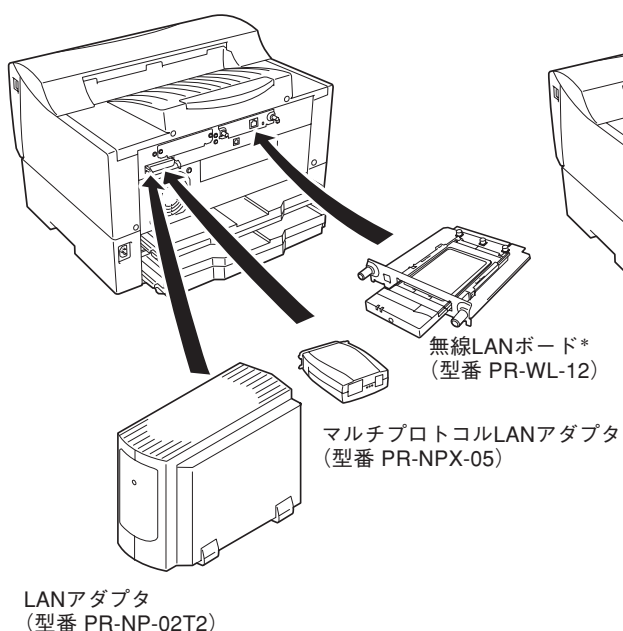
次に、「2章　プリンターソフトウエアのインストール」(47ページ)に進み、ソフトウエアをインストールしてください。

10 ネットワークに接続する

MultiWriter 2850N/2350NはLANボードを標準で装備していますので、そのままネットワークに接続して、ネットワークプリンターとしてお使いいただけます。また、MultiWriter 2850/2350/2150はオプションのLANボード、またはLANアダプターを取り付けてネットワークに接続すれば、ネットワークプリンターとしてお使いになれます。さらに、オプションの無線LANボード(型番 PR-WL-12)を取り付ければケーブルレスでネットワークに接続できます。

ここでは、ネットワークに接続するために必要な手順を以下のステップで手順を説明します。

Step 1　LANボード／無線LANボード／LANアダプターを取り付ける
Step 2　ネットワークケーブルを接続する
Step 3　コンフィグレーションページを印刷する
Step 4　IPアドレスとサブネットマスクを設定する

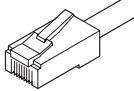
- LANボードの場合
- LANアダプターの場合
- 無線LANボードの場合

* オプションの無線LANボードは、MutliWriter 2850N/2350N標準装備のLANボードおよびオプションのLANボード(TCP/IP)(MutliWriter 2850/2350/2150のみ)とは同時に使用できません。詳しくは9章の「LANボード」(194ページ)をご覧ください。

ネットワークオプション取り付け例

Step 1　LANボード／無線LANボード／LANアダプターを取り付ける

MultiWriter 2850N/2350Nの場合

MultiWriter 2850N/2350NにはLANボードが標準で装備されています。無線LANボードやLANアダプターを使ってネットワークに接続する場合は、ここで取り付けを行ってください。標準装備のLANボードを使用する場合は「Step 2　ネットワークケーブルを接続する」へお進みください。

MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150にオプションのLANボードまたはLANアダプターを取り付ける場合は、別途お買い求めになる必要があります。使用できるLANオプションは以下のとおりです。

- LANボード(TCP/IP)(型番 PR-NP-04T)*1
- 無線LANボード(型番 PR-WL-12)*2
- LANアダプタ(TCP/IP)(型番 PR-NP-03TR2)
- LANアダプタ(TCP/IP)(型番 PR-NP-02T2)
- マルチプロトコルLANアダプタ(型番 PR-NPX-05)

❶ **ご使用のネットワーク環境に合ったLANボードまたはLANアダプターを9章の「ネットワークオプション」(188ページ)をご覧になり、確認する。**

❷ **9章の「ネットワークオプション」(183ページ)をご覧になり、LANボード／無線LANボード／LANアダプターを取り付ける。**

取り付け後は、次の「Step2　ネットワークケーブルを接続する」に進んでください。

Step 2　ネットワークケーブルを接続する

LANボード*3／LANアダプターは、ネットワークに接続するインターフェースとして10BASE-Tおよび100BASE-TXの2種類に対応しています。ネットワークケーブルは添付されていないため、次の表に従って適切なケーブルを別途お求めの上、LANボード／LANアダプターに接続してください。接続手順は次ページをご覧ください。

ケーブルタイプ	コネクターの形状	型番
Ethernet（10BASE-T） Fast Ethernet（100BASE-TX）		PK-CA117 PK-CA118

*1　MultiWriter 2850N/2350Nの場合は標準でLANボードが装備されています。

*2　オプションの無線LANボードは、MutliWriter 2850N/2350N標準装備のLANボードおよびオプションのLANボード(TCP/IP)(MutliWriter 2850/2350/2150のみ)とは同時に使用できません。

*3　MultiWriter 2850N/2350Nの標準LANボードを含みます。

重要

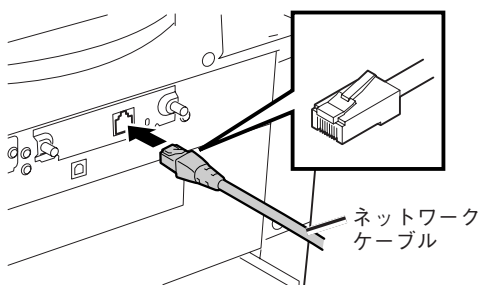
- ケーブルを接続する前に、他のネットワーク利用者が印刷やファイルの転送を行っていないことを確認してください。
- プリンター、LANアダプターの電源を必ずOFFにしてからケーブルの接続を行ってください。ONのまま接続するとプリンターの誤動作の原因となります。

ここでは、LANアダプタ(TCP/IP)(型番 PR-NP-02T2)の場合を例にとって、説明します。

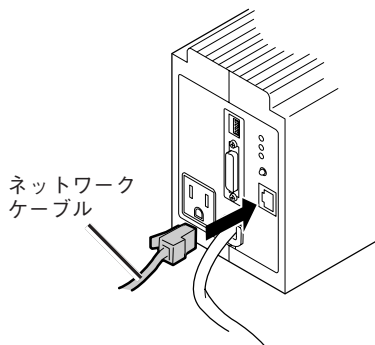
❶ ケーブルのコネクターを接続する。

ネットワークケーブル接続後の確認については、LANボード/無線LANボード/LANアダプターの取扱説明書をご覧ください。

<LANボードをご使用の場合>

プリンターの電源をOFFにし、ケーブルのコネクターをLANボードのコネクターに差し込みます。

LANボード

<LANアダプターをご使用の場合>

LANアダプターの電源コードを壁付きACコンセントから抜き、ネットワークケーブルのコネクターをLANアダプターのEthernet用コネクターに差し込みます。

LANアダプター

❷ 電源を入れる。

<LANボードをご使用の場合>

プリンターの電源をONにします。

<LANアダプターをご使用の場合>

LANアダプターの電源コードのプラグを壁付きACコンセントに差し込み、プリンターの電源をONにします。

ネットワークケーブルの接続ができたら、次ページの「Step3　コンフィグレーションページ印刷をする」に進んでください。

Step 3　コンフィグレーションページを印刷する

コンフィグレーションページとは、LANボード／LANアダプターのIPアドレスやサブネットマスク、MACアドレス等のネットワークの設定情報が一覧できるLANステータス印刷のことです。ネットワークケーブルを接続したとき、またはネットワークに関する変更を行った前後などにコンフィグレーションページを印刷して設定内容の確認を行ってください。

MultiWriter 2850N/2350Nに標準装備されているLANボードおよびオプションのLANボード/無線LANボードのコンフィグレーションページ(LANステータス)の印刷は、プリンターの操作パネルから行います。LANアダプターの場合は種類によって手順が異なりますので、LANアダプターに添付のマニュアルをご覧になりコンフィグレーションページを印刷してください。

❶ プリンターの電源スイッチをONにする。

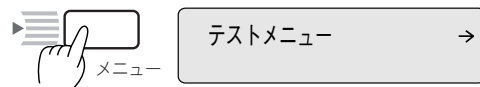
電源ON後、プリンターが印刷可能な状態(印刷可ランプ点灯)になったことを確認します。

コンフィグレーションページを印刷する前に用紙がプリンターにセットされていることを確認してください。用紙がセットされていない場合は「3章　用紙のセット」(83ページ)を参照してセットしてください。

❷ プリンターの操作パネルの[印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。

❸ [メニュー]スイッチを押す。

ディスプレイには“テストメニュー　→”と表示されます。

テストメニュー　→

❹ [▶]スイッチを1回、[▲]スイッチを2回押す。

ディスプレイ下段には“←LANステータス　ジッコウ→”と表示されます。

テストメニュー
←LANステータス　ジ゛ッコウ→

❺ [▶]スイッチを押す。

データランプが点灯し、LANボードの設定情報の印刷を開始します。

インサツチュウ

❻ コンフィグレーションページを参照してLANボードの設定内容を確認する。

36ページのコンフィグレーションページの印刷例を参考にしてください。

印刷例は工場出荷時におけるLANボードの設定情報と、IPアドレスとサブネットマスクの設定変更後の印刷例です。

ネットワークへのセットアップ後やプリンターの設定を変更した後は必ずコンフィグレーションページを印刷して大切に保管しておいてください。

次ページの「Step4　IPアドレスとサブネットマスクのを設定する」に進んでください。

Step 4 IPアドレスとサブネットマスクを設定する

MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150をネットワーク環境で利用するために、プリンターにIPアドレスとサブネットマスクを設定する必要があります。設定方法には主に以下の4通りがあります。

- プリンターの操作パネルを使って設定する(操作パネルについては4章参照)
- EASY設定ユーティリティ(プリンターに添付のCD-ROMに収録)を使って設定する
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ(プリンターに添付のCD-ROMに収録)を使って設定する
- 無線LANプリンタ導入ウィザード(プリンターに添付のCD-ROMに収録)を使って設定する(無線LANボードのみ対応)

接続されているLANオプションごとに適切な設定方法で説明します。以下のページを参照してください。

- LANボード 34ページ
- LANアダプター 38ページ
- 無線LANボード 41ページ

LANボードの場合

ここでは、プリンターの操作パネルを使った設定方法を説明します。その他の設定方法は添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの「3章 ネットワークでの設定」をご覧ください。
設定するIPアドレス、サブネットマスクなどの値は、ご使用になるネットワークの管理者におたずねください。

- DHCPサーバーをお使いの場合は、「DHCPを有効にする」(37ページ)をご覧になり、手順に従ってください。
- ゲートウェイアドレスとアクセス制限は、MultiWriter 2850N/2850でのみ設定することができます。

IPアドレスとサブネットマスクの設定を変更する

❶ 操作パネルの[印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。

❷ データランプが点灯していないことを確認する。

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

❸ [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに"テストメニュー　→"と表示されます。

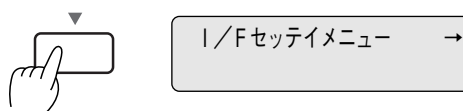
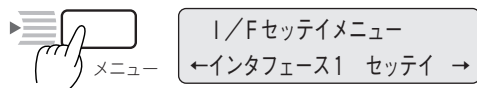
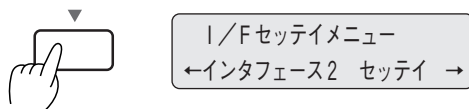
❹ ディスプレイに"I/Fセッテイメニュー"と表示されるまで[▼]スイッチを数回押す。

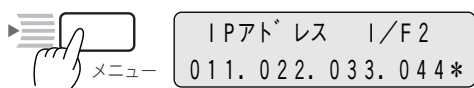
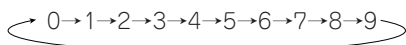
メニューの内容については「メニューツリー(114～117ページ)を参照してください。

❺ [▶]スイッチを1回押す。

❻ [▼]スイッチを1回押す。

ディスプレイ下段に"←インタフェース２　セッテイ　→"と表示されます。

I/Fセッテイメニュー
←インタフェース2　セッテイ　→

❼ [▶]スイッチを1回押す。

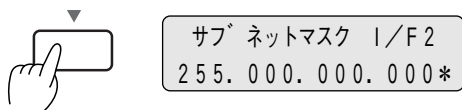
ディスプレイに"ＩＰアドレス　Ｉ／Ｆ２"と表示されます。

❽ IPアドレスを設定する。

[設定変更]スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。

0→1→2→3→4→5→6→7→8→9

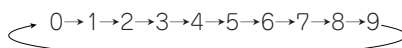
カーソルを移動させるには、[▶]スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、[◀]スイッチで手順❼に戻って入力し直してください。

❾ [▼]スイッチを押す。

ディスプレイに"サブネットマスク　I/F２"と表示されます。

サブネットマスク　I/F2
255.000.000.000*

❿ サブネットマスクを設定する。

[設定変更]スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。

0→1→2→3→4→5→6→7→8→9

カーソルを移動させるには、[▶]スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、[◀]スイッチを押し、手順❼に戻って入力し直してください。

> MultiWriter 2850N/2850をお使いで、ゲートウェイアドレスの設定を行なう場合は、上記の「IPアドレスとサブネットマスクを設定する」と同様の手順で操作パネルからゲートウェイアドレスを設定することができます。「メニューツリー」(117ページ)を参照して設定してください。

⓫ [メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了させる。

これで設定完了です。プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。

⓬ コンフィグレーションページを印刷する。

手順については「Step 3　コンフィグレーションページを印刷する」(33ページ)を参照してください。

⓭ コンフィグレーションページの印刷例(次ページ)を参照して、正しく設定されているか設定内容を確認する。

これでネットワークへの接続は完了です。

次に、「2章　プリンターソフトウエアのインストール」(47ページ)に進み、プリンターソフトウエアをインストールしてください。

工場出荷時の印刷例

```
       NEC Network Interface Configuration Page

       <Network Information>

           F/W Version              :    02. 00 00001.0000000000
*1         ID Number                :    NFE-290000
           Printer Name             :    NFE-290000
*1         MAC Address              :    00:00:4C:29:00:00
           H/W Description          :    NEC NetworkPrinter500000
           10Base/100Base           :    " Auto（？）"
           Half/Full Duplex         :    " Auto（？）"
           Printing Log             :    " Off"


       <Self-Diagnosis>

           Link Test                :    " No connection"
           Network Status           :    " OK"


       <TCP/IP>

*2         IP Address               :     11. 22. 33. 44
*2         Subnet Mask              :    255.  0.  0.  0
           Gateway Address          :      0.  0.  0.  0
           Auto IP Address          :    " On"
           Max. Number of Session   :    64
           Session Timeout [sec]    :    120
           Keep Alive               :    " On"
           FTP Timeout [min]        :    10
           DHCP                     :    " Off"
           e-Mail Service           :    " Off"
           Current Active Session   :    0
```

IPアドレス、サブネットマスク設定変更後の印刷例

```
       NEC Network Interface Configuration Page

       <Network Information>

           F/W Version              :    02. 00 00001.0000000000
*1         ID Number                :    NFE-290000
           Printer Name             :    NFE-290000
*1         MAC Address              :    00:00:4C:29:00:00
           H/W Description          :    NEC NetworkPrinter500000
           10Base/100Base           :    " Auto（10Base）"
           Half/Full Duplex         :    " Auto（Half Duplex）"
           Printing Log             :    " Off"


       <Self-Diagnosis>

           Link Test                :    " OK"
           Network Status           :    " OK"


       <TCP/IP>

*3         IP Address               :    123.123.123. 123
*3         Subnet Mask              :    255.255.255.  0
           Gateway Address          :      0.  0.  0.  0
           Auto IP Address          :    " On"
           Max. Number of Session   :    64
           Session Timeout [sec]    :    120
           Keep Alive               :    " On"
           FTP Timeout [min]        :    10
           DHCP                     :    " Off"
           e-Mail Service           :    " Off"
           Current Active Session   :    0
```

*1 ID Numberおよび、MAC AddressはLANボード個々の情報を示します。

*2 IPアドレス、サブネットマスクの工場出荷値です。

*3 IPアドレス、サブネットマスクの変更された例です。

DHCPを有効にする

DHCPサーバーをお使いの場合は、以下の手順でDHCPを有効にしてください。設定はプリンターの操作パネルでメニューモードに入って行います。メニューモードについては4章の「メニューモード」(106ページ)を参照してください。

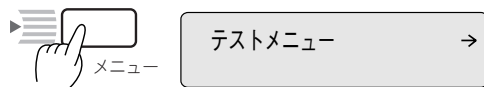
❶ [印刷可]スイッチを押す。

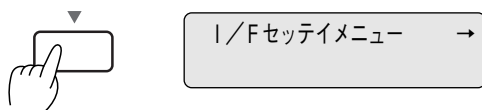
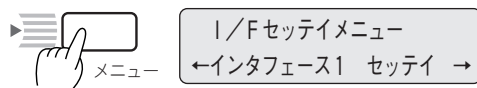
印刷可ランプが消灯します。

❷ データランプが点灯していないことを確認する。

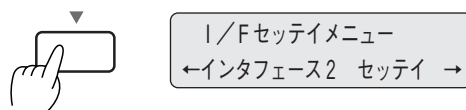
点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

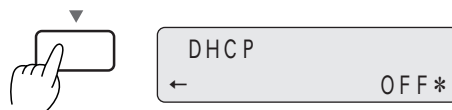
❸ [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　　→”と表示されます。

❹ ディスプレイに“I／Fセッテイメニュー”と表示されるまで[▼]スイッチを数回押す。

メニューの内容については「メニューツリー」(114ページ～117ページ)を参照してください。

❺ [▶]スイッチを1回押す。

❻ [▼]スイッチを1回押す。

ディスプレイ下段に“←インタフェース２　セッテイ　→”と表示されます。

❼ [▶]スイッチを1回、[▼]スイッチを数回押す。

ディスプレイ上段に“DHCP”と表示されます。

❽ [設定変更]スイッチを押す。

“ON”に設定されます。

❾ [メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了させる。

これで設定完了です。プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。

DHCPが有効になりました。

✔チェック

IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスはDHCPサーバーから取得した値が表示されます。また、表示されるまでは多少時間がかかる場合があります。

LANアダプターの場合

LANアダプターでネットワークに接続するために、プリンターにIPアドレスとサブネットマスクを設定します。お使いになるLANアダプターの種類によって設定方法が異なります。

＜LANアダプタ(型番 PR-NP-02T2、型番 PR-NP-03TR2)をお使いの場合＞

- プリンターの操作パネルで設定できます。
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティで設定できます。(活用マニュアル参照)

＜マルチプロトコルLANアダプタ(型番 PR-NPX-05)をお使いの場合＞

LANアダプターに添付のマニュアルを参照してください。

ここでは、プリンターの操作パネルでの設定方法を説明します。その他の設定方法については、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアル「3章　ネットワークでの設定」をご覧ください。

プリンターの操作パネルによる設定では、あらかじめ、メニューモードでI/F設定の「双方向設定」を「ECP」に設定しておく必要があります。

設定するIPアドレス、サブネットマスクの値は、ご使用になるネットワークの管理者におたずねください。

I/F設定をECPに変更する

❶ 操作パネルの[印刷可]スイッチを押す。

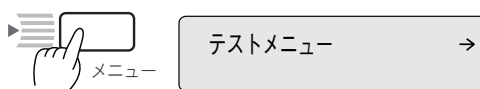
印刷可ランプが消灯します。

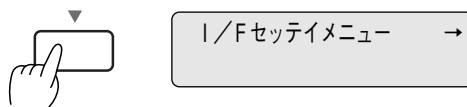
❷ データランプが点灯していないことを確認する。

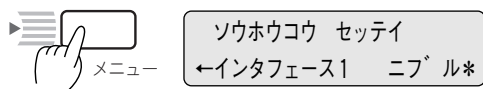
点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

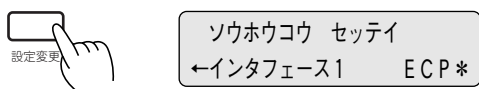
○データ

❸ [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　　→”と表示されます。

❹ ディスプレイに“I／Fセッテイメニュー”と表示されるまで[▼]スイッチを数回押す。

メニューの内容については「メニューツリー」(114ページ～117ページ)を参照してください。

❺ **[▶]スイッチを2回押して、ディスプレイ下段に“←インタフェース1　ニブル＊”を表示させる。**

```
 ソウホウコウ　セッテイ
←インタフェース1　　ニブ゛ル＊
```

❻ **[設定変更]スイッチを1回押して、ディスプレイ下段に“←インタフェース1　ECP＊”を表示させる。**

```
 ソウホウコウ　セッテイ
←インタフェース1　　　ECP＊
```

❼ **[メニュー終了]スイッチを押す。**

メニューモードを終了します。

❽ **プリンターの電源をOFFにする。**

[ソウホウコウ　セッテイ]の設定の変更を有効にするために、プリンターの電源をいったんOFFにする必要があります。

❾ **プリンターの電源をONにする。**

プリンターの電源を再投入することによって、設定が有効になります。

次に、「IPアドレスとサブネットマスクの設定を変更する」に進んでください。

IPアドレスとサブネットマスクの設定を変更する

❶ **[印刷可]スイッチを押す。**

印刷可ランプが消灯します。

❷ **データランプが点灯していないことを確認する。**

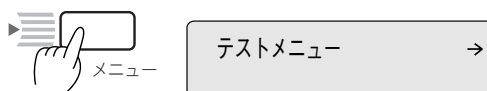
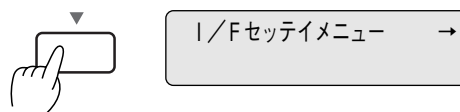
点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

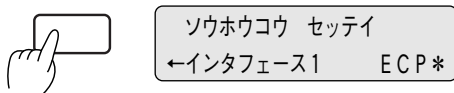
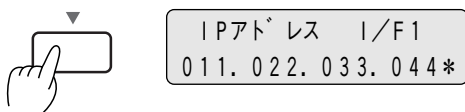
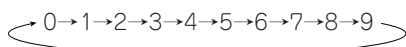
❸ **[メニュー]スイッチを押す。**

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　　→”と表示されます。

```
テストメニュー　　　　→
```

❹ **ディスプレイに“I／Fセッテイメニュー”と表示されるまで[▼]スイッチを数回押す。**

```
I／Fセッテイメニュー　　→
```

❺ **[▶]スイッチを2回押し、ディスプレイ下段に“←インタフェース1　ＥＣＰ＊”を表示させる。**

```
 ソウホウコウ　セッテイ
←インタフェース1　　ECP*
```

❻ **[▼]スイッチを1回押し、ディスプレイに“ＩＰアドレス　Ｉ／Ｆ１”を表示させる。**

```
 IPアト゛レス　 I/F1
011.022.033.044*
```

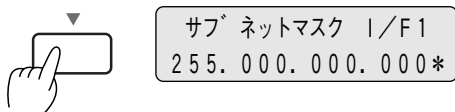
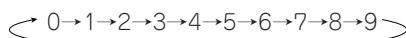
❼ **IPアドレスを設定する。**

[設定変更]スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。

→0→1→2→3→4→5→6→7→8→9

カーソルを移動させるには、[▶]スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、[◀]スイッチで手順❻に戻って入力し直してください。

❽ **[▼]スイッチを押す。**

ディスプレイに“サブネットマスク　I／F１”と表示されます。

```
 サブ゛ネットマスク　I/F1
255.000.000.000*
```

❾ **サブネットマスクを設定する。**

[設定変更]スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。

→0→1→2→3→4→5→6→7→8→9

カーソルを移動させるには、[▶]スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、[◀]スイッチを押し、手順❻に戻って入力し直してください。

❿ **[メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了させる。**

これで設定完了です。プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。

⓫ **コンフィグレーションページを印刷する。**

LANアダプターに添付の取扱説明書をご覧になり、コンフィグレーションページ印刷をしてください。

⓬ **コンフィグレーションページの印刷例（33ページ）を参照して、正しく設定されているか設定内容を確認する。**

これでネットワークへの接続は完了です。

次に、「2章　プリンターソフトウエアのインストール」（47ページ）に進み、プリンターソフトウエアをインストールしてください。

無線LANボードの場合

無線LANボード(型番 PR-WL-12)でネットワークに接続するために、プリンターにIPアドレスとサブネットマスクなどを設定します。設定方法には、以下の3通りがあります。

- 無線LANプリンタ導入ウィザード(プリンターに添付のCD-ROMに収録)を使って設定する(無線LANボードのみ対応)
- EASY設定ユーティリティ(プリンターに添付のCD-ROMに収録)を使って設定する
- プリンターの操作パネルを使って設定する(操作パネルについては4章参照)

チェック

- EASY設定ユーティリティや無線LANプリンタ導入ウィザードをお使いになれない環境の場合は、プリンターの操作パネルを使って設定します。設定手順はLANボードの場合と同じです。本章の「LANボードの場合」(34ページ)をご覧ください。
- 無線LANボードの詳細については無線LANボードに添付の取扱説明書をご覧ください。
- 設定するIPアドレス、サブネットマスクなどの値は、ご使用になるネットワークの管理者におたずねください。

無線LANプリンタ導入ウィザードを使って設定する

本プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「無線LANプリンタ導入ウィザード」を使って、無線LANボードを装着したプリンターと無線LANカード、アクセスポイントの設定を画面の指示に従って設定していきます。
このユーティリティーは、Windows XP/Me/98/95/2000/NT 4.0で使用できます。詳細については、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの[WIRELESS]フォルダー内に収録されている[README.TXT]をご覧ください。以下に、起動方法までを説明します。

重要

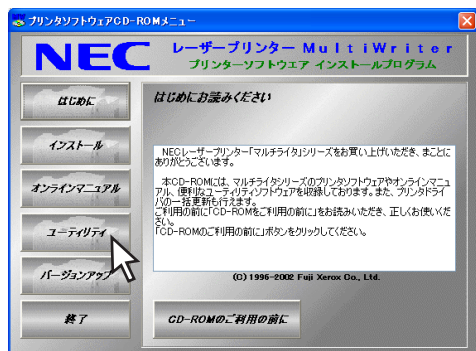
- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類を[コンピュータの管理者]でログオンしてください。
- Windows 2000またはWindows NT 4.0でご使用になる場合は、[コンピュータの管理者]または、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定できません。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、プリンターにIPアドレスを設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルータなどを介さない(同一ネットワーク内)で接続された環境で行ってください。
- 無線LANプリンタ導入ウィザードの場合、コンピューターのディスプレイは800×600ピクセル以上の解像度、High Color(16ビット色)以上の設定を推奨します。
- 暗号キーに変更する場合は無線LANボードを先に変更し、その後にアクセスポイントやコンピューターの設定を変更してください。
- 「ネットワークタイプ」、「ネットワーク名」、「暗号キー」を間違って設定した場合は、いったん工場出荷状態に戻し再度設定を行なってください。工場出荷状態へ戻す手順は、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの「3章　ネットワークでの設定」をご覧ください。

ご使用の前に、起動しているすべてのアプリケーションを終了してください。

❶ **お使いのOS（日本語版）を起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットし、メニュープログラムを立ち上げる。**

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ **画面左側の［ユーティリティ］をクリックする。**

❹ **［無線LANプリンタ導入ウィザード］を選択し、［フォルダを開く］をクリックする。**

プリンターソフトウエアCD-ROM内の［WIRELESS］フォルダーが開きます。

❺ **［SetupWiz.EXE］アイコンをダブルクリックする。**

［無線LANプリンタ導入ウィザード］ウィンドウが表示されます。

❻ **［次へ］をクリックする。**

［設定方法の選択］が表示されます。

設定方法の選択

- 初期設定

  プリンターが出荷時の状態、または無線LANボードの設定を初期化してから再度設定したい場合には、こちらを選択してください。

- 設定変更

  パソコン・プリンター間の通信が可能な状態から、無線LANボードの設定を変更したい場合には、こちらを選択してください。

- 通信確認

  設定後の通信確認のために、現在のコンピューターの設定で通信可能なプリンターを表示確認する場合には、こちらを選択してください。

以降の設定に関しては、無線LANプリンタ導入ウィザードの説明欄に詳細な説明を記載しています。説明文をよくお読みになって設定を行なってください。

EASY設定ユーティリティを使って設定する

ここでは、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「EASY設定ユーティリティ」を使った設定方法を説明します。その他の設定方法は添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの「3章 ネットワークでの設定」をご覧ください。
詳細については、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの[EASY]フォルダー内に収録されている「README.TXT」をご覧ください。

■ IPアドレスなどネットワークの設定を変更する

重要

- Windows XP/2000またはWindows NT 4.0でご使用になる場合は、[コンピュータの管理者]または、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定できません。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、プリンターにIPアドレスを設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない(同じサブネットマスク内)で接続された環境で行ってください。

❶ **お使いのOS(日本語版)を起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

[プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー]ダイアログボックスが表示されます。

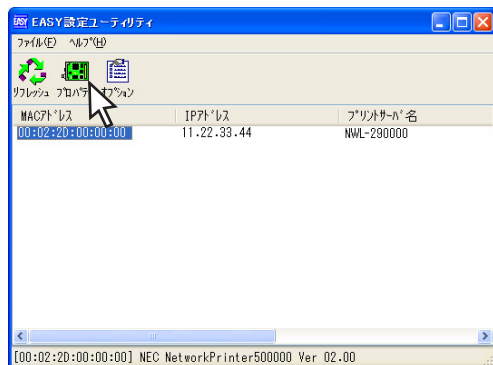
お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ **[ユーティリティ]をクリックする。**

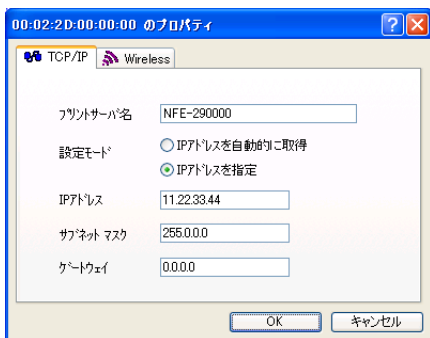
❹ **[EASY設定ユーティリティ]を選択し、[フォルダを開く]をクリックする。**

プリンターソフトウエアCD-ROM内の[EASY]フォルダーが開きます。

❺ **[NICSET.EXE]アイコンをダブルクリックする。**

❻ **一覧からプリンターのMACアドレスを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックする。**

一覧にプリンターが表示されない場合は、[リフレッシュ]ボタンをクリックし、再検索を行ってください。

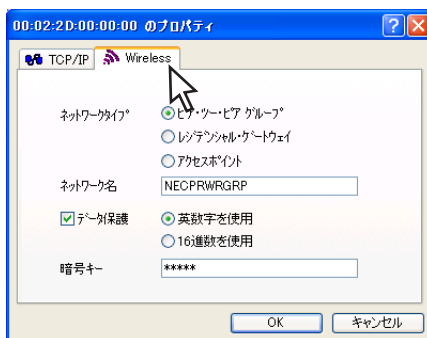
❼ **プリントサーバー名を確認する。**

ネットワーク上から見たプリンターの名前が[プリントサーバー名]ボックスに表示されます。プリントサーバー名の変更もできます。

❽ **[設定モード]で[IPアドレスを指定]を選択する。**

❾ **IPアドレス、サブネットマスクを入力する。**

❿ **ゲートウェイアドレスを設定する。**

ゲートウェイ(ルーター)を使用しないネットワーク環境では、設定の必要はありません。

⓫ **[Wireless]タブをクリックする。**

⓬ **[ネットワークタイプ]で接続する無線LAN環境を選択する。**

- ピア・ツー・ピア グループ

  ネットワーク名(ESS-ID)を設定する無線LANカードを取り付けたコンピューターとピア・ツー・ピア グループ接続します。

- レジデンシャル・ゲートウェイ

  NEC無線LANアクセスポイント(PK-WL002H)経由でネットワークに接続します。

- アクセスポイント

  IEEE802.11b準拠のアクセスポイント経由でネットワークに接続します。

⓭ **ネットワーク名を入力する。**

接続したいアクセスポイントやネットワークに付けられているネットワーク名と同じ名前を設定します。

⓮ **必要に応じて、[データ保護]をチェックする。**

チェックを付けると、WEP(Wired Equivalent Privacy)データ暗号化方式により、無線LANで転送されるデータを暗号化します。

⑮ 必要に応じて、[暗号キー]を入力する。

暗号キーは、アクセスポイントやコンピューターが、無線LANプリンターにデータを送信する時に使用する暗号キーと同じものを設定します。暗号キーは5文字(16進数で10桁)または13文字(16進数で26桁)のどちらかの文字数のみで設定することができます。
また、暗号キーは次のように使用します。

- 無線LANプリンターが受信する無線メッセージを復号します。
- 無線LANプリンターが送信する無線メッセージを暗号化します。

重要

- 暗号キーを変更する場合は無線LANボードを先に変更し、その後にアクセスポイントやコンピューターの設定を変更してください。
- 「ネットワークタイプ」、「ネットワーク名」、「暗号キー」を間違って設定した場合は、いったん工場出荷状態に戻してから再度設定を行ってください。

使用できる文字について

- [英数字を使用する]を選択したときは、半角英数字と文字記号(「＊」アスタリスクを除く)が使えます。
- [16進数を使用する]を選択したときは、"0〜9"、"A〜F"が使えます。

⑯ [OK]をクリックして、EASY設定ユーティリティを終了する。

以上で設定は完了です。

次に、「2章　プリンターソフトウエアのインストール」(47ページ)に進み、プリンターソフトウエアをインストールしてください。

プリンターの操作パネルを使って設定する

ユーティリティを使用して設定する方法のほかに、プリンターの操作パネルから基本設定をすることができます。基本的な設定手順はLANボードと同じです。設定できる項目は以下のとおりです。

- IPアドレスの設定 .... 本章「LANボードの場合」34ページ参照
- サブネットマスクの設定 .... 本章「LANボードの場合」34ページ参照
- DHCPの設定 .... 本章「LANボードの場合」34ページ参照
- ゲートウェイアドレスの設定 .... 活用マニュアル　3章参照
- ネットワークタイプの設定 .... 活用マニュアル　3章参照
- ネットワーク名の設定 .... 活用マニュアル　3章参照

ネットワークタイプの設定を例に、操作パネルでの設定手順を説明します。

「IPアドレスとサブネットマスクの設定を変更する」(34ページ)の手順❶〜❻、または「DHCPを有効にする」(37ページ)の手順❶〜❻を行った後に以下の手順に従ってください。

❶ [▶]スイッチを1回、[▼]スイッチを3回押す。

ディスプレイ上段に"ネットワークタイプ"と表示されます。

```
 ネットワークタイプ゜
←ヒ゜アツーヒ゜アク゛ルーフ゜ *
```

❷ ネットワークタイプを設定する。

[設定変更]スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のようにタイプが変わります。

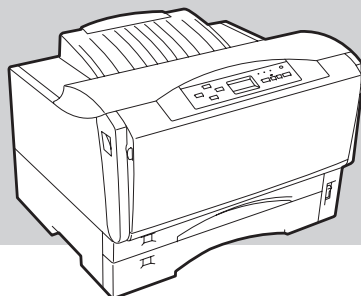
ピアツーピアグループ→アクセスポイント→レジデンシャルG/W→ピアツーピアグループ

❸ [メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了させる。

これで設定完了です。プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。

ネットワーク名も操作パネルから入力できます。詳しくは添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの「7章 メニューモード」をご覧ください。

以上で設定は完了です。

2章
プリンターソフトウエアのインストール

この章では、Windows XP*1/Me/98*2/95/2000/NT 4.0 日本語版環境にプリンターソフトウエアをインストールし、プリンターを指定するまでの手順について説明します。また、その他の環境で使用する際の設定も説明します。

*1　以下、本書でWindows XPと表記している場合は、Windows XP Home EditionとProfessionalを含みます。
*2　以下、本書でWindows 98と表記している場合は、Windows 98 Second Editionを含みます。

重要

- MultiWriterのプリンターソフトウエアを正しくインストールするためには、インストールする前に「PrintAgentを正しく動作させるために」(153ページ)をお読みください。
- インストールプログラムを実行する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。

- **フロッピーディスクでインストールする場合**

  本書ではCD-ROMを使った手順で説明しています。プリンターソフトウエアCD-ROMから作成したプリンターソフトウエアディスクを使用してインストールをする場合、インストールの途中でフロッピーディスクの交換を求める画面が表示されることがあります。その場合は画面の指示に従ってフロッピーディスクの入れ替えを行ってください。

- **MultiWriter 2850/2350N/2350/2150をお使いのお客様へ**

  本書中にMultiWriter 2850または、2350N/2350/2150の記述がない場合は2850Nの記述をお使いの機種名に読み替えてください。

プリンターソフトウエアCD-ROMについて

MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150に添付のプリンターソフトウエアCD-ROMは、Windows XP/Me/98/95/2000/NT 4.0のコンピューター環境に対応した、ソフトウエアを提供しています。

このCD-ROMは、ISO9660フォーマットに従って作成されています。MacintoshでこのCD-ROMを見るためには、ISO9660機能拡張ファイルが必要です。詳しくはMacintosh本体またはOSのマニュアルをご覧ください。

CD-ROMの構成は以下のとおりです。

□ メニュープログラム

- はじめに
  プリンターソフトウエアCD-ROMについて注意事項などが書かれています。ご使用になる前にお読みください。
- インストール
  Windows XP/Me/98/95/2000/NT 4.0に対応したプリンターソフトウエアをインストールできます。
- オンラインマニュアル
  「MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150 活用マニュアル」の閲覧用(HTML形式)と、印刷用(PDF形式)の2つが収録されています。オンラインマニュアルを閲覧するためにはブラウザー、印刷するためには「Adobe Acrobat Reader」が必要です。詳細については「マニュアルの種類と使い方」(viiページ)またはメニュープログラム内のユーティリティーをご覧ください。
- ユーティリティー
  - iPrinting.DeliveryService
  - ドキュメント・ハンドリング・ソフトウエア「DocuWorks Ver.4.1 (体験版)」
  - NEC Internet Printing System(Windows 98/95対応版およびWindows NT 4.0対応版)
  - NEC TrueTypeバーコードフォントキット
    NEC TrueTypeバーコードフォントとNEC TrueTypeバーコードフォントユーティリティです。
  - NEC FontAvenue TrueTypeフォント3書体
  - 帳票エディタ「帳楽」お試し版
  - EASY設定ユーティリティ
  - 無線LANプリンタ導入ウィザード
  - 印刷ログユーティリティ
  - MultiWriterドライバ配信
  - Adobe Acrobat Reader
- バージョンアップ
  CD-ROMに収録されている最新のプリンタードライバーにアップデートできます。詳細や手順についてはご利用になる前に、「ご利用の前に」(Update.txt)または活用マニュアルの4章「より進んだ使い方」をご覧ください。

その他に、Windows XP/Me/98/95/2000/NT 4.0に対応したMultiWriterシリーズのプリンターソフトウエアを収録しています。詳しくは、それぞれのソフトウエアに関連するフォルダー内にある、「はじめにお読みください」(Readme.txt)をご覧ください。

プリンターソフトウエアの動作環境

MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150に添付のプリンターソフトウエアの動作環境は以下のとおりです。

接続方法	動作コンピューター*1	対応OS	メモリー
ネットワークインターフェース パラレルインターフェース	PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）	Windows XP*2（日本語版） Windows Me（日本語版） Windows 98（日本語版） Windows 98 Second Edition（日本語版） Windows 95（日本語版） Windows 2000（日本語版） Windows NT 4.0（日本語版）	OSの動作条件に準じます。
	PC-9800シリーズ		
USBインターフェース	PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）	Windows XP*2（日本語版） Windows Me（日本語版） Windows 98（日本語版） Windows 98 Second Edition（日本語版） Windows 2000（日本語版）	

*1　OSによって動作するコンピューター条件が異なります。詳しい動作条件は各OSのマニュアルを参照してください。

*2　Windows XP 64-Bit Editionには対応していません。

メモリーについては、PrintAgentをクライアント－サーバーシステムでご使用の場合、プリントサーバーには64Mバイト以上(Windows XP/2000の場合は256Mバイト以上)のメモリーを搭載し運用されることを推奨します。

PrintAgentが利用できるネットワーク環境について

PrintAgentはネットワーク環境で、プリンターを次の形態でご使用の場合にご利用できます。

- 標準装備のLANボードやオプションのLANボード、およびLANアダプターでプリンターがネットワークに接続されている。（対応している型番については9章の「オプション」をご覧ください。）
- 無線LAN環境ではオプションの無線LANボード(型番 PR-WL-12)で接続されている。
- 共有プリンターの場合(クライアント・サーバー接続)、プリントサーバーコンピューターのOSがWindows XP/Me/98/95/2000/NT 4.0で、プリントサーバーコンピューターに本プリンターソフトウエアがインストールされている。
- お使いのコンピューターに、ネットワークに接続するためのネットワークボード／カード／アダプターなどを接続し、ネットワークの設定にTCP/IPプロトコルがインストールされている。詳しくはOSのマニュアルをご覧ください。

重要

ネットワーク環境でネットワーク共有プリンターをお使いになるためには、あらかじめOSの共有設定を有効にしておく必要があります。詳しくはOSのマニュアルをご覧ください。

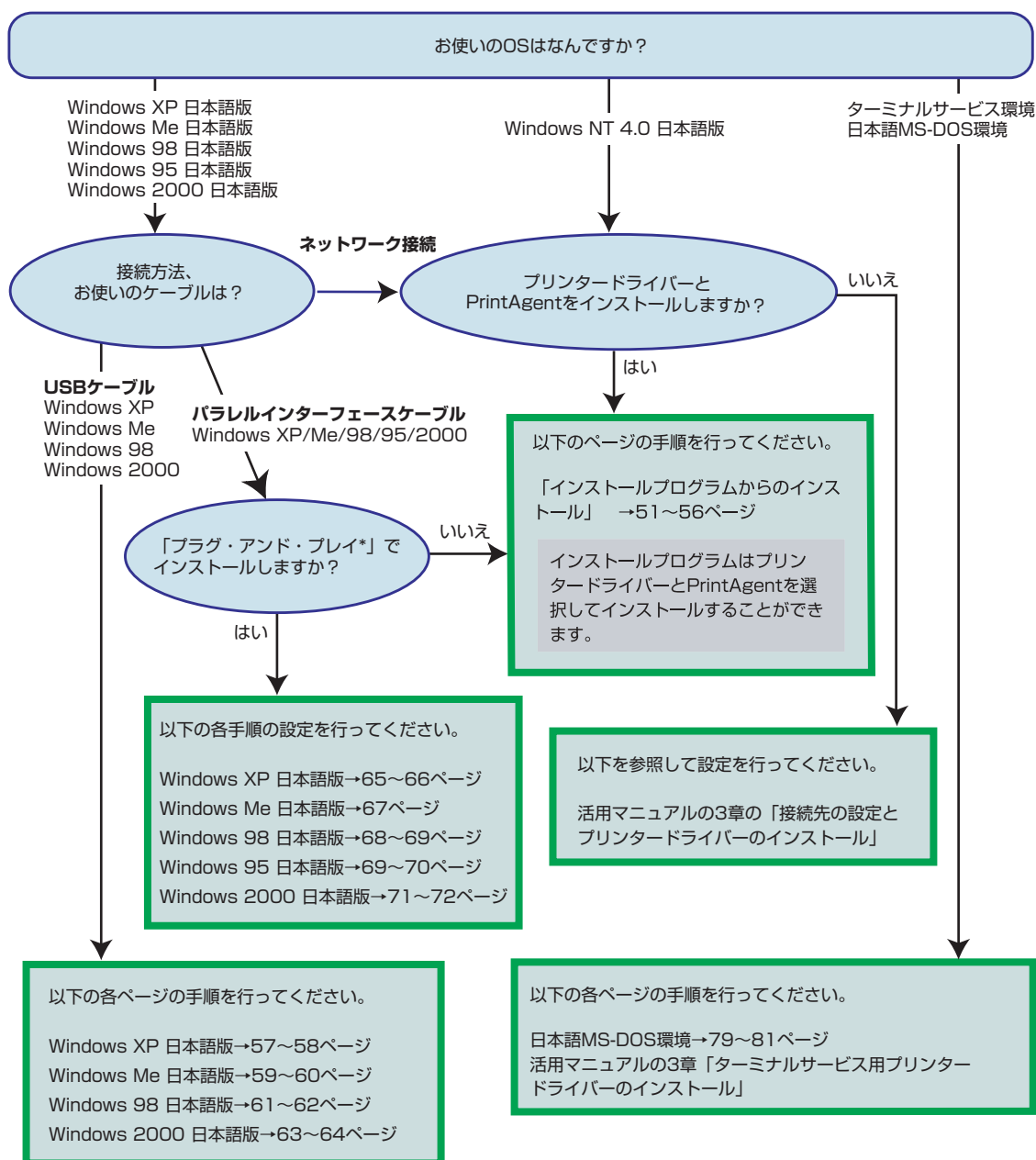
プリンターソフトウエアの容量

プリンターソフトウエアをインストールするのに必要なハードディスク容量は次のとおりです。インストールする前に以下の表で確認してください。

インストール方法	Windows XP/2000 日本語版	Windows Me/98/95 日本語版	Windows NT 4.0 日本語版
PrintAgentを含む標準設定	約9.5MB	約9MB	約10.0MB
PrintAgentを含む一般ユーザー向け（最大）	最大 約12.5MB	最大 約12.0MB	最大 約13.0MB
PrintAgentを含む管理者向け	最大 約14.5MB	最大 約14.0MB	最大 約15.0MB
プリンタードライバーのみ	約3.0MB	約2.5MB	約3.5MB

インストール方法の選択

プリンターソフトウエアをコンピューターにインストールする前に、お使いになるコンピューターの条件に従ってインストール方法を選択します。以下のフローチャートの矢印に進み、それぞれのページへ進んでください。

なお、プリンターを管理したり、LANボードまたはLANアダプターの設定を行う場合は、「管理者インストール」をする必要があります。インストール手順については、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアル2章の「プリンター管理者用インストール」をご覧ください。

＊「プラグ・アンド・プレイ」機能とは、Windows XP/Me/98/95/2000がインストールされているコンピューターで新しい周辺機器などを接続すると、コンピューターの起動時や接続時にその周辺機器を検出し、自動的にインストールが実行される機能です。

「インストールプログラム」からのインストール

Windows XP/Me/98/95/2000/NT 4.0で動作しているコンピューターでMultiWriterをご利用になる場合、プリンターソフトウエアCD-ROMのインストールプログラムを使ってプリンターソフトウエア(プリンタードライバーおよびPrintAgent)をインストールします。

プリンターソフトウエアCD-ROMはドライブに挿入するだけで自動的にメニュープログラムが起動します。

> LANボード(標準装備を含む)または、LANアダプターで接続されたプリンターに印刷を行なう場合は、以下の手順でインストールを行い、手順❼で、[NEC TCP/IP Port]を選択します。

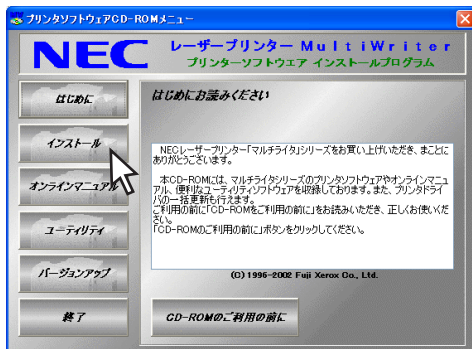
ここではWindows XP 日本語版を例にとり、プリンターソフトウエア(プリンタードライバーおよびPrintAgent)のインストール手順を説明します。

Windows XPにインストールするユーザーは、アカウントの種類が[コンピュータの管理者]である必要があります。また、Windows 2000またはWindows NT 4.0にインストールするには、[Administrators]または[Domain Admins]グループのメンバーである必要があります。

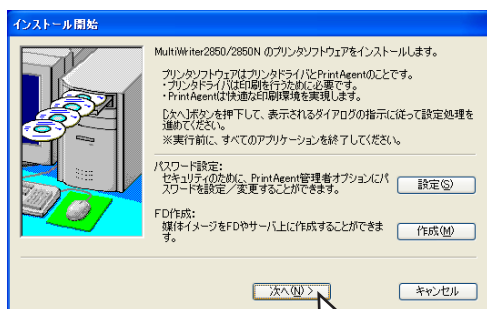
❶ **Windows XP 日本語版を起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

[プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー]が起動します。

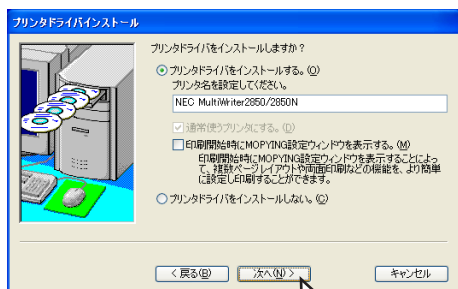
> お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ **[インストール]をクリックする。**

❹ **右側のボックスから[MultiWriter2850/2850N]を選んで[インストール開始]をクリックする。**

> お使いのOSにインストール可能なプリンター名が表示されます。

❺ [次へ]をクリックする。

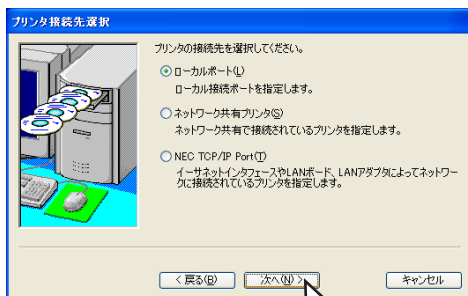
はじめに、プリンタードライバーをインストールする設定を行ないます。

❻ [プリンタドライバをインストールする]を選び、[次へ]をクリックする。

[プリンタドライバをインストールしない]を選んだ場合は、手順❾へ進んでください。

MOPYING設定ウィンドウを表示させるには、ここで[印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する]をチェックしてください。

MOPYING設定ウィンドウの詳細については添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの「¥MW2850¥Disk1¥Drivers.txt」を参照してください。

❼ プリンターの接続先を選ぶ。

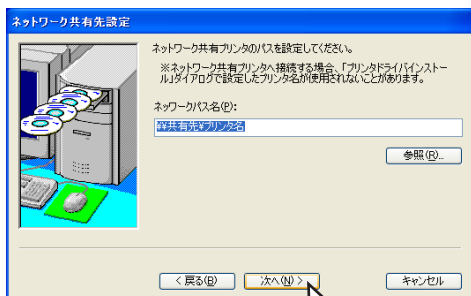
ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。次の「[ローカルポート]を選んだ場合」へ進んでください。

- [ローカルポート]は、コンピューターがプリンターとプリンターケーブルで接続されているときに選びます。
- [ネットワーク共有プリンタ]は、Multi-Writerがプリントサーバー上に共有されているときに選びます。
- [NEC TCP/IP Port]は、プリンターがLANボード(標準装備含む)またはLANアダプターを装備しており、ネットワーク上に接続されているときに選びます。

<[ローカルポート]を選んだ場合>

希望するポートを選び[次へ]をクリックする。
手順❽へ進んでください。

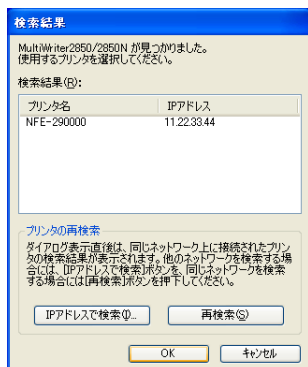
<[ネットワーク共有プリンタ]を選んだ場合>

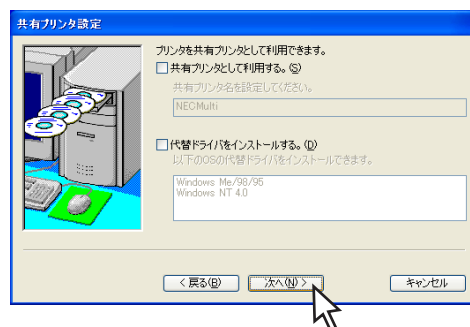
プリンターの接続先を指定し、[次へ]をクリックする。

プリンターの接続先を[ネットワークパス名]に直接入力するか、[参照]をクリックして表示される一覧から指定します。
手順❾へ進んでください。

<[NEC TCP/IP Port]を選んだ場合>

LANボード、またはLANアダプターのIPアドレス、またはホスト名を設定し、[次へ]をクリックする。

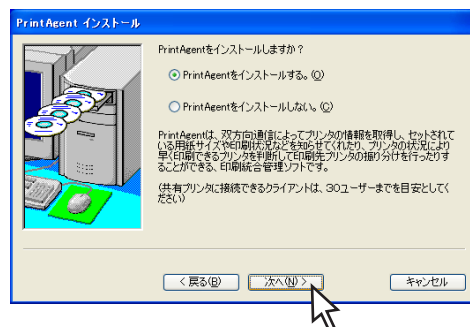
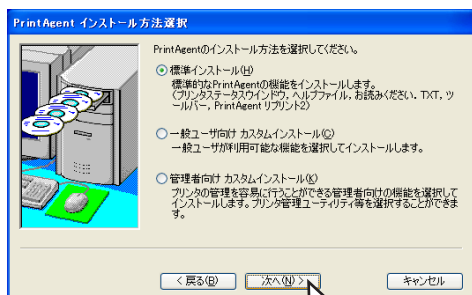
IPアドレスを設定する場合

[検索]をクリックします。検索結果ダイアログボックスで使用するプリンターを選択し、[OK]をクリックすると簡単にIPアドレスが設定できます。

❽ [次へ]をクリックする。

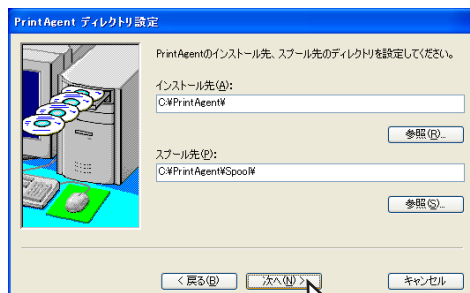
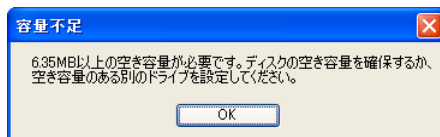
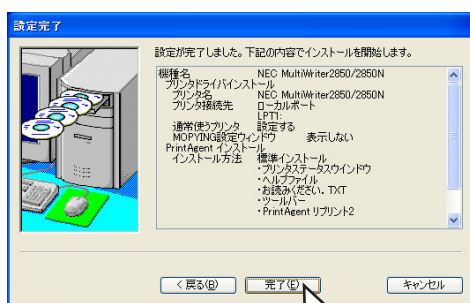
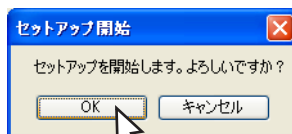
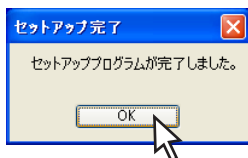
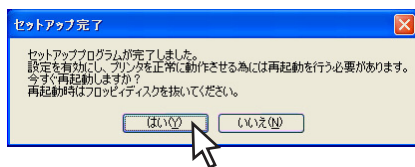
ネットワークに接続され、Windows XP/2000またはWindows NT 4.0をご利用の場合は、次のダイアログボックスが表示されます。
このダイアログボックスが表示されない場合は、次の手順❾へ進んでください。

すでに代替ドライバーがインストールされている場合はリストに表示されません。

続いて、PrintAgentのインストールを行ないます。

❾ [PrintAgentをインストールする]を選び、[次へ]をクリックする。

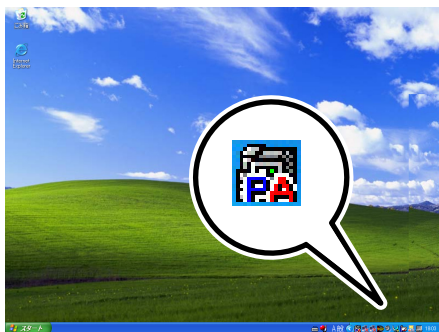
[PrintAgentをインストールしない]を選んだときは、手順⓬へ進んでください。

⑩ **使用目的に応じて[標準インストール]または[一般ユーザ向けカスタムインストール]のインストール方法を選び、[次へ]をクリックする。**

[一般ユーザ向けカスタムインストール]を選ぶと、標準的なソフトウエアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて[次へ]をクリックしてください。[全追加]をクリックするとすべてチェックが付きます。[全削除]をクリックするとすべてチェックが外れます。

⑪ **PrintAgentのインストール先とスプールファイルの作成先を指定する。フォルダーを確認して[次へ]をクリックする。**

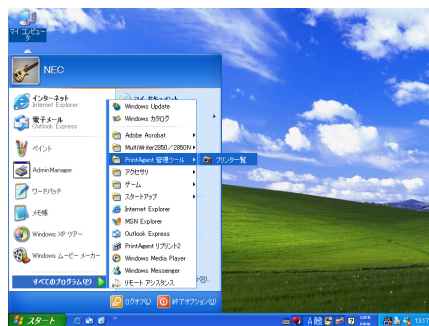
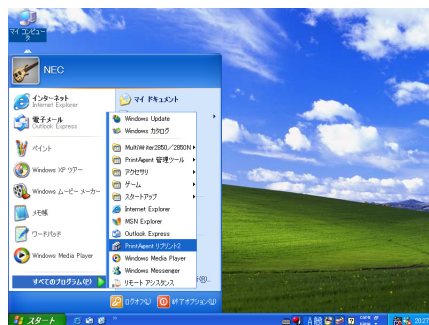
すでに他の機種のPrintAgentがインストールされているときはこのダイアログボックスは表示されません。手順⑫へ進んでください。

次のメッセージが出たときはインストール先のディスク空き容量が少なくなっています。フォルダーを変更する、または不要なファイルを削除してください。

⑫ **設定した内容を確認し、[完了]をクリックする。**

⑬ **[OK]をクリックする。**

⓮ インストールが終了したら[OK]をクリックする。

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

⓯ プリンターソフトウエアが正常にインストールされていることを確認する。

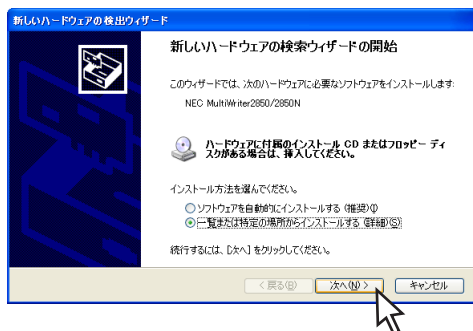
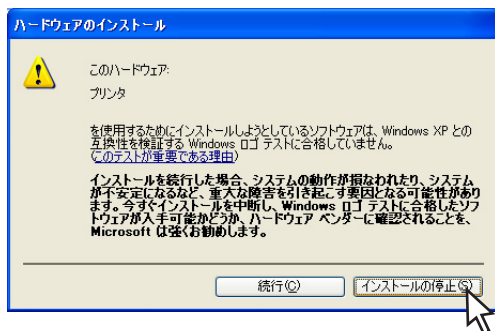
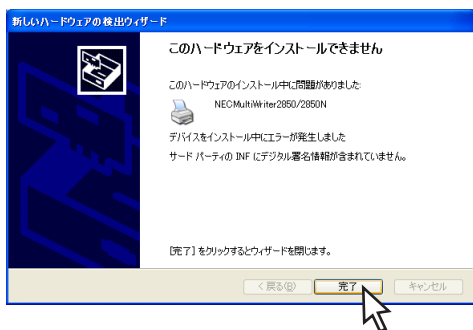
カスタムインストールでインストールを行った場合、選択されたオプションによっては登録されているアイコンが異なります。

□ [プリンタ]フォルダー内に、[NEC MultiWriter 2850/2850N]アイコンが登録されている。

□ タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。

□ スタートメニューの[すべてのプログラム]に[MultiWriter2850/2850N]というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。

Windows XP以外の場合は、スタートメニューの[プログラム]から確認することができます。

□ スタートメニューの[すべてのプログラム]に[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、[プリンター覧]が登録されている。
(カスタムインストールでプリンター覧を選択した場合)

□ スタートメニューの[すべてのプログラム]の下に[PrintAgent リプリント2]が登録されている。

Windows XPをご使用の場合、プリンタソフトウエアをインストール後にプリンターを接続すると「新しいハードウエアの検出ウィザード」が表示されることがあります。この場合は、以下の手順でウィザードを終了してください。

1. ［次へ］をクリックする。

2. ［ハードウエアのインストール］で、［インストールの停止］をクリックする。

3. ［完了］をクリックする。

「プラグ・アンド・プレイ」によるインストール

ここでは、Windows 日本語版において、「プラグ・アンド・プレイ」機能を使ってプリンターソフトウエアをインストールする手順について説明します。

USBインターフェースで接続

Windows XP 日本語版

ここでは、Windows XP 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **USBケーブルを接続する。**

❷ **MultiWriter 2850Nの電源をONにする。**

❸ **コンピューターの電源をONにする。**

Windows XP 日本語版を起動します。

新しいハードウェアの検出画面が表示されます。

❹ **［一覧または特定の場所からインストールする（詳細）］を選び、［次へ］をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、51ページの『「インストールプログラムから」の印インストール』を行ってください。

接続先のポート名は「USBXXX」になります。

❺ **［検索しないでインストールするドライバを選択する］を選び、［次へ］をクリックする。**

❻ **［プリンタ］を選び、［次へ］をクリックする。**

❼ [ディスク使用]をクリックする。

❽ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

❾ ファイルのコピー元を指定し、[OK]をクリックする。

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW2850¥DISK4」と入力します。

❿ 使用するプリンター名を選び、[次へ]をクリックする。

インストールを開始します。

以下の[ハードウェアのインストール]ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

[続行]をクリックし、インストールを続行してください。

なお、[インストールの停止]をクリックした場合はインストールが中止されます。

⓫ [完了]をクリックする。

これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラム」からのインストール』の手順❻（52ページ）で[プリンタドライバをインストールしない。]を選んだ場合の手順に従ってインストールしてください。

Windows Me 日本語版

ここでは、Windows Me 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します

❶ **USBケーブルを接続する。**

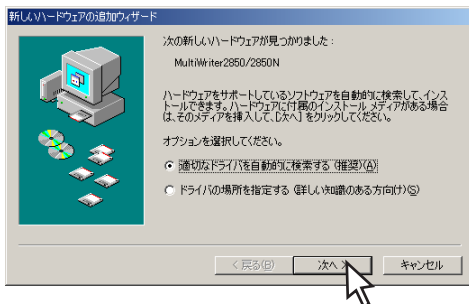
❷ **MultiWriter 2850NのON電源をONにする。**

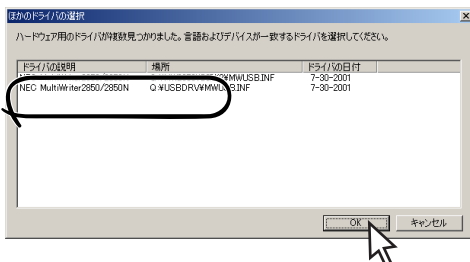
❸ **コンピューターの電源をONにする。**

Windows Me 日本語版を起動します。

［新しいハードウェア］ダイアログボックスが表示された後、［新しいハードウェアの追加ウィザード］が表示されます。

❹ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

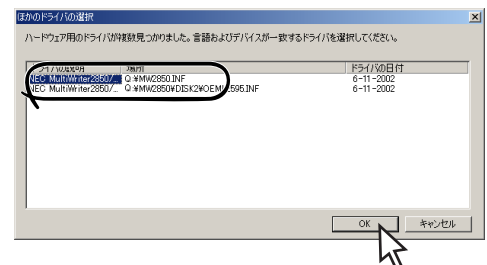
❺ **［適切なドライバを自動的に検索する］を選び、［次へ］をクリックする。**

USBドライバーのインストールが開始されます。このダイアログボックスが表示されなかった場合は、次ページの「［新しいハードウェアの追加］ダイアログボックスが表示されなかった場合」の手順を行った後、手順❺からやり直してください。

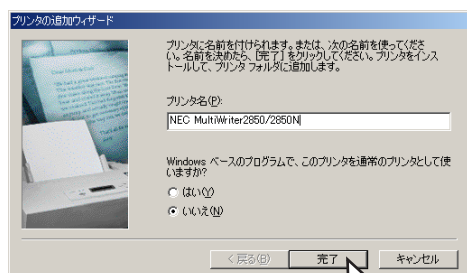
❻ **選択項目の中の［場所］がCD-ROMのドライブでフォルダー名「USBDRV」を選んで、［OK］をクリックする。**

❼ **インストールされたことを確認し、［完了］をクリックする。**

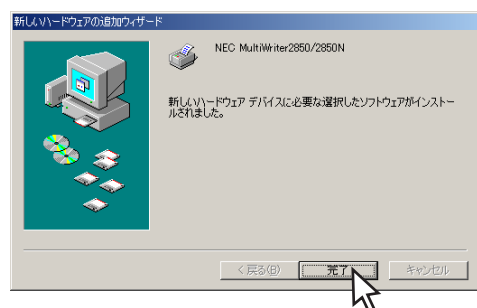
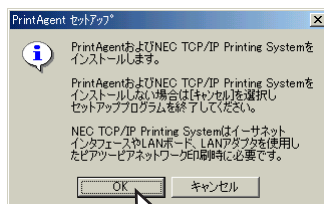
❽ **［適切なドライバを自動的に検索する］を選び、［次へ］をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、51ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

接続先のポート名は「USBXXX」になります。

❾ **選択項目の中の［場所］がCD-ROMのルートを示しているドライバーを選択して、［OK］をクリックする。**

⑩ **プリンター名を確認し、[完了]をクリックする。**

プリンタードライバーのインストールが開始されます。

⑪ **[完了]をクリックする。**

先に[PrintAgentセットアップ]ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。

⑫ **PrintAgentをインストールする場合は[OK]をクリックする。**

このあとは52ページの手順❺からと同じです。
PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストールを終了します。

[新しいハードウェアの追加]ダイアログボックスが表示されなかった場合

以下の手順を終了した後、再びUSBケーブルを接続する手順を行ってください。

❶ **[コントロールパネル]フォルダーを開く。**

❷ **[システム]アイコンをダブルクリックする。**

❸ **[デバイスマネージャ]シートをクリックする。**

❹ **[その他のデバイス]で?マークの[MultiWriter2850/2850N]を選択し、[削除]をクリックする。**

❺ **USBケーブルを取り外す。**

❻ **削除されたことを確認して、USBケーブルを接続する。**

Windows 98 日本語版

ここでは、Windows 98 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **USBケーブルを接続する。**

❷ **MultiWriter 2850Nの電源をONにする。**

❸ **コンピューターの電源をONにする。**

Windows 98 日本語版を起動します。

USBデバイス検出画面が表示されます。

❹ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❺ **[次へ]をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合は、前のページの「[新しいハードウェアの追加]ダイアログボックスが表示されなかった場合」の手順を行った後、手順❺からやり直してください。

❻ **[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する]を選び、[次へ]をクリックする。**

❼ **USBドライバーの検索場所を指定し、[次へ]をクリックする。**

[検索場所]をチェックし、CD-ROMのドライブ名、「¥USBDRV」を入力します。

❽ **デバイス名を確認し、[次へ]をクリックする。**

USBドライバーのインストールが開始されます。

❾ **[完了]をクリックする。**

❿ [次へ]をクリックする。

このダイアログボックスが表示されなかった場合、51ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

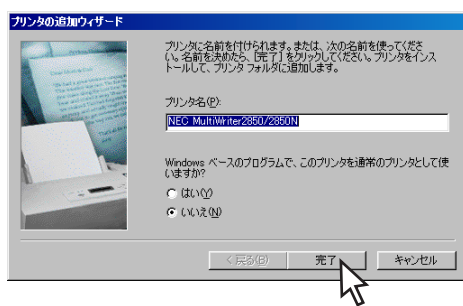
接続先のポート名は「USBXXX」になります。

⓫ [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する]を選び、[次へ]をクリックする。

⓬ 選択項目の中から[CD-ROMドライブ]をチェックして[次へ]をクリックする。

⓭ [次へ]をクリックする。

⓮ プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。

プリンタードライバーのインストールが始まります。

⓯ [完了]をクリックする。

先に[PrintAgentセットアップ]ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。

⓰ PrintAgentをインストールする場合は[OK]をクリックする。

このあとは52ページの手順❺からと同じです。
PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストールを終了します。

Windows 2000 日本語版

ここでは、Windows 2000 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **USBケーブルを接続する。**

❷ **MultiWriter 2850Nの電源をONにする。**

❸ **コンピューターの電源をONにする。**

Windows 2000 日本語版を起動します。

新しいハードウェアの検索ウィザード画面が表示されます。

❹ **[次へ]をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、51ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

接続先のポート名は「USBXXX」になります。

❺ **[デバイスに最適なドライバを検索する]を選び、[次へ]をクリックする。**

❻ **[場所を指定]を選び、[次へ]をクリックする。**

❼ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❽ **ファイルのコピー元を指定し、[OK]をクリックする。**

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW2850¥DISK4」と入力します。

❾ **内容を確認し、[次へ]をクリックする。**

インストールを開始します。

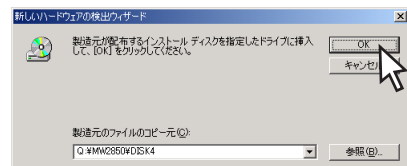
❿ [完了]をクリックする。

✔チェック

[デジタル署名が見つかりませんでした]とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

[はい]をクリックし、インストールを続行してください。

なお、[いいえ]をクリックした場合はインストールが中止されます。

これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラムから」のインストール』の手順❻(46ページ)で[プリンタドライバをインストールしない。]を選んだ場合の手順に従ってインストールしてください。

パラレルインターフェースで接続

Windows XP 日本語版

ここでは、Windows XP 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **プリンターケーブルを接続する。**

❷ **MultiWriter 2850Nの電源をONにする。**

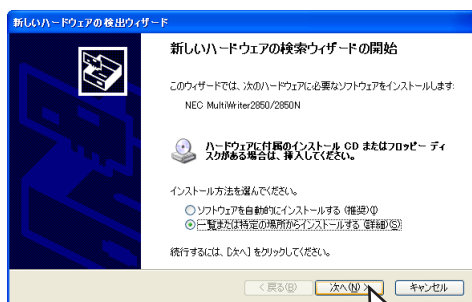
❸ **コンピューターの電源をONにする。**

Windows XP 日本語版を起動します。

新しいハードウェアの検出画面が表示されます。

❹ **[一覧または特定の場所からインストールする(詳細)]を選び、[次へ]をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、51ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

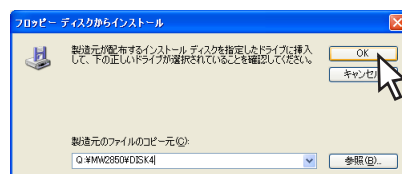
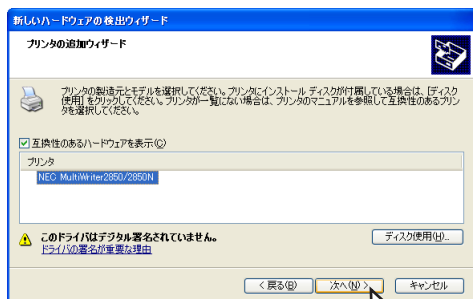
接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

❺ **[検索しないでインストールするドライバを選択する]を選び、[次へ]をクリックする。**

❻ **[プリンタ]を選び、[次へ]をクリックする。**

❼ **[ディスク使用]をクリックする。**

❽ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❾ **ファイルのコピー元を指定し、[OK]をクリックする。**

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW2850¥DISK4」と入力します。

⑩ **使用するプリンター名を選び、［次へ］をクリックする。**

インストールを開始します。

以下の［ハードウェアのインストール］ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

［続行］をクリックし、インストールを続行してください。

なお、［インストールの停止］をクリックした場合はインストールが中止されます。

⑪ **［完了］をクリックする。**

これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラムから」のインストール』の手順❻(52ページ)で［プリンタドライバをインストールしない。］を選んだ場合の手順に従ってインストールしてください。

Windows Me 日本語版

ここでは、Windows Me 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **プリンターケーブルを接続する。**

❷ **MultiWriter 2850Nの電源をONにする。**

❸ **コンピューターの電源をONにする。**

Windows Me 日本語版を起動します。

❹ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❺ **[適切なドライバを自動的に検索する]を選び、[次へ]をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、51ページの『「インストールプログラム」からのインストール』の手順を行ってください。

接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

❻ **選択項目の中の[場所]がCD-ROMのルートを示しているドライバーを選択して、[OK]をクリックする。**

❼ **プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。**

❽ **[完了]をクリックする。**

先に[PrintAgentセットアップ]ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。

❾ **PrintAgentをインストールする場合は[OK]をクリックする。**

このあとは52ページの手順❺からと同じです。
PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストールを終了します。

Windows 98 日本語版

ここでは、Windows 98 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **プリンターケーブルを接続する。**

❷ **MultiWriter 2850NのN電源をONにする。**

❸ **コンピューターの電源をONにする。**

Windows 98 日本語版を起動します。

❹ **[次へ]をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、51ページの『「インストールプログラム」からのインストール』の手順を行ってください。

接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

❺ **[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する]を選び、[次へ]をクリックする。**

❻ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❼ **選択項目の中から[CD-ROMドライブ]をチェックして[次へ]をクリックする。**

❽ **[次へ]をクリックする。**

❾ **プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。**

❿ [完了]をクリックする。

先に[PrintAgentセットアップ]ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。

⓫ PrintAgentをインストールする場合は[OK]をクリックする。

このあとは52ページの手順❺からと同じです。
PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストールを終了します。

Windows 95 日本語版

ここでは、Windows 95 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ プリンターケーブルを接続する。

❷ MultiWriter 2850Nの電源をONにする。

❸ コンピューターの電源をONにする。

Windows 95 日本語版を起動すると[デバイスドライバウィザード]か[新しいハードウェア]ダイアログボックスが表示されます。

これらのダイアログボックスが表示されなかった場合、51ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

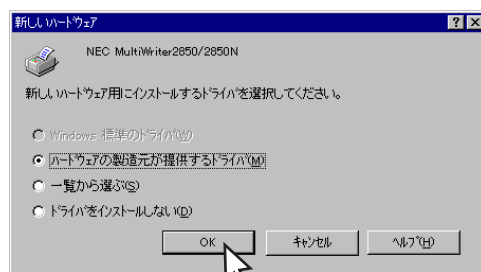
<[デバイスドライバウィザード]ダイアログボックスが表示された場合>

プリンターソフトウエアCD-ROMをセットし、[次へ]をクリックする。

手順❹に進んでください。

<[新しいハードウェア]ダイアログボックスが表示された場合>

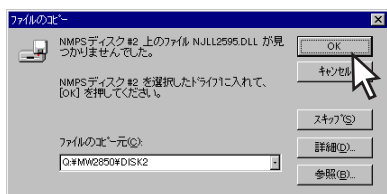
[ハードウェアの製造元が提供するドライバ]を選び、[OK]をクリックする。

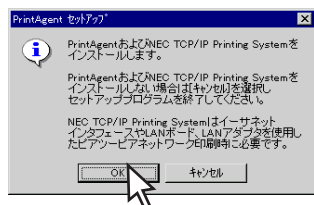
手順❾に進んでください。

❹ [完了]をクリックする。

❺ **プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。**

❻ **[OK]をクリックする。**

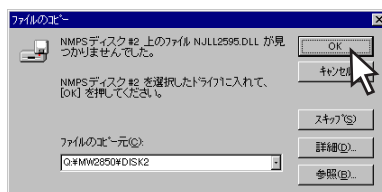
❼ **[ファイルのコピー元]を指定して、[OK]をクリックする。**

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW2850¥DISK2」と入力します。

プリンタードライバーがインストールされます。

❽ **PrintAgentをインストールする場合は[OK]をクリックする。**

このあとは52ページの手順❺からと同じです。
PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストール手順を終了します。

❾ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❿ **[ファイルのコピー元]を指定して、[OK]をクリックする。**

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW2850¥DISK2」と入力します。

⓫ **プリンターの名前を確認し、[完了]をクリックする。**

プリンタードライバーがインストールされます。

⓬ **PrintAgentをインストールする場合は[OK]をクリックする。**

このあとは52ページの手順❺からと同じです。
PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストールを終了します。

Windows 2000 日本語版

ここでは、Windows 2000 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ プリンターケーブルを接続する。

❷ MultiWriter 2850Nの電源をONにする。

❸ コンピューターの電源をONにする。

Windows 2000 日本語版を起動します。

❹ [次へ]をクリックする。

このダイアログボックスが表示されなかった場合、51ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。
接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

❺ [デバイスに最適なドライバを検索する]を選び、[次へ]をクリックする。

❻ [場所を指定]を選び、[次へ]をクリックする。

❼ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

❽ ファイルのコピー元を指定し、[OK]をクリックする。

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW2850¥DISK4」と入力します。

❾ 内容を確認し、[次へ]をクリックする。

インストールを開始します。

❿ [完了]をクリックする。

✔チェック

[デジタル署名が見つかりませんでした]とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。プリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

[はい]をクリックし、インストールを続行してください。

なお、[いいえ]をクリックした場合はインストールが中止されます。

これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラムから」のインストール』の手順❻(52ページ)で[プリンタドライバをインストールしない。]を選んだ場合の手順に従ってインストールしてください。

プリンタードライバーの削除

ここではプリンタードライバーの削除手順を説明します。必要なファイルが削除されてしまったなどでプリンターが正常に動かなくなったときはプリンタードライバーを再インストールする必要があります。プリンタードライバーを再インストールするには、一度既存のプリンタードライバーを削除(アンインストール)してから行います。

重要

- プリンタードライバーの削除を実行する前に起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- プリンターが印刷中の場合は、プリンタードライバーの削除はできません。印刷が終了してから削除してください。

Windows XP 日本語版

❶ [プリンタとFAX]フォルダーを開く。

インストールされているプリンターアイコンが表示されます。

❷ [NEC MultiWriter2850/2850N]アイコンをクリックする。

❸ [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。

❹ [はい]をクリックする。

MultiWriter2850/2850Nのプリンタードライバーが削除されます。

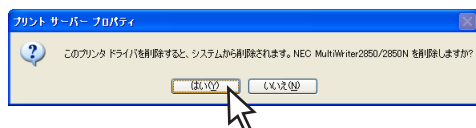
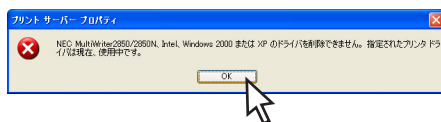
❺ [ファイル]メニューの[サーバーのプロパティ]をクリックする。

[プリントサーバーのプロパティ]が開きます。

❻ [ドライバ]タブをクリックする。

❼ [インストールされたプリンタ ドライバ]から[NEC MultiWriter2850/2850N]をクリックする。

❽ ［削除］をクリックする。

❾ ［はい］をクリックする。

次のダイアログボックスが表示された場合は、Windows XPの再起動後、手順❺からやり直してプリンタードライバーを削除してください。

❿ ［インストールされたプリンタ ドライバ］から［NEC MultiWriter2850/2850N］が削除されたことを確認し、［閉じる］をクリックする。

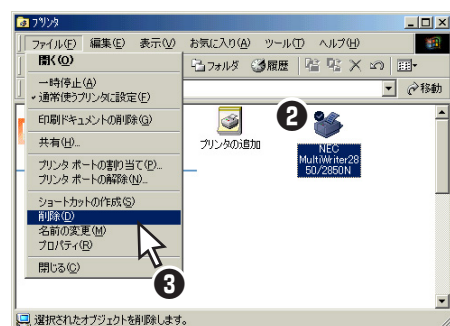
［プリントサーバーのプロパティ］を閉じます。

Windows Me/98/95 日本語版

❶ ［プリンタ］フォルダーを開く。

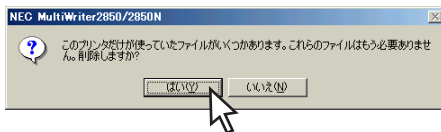
インストール済みのプリンターアイコンが表示されます。

❷ ［NEC MultiWriter2850/2850N］アイコンをクリックする。

❸ ［ファイル］メニューの［削除］をクリックする。

❹ ［はい］をクリックする。

MultiWriter2850/2850Nのプリンタードライバーが削除されます。

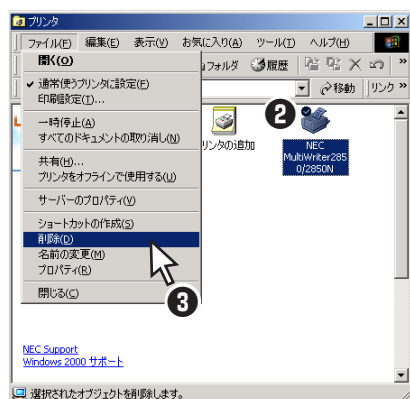
チェック

次のダイアログボックスが表示された場合は、［はい］をクリックしてください。

Windows 2000 日本語版

❶ [プリンタ]フォルダーを開く。

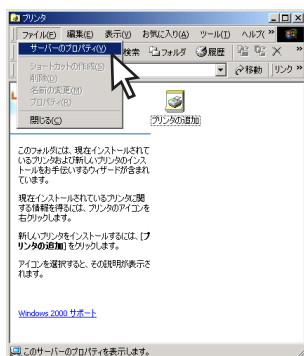
インストールされているプリンターアイコンが表示されます。

❷ [NEC MultiWriter2850/2850N]アイコンをクリックする。

❸ [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。

❹ [はい]をクリックする。

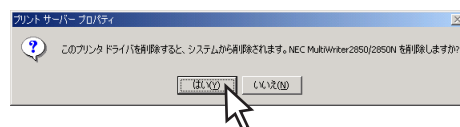
MultiWriter2850/2850Nのプリンタードライバーが削除されます。

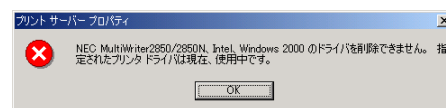
❺ [ファイル]メニューの[サーバーのプロパティ]をクリックする。

[プリントサーバーのプロパティ]が開きます。

❻ [ドライバ]タブをクリックする。

❼ [インストールされたプリンタ ドライバ]から[NEC MultiWriter2850/2850N]をクリックする。

❽ [削除]をクリックする。

❾ [はい]をクリックする。

✔チェック

次のダイアログボックスが表示された場合は、Windows 2000の再起動後、手順❺からやり直してプリンタードライバーを削除してください。

❿ [インストールされたプリンタ ドライバ]から[NEC MultiWriter2850/2850N]が削除されたことを確認し、[閉じる]をクリックする。

[プリントサーバーのプロパティ]と[プリンタ]フォルダーを閉じます。

Windows NT 4.0 日本語版

❶ [プリンタ]フォルダーを開く。

❷ [NEC MultiWriter2850/2850N]アイコンをクリックする。

❸ [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。

❹ [はい]をクリックする。

MultiWriter2850/2850Nのプリンタードライバーが削除されます。

PrintAgentの追加・削除

MultiWriter 2850Nのプリンターソフトウエアのインストーラーでは、プリンターソフトウエアの機能ごとに、追加と削除をすることができます。

ここではPrintAgentの追加と削除方法を説明します。

重要

追加・削除の手順を始める前に「PrintAgentをインストール/アンインストールする時の注意事項」(153ページ)をお読みください。

❶ [コントロールパネル]フォルダーを開く。

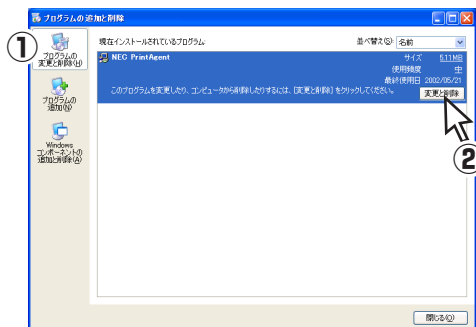
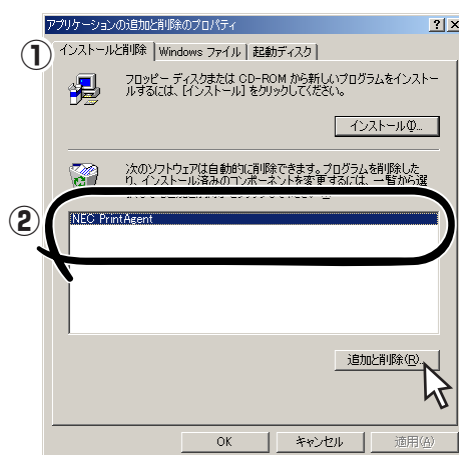
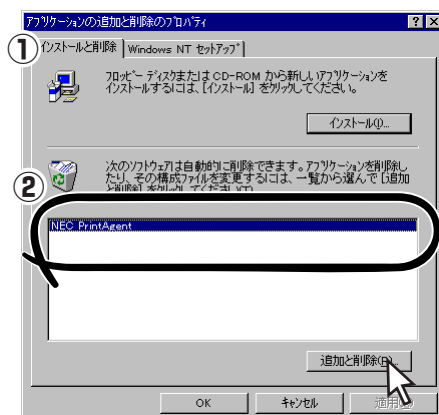
❷ [プログラムの追加と削除]アイコンをダブルクリックする。

Windows XP以外の場合は[アプリケーションの追加と削除]をクリックします。

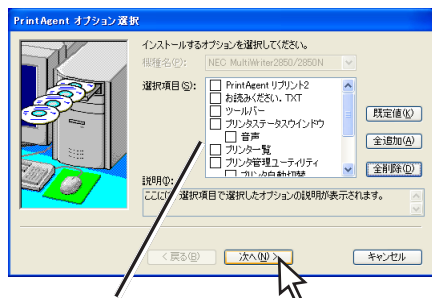
❸ [PrintAgentオプション選択]ダイアログボックスを開く。

<Windows XP/2000の場合>

① 左側の[機能選択]バーから[プログラムの変更と削除]をクリックする。
② [NEC PrintAgent]を選んで、[変更/削除]をクリックする。

<Windows Me/98/95/NT 4.0の場合>

① [インストールと削除]シートを開く。
② 自動的に削除できるソフトウエアの一覧から[NEC PrintAgent]を選んで、[追加と削除]をクリックする。

Windows Me/98/95

Windows NT 4.0

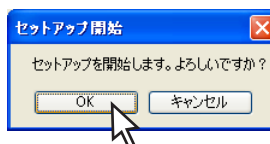
❹ 対象機種を選択してからチェックを変更し、[次へ]をクリックする。

チェックを付けると追加、チェックを外すと削除になります。
また、複数機種のチェックを付ける(外す)と複数機種のオプションを同時に追加(削除)することができます。

管理者向けカスタムインストールを行った場合は選択できるオプションが異なります。

✔チェック

- MultiWriter 2050など他のMulti-Writerシリーズのプリンターソフトウエアがインストールされているとそれぞれのプリンターソフトウエアのオプションが表示される場合があります。
- オプションを追加する場合、セットアップに必要な媒体を要求する画面が表示されますが、プリンターソフトウエアCD-ROMがCD-ROMドライブにセットされている場合、セットアップに必要なファイルを自動的に参照し、インストールされます。

❺ [完了]をクリックする。

パスワードが設定されている場合に管理者向けのオプションを削除するには、あらかじめ設定したパスワードの入力が必要です。

❻ [OK]をクリックする。

❼ 追加・削除が終了したら[OK]をクリックする。

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

❽ すべてのオプションを削除した場合はソフトウエアの一覧から[NEC PrintAgent]が削除されたことを確認し、[OK]をクリックする。

日本語MS-DOS環境

ここでは、日本語MS-DOS環境から印刷をするために必要なプリンターの設定内容を説明します。

プリンターを選択する

使用しているアプリケーション上で印刷するときにプリンターの名称を指定します。指定できない場合は、次の表に示す優先順位で指定してください。（ただしアプリケーションによっては機能の一部が使用できないことがあります。）

優先順位	プリンター名称	動作モード*3
1	MultiWriter 2800N、2800、2300N	ページプリンター（もしくは、レーザープリンター）
2	MultiWriter 2300、2100、210S	
3	MultiWriter 2650M、2250H	
4	MultiWriter 2650、2650E、2250	
5	MultiWriter 2050	
6	MultiWriter 2200X2、2200XE、2000X2	
7	MultiWriter 2200X	
8	MultiWriter 2000X	
9	MultiWriter 2000FW	
10	MultiWriter 2200NW2、PC-PR2000/6W	
11	MultiWriter 2200NW、MultiWriter 2000E	
12	PC-PR2000/4R、PC-PR2000/4W	
13	PC-PR4000E/4、PC-PR4000/4	
14	MultiWriter 1250、1400X、1000EW、PC-PR1000E/4W、PC-PR1000E/4、PC-PR1000/4R、PC-PR1000/4、PC-PR2000/2、PC-PR2000/4 あるいはNPDL Level 2	
15	PC-PR1000、PC-PR1000/2	
16	PC-PR2000あるいはNPDL	
17	PC-PR602R*1, *2、PC-PR602*1, *2、PC-PR601*1, *2	201PLエミュレーション
18	PC-PR201/47、PC-PR201/45L、PC-PR201/60、PC-PR201/80A、PC-PR201/65A、PC-PR201/60A、PC-PR101/60あるいは201PL	
19	PC-PR201X、PC-PR201J、PC-PR201GS、PC-PR201/45、PC-PR101GS	
20	PC-PR201G、PC-PR201V、PC-PR201V2、PC-PR201H3、PC-PR101G、PC-PR101G2	
21	上記以外のPC-PR201系、PC-PR101系プリンター（PC-PR201、PC-PR201F2、PC-PR201H2、PC-PR101、PC-PR101F2、PC-PR101E、PC-PR101E2など）	

*1　A4ポートレート桁数が80桁のとき、用紙の左側の余白量が異なるときは、アプリケーション上で余白量を変更してください。

*2　文字を縮小したときの印刷結果が異なるときは、プリンター設定を変更してください。

*3　ほとんどのアプリケーションでは、プリンターの動作モードを自動的に切り替えています。したがって、本プリンターの動作モードは201PLエミュレーションモード（お買い上げ時の設定）のままご使用になれます。

プリンターを設定する

MS-DOS環境でコンピューターをお使いの場合、プリンターの設定はメニューモードを使って行います。メニューモードの操作方法、メニューツリーについては本書の114〜117ページ、各設定項目については添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの7章「メニューモード」を参照してください。

PC-PR201系、101系プリンターを選択した場合

プリンターの指定でPC-PR201系、あるいは101系プリンターを選択した場合は、アプリケーションと本プリンターを次のような設定が標準です。

ソフトウエア：　シートフィーダー付き、単票(カット紙)、連続送り
プリンター：　201PLエミュレーションモード、136桁モード有効、用紙位置中央

MS-DOS環境での両面印刷設定

MS-DOS環境で両面印刷する際に必要な情報について説明します。MS-DOS環境で印刷する場合はメニューモード、および操作パネルの[両面]スイッチでより設定します。

両面印刷の設定

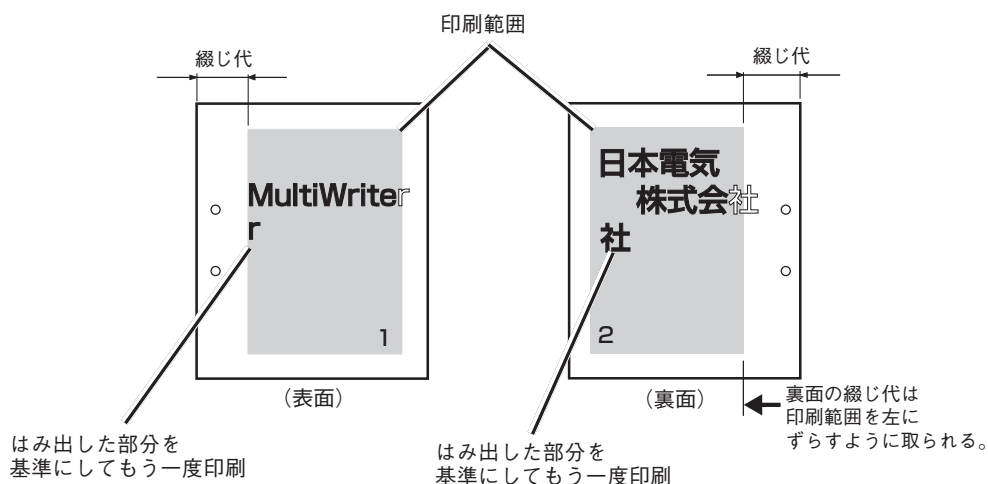
MS-DOSアプリケーションを使って両面印刷する場合、次の設定変更が必要です。
両面印刷をする場合、64MB以上のメモリーの増設をお勧めいたします。

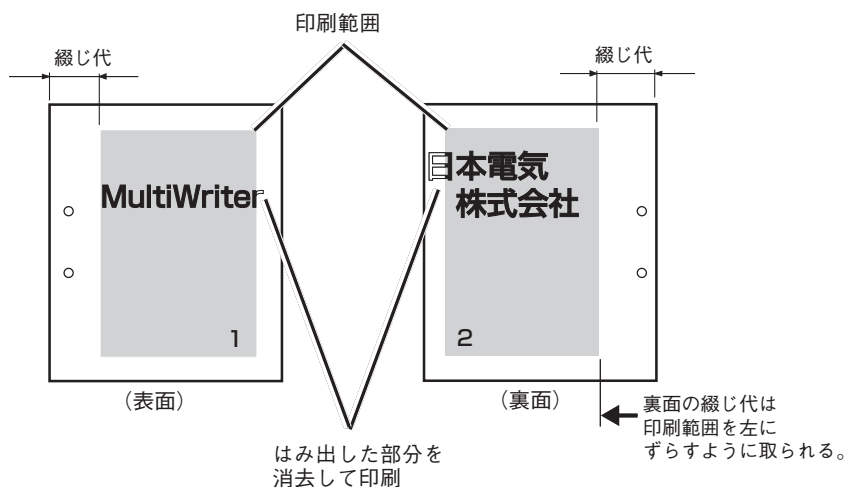
両面印刷のために必要な設定項目

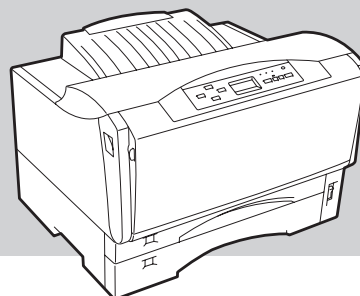
メニューモード設定項目	備考
印字位置設定メニュー ー 表面微調整 ー 裏面微調整	表面、裏面ともに TM: ＋3.9　〜　－3.9ミリ LM: ＋3.9　〜　－3.9ミリ
両面印刷メニュー ー 初期設定ON ー 初期設定OFF	ー
両面印刷メニュー ー とじしろロング1 ー とじしろショート1 ー とじしろロング2 ー とじしろショート2	添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアル7章の「両面印刷メニュー」を参照してください。
両面印刷メニュー：余白	0　〜　20ミリ
両面印刷メニュー ー クリップON ー クリップOFF	余白を多く取り過ぎた場合、印刷からはみ出たデータを次ページに印刷する（ON）か、消去する（OFF）かを設定します。

クリッピング機能について

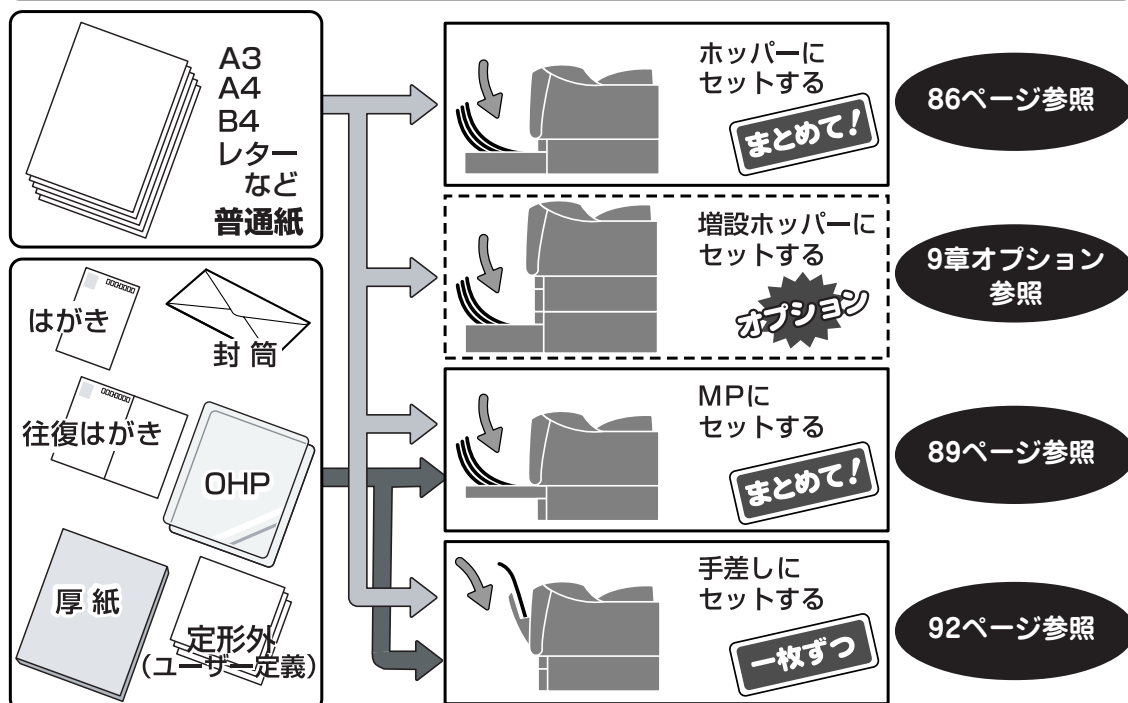
余白(とじしろ)を多く取り過ぎると、印刷データが用紙の印刷範囲を超えてしまう場合があります。クリッピング機能とは、このような場合に印刷範囲からはみ出したデータを次の行に印刷するか、はみ出した分を消去してそのまま印刷するかを選択します。ただし、両面印刷時にのみ有効で、メニューモードで設定します(メニューモードについては106ページを参照してください)。

- 「クリップ」をOFFにすると、はみ出した印刷データを次の行に引き続いて印刷します。それ以降の印刷データは1行ずつずれることになります。(アプリケーションによっては、はみ出したデータを消去するものもあります)。

クリップOFF(チェックしていない)の場合

- 「クリップ」をONにすると、はみ出した印刷データを消去して印刷を続けます。

クリップON(チェックしている)の場合

3章
用紙のセット

この章では、MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150で使用できる用紙、用紙のセット方法について説明します。

MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150は豊富な給紙機構（ホッパー、MP、および手差し）をもつプリンターです。用途に合わせて使い分けてください。

MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150では大量給紙するのに便利なリレー給紙機能がご利用できます。ホッパー、MP、増設ホッパーに用紙をセットし印刷中に用紙がなくなると、自動的に同じ用紙サイズがセットされている給紙先に切り替える機能です。設定手順については4章の「リレー給紙の設定」（118ページ）をご覧ください。

用紙について

ここではMultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150で使用できる用紙、用紙のセット方向について説明します。用紙をセットする前に必ずお読みになり、使用できる用紙を確認してから印刷してください。

使用できる用紙

使用できる用紙の種類、サイズ、および枚数は以下の表のとおりです。用紙の規格、印刷範囲については付録「用紙の規格」(210ページ)を参照してください。

給紙口	セットできる用紙			両面印刷
	種類	サイズ	枚数	
標準ホッパー	普通紙*1（乾式PPC用紙）	A3、B4、A4、B5、A5、レター	250*3	○
	ラベル紙	A4、B4	30	×
MP	普通紙*1（乾式PPC用紙）	― A3、B4、A4、B5、A5、レター ― 定形外用紙*4（100～297×148～420mm）	100*3	○
	厚紙*2		―	×
	ラベル紙	A4、B4	30	×
	はがき	官製はがき、官製往復はがき	30	×
	OHPフィルム	A4	30	×
	封筒	洋形4号（内カマス、のりなし）	10	×
手差し	普通紙*1（乾式PPC用紙）	― A3、B4、A4、B5、A5、レター ― 定形外用紙*4（100～297×148～420mm）	1	○
	厚紙*2		―	×
	ラベル紙	A4、B4	1	×
	はがき	官製はがき、官製往復はがき	1	×
	OHPフィルム	A4	1	×
	封筒	洋形4号（内カマス、のりなし）	1	×
増設ホッパ（250）	普通紙*1（乾式PPC用紙）	A3、B4、A4、B5、A5、レター	250*3	○
増設ホッパ（500）	普通紙*1（乾式PPC用紙）	A3、B4、A4、レター	500*3	○

*1　坪量64.0g/m²～81.4g/m²(連量55～70kg)の用紙です。
*2　坪量81.4g/m²～128g/m²(連量70～110kg)の用紙です。
*3　坪量64.0g/m²(連量55kg)の用紙を使用した場合です。
*4　定形外用紙は、両面印刷に対応していません。

普通紙(乾式PPC用紙、定形用紙)以外の用紙は両面印刷できません。

用紙についての注意事項

用紙をセットする前に以下の注意事項をお読みください。また、はがき、往復はがき、OHPフィルム、ラベル紙、封筒、定形外用紙をセットする際の注意事項については94ページ～96ページに記載していますので、併せてお読みください。

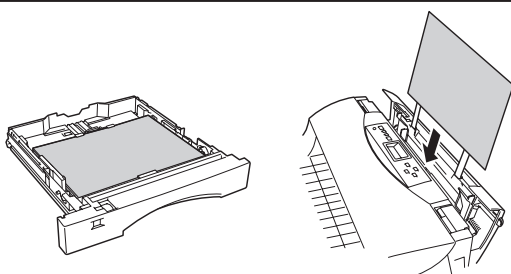
- 次のような用紙への印刷は避けてください。ご使用になると印刷不良、紙づまり、プリンターの故障の原因となるおそれがあります。
  - 無塵紙
  - 裏移り防止用の白粉(ミクロパウダー)が塗布された用紙
  - 熱で変質するインクを使った用紙、変質しやすい用紙
  - カーボン紙、ノンカーボン紙、感圧紙、感熱紙、酸性紙
  - ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
  - ミシン目のある用紙、穴あき用紙
  - 紙の表面に特殊コーティングした用紙、表面加工したカラー用紙
  - シワがある、折れている、破れている、湿っている、ぬれている、長期間放置した、カールしている、静電気で密着している、貼り合わせてある、のりが付いているなどの用紙
  - ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
  - のりが付いている封筒
  - 熱転写プリンター、インクジェットプリンターで印刷した後の用紙
  - 次のような状態のラベル紙
    台紙全体がラベルで覆われていないもの、部分的に使用したもの、ラベルがはがれかかっているもの、カールしているもの、表面にのりがしみ出ているもの
  - すでに一度印刷した用紙(プレ印刷された用紙やいわゆる裏紙も含む)
- 再生紙、ラベル紙の使用については制限があります。添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口へお問い合わせください。
- はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルム、およびラベル紙の印刷品質は、規格を満たす普通紙の印刷品質より劣る場合があります。

用紙のセット方向

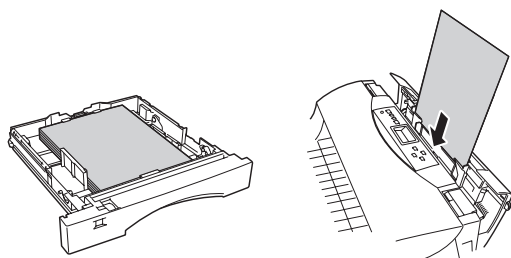
標準ホッパー、MP、手差しにはA4サイズの用紙は横置き、縦置きどちらの方向でもセットできます。また、MP、手差しには往復はがきを横置き、縦置きどちらの方向でもセットできます*1。

横置き

右図のように横置きにセットできる用紙サイズは次の5種類です。

B5、A5、A4、レター、官製往復はがき*2

縦置き

右図のように縦置きにセットできる用紙サイズは次の6種類です。

A3、B4、A4、官製はがき、官製往復はがき、封筒

*1 往復はがきをMPまたは手差しにセットする場合は、あらかじめ「はがき、往復はがきをセットするときの注意」(94ページ)をお読みください。

*2 手差しに往復はがきを横置きにセットする場合は、用紙の種類によっては正常に給紙されない場合があります。縦置きにセットすることをお勧めします。

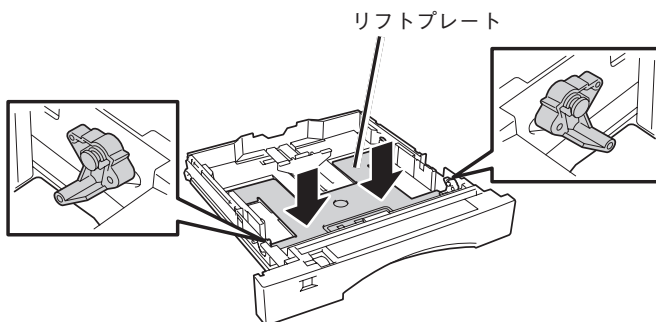
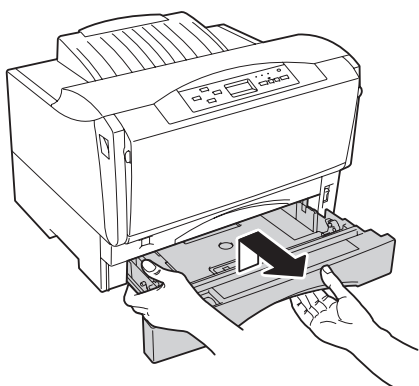
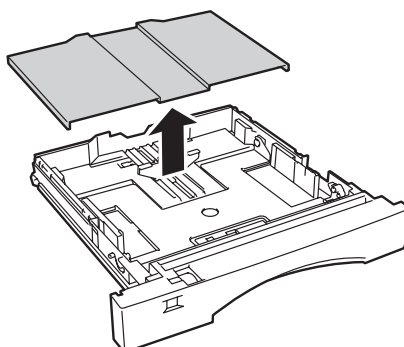
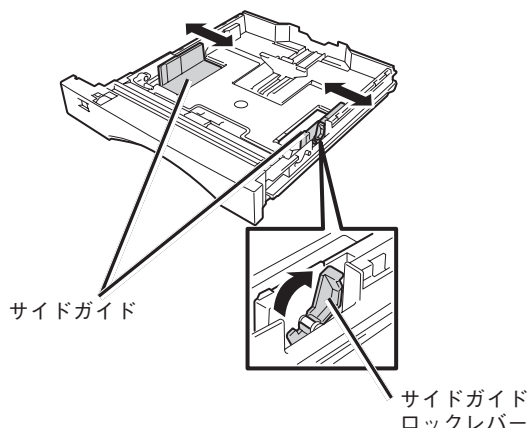
ホッパーに用紙をセットする

ホッパーから印刷するには、標準カセットに用紙をセットします。用紙は坪量64.0g/m²(連量55kg)の普通紙なら250枚までセットできます。

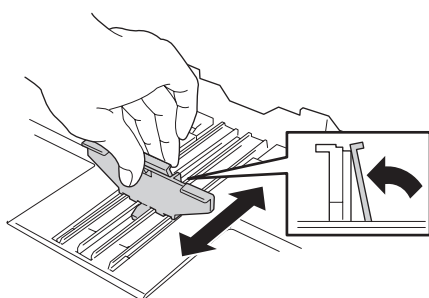
重要

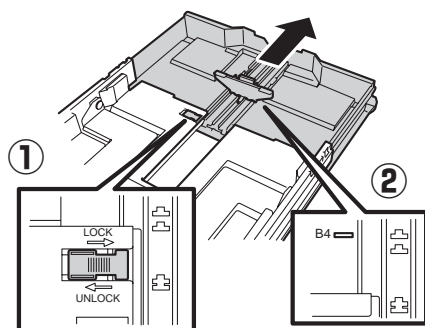
- ホッパーにセットする用紙は、両面とも印刷のされていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙(プレ印刷された用紙やいわゆる裏紙)をホッパーにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。
- 標準カセット前側のラバー部には手を触れないでください。給紙不良の原因となることがあります。

チェック

- 標準カセットを取り外す際は、軽くカセットを持ち上げて取り外してください。
- 用紙をセットする際は、リフトプレートが下がっていることを確認してください。リフトプレートが完全に下がっていないと、標準カセットをプリンターに取り付けることはできません。下がっていない場合は、完全に下がるまで下に押してください。

❶ **標準カセットを両手で軽く上に持ち上げ、ゆっくりと取り外す。**

❷ **用紙カセットカバーを取り外す。**

❸ **サイドガイドロックレバーを押し上げてサイドガイドをスライドさせ、使用する用紙のサイズに合わせる。**

❹ **エンドガイドをセットする用紙サイズに合わせる。**

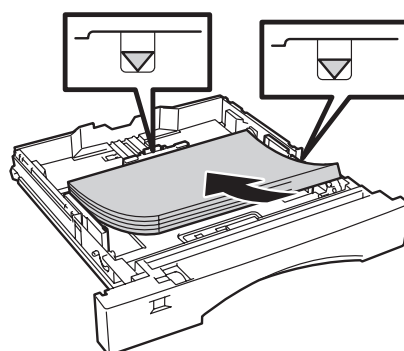
<B5、A5、A4、レターサイズの場合>
エンドガイドの中央部をつまみながら、エンドガイドをスライドさせ、セットする用紙サイズに合わせます。

<B4、A3サイズの場合>

① スライドカセットロックを左に動かし“UNLOCK”に合わせ、用紙カセットを引き伸ばした後、スライドカセットロックを右に戻し“LOCK”に合わせます。

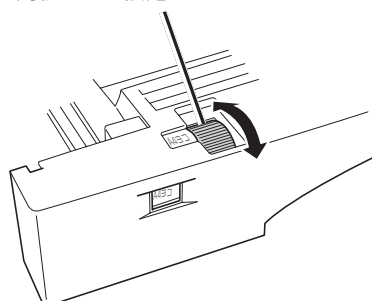
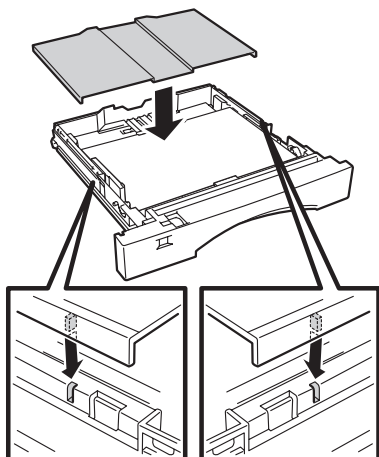
② エンドガイドの中央部をつまみながら、エンドガイドをスライドさせ、“B4”または“A3”表示に合わせます。

❺ **印刷する面を上にして、エンドガイド側から用紙をそろえてセットする。**

用紙をセットした後は、サイドガイドを再セットしてください。

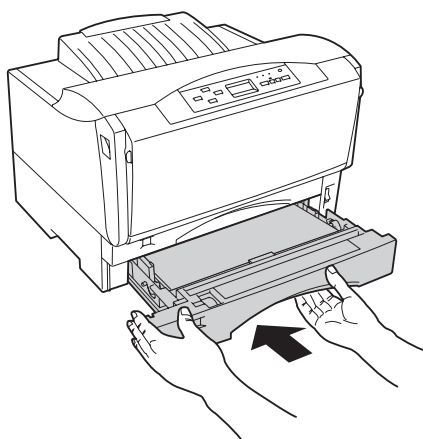
チェック

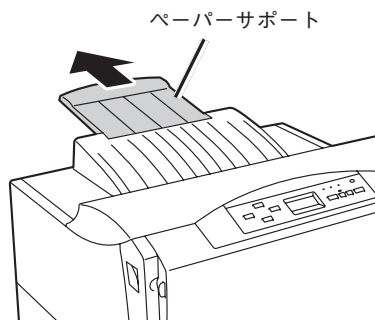
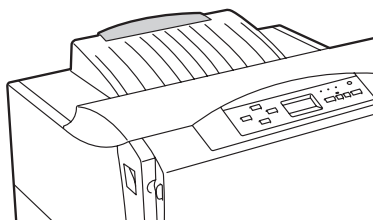
- 包みから出した新しい用紙は、さばかないでください。用紙をさばくと静電気が起きて紙づまりの原因になることがあります。
- 用紙は、エンドガイドの最大積載表示(▽)を越えないようにしてセットしてください。
- 1つの用紙カセット内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。
- 用紙のつぎ足しはしないでください。

❻ **用紙サイズ設定ダイヤルをセットした用紙サイズに合わせる。**

重要

セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示を合わせてください。セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示が異なると紙づまりなどの障害の原因になることがあります。

❼ **用紙カセットカバーを用紙カセットの溝に合わせて取り付ける。**

❽ **標準カセットを両手でゆっくり取り付ける。**

重要

用紙をセットし終えた標準カセットは、重くなっています。取り付ける際は標準カセットを両手で持ってプリンターに差し込んでください。

❾ **ペーパーサポートを引き出す。**

A3、B4サイズの場合、ペーパーサポートを引き出します。

A3、B4サイズ以外の場合は、そのままお使いください。

残った用紙の保管方法

残った用紙は変質を防ぐため、次のことに注意して正しく保管してください。

- 用紙は包装してあった紙で包み直してください。
- キャビネットの中など直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙はしわ、折れ、カールなど癖がつかないように、平らな場所に水平にして保管してください。

MPに用紙をセットする

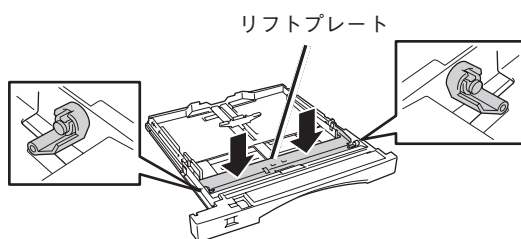
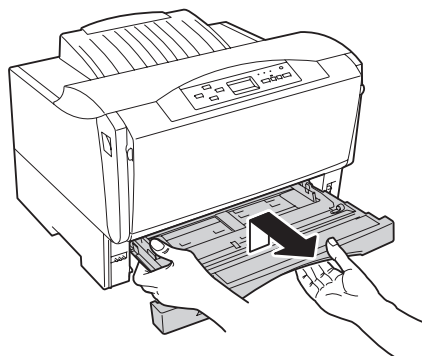
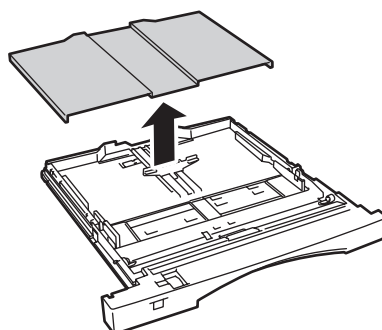
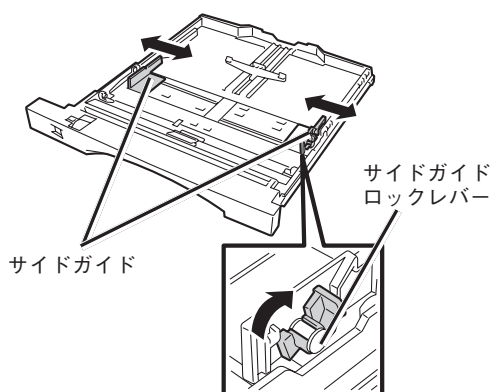
MPとは「マルチパーパス」のことで、いろいろな種類の用紙をセットすることができる給紙機構を指します。MPから印刷するには、MPカセットに用紙をセットします。MPカセットには普通紙やラベル紙をはじめ、厚紙、はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルム、定形外用紙をセットすることができます。

MPカセットの容量は坪量64.0g/m²(連量55kg)の普通紙で約100枚です。はがき、往復はがき、OHPフィルム、ラベル紙は約30枚、封筒は約10枚セットすることができます。
厚紙、OHPを使用する際は、メニューモードの「ヨウシメニュー」-「ヨウシシュベツ」-「MP　ヨウシシュベツ」でそれぞれ「アツガミ」、「OHP」に設定する必要があります。詳細は114～117ページのメニューツリーを参照してください。厚紙は坪量81.4g/m²～128.0g/m²(連量70kg～110kg)までセットすることができます。

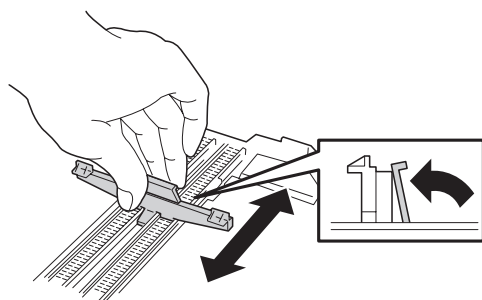
重要

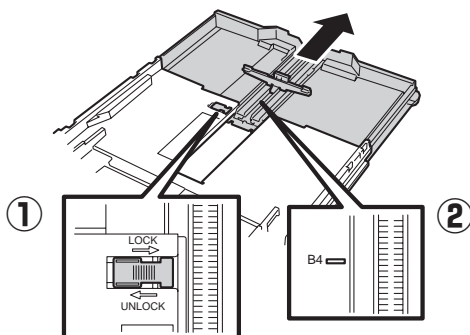
- MPカセットにセットする用紙は両面とも印刷のされていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙(プレ印刷された用紙やいわゆる裏紙)をMPカセットにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。
- MPカセットにレターサイズ、はがき、往復はがき、および封筒をセットした時は、MPカセットの用紙サイズを操作パネルで設定する必要があります。詳細は「4章　操作パネルについて」(97ページ)を参照して、[MP]スイッチで設定してください。また、異なる用紙サイズをセットした時にもそのつど操作パネルで設定を行ってください。
- MPカセット前側のラバー部には手を触れないでください。給紙不良の原因となることがあります。

チェック

- MPカセットを取り外す際は、軽くカセットを持ち上げて取り外してください。
- 用紙をセットする際は、リフトプレートが下がっていることを確認してください。リフトプレートが完全に下がっていないと、MPカセットをプリンターに取り付けることはできません。下がっていない場合は、完全に下がるまで下に押してください。

❶ **MPカセットを両手で軽く上に持ち上げ、ゆっくりと取り外す。**

❷ **用紙カセットカバーを取り外す。**

❸ **サイドガイドロックレバーを押し上げてサイドガイドをスライドさせ、使用する用紙のサイズに合わせる。**

❹ **エンドガイドを使用する用紙サイズに合わせる。**

<B5、A5、A4、レターサイズ、はがき、封筒、往復はがきの場合>
エンドガイドの中央部をつまみながら、エンドガイドをスライドさせ、セットする用紙サイズに合わせます。

<B4、A3サイズもしくはA4縦以上の定形外用紙の場合>

① スライドカセットロックを左に動かしに"UNLOCK"に合わせ、用紙カセットを引き伸ばした後、スライドカセットロックを右に戻し"LOCK"に合わせます。

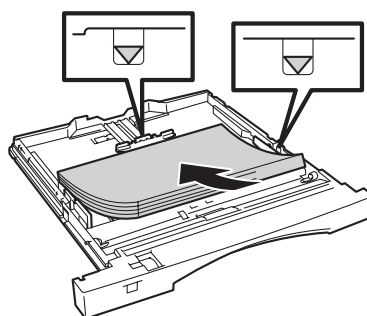
② エンドガイドの中央部をつまみながら、エンドガイドをスライドさせ、セットする用紙サイズの表示に合わせます。

❺ **印刷する面を上にして、エンドガイド側から用紙をそろえてセットする。**

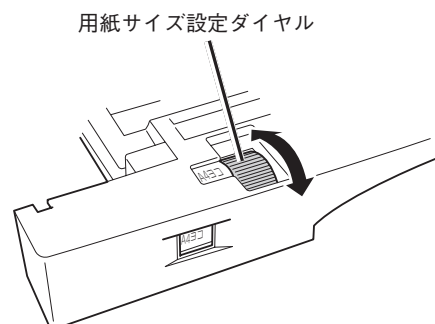
A3サイズ、B4サイズ、はがき、封筒は縦置きで、B5サイズ、A5サイズ、レターサイズは横置きでセットしてください。

A4サイズ、OHPフィルム、往復はがきは縦置き、横置きどちらでも用紙をセットできます。

用紙をセットした後は、サイドガイドを再セットしてください。

✔チェック

- 包みから出した新しい用紙は、さばかないでください。用紙をさばくと静電気が起きて紙づまりの原因になることがあります。
- 用紙は、エンドガイドの最大積載表示(▽)を越えないようにしてセットしてください。
- 1つの用紙カセット内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。
- 用紙のつぎ足しはしないでください。

❻ **用紙サイズ設定ダイヤルをセットした用紙サイズに設定する。**

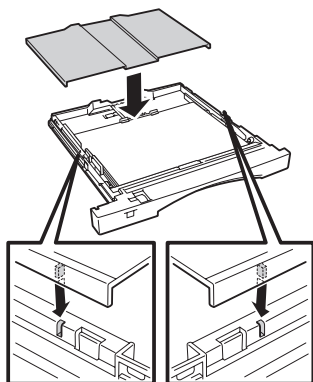
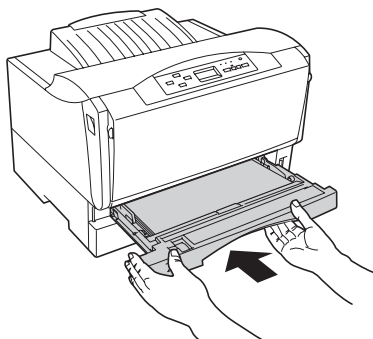
はがき、往復はがき、封筒、レターサイズ、定形外をセットした場合は、用紙サイズ設定ダイヤルの表示を「＊」に設定してください。

重要

セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示を合わせてください。セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示が異なると紙づまりなどの障害の原因になることがあります。

❼ はがき、往復はがき、封筒、レターサイズをセットした場合は、操作パネルで用紙サイズを設定する。

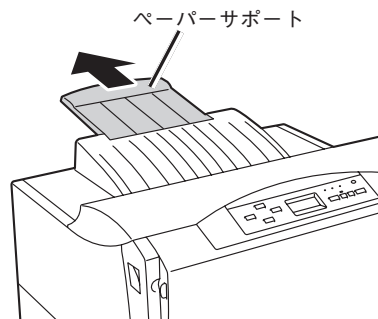
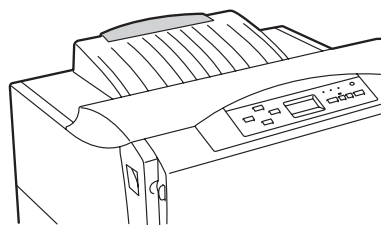
操作パネルの[印刷可]スイッチを押してから、[MP]スイッチを押して、用紙サイズを設定します。（操作パネルの詳細は100ページ参照。）

用紙サイズ設定ダイヤルをあらかじめ「＊」に設定していないと、[MP]スイッチによる用紙サイズ設定はできません。

❽ 用紙カセットカバーをMPカセットの溝に合わせて取り付ける。

❾ MPカセットを両手でゆっくり取り付ける。

重要

用紙をセットしたMPカセットは、重くなっています。取り付ける際はMPカセットを両手で持ってプリンターに差し込んでください。

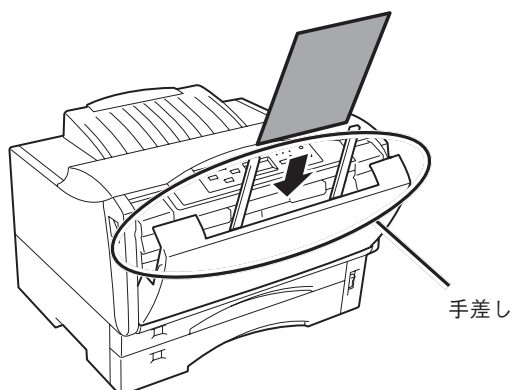
❿ ペーパーサポートを引き出す。

A3、B4サイズ、またはA4縦以上の定形外用紙の場合、ペーパーサポートを引き出します。

A3、B4サイズおよびA4縦以上の定形外用紙以外の場合、そのままお使いください。

残った用紙の保管方法

残った用紙は変質を防ぐため、次のことに注意して正しく保管してください。

- 用紙は包装してあった紙で包み直してください。
- キャビネットの中など直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙はしわ、折れ、カールなど癖がつかないように、平らな場所に水平にして保管してください。

手差しに用紙をセットする

手差しには普通紙をはじめ、ラベル紙や厚紙、はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルム、定形外用紙を一枚ずつセットすることができます。

厚紙、OHPを使用する際は、メニューモードの「ヨウシメニュー」-「ヨウシシュベツ」-「テサシ　ヨウシシュベツ」でそれぞれ「アツガミ」、「OHP」に設定する必要があります。詳細は114〜117ページのメニューツリーを参照してください。

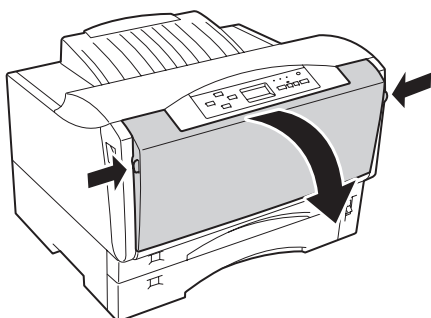
⚠注意

- 手差しに用紙以外の物や、手を載せないでください。手差しが破損する原因となるおそれがあります。
- 手差しから印刷しないときは、必ずフロントカバーを閉じてご使用ください。ほこりや異物が入りやすくなり、プリンターの破損や故障の原因となるおそれがあります。

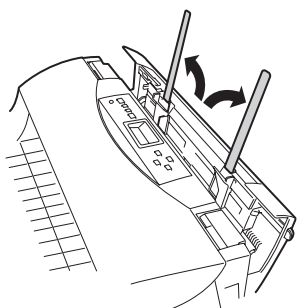
重要

- 手差しにセットする用紙は両面とも印刷のされていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙(プレ印刷された用紙やいわゆる裏紙)を手差しにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。
- 手差しに用紙をセットした時は、手差しの用紙サイズを操作パネルで設定する必要があります。詳細は「4章　操作パネルについて」(97ページ)を参照して、[手差し]スイッチで設定してください。また、異なる用紙サイズをセットした時にも、そのつど操作パネルで設定を行ってください。

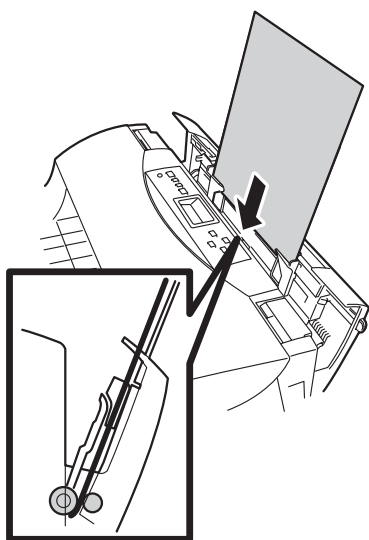
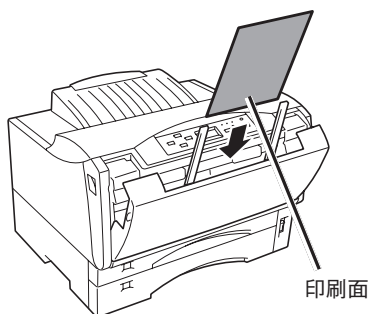
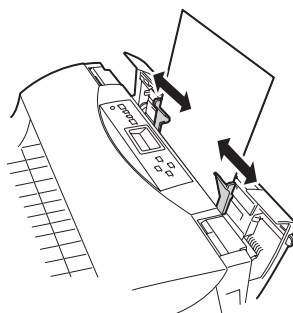
❶ フロントカバーを開く。

左右のフロントカバー開閉ボタンを押しながら、ゆっくり手前に引きます。

重要

フロントカバーは二段階に開閉します。手差しを使用する場合は、手前に一段開けてください。大きく二段階に開けると「カバーオープン」アラームとなります。また、印刷中にフロントカバーを大きく二段階に開けると紙づまりの原因となります。

❷ **左右の手差し用紙サポートを開く。**

❸ **印刷したい面を手前にして、用紙を手差し用紙ガイドに沿って突き当たるまで挿入する。**

A3サイズ、B4サイズ、はがき、封筒は縦置きで、B5サイズ、A5サイズ、レターサイズは横置きでセットしてください。

A4サイズ、往復はがきは縦置き、横置きどちらでもセットできます。

手差しに用紙をセットする際には、印刷する面を手前にしてください。

❹ **セットした用紙に手差し用紙ガイドを合わせる。**

❺ **操作パネルでセットした用紙サイズを設定する。**

操作パネルの[印刷可]スイッチを押してから、[シフト]スイッチを押しながら、[手差し]スイッチを押して、用紙サイズを設定します。(操作パネルの詳細は97ページ参照。)

- [シフト]スイッチを押しながら[手差し]スイッチを1回押すごとに用紙サイズは以下のように変わります。

  「A4タテ→A4ヨコ→A5→B4→B5→LT→ハガキ→ハガキ2ヨコ→ハガキ2タテ→フウトウ→A3」

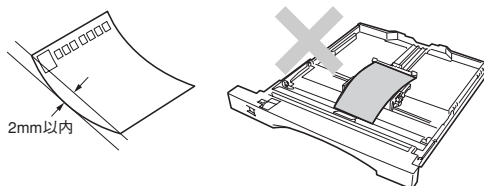
- Windows環境で定形外用紙に印刷する場合は、操作パネルで用紙サイズを設定する必要はありません。

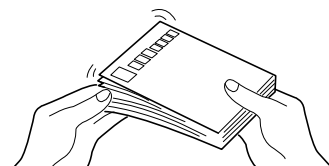
用紙をセットする時の注意

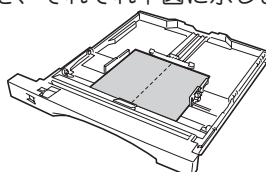
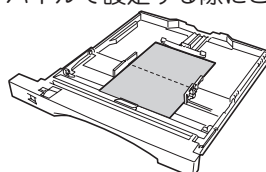
はがき、往復はがき

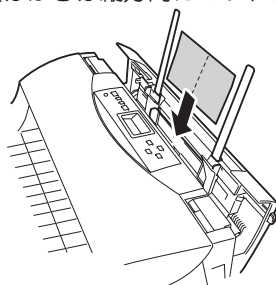
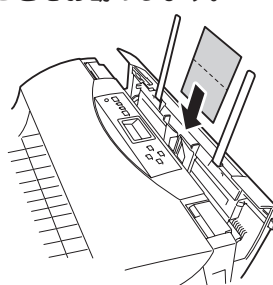
重要

往復はがきは、折り返しや折り目がついているものを使用しないでください。折れた状態でMPカセットや手差しにセットすると、紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

- はがき、往復はがきに反りがあるときは、反りの幅が2mm以内になるように反りを直してください。反りがある用紙をMPカセットにセットする場合は、反りの方向を直して(反っている凸面を下にして)セットしてください。

- 印刷所で印刷を施された官製はがき(年賀状など)には裏移り防止用の白い粉が塗布されていることがあります。このプリンターでこのようなはがきへの印刷を繰り返すと、白い粉によりプリンター内部のローラーの摩擦力が低下し、はがきがうまく送れなくなることがあります。このようなはがきを使用するときは、印刷の前にはがきの両面についている粉を乾いた布などで軽く払ってください。

- はがきをまとめてMPカセットにセットする場合は、はがきを十分さばいてからセットしてください。

- 印刷したはがきは、反りが5mm以内になるように直してください。反りが大きいと郵便番号読取機の処理に不都合が生じます。

- 往復はがきをMPカセットにセットする場合は、横、縦のどちらでもセットできます。横、縦置きにセットできる向きを、それぞれ下図に示します。操作パネルで設定する際にご注意ください。

往復はがき　横

往復はがき　縦

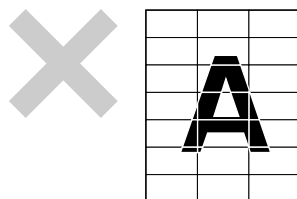
- 往復はがきを手差しにセットする場合は、ご使用の用紙の種類によっては正常な給紙ができない場合があります。往復はがきは縦方向にセットして給紙することをお勧めします。

往復はがき　横

往復はがき　縦

OHPフィルム、ラベル紙

- OHPフィルム、ラベル紙は十分にさばいてからセットしてください。

- OHPフィルムは使用環境、種類によっては静電気が発生し、正常に給紙できないときがあります。その際は、手差しに1枚ずつセットして印刷することをお勧めします。

- ラベル紙は保管状態によっては反りが生じ、正常に給紙できないときがあります。その際は、反りを直して印刷してください。

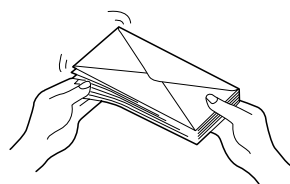
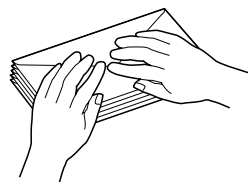
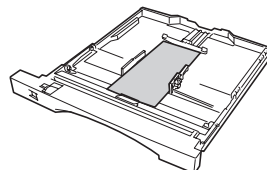
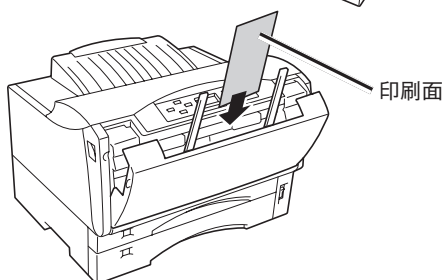
- ラベル紙への印刷は、ラベルの切れ目部分に文字やイラストがかからないようにしてください。

封筒

重要

フラップ(封筒の折り返し部分)面には印刷をしないでください。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障することがあります。

- 封筒は、洋形4号、内カマス、のりなしをご使用ください。ただし封筒の材質によりご使用になれない場合があります。

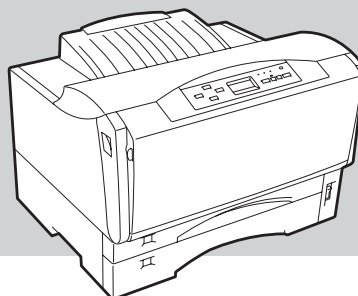
- 封筒をセットする前に、封筒の束を平らなところへ置き、フラップ(封筒の折り返し部分)をきちんと折り曲げてフラップがはね上がらないようにしてください。フラップをきちんと折り曲げない状態でセットすると、用紙サイズエラーになることがあります。

- 封筒の両端を持って、十分さばいてからセットしてください。

- MPカセットにセットする場合は、印刷する面を上にして縦方向にセットしてください。

- 手差しにセットする場合は、印刷する面を手前にして縦方向に封筒をセットしてください。

定形外用紙

重要

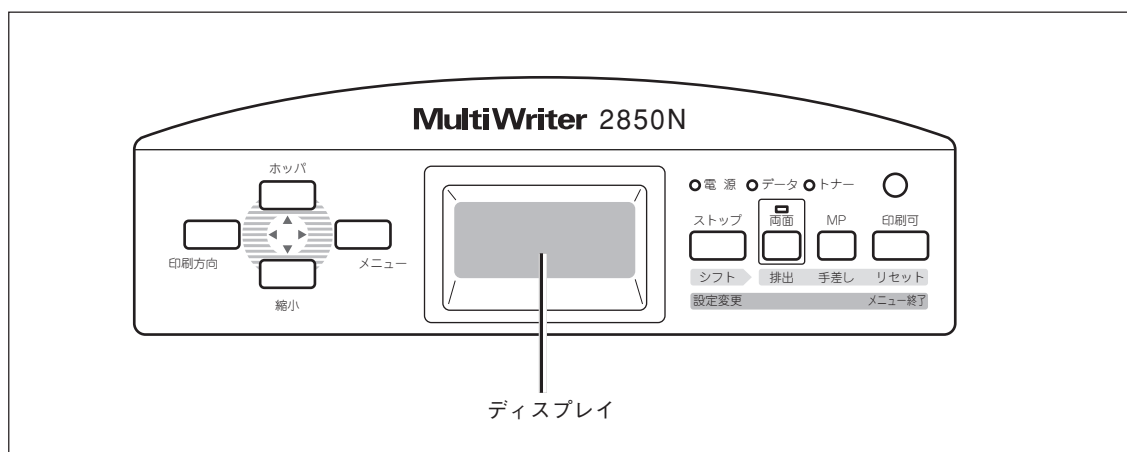
形状が長方形以外の不規則な形状の用紙、角が直角でない用紙は正常な給紙ができません。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

Windows環境以外から印刷を行う場合、メニューモードの「用紙メニュー」で「定形外用紙」を「ON」にする必要があります。詳細は4章の「メニューモード」（106～109ページ）を参照してください。

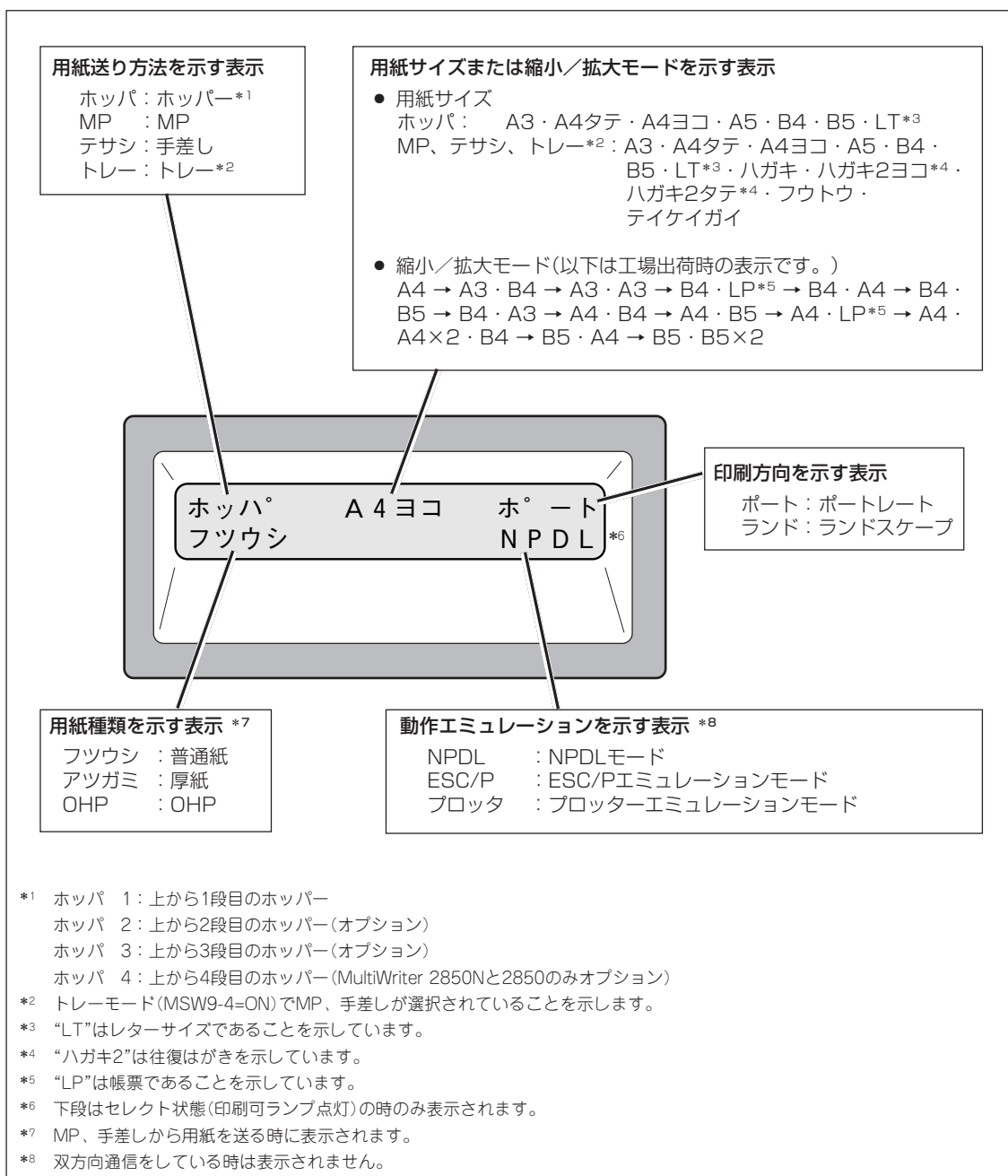
- 対応可能な用紙の厚み（坪量）は、定形用紙に比べて扱える範囲がせまくなる場合があります。定形外用紙を使用する場合は、事前に十分な試し印刷をして印刷動作を確認することをお勧めします。
- 紙質、繊維目方向、プレ印刷、ホールパンチ、ミシン目などにより正常に印刷されない場合があります。
- 種類、繊維目方向によっては印刷後大きくカールするものがあります。
- 印刷した用紙が正常にスタックされない場合があります。この場合はそのつど用紙を取り除いてください。

4章
操作パネルについて

この章では、操作パネルやメニューモードなどプリンターの操作の基本的なことについて説明しています。

操作パネルはユーザーがプリンターの状態を見たり、設定を行ったりするためのものです。ここでは主にNPDL(Level 2)で使用する時の、操作パネル上の「ディスプレイ」および「ランプ」の表示の意味と、「スイッチ」の使い方について説明します。

ESC/Pエミュレーション、およびプロッターエミュレーションでは、一部機能が異なります。詳しくは添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの「7章　メニューモード」をご覧ください。

操作パネル(MultiWriter 2850Nの場合)

ディスプレイ

16桁2行の液晶ディスプレイです。英数字とカナで、プリンターの状態や操作に関する情報を表示します。

ディスプレイの表示

その他の表示内容については本書の「アラーム表示が出ているときは」（142ページ）、「メニューツリー」（114～117ページ）または、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの付録「ディスプレイ表示一覧」をご覧ください。

ランプ

印刷可

印刷可ランプ（緑／赤）

点灯（緑）　プリンターがセレクト状態（印刷データを受信できる状態）になっています。

点滅（赤）　点滅を繰り返し、30秒ごとにブザーが6回ずつ鳴ります。
カセットに用紙がない、カバーが開いているなど、プリンターにエラーが発生している状態を示します。詳細については本書の「アラーム表示が出ているときは」（142ページ）をご覧ください。

消灯　プリンターがディセレクト状態（印刷データを受信できない状態）になっています。（ただし、I/F設定がECPモード中は印刷データを受信します。）

○電　源

電源ランプ（緑）

点灯　プリンターの電源がONになっています。

消灯　プリンターの電源がOFFになっています。

○データ

データランプ（橙）*

* I/F設定がECPモード中にディセレクト状態でデータ受信しているときはデータランプは点滅/点灯しません。

点灯
- プリンター内に印刷データが残っています。
- プリンターはデータを受信中ではありません。

点滅　プリンターが印刷データを受信中です。

消灯
- プリンター内にデータが残っていません。
- プリンターはデータを受信中ではありません。

○トナー

トナーランプ（赤）

点灯　EPカートリッジのトナーの残量が少ない、またはEPカートリッジの寿命です。新しいEPカートリッジと交換してください。詳細については「EPカートリッジの交換」（131ページ）をご覧ください。

消灯　EPカートリッジのトナーが十分にあります。

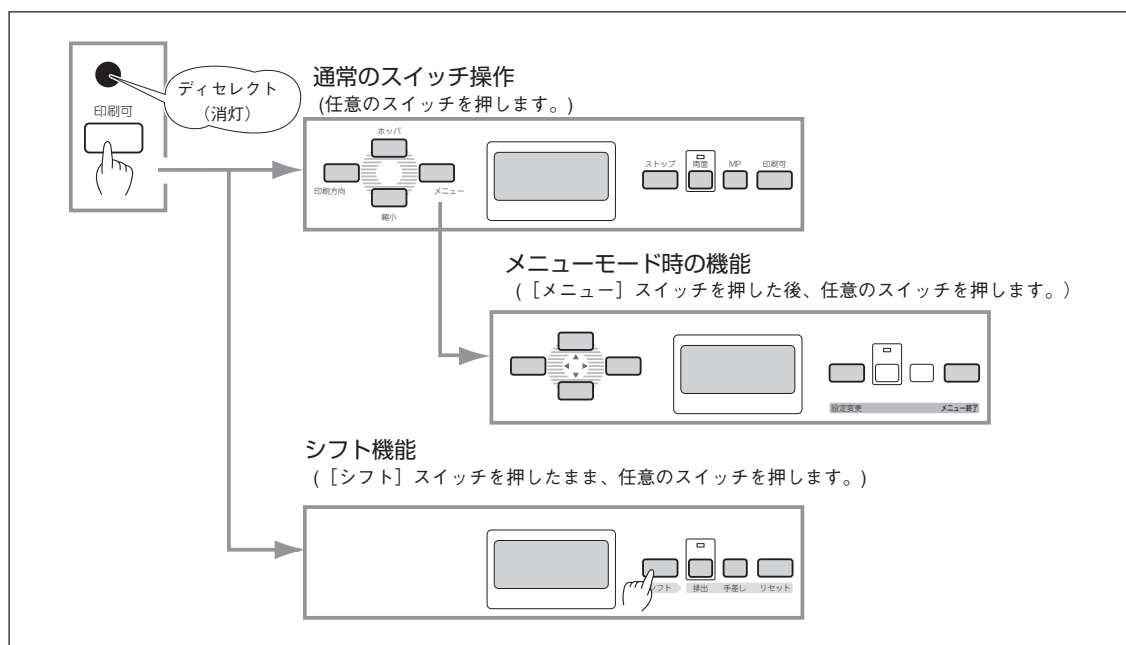
両面

両面ランプ（緑）

点灯　両面印刷モードに設定されています。

消灯　両面印刷モードではありません。

スイッチ

プリンターの操作パネルには8個のスイッチがあり、それぞれのスイッチは2つまたは3つの機能をもっています。

スイッチのモード

通常のスイッチ機能 —	［印刷可］スイッチを押し、ディセレクト状態（印刷可ランプが消灯している状態）になって初めて機能します（［ストップ］スイッチを除く）。
メニューモード時のスイッチ機能 —	［メニュー］スイッチを押してメニューモードに入ると働く機能です。
シフト時のスイッチ機能 —	［シフト］スイッチを押しながら押すと働く機能です。

- 印刷可ランプが赤に点滅している間はどのスイッチも機能しません。アラームの詳細については「アラーム表示が出ているときは」（142ページ）をご覧ください。
- アプリケーションによっては、スイッチによる設定をアプリケーション側で行えるものもあります。
- 操作パネルにおいて、誤った操作を行った場合は、ブザーが鳴ります。

通常のスイッチ機能

［印刷可］スイッチ

このスイッチはプリンターが初期化中でないとき、およびテスト印刷中でないときに機能します。

データを受信できる状態にする。

スイッチを押すごとにデータを受信できる状態（セレクト状態、印刷可ランプ緑点灯）と受信できない状態（ディセレクト状態、印刷可ランプ消灯）に交互に切り替わります。

MP

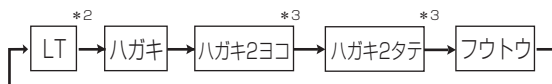
[MP]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

給紙先をMPにする。 *[1]

ホッパーまたは手差しから用紙を送る状態でこのスイッチを押すと、MPから用紙を給紙する状態に切り替わります。

MP給紙の用紙サイズを変更する。

MPにA3、A4、A5、B4、B5をセットした場合は用紙サイズ設定ダイヤルで用紙サイズの設定をしますが、レターサイズ、はがき、往復はがき、封筒をセットした場合は用紙サイズ設定ダイヤルを「＊」に設定し、このスイッチを押して用紙サイズを設定します。このスイッチを押すたびに用紙サイズの設定が次のように変わります。

MPに用紙をセットした後は、用紙サイズ設定ダイヤル、および[MP]スイッチで用紙サイズを変更してください。

＊[1] [ホッパ]スイッチでもMP給紙を選択することができます。
＊[2] 「LT」は「レター」を意味します。
＊[3] 「ハガキ2」は「往復はがき」を意味します。

両面

[両面]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

両面印刷モードにする（両面印刷モードを解除する）。

両面ランプが消灯している状態で、このスイッチを押すと、両面印刷モードになります。このスイッチを押すたびに両面印刷モードの設定と解除が切り替わります。次の場合、両面ランプが点灯していても、印刷は片面で行われます。

- 用紙サイズがA3、A4、A5、B4、B5、レターサイズ以外の場合
- MP、手差し給紙で「厚紙」または「OHP」を指定した場合
- 定形外用紙に印刷した場合

ストップ

[ストップ]スイッチ

このスイッチは常に機能します。

データの受信と印刷を停止し、ディセレクト状態にする。

印刷中にこのスイッチを押すと、印刷中の用紙を排出した後、一時的に印刷を停止します。
受信済みのデータは、プリンター内に残ったままになります。
印刷を再開するときは、[印刷可]スイッチを押します。

アラーム音を止める。

アラームが発生してブザーが鳴っているときに、このスイッチを押すとアラーム音が止まります。

メニュー

[メニュー]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

メニューモードに入る。
このスイッチを押すと、メニューモードに入ります。

ホッパ

[ホッパ]スイッチ

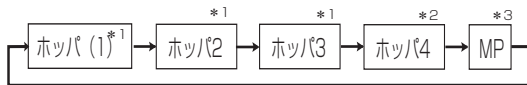
このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

給紙先を切り替える。

手差しから用紙を給紙する状態でこのスイッチを押すと、ホッパーもしくはMPから用紙を給紙する状態に切り替わります。

給紙先を選択する（ホッパーを使用しているとき）。

ホッパー給紙を選択中にこのスイッチを押すたびに給紙するホッパー/MPを次のように切り替えます。（選択されたホッパーがディスプレイに表示されます。）

このスイッチを押したときの用紙サイズは、指定された給紙口の用紙サイズ設定ダイヤルにより自動設定されます。ただし、MP給紙で用紙サイズ設定ダイヤルを「＊」に設定した場合は［MP］スイッチで設定した用紙サイズとなります。

＊[1] 増設ホッパー装着時のみ表示されます。
＊[2] MultiWriter 2850N/2850で増設ホッパー装着時のみ表示されます。
＊[3] トレーモード時は“トレー”と表示されます。

手差しから用紙を送る状態でホッパー給紙に切り替えると、メニューモードのホッパー初期設定で指定されているホッパーが選択されます。

印刷方向

[印刷方向]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

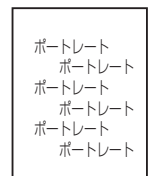
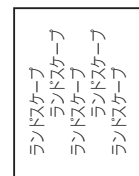
印刷方向をポートレートまたはランドスケープに選択する。

このスイッチを押すごとに、ポートレートとランドスケープを交互に切り替えます。

用紙の置き方に関係なく、縦長にした内容を印刷するときはポートレートを、横長にした内容を印刷するときはランドスケープを指定します。選択されている印刷方向は、ディスプレイに表示されています。

ポートレート
ポートレート
ポートレート
ポートレート
ポートレート
ポートレート

[縮小]スイッチ

縮小

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。また、選択されている用紙サイズがA3、A4、B4、B5のときに機能します。

チェック

- アプリケーションによっては縮小・拡大が正しく印刷されないものがあります。
- 印刷データの前に用紙サイズの指定コマンド(FS f c1c2c3)によってA3、B4、または帳票サイズが指定されており、ホッパーにA4サイズの用紙が入っている場合は自動的に縮小して印刷します。詳しくは別売の「NPDL(Level 2)リファレンスマニュアル」をご覧ください。
- 縮小を行った場合、座標などの数値の丸め誤差により、縮小しない場合と印刷結果が異なる場合があります。

縮小／拡大モードの設定をする。

このスイッチを押すと以下のような縮小／拡大印刷ができます。印刷する用紙サイズによって、以下の順序でモード選択されます。

- A3サイズに印刷する

  A3 → A4→A3 → B4→A3 → A3 → (繰り返し)

- A4サイズに印刷する

  A4 → B4→A4 → LP→A4 [*1] → A3→A4 → A4×2 [*2] → B5→A4 → A4 → (繰り返し)

- B4サイズに印刷する

  B4 → LP→B4 [*1] → A3→B4 → B5→B4 → A4→B4 → B4 → (繰り返し)

- B5サイズに印刷する

  B5 → A4→B5 → B4→B5 → B5×2 [*1] → B5 → (繰り返し)

プロッターエミュレーションモードで使用する場合は縮小／拡大モードの設定が異なります。詳しくは添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの「7章　メニューモード」をご覧ください。

*1　LPは帳票サイズ(136桁×66行)を意味します。

*2　A4×2はA4サイズの2ページ分のデータをA4用紙1枚に印刷します。

*3　B5×2はB5サイズの2ページ分のデータをB5用紙1枚に印刷します。

メニューモード時のスイッチ機能

メニュー終了

[メニュー終了]スイッチ

メニューモードを終了させる。
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューモードを終了します。

設定変更

[設定変更]スイッチ

設定変更したい項目(レベル3)を選択する。

メニューモード時でメニューツリーのレベル3の項目を選択中にこのスイッチを押すと、任意の項目の設定を変更することができます。
なお、メニューモードのレベルについては、114〜117ページの「メニューツリー」を参考にしてください。

[▶]スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する([→]スイッチとして機能)。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの次のレベル(レベル2またはレベル3)の項目を選択することができます。

▲

[▲]スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する([↑]スイッチとして機能)。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。

[◀]スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する([←]スイッチとして機能)。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーのひとつ前のレベル(レベル1またはレベル2)の項目を選択することができます。

▼

[▼]スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する([↓]スイッチとして機能)。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。

メニューツリーの詳細については「メニューツリー」(114〜117ページ)をご覧ください。

シフト時のスイッチ機能

シフト

[シフト]スイッチ

このスイッチが押されている間、[両面]スイッチ、[MP]スイッチ、および[印刷可]スイッチの3つは、それぞれのスイッチの下に表記された機能「排出」、「手差し」、「リセット」が有効となります。

このスイッチを押すと、自動的に印刷可ランプが消灯します。

排出

[排出]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプが消灯していて、データランプが点灯している(ディスプレイに“データガノコッテイマス”と表示されている)ときに機能します。アラーム中および用紙がない状態では機能しません。

プリンターに残っている未印刷データをすべて印刷する。

[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチを押すとプリンターに残っているデータをすべて印刷出力します。ただし、インタフェース設定がECPモードでディセレクト中に受信したデータは排出されません。

プリンター内にデータを残したまま次の印刷を行うと、プリンターは残っているデータと次の印刷データを重ねて印刷する場合があります。

リセット

[リセット]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプが消灯しているときに機能します。アラーム中も機能します。

プリンターを初期状態にする。

[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチを2回続けて押すと、ディスプレイに“リセットジッコウ”と表示され、未印刷データは消失し、プリンターは初期状態(電源スイッチON直後の状態)になります。リセット後、ブザーが2回鳴ります。

リセットすると、スイッチを使って変更したプリンターの設定も、初期状態(電源ON直後の状態)に戻ります。ただし、メニュースイッチを使って変更したメニューモードの内容はリセットされません。詳細は添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの付録の「NPDLの初期状態」をご覧ください。

手差し

[手差し]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

給紙先を手差しにする。

ホッパーまたはMPから用紙を給紙する状態で[シフト]スイッチを押しながら、このスイッチを押すと、手差しから用紙を給紙する状態に切り替わります。

手差し給紙の用紙サイズを変更する。

手差し給紙を選択中に、このスイッチを押すたびに用紙サイズの設定が次のように変わります。

*1 「LT」は「レター」を意味します。
*2 「ハガキ2」は「往復はがき」を意味します。

メニューモード

メニューモードでは、プリンターの操作パネル上のスイッチを使ってプリンターのさまざまな設定を変更することができます。

メニューモードで変更した設定内容は電源をOFFにしても変わりません。

メニューモードでの設定変更のしかた

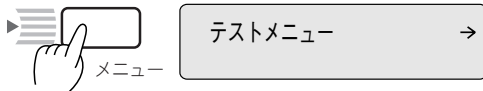
❶ **[印刷可]スイッチを押して、ディセレクト状態にする。**

印刷可ランプが消灯します。

❷ **データランプが点灯していないことを確認する。**

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

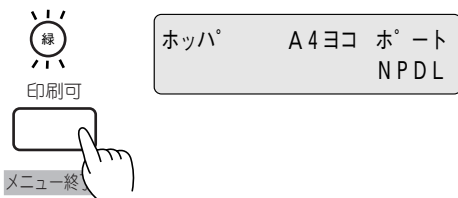
❸ **[メニュー]スイッチを押す。**

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　　→”と表示します。

❹ **メニューモードの設定を変更する。**

メニューモードの内容は次ページの「メニューモード設定項目一覧」および114～117ページの「メニューツリー」を参照してください。
メニューモード中は次の5個のスイッチで項目の選択、設定の変更を行います。

[◀]、[▼]、[▶]、[▲]スイッチ	このスイッチを押すとその方向へ進むことを示しています。
[設定変更]スイッチ	押すたびにレベル3をひとつずつ表示し、その内容が自動的に選択されます。

❺ **[メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了する。**

プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示に戻ります。

メニューモード設定項目一覧

メニューモードで設定できる項目の一覧とそれらの簡単な説明を以下に示します。これらの設定はメモリースイッチからも設定できます。各設定方法で設定できる項目の一覧も以下に示します。

詳細については、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの7章「メニューモード」を参照してください。

メニューモード設定項目一覧

○：有効　×：無効

設定項目		説　明	メモリースイッチ(MSW)	ESC/Pエミュレーション	プロッターエミュレーション
テスト印刷メニュー	ステータス印刷	ステータス印刷を行います。ステータス印刷では、オプションの接続やメモリースイッチの状態など、各プリンターの状態が印刷されます。	×	○	○
	サンプル印刷*1	サンプル印刷を行います。	×	○	○
	連続印刷	連続印刷を行います。	×	○	○
	16進ダンプ印刷	16進ダンプ印刷を行います。	×	○	○
	LANステータス印刷*2	［インタフェース2］に取り付けたLANボードのコンフィグレーションページ（LANステータス）を印刷します。	×	○	○
	通信ログ印刷*2	［インタフェース2］に取り付けたLANボードの通信ログを印刷します。	×	○	○
印刷設定メニュー	コピー枚数設定	コピー枚数は“01”から“20”まで設定できます。	×	○	○
	トナー節約機能	トナー節約機能を使用するかどうかを選択します。	×	○	○
	印字濃度	印字濃度を5段階の中から設定できます。	×	○	○
用紙メニュー	ホッパ初期設定	電源投入時およびリセット時のホッパー、MP、手差し設定を選択します。	×	○	○
	MPの用紙種別	MPで使用する用紙の種別を選択します。	×	○	○
	手差しの用紙種別	手差しで使用する用紙の種別を選択します。	×	○	○
	MP定形外用紙	MPで定形外用紙を使用するかどうかを選択します。	×	○	○
	手差し定形外用紙	手差しで定形外用紙を使用するかどうかを選択します。	×	○	○
	リレー給紙設定	リレー給紙機能を使用するかどうかを選択します。	×	○	○
	ジョブセパレート機能	ジョブセパレート機能を使用するかどうかを選択します。	×	○	○

*1　MultiWriter 2350N/2350/2150のみに対応し、設定されている用紙がA4のときに表示されます。

*2　MultiWriter 2850/2350/2150で[インタフェース2]のLANボード用スロットにオプションのLANボード（有線/無線）を取り付けている場合に表示されます。

メニューモード設定項目一覧（続き）

○：有効　　×：無効

設定項目		説　明	メモリースイッチ(MSW)	ESC/Pエミュレーション	プロッターエミュレーション
印字位置設定メニュー	ホッパ1微調整	ホッパー、MP、両面印刷時の表面・裏面の印刷位置を調整します。	×	○	○
	ホッパ2微調整*[1]		×	○	○
	ホッパ3微調整*[1]		×	○	○
	ホッパ4微調整*[2]		×	○	○
	MP微調整		×	○	○
	手差し微調整		×	○	○
	表面微調整		×	○	○
	裏面微調整		×	○	○
両面印刷メニュー	初期設定	電源投入時およびリセット時の印刷モードを両面印刷にするかしないかを選択します。	×	○	○
	綴じしろ	綴じしろを付加する位置を設定します。	×	○	○
	余白	綴じしろを付加する量を設定します。	×	○	○
	クリップ	印刷範囲からはみ出したデータをクリッピングするか、自動改行/改ページするかを設定します。	×	○	○
運用メニュー	節電機能	節電機能を使用するかしないかを設定します。	○	○	○
	節電時間設定*[3]	節電するまでの時間を設定します。	×	○	○
	温度制御*[4]	温度制御を行うかどうかを設定します。	×	○	○
	自動排出*[5]	自動排出の有効／無効、および設定時間を選択します。	×	○	○
	メモリー設定*[6]	プリンターメモリーの使用方法を選択します。	×	○	○
	解像度設定*[7]	解像度の設定をします。	○	○	○
	プロッタ縮小	プロッターモードのみ使用可能な縮小機能を設定します。	×	×	○
フォントメニュー	1バイト系ゼロ	1バイト系ゼロの字体を切り替えます。	○	○	×
	2バイト系ゼロ	2バイト系ゼロの字体を切り替えます。	×	○	×
	ANK	1バイト系コードのフォントのANK文字を選択します。	×	○	×
	漢字	標準フォント（2バイト文字）を選択します。	×	○*[8]	×
	文字セット	2バイト系文字セットを選択します。	×	1983固定	×
	国別	各国文字セットを選択します。	○	○	×

LM
TM
ABCD
用紙送り方向

*[1]　増設ホッパー装着時のメニューです。
*[2]　増設ホッパー装着時のメニューです。（MultiWriter 2850N/2850に対応）
*[3]　節電機能有効時のみ表示されます。
*[4]　MultiWriter 2350N/2350に対応しています。
*[5]　コンピューターに負荷がかかっている場合やネットワークのデータ量が多い場合、自動排出までの待ち時間（最大30秒）以上にデータ送信が停止することがあります。この場合、途中で用紙が排出されるため正常な印刷結果が得られませんので、自動排出の設定を無効にする必要があります。
*[6]　64MB以上のメモリーを増設した時の初期設定は異なります。
*[7]　MultiWriter 2350N/2350のみ1200dpiの設定ができます。
*[8]　「ミンチョウ」「ゴシック」はESC/Pコマンドの「FS k（漢字の書体選択）」によって切り替えることができます。

メニューモード設定項目一覧(続き)

○：有効　　×：無効

設定項目		説　明	メモリースイッチ(MSW)	ESC/Pエミュレーション	プロッターエミュレーション
動作メニュー	動作エミュレーション	［インタフェース1］、［インタフェース2］*3、［USB］で個別にプリンターの動作エミュレーションを設定します。	×	○	○
	動作自動切り替え	エミュレーションの自動切り替えを設定します。	×	○	○
NPDL設定メニュー	A4ポートレート桁数	用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数を設定します。	○	○	×
	エミュレーション	ページプリンタモードか201PLエミュレーションモードかを選択します。	○	×	×
	136桁モード設定	136桁モードの有効・無効を選択します。有効のときは、用紙位置微調整の方向と量を選択します。	○	○*1	×
プロッター設定メニュー	ペンの太さの選択、原点位置の選択、SPコマンドによる排出などの選択をします。		×	×	○
I/F設定メニュー	インタフェース1*2	動作双方向の設定（ニブルモード、ECPモード、なし）とLANアダプターのIPアドレス、サブネットマスクを設定します。	×	○	○
	インタフェース2*3	LANボードのIPアドレス、サブネットマスクなど*4を設定します。	×	○	○
設定初期化メニュー	メニュー初期化	メニュー項目を初期設定に戻します。	×	○	○
	LAN初期化*3	LAN設定を初期設定に戻します。	×	○	○
	全初期化*3	メニュー項目とLAN設定を初期設定に戻します。	×	○	○
	呼び出し	設定記憶で記憶されている内容を呼び出します。	×	○	○
	記憶	メニューモード内の各種機能設定と、［MP］スイッチ、および［手差し］スイッチで設定した用紙サイズをまとめて記憶します。	×	○	○
メモリースイッチメニュー	メニューモードの中で比較的変更頻度の低いものがまとめられています。（MSW1〜10）		○	111〜112ページ参照	○

*1　ESC/Pエミュレーションでは常に136桁モードになります。

*2　I/F設定を変更した場合は、プリンターの電源を再投入する必要があります。
また、I/F設定メニューの動作双方向が「ECPモード」に設定されているときにIPアドレスとサブネットマスクが有効になります。
対応するLANアダプターは型番 PR-NP-02T2、型番 PR-NP-03TR2です。

*3　MultiWriter 2850/2350/2150では、［インタフェース2］のLANボード用スロットにオプションのLANボードを取り付けている場合に表示されます。

*4　設定項目は、オプションのLANボードまたは製品により異なります。詳しくは、「メニューツリー」(114ページ)を参照してください。

メモリースイッチの設定変更のしかた

ここでは、2段目にオプションの増設ホッパ(500)を取り付けた場合のメモリースイッチの設定変更を例にして説明します。対象となるメモリースイッチは「7-4」です。

❶ プリンターの電源をONにする。

❷ [印刷可]スイッチを押して、ディセレクト状態にする。

印刷可ランプが消灯します。

❸ データランプが点灯していないことを確認する。

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

❹ [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　→”と表示します。

❺ [▲]スイッチを1回押す。

ディスプレイに“メモリスイッチメニュー　→”と表示します。

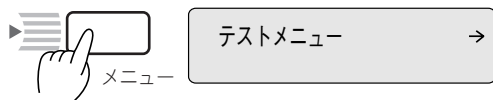
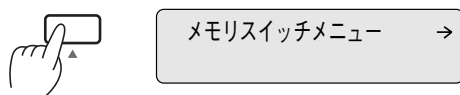
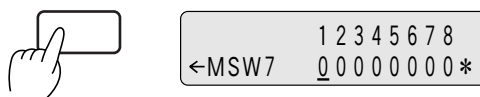
```
メモリスイッチメニュー    →
```

❻ [▶]スイッチを1回押す。

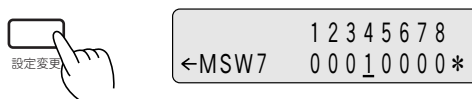
MSW1が表示されます。

```
          12345678
←MSW1     00000000*
```

❼ [▲]スイッチ、または[▼]スイッチを押して、MSW7を表示させる。

```
          12345678
←MSW7     00000000*
```

❽ [▶]スイッチを3回押して、カーソルをMSW7-4に移動する。

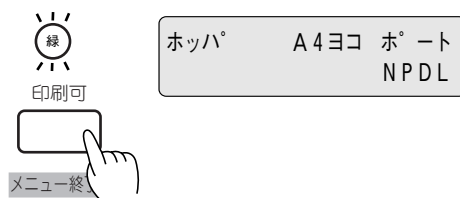
```
          12345678
←MSW7     00000000*
```

❾ [設定変更]スイッチを1回押して、MSW7-4を“1”に変更する。

```
          12345678
←MSW7     00010000*
```

❿ [メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了する。

プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示に戻ります。

印刷可

```
ホッパ゜     A4ヨコ ポ゜ート
                 NPDL
```

メモリースイッチの内容

メモリースイッチは1か0を選択することによって、他のメニューと同じように様々な機能を設定することができます。メモリースイッチは1-1から10-8まであります(未使用のスイッチもあります)。表中の太文字は工場出荷時の設定を示しています。

メニューモードで設定できるメモリースイッチの内容

○:有効　×:無効

番号	機　能	0	1	ESC/Pモードでの動作	プロッターモードでの動作
1-1	各国文字の切り替え	3つのスイッチの1/0の組み合わせにより、5か国語の文字を切り替えます。(活用マニュアル参照) **すべて0(日本語)**		○	×
1-2					
1-3					
1-4	グレースケールの網点の切り替え*[1]	**粗い**	細い	×	×
1-5	DC1、DC3の有効/無効の切り替え	**有効**	無効	○	×
1-6	自動復帰改行の切り替え	**復帰改行**	復帰のみ	×	×
1-7	印刷指令の切り替え	**CRのみ**	CR+その他	×	×
1-8	CR機能の切り替え	**復帰のみ**	復帰改行	○	×
2-1	1バイト系コードのゼロの字体の切り替え	**0**	Ø	○	×
2-2	エミュレーションモードの切り替え	**201PLエミュレーション**	ページプリンター(NPDL)	×	×
2-3	グラフィックモードの切り替え	**ネイティブモード**	コピーモード	×	×
2-4～2-5	(未使用)			—	—
2-6	7ビット/8ビットデータの切り替え	**8ビット**	7ビット	×	×
2-7	A4ポートレート印刷桁数の切り替え	**78桁**	80桁	○	×
2-8	B4→A4縮小時の縮小率の切り替え	**4/5倍**	2/3倍	○	×
3-1	レフトマージン量の設定 または用紙位置微調整量の設定(136桁モード)	4つのスイッチの1/0の組み合わせにより、0インチから15/10インチまでの範囲で設定します。(1/10インチ単位)(活用マニュアルの7章参照) **すべて0(0インチ)**		○	×
3-2					
3-3					
3-4					
3-5	用紙位置微調整方向の設定(136桁モード)	**左**	右	○	×
3-6	用紙位置の設定(136桁モード)	**左端合わせ**	中央合わせ	○	×
3-7	136桁モードの有効/無効の切り替え	**無効**	有効	×	×
3-8	ブザー機能の有効/無効の切り替え	**有効**	無効	○	○
4-1	物理解像度の設定	2つのスイッチの1/0の組み合わせにより、1200dpi*[2]、600dpi、400dpiのいずれかを設定します。(活用マニュアルの7章参照) **600dpi**		○	○
4-2*[2]					
4-3	ESC c1での登録データを初期化する/しないの切り替え	**初期化する**	初期化しない	×	×
4-4	FFコードのみで白紙を出力する/しないの切り替え	**出力する**	出力しない	×	×
4-5	ランドスケープ方向の切り替え	**反時計回り**	時計回り	○	○
4-6～4-8	(未使用)			—	—

*[1] 解像度が600dpiの時のみ有効です。

*[2] MultiWriter 2350N/2350のみ有効です。

メニューモードで設定できるメモリースイッチの内容(続き)

○:有効　×:無効

番号	機　能	0	1	ESC/Pモードでの動作	プロッターモードでの動作
5-1	同期コードの無効／有効の切り替え*1	**無効**	有効	○	○
5-2〜5-8	(未使用)			−	−
6-1	SETを使用する／しないの切り替え	**使用する**	使用しない	○	○
6-2	メモリーオーバー時の動作指定	**停止する**	解像度を下げて印刷	○	○
6-3〜6-6	(未使用)			−	−
6-7	節電機能を使用する／しないの切り替え	**使用する**	使用しない	○	○
6-8	(未使用)			−	−
7-1	データストローブ信号のデータラッチタイミング［インタフェース1］	**前縁ラッチ**	後縁ラッチ	○	○
7-2	(未使用)			−	−
7-3				−	−
7-4	ホッパー2に装着した増設ホッパーの種類	**増設ホッパ(250)**	増設ホッパ(500)	○	○
7-5	ホッパー3に装着した増設ホッパーの種類	**増設ホッパ(250)**	増設ホッパ(500)	○	○
7-6	(未使用)			−	−
7-7	FS fコマンドでの指定用紙サイズなしを表示する／しないの切り替え	**表示する**	表示しない	×	×
7-8	FS fコマンドでの自動縮小をする／しないの切り替え	**自動縮小する**	自動縮小しない	×	×
8-1 8-2	ビジィアクノリッジ(BUSY−ACK)のタイミング［インタフェース1］(組み合わせとタイミングについては活用マニュアルの6章参照)	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、BUSY−ACKのタイミングを切り替えます。**タイミングA** (8-1:0、8-2:0)		○	○
8-3 8-4	アクノリッジ(ACK)の幅［インタフェース1］(組み合わせとタイミングについては活用マニュアルの6章参照)	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、ACKの幅を切り替えます。**1μs**(8-3:0、8-4:0)		○	○
8-5〜8-8	(未使用)			−	−
9-1	同期コード無効／有効の切り替え*1［インタフェース1］	**無効**	有効	○	○
9-2	(未使用)			−	−
9-3*4	ホッパー4に装着した増設ホッパーの種類	**増設ホッパ(250)**	増設ホッパ(500)	○	○
9-4	トレーモード*2	**無効**	有効	○	○
9-5	節電モードの選択*3	**節電モード0**	節電モード1	○	○
9-6〜9-8	(未使用)			−	−
10-1〜10-8	(未使用)			−	−

*1 本スイッチを変更した場合は、プリンターの電源を再投入してください。

*2 トレーモードについては次ページの「トレーモードについて」をご覧ください。

*3 節電モードの内容は以下のとおりです。

【MultiWriter 2850N/2850の場合】

節電モード0(9-5:0): 標準設定です。消費電力は30W以下です。

節電モード1(9-5:1): 節電モード0に比べ消費電力をより少なくなるモードです。消費電力は15W以下です。ウォームアップ時間は、21秒以下(室温20℃)になります。

【MultiWriter 2350N/2350/2150の場合】

節電モード0(9-5:0): 標準設定です。消費電力は20W以下です。

節電モード1(9-5:1): 節電モード0に比べ消費電力をより少なくなるモードです。消費電力は15W以下です。ウォームアップ時間は、15秒以下(室温20℃)になります。

*4 MultiWriter 2850N/2850のみ対応しています。

トレーモードについて

給紙先のMPと手差しを他のMultiWriterシリーズ(2200X系)*のトレー給紙と同じ動作にするためのモードです。他のMultiWriterシリーズ(2200X系)*用に作成したアプリケーションから、直接トレー指定コマンドを発行している場合、トレーモードを有効にすることで他のMultiWriterシリーズ(2200X系)*と同様にお使いいただけます。動作の詳細は添付のCD-ROMに収録されている活用マニュアル7章の「メモリースイッチの内容」をご覧ください。

* MultiWriter 2200X、MultiWriter 2200X2、MultiWriter 2200XE、MultiWriter 2000X2、MultiWriter 2050、MultiWriter 2650、MultiWriter 2250、MultiWriter 2650E、MultiWriter 2650M、MultiWriter 2250H

メニューツリー

次にメニューモードを図式的に表したメニューツリーを示します。（下線部分は出荷時の設定値です。）
「＊」で示す補足的な説明は117ページにあります。

A
リョウメンインサツメニュー
初期設定：OFF／ON
綴じ代　：ロング1、ショート1、
ロング2、ショート2
余白　：0mm ～ 20mm
クリップ：OFF／ON
ウンヨウメニュー
セツデンキノウ *9
無効、有効
セツデンジカン　セッテイ *10
5分 ～ 10分 ～ 90分
オンドセイギョキノウ *11
OFF/ON
ジドウ　ハイシュツ
無効、5秒、15秒、30秒
メモリ　セッテイ *12
標準、電子ソート優先
カイゾウド　セッテイ *13
400dpi、600dpi、1200dpi
プロッタ　シュクショウ
無効、有効
フォントメニュー
1バイト系ゼロ*14：0、Ø
2バイト系ゼロ　：0、Ø
ANK：標準、イタリック、クーリエ、ゴシック
漢字：明朝、ゴシック
文字セット：JIS1978、JIS1983、JIS1990
国別*15：日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、
スウェーデン
ドウサメニュー
ドウサエミュレーション
インタフェース1　：NPDL、ESC/P、プロッタ
インタフェース2*2：NPDL、ESC/P、プロッタ
USB：NPDL、ESC/P、プロッタ
ドウサジドウ　キリカエ
インタフェース1　：OFF／ON
インタフェース2*2：OFF／ON
USB：OFF／ON
タイムアウト*16：5秒、15秒、30秒
NPDLセッテイメニュー
A4ポートレート　ケタスウ *17
78桁／80桁
エミュレーション *18
201エミュレーション／ページプリンターモード
136ケタモード　セッテイ *19
136桁モード*20：無効／有効
用紙位置*21　：左／中央
微調整*22　：0 ～ 左15 ～ 右15
プロッタセッテイメニュー
ペンハバ　セッテイ
ペン1：0.1mm ～ 2.0mm
≀
ペン8：0.1mm ～2.0mm
ゲンテンイチ　セッテイ
左下／中央
ニンイスケール　セッテイ
10% ～ 100% ～ 200%
カイテンカクド　セッテイ
0° ～ 270°
センタンケイジョウセッテイ
なし、四角、三角、丸
セツゾクケイジョウ
なし、マイタ、マイタベベル、三角、丸、ベベル
マイタリミット　セッテイ
なし、1.0倍～5.0倍
B
C

B
C
SPコマンド　ハイシュツ
OFF／ON
ミラー　セッテイ
OFF／ON
オーバレイ　セッテイ
OFF／ON
NRコマンドドウサ
オンライン／オフライン
カルーゼルバンゴウ
1～5
カクチョウモード
無効／有効
I／Fセッテイメニュー
インタフェース1　セッテイ
双方向設定*23 ：ニブル、ECP、なし
IPアドレスI/F1*24 ：011.022.033.044
サブネットマスクI/F1*24：255.000.000.000
インタフェース2　セッテイ *2
IPアドレスI/F2*28 ：011.022.033.044
サブネットマスクI/F2*28：255.000.000.000
ゲートウェイアドレス ：000.000.000.000*25
DHCP ：OFF／ON
ネットワーク名*26 ：NECPRWRGRP
ネットワークタイプ*26：ピアツーピアグループ、
アクセスポイント、
レジデンシャルG/W
アクセスセイゲン ：OFF/ON*25
セッテイショキカメニュー
メニューショキカジッコウ
LANショキカ　ジッコウ *2
ゼンショキカ　ジッコウ *2
ヨビダシ　ジッコウ
キオク　ジッコウ
メモリスイッチメニュー
MSW1： 00000000
MSW2： 00000000
MSW3： 00000000
MSW4： 00000000
MSW5： 00000000
MSW6： 00000000
MSW7： 00000000
MSW8： 00000000
MSW9： 00000000
MSW10： 00000000

＊1　MultiWriter 2350N/2350/2150でのみ表示され、設定されている用紙がA4のときのみ表示されます。

＊2　MultiWriter 2850/2350/2150は[インタフェース2]のLANボード用スロットにオプションのLANボード(TCP/IP)(型番 PR-NP-04T)、または無線LANボード(型番 PR-WL-12)を取り付けている場合のみ表示されます。

＊3　装着されているホッパーのみ表示されます。ホッパーを増設していない場合は“ホッパ1”が“ホッパ”と表示されます。“ホッパ4”は、MultiWriter 2850N/2850で増設ホッパーを3段装着している場合に表示されます

＊4　“ホッパ　リレー”はホッパーを増設していないとき表示されます。MultiWriter 2850N/2850で表示されるホッパ1～4、MulltiWriter 2350N/2350/2150で表示されるホッパー1～3はオプションの増設ホッパーを装着している場合に表示されます。

＊5　ホッパーを増設していないときのみ表示されます。

＊6　オプションの増設ホッパーを1段以上装着しているときのみ表示されます。

＊7　オプションの増設ホッパーを1段以上装着しているときのみ表示されます。MSW7-4＝1で500枚用の値を表示・設定し、MSW7-4＝0で250枚用の値を表示・設定します。

＊8　オプションの増設ホッパーを2段以上装着しているときのみ表示されます。MSW7-5＝1で500枚用の値を表示・設定し、MSW7-5＝0で250枚用の値を表示・設定します。

＊9　MSW6-7と同期します。

＊10　「運用メニュー」の「節電機能」が有効のときのみ表示されます。

＊11　MultiWriter 2350N/2350のみ表示されます。

＊12　メモリーを増設すると、工場設定値が「電子ソート優先」に変わります。

＊13　MSW4-1、MSW4-2と同期します。1200dpi(47.2ドット/mm)はMultiWriter 2350N/2350でのみ有効です。

＊14　MSW2-1と同期します。

＊15　MSW1-1～MSW1-3と同期します。

＊16　動作自動切り替えで、いずれかのインターフェースの設定がONのときのみ表示されます。

＊17　MSW2-7と同期します。

＊18　MSW2-2と同期します。

＊19　201エミュレーションモード時のみ表示されます。

＊20　MSW3-7と同期します。

＊21　136ケタモードが有効のときのみ表示されます。MSW3-6と同期します。

＊22　136ケタモードが有効のときのみ表示されます。MSW3-1～MSW3-5と同期します。

＊23　「双方向設定」の変更を有効にするためには、プリンターの電源を再投入する必要があります。

＊24　オプションの対応するLANアダプターが装着されていて、「インターフェース設定メニュー」の「双方向設定」が「ECP」に設定されているときのみ表示されます。

＊25　MultiWriter 2850N/2850のみ表示されます。

＊26　無線LANボード(型番 PR-WL-12)を取り付けている場合のみ表示されます。

＊27　MultiWriter 2850N/2850でオプションの増設ホッパーを3段装着しているときのみ表示されます。MSW9-3＝1で500枚用の値を表示・設定します、MSW9-3＝0で250枚用の値を表示・設定します。

＊28　DHCPがONの場合はDHCPで取得したアドレスが表示されます。この時、IPアドレスとサブネットマスク、ゲートウェイアドレスの入力はできません。

リレー給紙の設定

リレー給紙とは、印刷を行っている時に給紙先の用紙がなくなった場合に用紙がセットされている別の給紙先に自動的に切り替える機能です。この機能を利用するためには同じサイズの用紙がホッパー、MPもしくは増設ホッパーにセットされていて、プリンターのリレー給紙設定を有効にする必要があります。

また、A4用紙サイズをセットした場合は用紙のセット方向を同じにする必要があります。

リレー給紙機能を使うには次のステップで設定する必要があります。

Step 1　リレー給紙を有効にする
Step 1　給紙方法を設定する

Step 1　リレー給紙を有効にする

リレー給紙を有効にするために、プリンターの設定を行います。

❶ **メニューモードに入る。**

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して“テストメニュー　→”を表示させます。

❷ **操作パネルの[▼]スイッチ、[▶]スイッチ、[設定変更]スイッチを押して、“ヨウシメニュー”の“リレーキュウシ”をONにする。**

詳しくは、「メニューツリー」(114〜117ページ)をご覧ください。

リレー給紙させるホッパーまたはMPすべての“リレーキュウシ”をONにしてください。

リレーキュウシ　セッテイ
←ホッパ　　リレー　　ON＊

❸ **[メニュー終了]スイッチを押す。**

❹ **設定が終わったら、リレー給紙を有効にしたホッパーまたはMPの用紙サイズ、用紙の種類、用紙のセット方向が同じになっているか確認する。**

Step 2　給紙方法を設定する

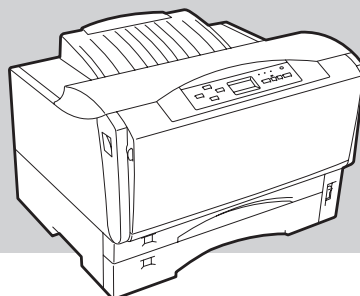
印刷を開始するときに[給紙方法]で[自動]を選択します。

❶ **プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの[用紙]シートを開く。**

❷ **ホッパーの給紙方法が[自動]になっていることを確認する。**

プリンタードライバーの給紙方法を確認するには、5章の「印刷の詳細設定」(127ページ)を参照してください。

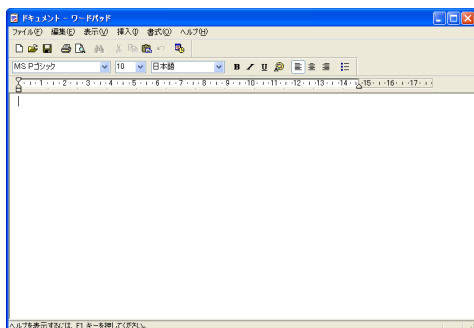
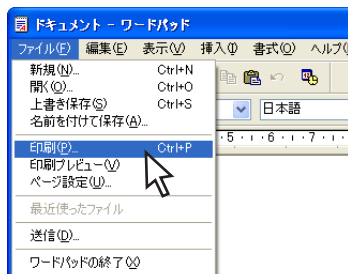
❸ **[印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、[OK]をクリックして印刷する。**

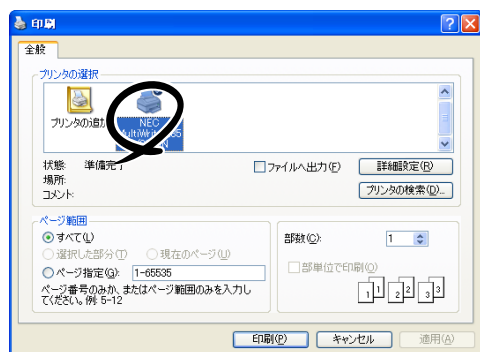
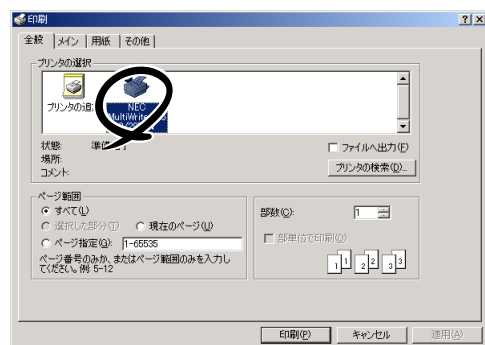
5章
印刷するには

この章では、アプリケーションから印刷する手順、および定形外用紙に印刷する手順を説明します。また、MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150のもつ便利な機能を紹介します。

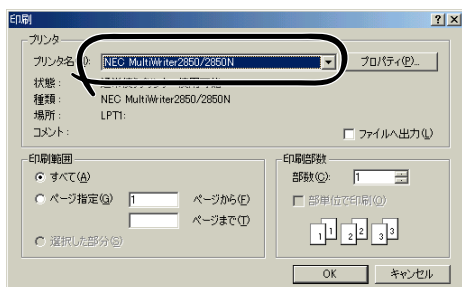
印刷手順

アプリケーションから印刷する

ここでは、Windows XPに付属されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって一般的な印刷手順について説明します。Windows Me/98/95/2000、およびWindows NT 4.0の場合は多少画面の表示が異なりますが基本的な操作は同じです。

❶ スタートメニューからワードパッドを起動し、印刷したいデータを開く。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

❸ [印刷]ダイアログボックスの[プリンタの選択]に[NEC MultiWriter2850/2850N]が選択されていることを確認する。

選択されていなければ、[プリンタの選択]から[NEC MultiWriter2850/2850N]を選択してください。

Windows XP

Windows 2000

Windows Me/98/95/NT 4.0の場合は、[プリンタ名]から[NEC MultiWriter2850/2850N]を選択してください。

Windows Me/98/95/NT 4.0

❹ 必要に応じてプロパティダイアログボックスで印刷の詳細を設定する。

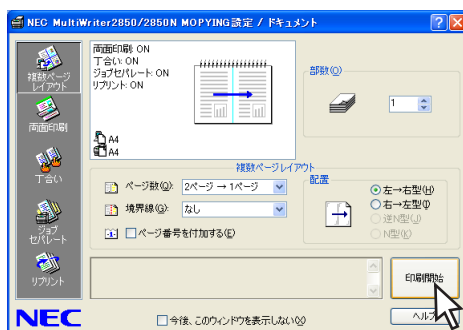
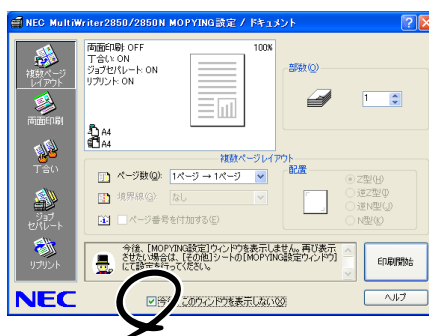
プロパティダイアログボックスの開き方については次ページをご覧ください。

❺ ページ範囲と印刷部数を指定して、[OK]をクリックする。

[MOPYING設定ウィンドウを表示する]が設定されている場合は、この後MOPYING設定ウィンドウが表示されます。次の手順に進んでください。

設定されていない場合は、印刷が開始されます。

❻ [MOPYING設定ウィンドウを表示する]が設定されている場合は、複数ページレイアウト印刷、両面印刷などを設定し、[印刷開始]をクリックする。

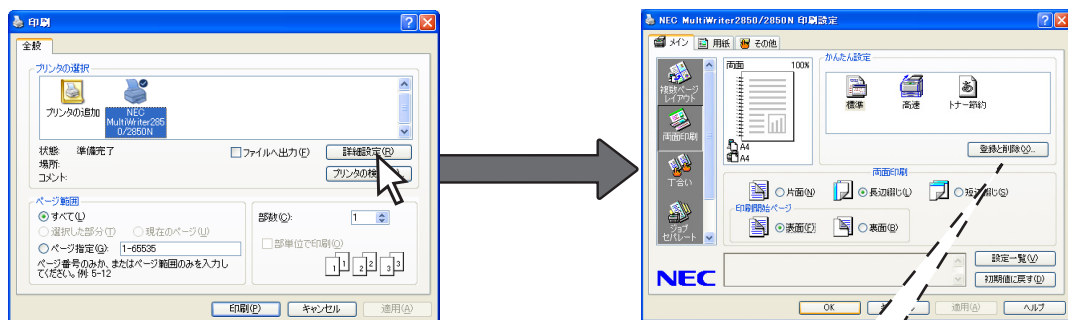
印刷が開始されます。

MOPYING設定ウィンドウは、アプリケーションから印刷を行うごとに表示されます。表示する必要がない場合は、「今後このウィンドウを表示しない」をチェックしてください。

印刷の詳細設定(プロパティダイアログボックスの開き方)

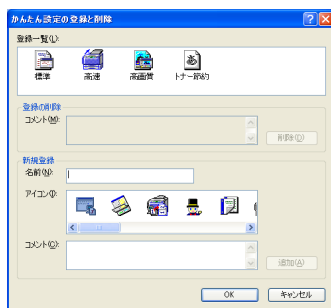
印刷の詳細設定はプロパティダイアログボックスで行います。設定内容などの詳細については各プロパティダイアログボックスのヘルプをご覧ください。以下は、アプリケーションメニューからプロパティダイアログボックスを開いた例です。

各OSとも、プロパティダイアログボックスはアプリケーションのメニューから開く方法と[プリンタとFAX]フォルダー*から開く方法があります。

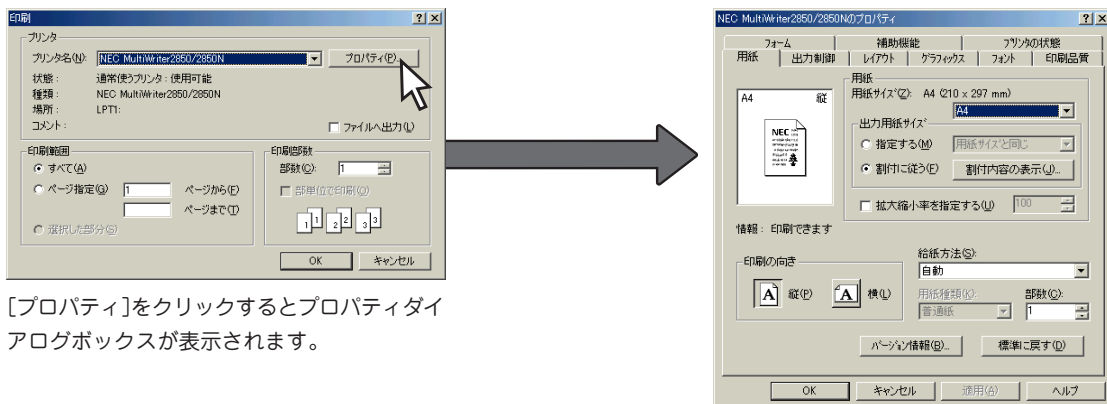
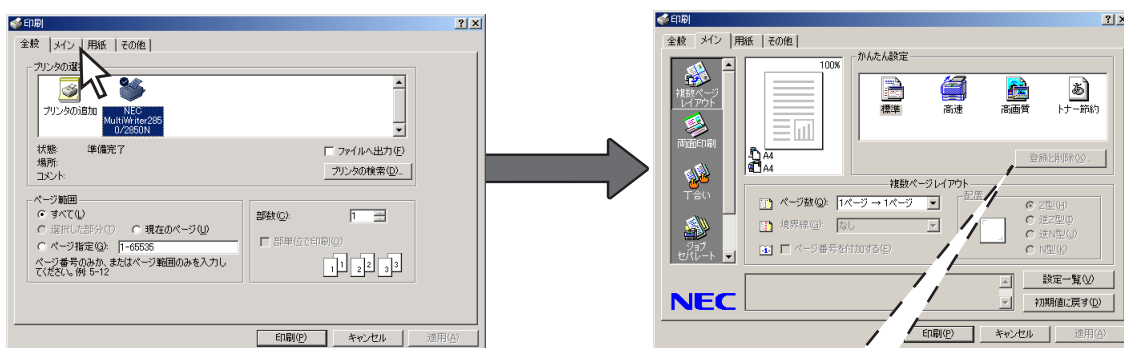
アプリケーションメニューから開いた場合は、一般的にそのアプリケーションでのみ有効な設定になります。また、[プリンタとFAX]フォルダー*から開いた場合は、すべてのアプリケーションの基本設定になります。

*　Windows XP以外の場合は、[プリンタ]フォルダー

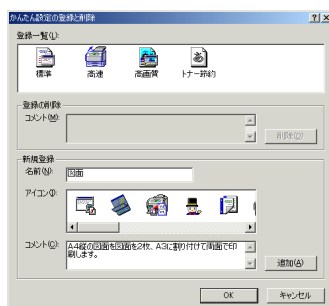
Windows XPの場合

[詳細設定]をクリックするとプロパティダイアログボックスが表示されます。

[かんたん設定の登録と削除]ダイアログボックス

[プリンタとFAX]フォルダーからプロパティダイアログボックスを開いた場合に、[メイン]シートの[登録と削除]ボタンをクリックすると「かんたん設定」の登録が行えます。「かんたん設定」とは、よく使う印刷設定をあらかじめ登録しておける機能です。詳細は活用マニュアルまたはヘルプをご覧ください。

Windows Me/98/95の場合

[プロパティ]をクリックするとプロパティダイアログボックスが表示されます。

Windows 2000/NT 4.0*の場合

各シートをクリックして設定します。

* Windows NT 4.0の場合は印刷のダイアログ画面イメージが多少異なります。

[かんたん設定の登録と削除]ダイアログボックス

[プリンタ]フォルダーからプロパティダイアログボックスを開いた場合に、[メイン]シートの[登録と削除]ボタンをクリックすると「かんたん設定」の登録が行えます。「かんたん設定」とは、よく使う印刷設定をあらかじめ登録しておける機能です。詳細は活用マニュアルまたはヘルプをご覧ください。

MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する

MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150のプリンタードライバーには、より快適にMOPYINGするために、MOPYING設定ウィンドウがあります。MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する場合は以下の手順を行ってください。

Step 1　MOPYING設定ウィンドウを有効にする
Step 2　MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する

MOPYING設定ウィンドウは一部のアプリケーションにのみ対応しています。対応アプリケーションや使用する際の注意事項などについては、プリンタードライバーのヘルプ、または添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている「¥MW2850N¥Disk1¥Drivers.txt」をお読みください。

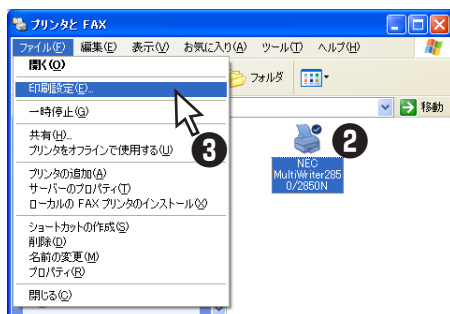
Step 1　MOPYING設定ウィンドウを有効にする

❶ **[プリンタとFAX]フォルダーを開く。**

Windows XP以外の場合は、[プリンタ]フォルダーを開きます。

❷ **[NEC MultiWriter2850/2850N]アイコンをクリックする。**

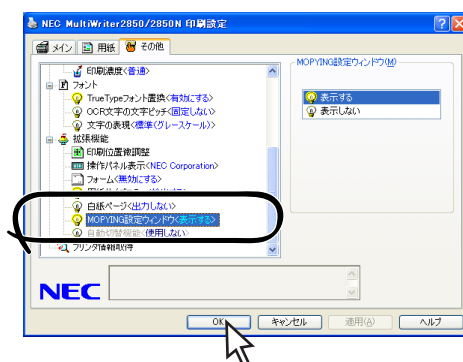
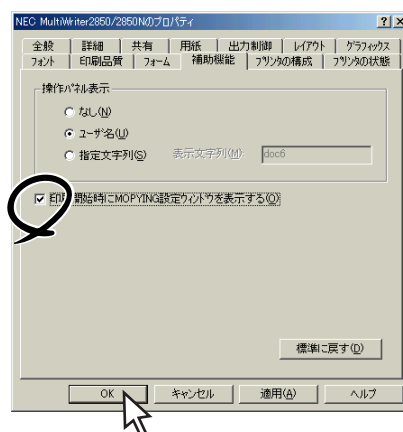
❸ **[ファイル]メニューの[印刷設定]*をクリックする。**

プロパティダイアログボックスが表示されます。

*　Windows Me/98/95の場合は[プロパティ]
　Windows NT 4.0の場合は[ドキュメントの既定値]

❹ **MOPYING設定を有効にする。**

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

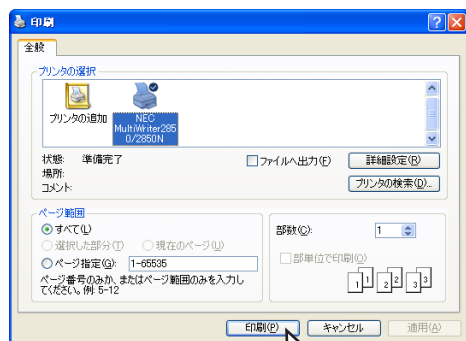
[その他]シートをクリックします。
[拡張機能]の下の[MOPYING設定ウィンドウ]を選び[表示する]を選択し、[OK]をクリックします。

<Windows Me/98/95の場合>

[補助機能]シートを開きます。[印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する]をチェックし、[OK]をクリックします。

Step 2　MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する

❶ アプリケーションの[ファイル]メニューで[印刷]をクリックし、[印刷]ダイアログボックスを開く。

❷ [印刷]ダイアログボックスの[印刷]をクリックする。

MOPYING設定ウィンドウが表示されます。

❸ 複数ページレイアウト印刷、両面印刷などの設定をし、[印刷開始]をクリックする。

印刷が開始されます。

設定を解除する

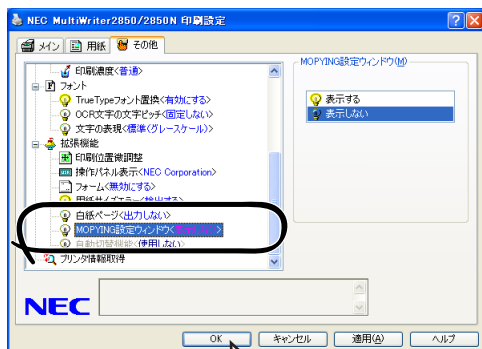
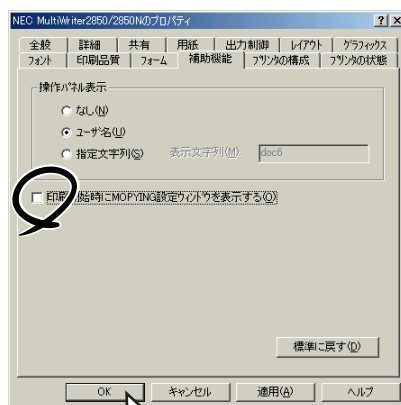
MOPYING設定ウィンドウの表示を無効にする手順を説明します。

❶ 127ページの手順❶～❸を行い、プロパティダイアログボックスを開く。

❷ MOPYING設定を解除する。

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

[その他]シートをクリックします。
[拡張機能]の下の[MOPYING設定ウィンドウ]を選び、[表示しない]を選択し、[OK]をクリックします。

<Windows Me/98/95の場合>

[補助機能]シートを開きます。[印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する]のチェックを外し、[OK]をクリックします。

チェック

この手順以外でもMOPYING設定ウィンドウが表示されているときに、[今後、このウィンドウを表示しない]をチェックすることにより、MOPYING設定を無効にすることができます。

定形外用紙に印刷する

定形外用紙(ユーザー定義サイズ)の用紙に出力するには、以下の手順を行ってください。
Step 2およびStep 3は、OSごとに説明します。

Step 1　定形外用紙をセットする(詳細は3章を参照してください。)
Step 2　ユーザー定義サイズを設定する
Step 3　ユーザー定義サイズで印刷する

MP、手差しに定形外の用紙をセットする場合はあらかじめ使用できる用紙の種類、用紙サイズを確認しておいてください。(用紙については付録の「用紙の規格」をご覧ください。)

プリンターにセットできる用紙サイズは、幅100～297mm、高さは148～420mmです。

Step 1　定形外用紙をセットする

<MPにセットする場合>

❶ **MPカセットに用紙をセットする。**

手順は、3章の「MPに用紙をセットする」(89ページ)を参照してください。

❷ **MPカセットの用紙サイズ設定ダイヤルを「＊」(アスタリスク)に設定する。**

このとき、操作パネルの[MP]スイッチによる用紙サイズ設定は必要ありません。設定は無効になります。

<手差しにセットする場合>

❶ **手差しに用紙をセットする。**

手順は、3章の「手差しに用紙をセットする」(92ページ)を参照してください。

❷ **操作パネル上の[手差し]スイッチで給紙先を「手差し」にする。**

このとき、操作パネルの[手差し]スイッチによる用紙サイズ設定は必要ありません。設定は無効になります。

Step 2　ユーザー定義サイズを設定する

定形外用紙の用紙サイズをユーザー定義サイズとして、次の手順で設定します。各OSごとに説明します。

- Windows XP/2000/NT 4.0の場合、複数の用紙サイズ(ユーザー定義サイズ)を追加することができます。設定できる用紙サイズは幅100～597mm、高さは148～840mmです。詳しくはOSのヘルプを参照してください。
- Windows Me/98/95の場合、設定できる用紙サイズ(ユーザー定義サイズ)は一種類のみです。設定できる用紙サイズは幅100～297mm、高さは148～420mmです。

各OSとも、プロパティダイアログボックスはアプリケーションのメニューから開く方法と[プリンタとFAX]フォルダー*から開く方法があります。

アプリケーションメニューから開いた場合は、一般的にそのアプリケーションでのみ有効な設定になります。また、[プリンタとFAX]フォルダー*から開いた場合は、すべてのアプリケーションの基本設定になります。

*　Windows XP以外は[プリンタ]フォルダー

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

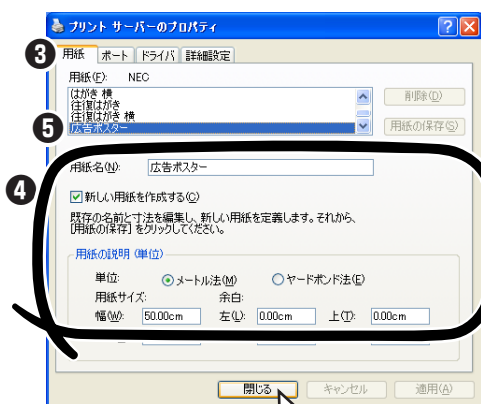
❶ [プリンタとFAX]フォルダーを開く。

Windows XP以外の場合は、[プリンタ]フォルダーを開きます。

❷ [ファイル]メニューから[サーバーのプロパティ]をクリックする。

❸ [用紙]シートを開く。

❹ [新しい用紙を作成する]をチェックして、任意の用紙名、用紙サイズを入力し、[用紙の保存]をクリックする。

❺ ボックスに新規作成した用紙名が追加されたことを確認して[閉じる]をクリックする。

Windows XP/2000

Windows NT 4.0

これで新しい用紙サイズが追加されました。

<Windows Me/98/95の場合>

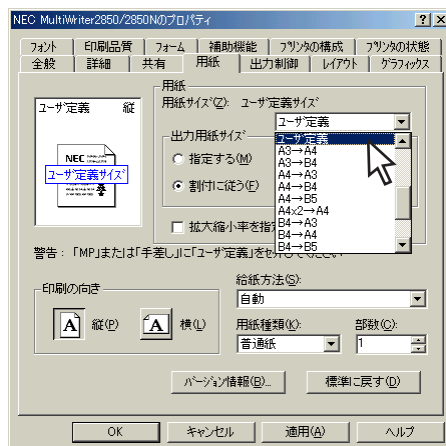
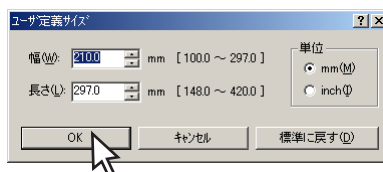
❶ [プリンタ]フォルダーを開く。

❷ 使用するプリンターのアイコンをクリックする。

❸ [ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックする。

[プロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

❹ [用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから[ユーザ定義]を選ぶ。

- [ユーザ定義サイズ]を選択すると給紙方法で[ホッパ]は選択できません。
- 坪量81.4g/m²(連量70kg)を越える用紙の場合[用紙種類]ボックスで[厚紙]を指定してください。

❺ 用紙の[幅]と[長さ]を入力し、[OK]をクリックする。

❻ [OK]をクリックし、[プロパティ]ダイアログボックスを閉じる。

これでユーザー定義の用紙サイズが設定できました。

Step 3　ユーザー定義サイズで印刷する

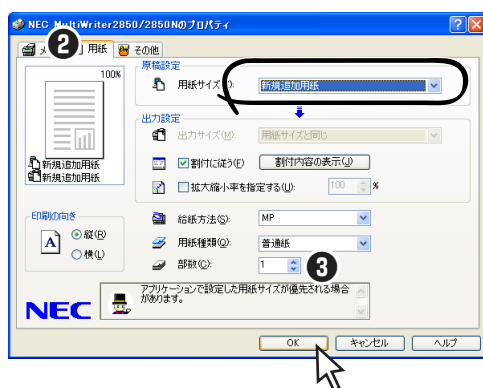
＜Windows XP/2000/NT 4.0の場合＞

❶ **アプリケーションの[ファイル]メニューで[印刷]をクリックし、[印刷]ダイアログボックスを開く。**

アプリケーションによっては、この手順後に[印刷]ダイアログボックスの[詳細設定]または、[プロパティ]をクリックします。

❷ **[用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから、Step2で追加した用紙サイズを選択する。**

✔チェック

- [ユーザ定義サイズ]を選択すると給紙方法で[ホッパ]は選択できません。
- 坪量81.4g/m²(連量70kg)を越える用紙の場合[用紙種類]ボックスで[厚紙]を指定してください。

❸ **印刷部数を指定し、[印刷](または[OK])をクリックする。**

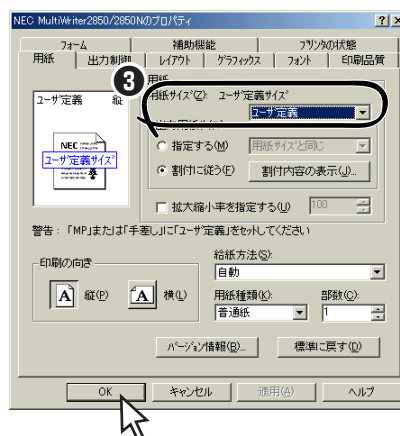
＜Windows Me/98/95の場合＞

❶ **アプリケーションの[ファイル]メニューで[印刷]をクリックし、[印刷]ダイアログボックスを開く。**

❷ **[プロパティ]をクリックする。**

❸ **[用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから、[ユーザ定義サイズ]を選択する。**

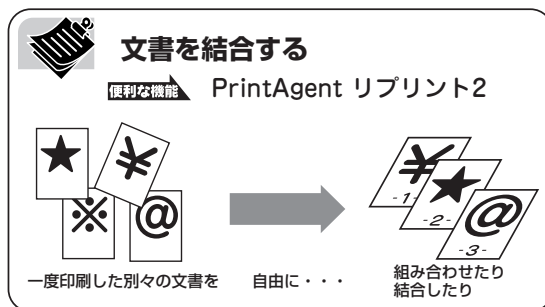
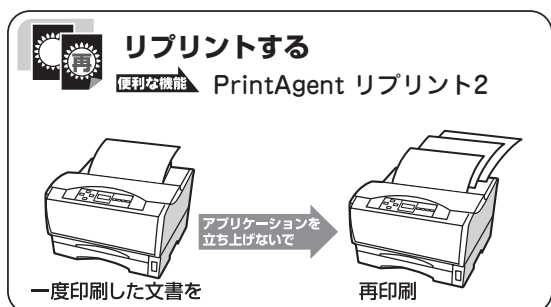
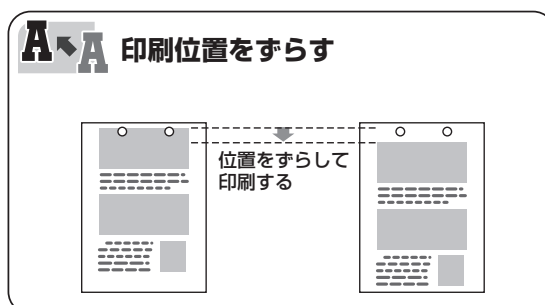
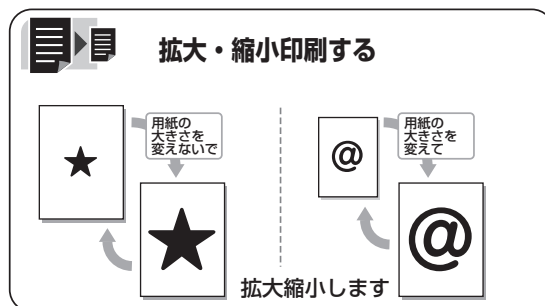
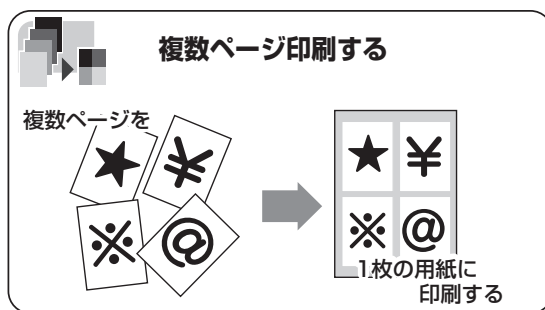
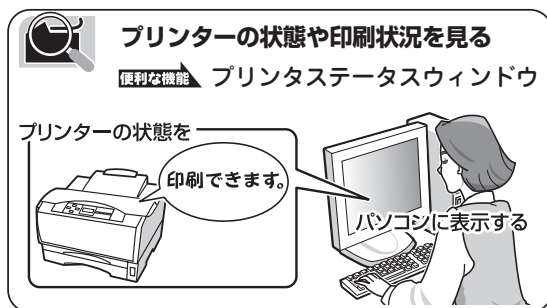
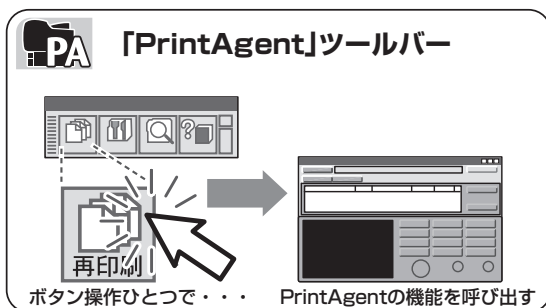
✔チェック

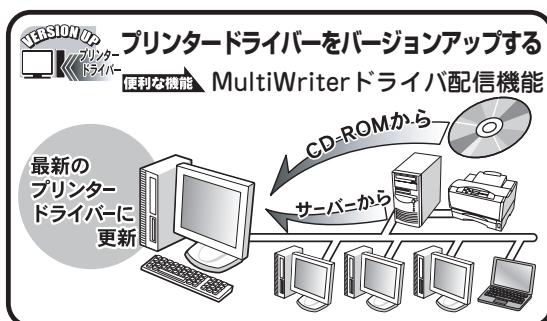
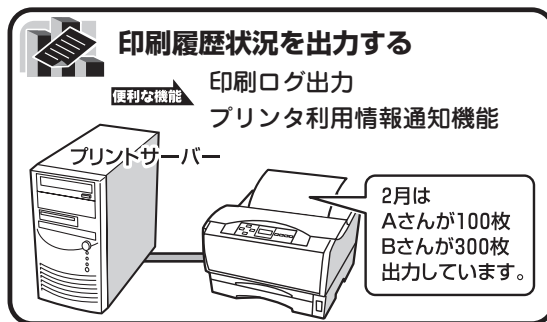
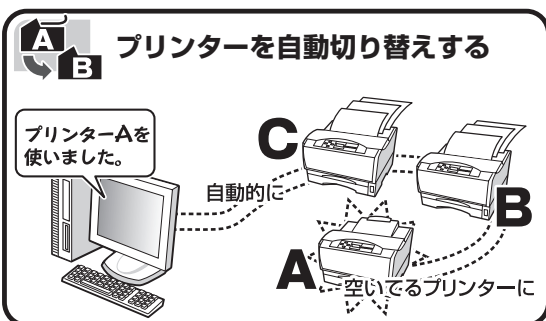
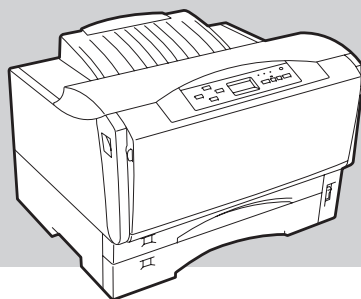
- [ユーザ定義サイズ]を選択すると給紙方法で[ホッパ]は選択できません。
- 坪量81.4g/m²(連量70kg)を超える用紙の場合[用紙種類]ボックスで[厚紙]を指定してください。

❹ **[ユーザ定義サイズ]ダイアログボックスで[幅]と[長さ]を確認し、[OK]をクリックする。**

❺ **印刷部数を指定し、[OK]をクリックする。**

機能の紹介

前に説明した以外にもMultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150にはいろいろな機能があります。様々な機能を組み合わせてMOPYINGしたり、ネットワーク環境でMultiWriterを一元管理することなどができます。ここではその便利な機能について紹介します。

各機能の詳細、および設定方法については添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルまたはヘルプをご覧ください。

以下に記載した項目は、ネットワーク環境でMultiWriterを使用するときに便利な機能です。MultiWriterを一元管理することができます。

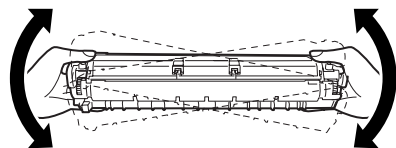
5 印刷するには

6章
日常の保守

この章では、日常の保守として消耗品の交換およびプリンターの清掃について説明します。清掃は、MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150を正しく動作させるために定期的に行うことをお勧めします。

EPカートリッジの交換

ディスプレイが“76　トナーナシ　ＥＰコウカン”または“89　ＥＰジュミョウ　ＥＰコウカン”と表示し、トナーランプが点灯したら、EPカートリッジの交換時期です。

ディスプレイが“89　ＥＰジュミョウ　ＥＰコウカン”と表示した場合、EPカートリッジを速やかに交換してください。

交換する前に

ディスプレイが“76　トナーナシ　ＥＰコウカン”と表示した場合、交換する前に使用中のEPカートリッジをプリンターから取り出し、トナーが均一になるようにゆっくりと振ってください。取り出し方については「EPカートリッジの交換手順」(133ページ)を参照してください。

EPカートリッジを激しく振ると、落下やOPCドラムにキズがつくおそれがあります。

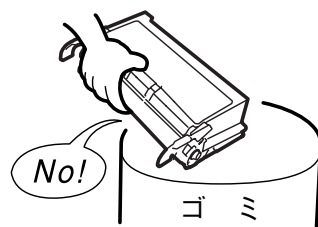
保護シャッターを留めているテープをはがさず、EPカートリッジの取っ手を持たないよう、図のように両端部を軽く持ってゆっくり振ってください。

もう一度セットしてトナーランプが消灯すれば、まだしばらく、そのEPカートリッジを使用することができます。それでもトナーランプが点灯したままなら、新しいEPカートリッジに交換します。
トナーランプ点灯前でも、印刷が薄くなったり、部分的に印刷が抜けるような場合はEPカートリッジを取り出してゆっくり振り、トナーを均一にしてください。

EPカートリッジの回収と購入

回収について

ご使用済みのNEC製EPカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しております。

ご使用済みのNEC製EPカートリッジは捨てずに、EPカートリッジ回収センタに直接お送りいただくか、お買い上げの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設までお持ち寄りください。なお、その際はEPカートリッジの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。

- EPカートリッジ回収に関するホームページ

  「ECOLOGY & TECHNOLOGY」

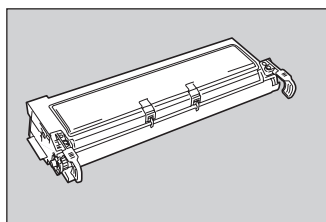
  URL：http://www.nec.co.jp/eco/ja/recycle/ep_recycle.html

購入について

新しいEPカートリッジは、本プリンターをお買い求めになった販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設などでお求めになれます。

プリンターによって、使用できるEPカートリッジが異なります。他の製品に対応したEPカートリッジでは代用できません。お買い求めの際には次の「EPカートリッジの種類」をよくご覧になり、ご使用のプリンターに対応したEPカートリッジをお選びください。

EPカートリッジの種類

MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150でお使いになれるEPカートリッジは以下のとおりです。ご購入時に添付されているEPカートリッジは、MultiWriter 2850N/2850の場合は、PR-L2800-11（相当品）また、MultiWriter 2350N/2350/2150の場合は、PR-L2300-11（相当品）です。

EPカートリッジ		対応しているプリンター	
型番	印刷可能ページ数	MultiWriter 2850N/2850	MultiWriter 2350N/2350/2150
PR-L2800-11	約6,000枚	○	×
PR-L2800-12	約14,000枚	○	×
PR-L2300-11	約6,000枚	×	○
PR-L2300-12	約12,000枚	×	○

チェック

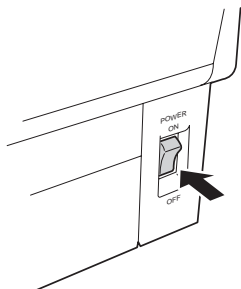
- 各EPカートリッジの1個あたりの印刷可能ページ数はA4用紙サイズに画像面積比5%の印刷を行ったときの値です。（134ページ参照）
- 印刷用紙サイズ、画像面積比、印刷濃度設定などの印刷に関する設定の要因によって、印刷可能ページ数は異なります。

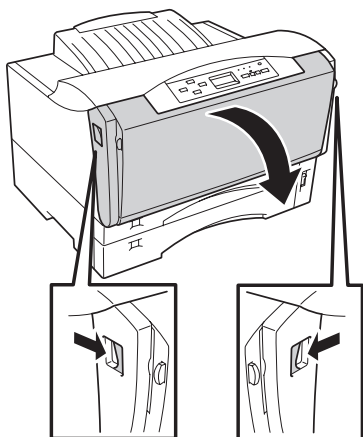
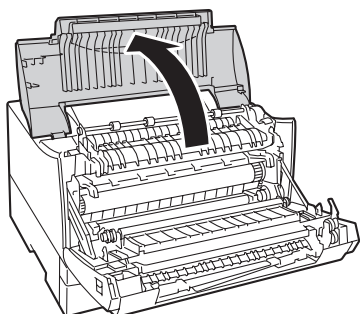
EPカートリッジの交換手順

⚠注意

- 電源スイッチをOFFにした直後は、定着ユニット周辺、プリンター内部の金属部、およびEPカートリッジの取っ手は高温になっている場合があります。火傷をするおそれがありますので、十分に冷めてから取り扱ってください。
- EPカートリッジを絶対に火の中に投げ入れないでください。残留しているトナーの粉じん爆発により、やけどをするおそれがあります。

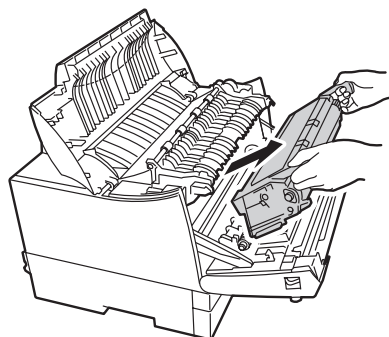
❶ 電源スイッチをOFFにする。

電源ランプが消灯します。

❷ 左右のフロントユニット開閉レバーを押しながら手前に引いて、フロントユニットをゆっくり開ける。

フロントユニットが開いて止まります。

❸ トップカバーの左右を持ち、ゆっくり開ける。

❹ 左右の取っ手を図のように持ち、使い終わったEPカートリッジを引き出す。

EPカートリッジは、手前に引き出せば簡単に取り出せます。

重要

トナーで手や衣服を汚さないように気をつけてください。万一、トナーが手や衣服についた場合は、水で洗い流してください。

NEC製EPカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能部品は再利用しております。EPカートリッジの回収については132ページをご覧ください。

❺ 新しいEPカートリッジを1章の「5　EPカートリッジを取り付ける」(22ページ)に従って取り付ける。

❻ 電源スイッチをONにする。

❼ テスト印刷を実行する。

1章の「8　テスト印刷をする」(27ページ)に従って印刷が正しく行われることを確認してください。

EPカートリッジの寿命

MultiWriter 2850N/2850に添付されているEPカートリッジ(PR-L2800-11相当品)の寿命は、A4用紙で画像面積比率(1ページ中の黒い部分の面積と印刷範囲の面積との比率)約5%の連続印刷を行ったとき、約6,000枚(PR-L2800-11使用時も同等)になります。また、PR-L2800-12使用時は約14,000枚になります。

また、MultiWriter 2350N/2350/2150に添付されているEPカートリッジ(PR-L2300-11相当品)の寿命は、A4用紙で画像面積比率(1ページ中の黒い部分の面積と印刷範囲の面積との比率)約5%の連続印刷を行ったとき、約6,000枚(PR-L2300-11使用時も同等)になります。また、PR-L2300-12使用時は約12,000枚になります。

以下は、画像面積比率約5%を目安とした文書例です。

EPカートリッジの寿命について

本プリンタの消耗品の「EP カートリッジ」には寿命６０００枚（A4、画像面積比5%）のものがあります。

ここで画像面積比５％の意味及びEP カートリッジの寿命について説明します。
従来、シリアル系ドットインパクトプリンタ、熱転写プリンタ等においては、消耗品であるインクリボンの寿命は「何文字」という表現をしていました。これに対し、本プリンタの様なページプリンタにおいては、「何枚」という単位で表現されています。
この様に、表現が「文字数」から「枚数」に変化した理由は、
① ページプリンタにおいては、処理の単位がページ単位であること。
② ①にも関連して、グラフィック等、文字数では十分把握できない様な印刷を行うケースが増えてきている。
の２つが考えられます。

EPカートリッジの寿命を決定するものの１つに、そのEPカートリッジ内部に収納されているトナーの量があります。トナーをすべて消費してしまえばEP カートリッジの寿命となります。(これは従来のインクリボンにおいてインクがなくなるまでをリボンの寿命と呼んだのと同じことです)。

従って「枚数」で寿命と考えるときは、１ページの中でどれくらいのトナーを消費しているかということが問題となります。

１ページ中の印刷領域(印刷用紙の上下左右端から各々5mmの部分を除く領域)に黒い部分がどの位の割合であるか表したものが画像面積比です。　１ページの中に印刷が全くない状態が０％、印刷領域全域が真っ黒にすべてのドットを埋め尽くした状態が１００％です。
この画像面積比によりカートリッジの寿命は長くも短くもなります。このことから「画像面積比何%のときに寿命が何枚」という表現をします。従って、印刷する内容の画像面積比が５％より高い場合、６０００枚印刷する前にEP カートリッジの寿命となる場合があります。

なお、この印刷サンプルが画像面積比約５ % 相当の目安となります。

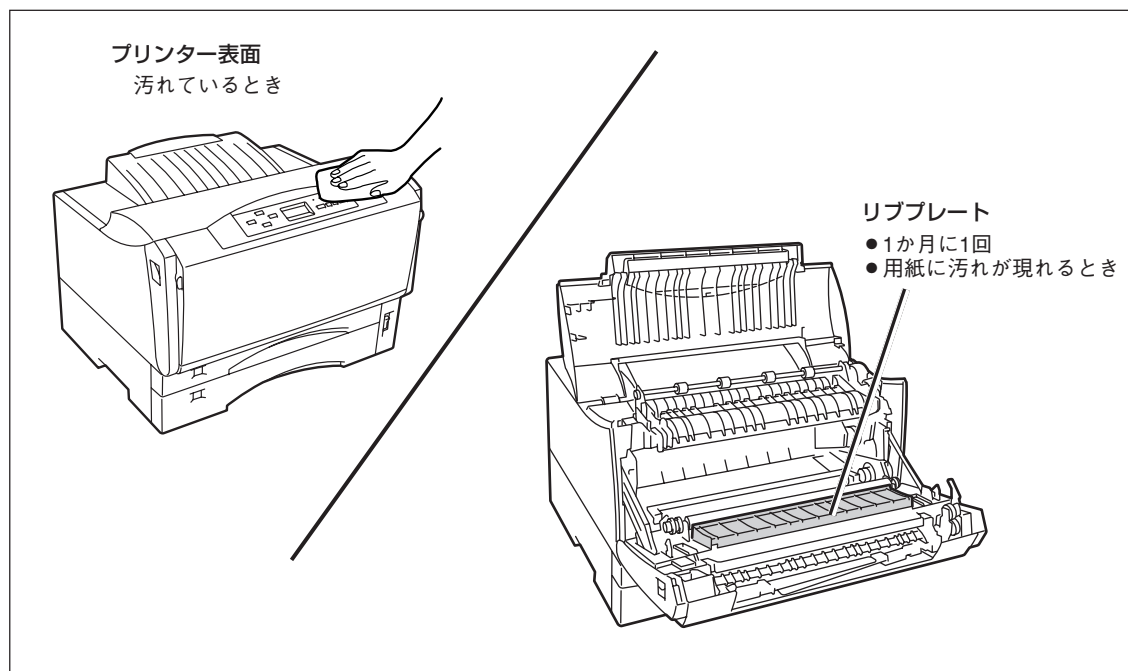
画像面積比5%の印刷例

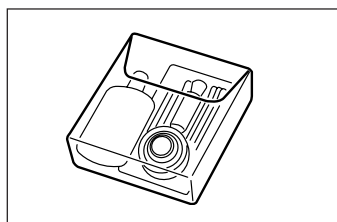
- EPカートリッジの寿命は画像面積比率、印刷用紙サイズ、両面印刷などの印刷条件によって異なります。
- 画像面積比率は、お使いのコンピューターの環境(OS、アプリケーション、使用フォントなど)により変化します。

清　掃

MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150を正しく動作させるためには、図に示す箇所を定期的に、あるいは必要に応じて清掃することをお勧めします。

清掃箇所と清掃時期

清掃する箇所と清掃時期について示します。

清掃には、糸くずの出ない乾いた柔らかい布を用意してください。清掃用にクリーニングキットを別売しています。

クリーニングキット（型番 PC-PR601-14）

プリンターの清掃に便利な用具一式が入っています。

6
日常の保守

プリンターの清掃手順

プリンターの清掃手順について説明します。

⚠注意

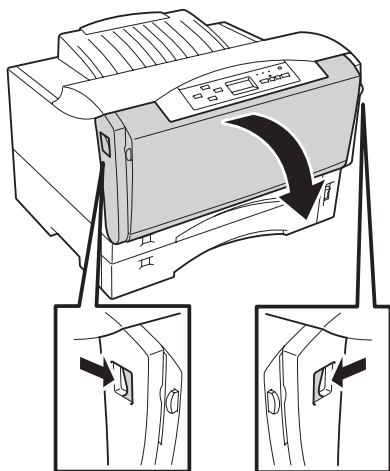
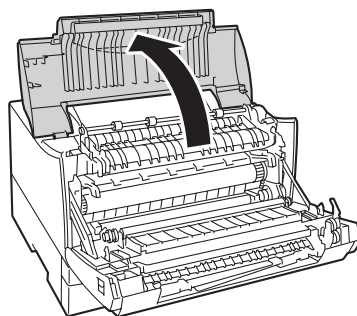
- 清掃するときは、電源スイッチをOFFにし、電源コードをコンセントから抜いてください。感電するおそれがあります。また、電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが傷み、火災や感電の原因となることがあります。
- 電源スイッチをOFFにした直後は、定着ユニット周辺、プリンター内部の金属部、およびEPカートリッジの取っ手は高温になっている場合があります。火傷をするおそれがありますので、十分に冷めてから取り扱ってください。

リブプレートの清掃

給紙方向に縦にかすれる、白いスジが入る、文字や黒い部分の輪郭がにじむときに行います。

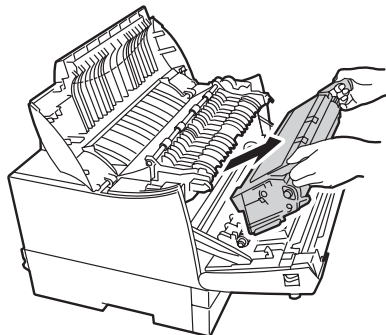
❶ プリンターの電源をOFFにし、プリンター背面の電源コネクターとコンセントから電源コードを抜く。

❷ 左右のフロントユニット開閉レバーを押しながら手前に引いて、フロントユニットをゆっくり開ける。

フロントユニットが開いて止まります。

❸ トップカバーの左右を持ちゆっくり開ける。

❹ 左右の取っ手を図のように持ち、EPカートリッジを取り出す。

EPカートリッジは手前にスライドさせれば簡単に取り出せます。

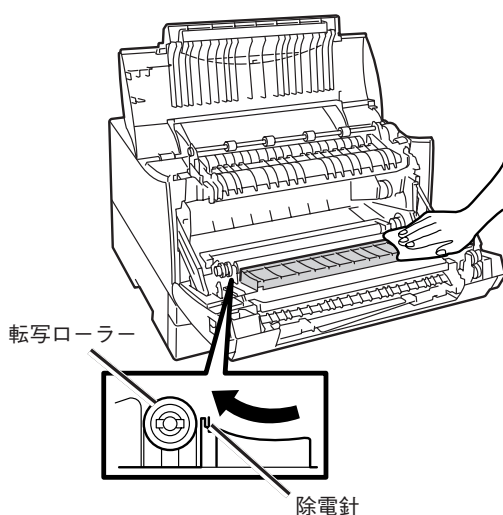
重要

トナーで手や衣服を汚さないように気を付けてください。万一、トナーが手や衣服についた場合は、水で洗い流してください。

チェック

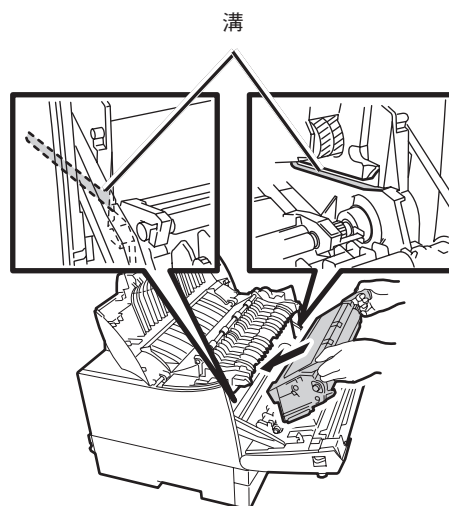
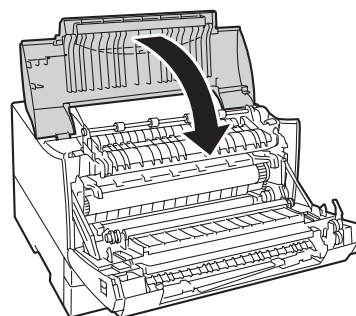
清掃時に取り外したEPカートリッジは立てたり、裏返しに置いたりしないでください。また、直射日光が当たる場所や、ほこりの多い場所は避け、水平な場所に置いてください。

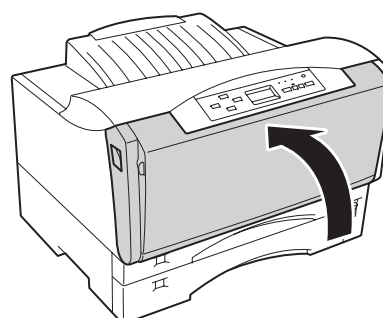
5 **リブプレートの汚れを乾いた柔らかい布でふき取る。**

重要

転写ローラー、除電針には触らないようにしてください。

6 **EPカートリッジをプリンター本体に再びセットする。**

図のようにEPカートリッジをプリンター正面に向けて、EPカートリッジの取っ手を持ち、EPカートリッジの両側の突起部をプリンターの内側の溝に合わせてスライドさせ、セットします。

EPカートリッジが浮き上がっていたり、斜めになっていたりせずに確実に奥までセットされていることを確認してください。

7 **トップカバーをゆっくりと閉じる。**

8 **フロントユニットをゆっくりと閉じる。**

「カチッ」と音がするまでゆっくりとフロントユニットを押し上げ、確実に閉まったことを確認してください。

❾ プリンター背面の電源コネクターに電源コードのプラグを差し込み、コンセントにも差し込む。

❿ プリンターの電源スイッチをONにする。

⓫ テスト印刷を実行する。

1章の「8　テスト印刷をする」(27ページ)に従って印刷が正しく行われることを確認してください。

プリンターの表面の清掃

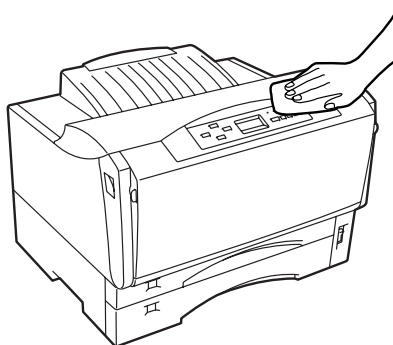
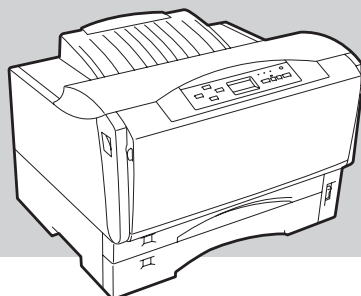
プリンターの表面が汚れているときに行います。

❶ 外観の汚れは柔らかい清潔な布で拭き取る。

汚れが落ちにくい場合は、中性洗剤を含ませた布で拭き取ります。

重要

- アルコール、シンナーなどはプリンターの表面を傷めますので、使用しないでください。
- 水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

❷ 乾いた布で拭く。

7章
故障かな？と思ったら

この章では、「故障かな？」と思ったときの症状を以下の項目に分けて、原因と処置方法を説明します。下記以外の症状については添付のCD-ROMに収録されている活用マニュアルをご覧ください。

- 印刷できないときは
- 印刷に異常が見られるときは
- PrintAgentを正しく動作させるために
- アラーム表示が出ているときは
- 思うように印刷できないときは
- 紙づまりのときは

また、プリンター本体を運搬するときの方法、プリンター本体および、消耗品の廃棄方法についても記載しています。その他プリンターソフトウエアを利用する際の補足情報はプリンターソフトウエアの「はじめにお読みください」(Readme. txt)に記載されています。これらはプリンターソフトウエアCD-ROMのメニュープログラムから参照できます。

修理に出す前に

「故障かな？」と思ったら、修理に出される前に以下の手順を実行してください。

❶ **電源コードおよびプリンターケーブルが正しく接続されているかどうかを確認する。**

❷ **定期的な清掃を行っていたか、またEPカートリッジの交換は確実に行われていたかを確認する。**

❸ **本章の140〜152ページをご覧ください。該当する症状があれば、記載されている処理を行う。**

以上の処理を行っても、なお異常があるときは無理な操作をせずに、お近くのサービス窓口にご連絡ください。その際にディスプレイのアラーム表示の内容や、不具合印刷のサンプルがあればお知らせください。故障時のディスプレイによるアラーム表示は修理の際の有用な情報となることがあります。サービス窓口の電話番号、受付時間については「NECサービス網一覧表」をご覧ください。

なお、保証期間中の修理は、保証書を添えてお申し込みください。

また、プリンターをお持ち込みいただくときは、本書の169ページや梱包箱に表示されている手順を参照してプリンターを梱包してください。詳しくは、「プリンターを運搬するときは」(169ページ)を参照してください。

重要

海外でのご使用について

このプリンターは日本国内仕様のため、海外でご使用になる場合NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

印刷できないときは

プリンターにデータを送ったのに印刷ができないなどの症状、および原因と処理方法を示します。それぞれの方法に従って原因の確認、処理を行ってください。

症　状	原因と処理方法
電源ランプが点灯しない	**電源スイッチがOFFになっている。** →　電源スイッチをONにしてください。 **電源コードがきちんと差し込まれていない。** →　プリンター側とコンセント側の両方を確認してください。 **コンセントに電気が供給されていない。** →　配電盤などの状態を調べてください。
データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない	**印刷可ランプが消灯している。** →　[印刷可]スイッチを押して、印刷可ランプを点灯させてください。 **プリンターケーブルまたはネットワークケーブルが正しく選択されていないか、または正しく接続されていない(データランプ消灯)。** →　205ページおよび31ページを参照して、プリンターケーブルまたはネットワークケーブルの種類を確認後、接続してください。 **改ページまたは排出コードがない(データランプ点灯)。** →　[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内に残っている未印刷データを印刷してください。また、この状態が多く発生するソフトウエアをお使いの場合は、メニューモードで自動排出を選択することをお勧めします。 **用紙がなくなったか、または指定されたサイズの用紙がない(印刷可ランプ(赤)点滅)。** →　「3章　用紙のセット」(83ページ)を参照して、用紙を補給してください。 **印刷可ランプ(赤)が点灯している。** →　「アラーム表示が出ているときは」(142ページ)をご覧ください。 **データ送信中(データランプ(橙)点滅)** →　プリンターはページ単位で処理するプリンターなので、1ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、グラフィックモードで多量のデータを送る場合などは、データ転送に時間がかかります。 もう少しお待ちください。

症　状	原因と処理方法
データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない（続き）	**MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150が「通常使うプリンタ」として選択されていない。** →　MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150を「通常使うプリンタ」として選択してください。 **コンピューターのメモリーが不足している。** →　コンピューターのメモリーを増やしてください。
ホッパーにセットした用紙サイズを認識しない	**用紙サイズ設定ダイヤルの設定が正しくない。** →　セットした用紙サイズを用紙サイズ設定ダイヤルで設定してください。 **用紙のセットのしかたが悪い。** →　「ホッパーに用紙をセットする」（86ページ）を参照して、用紙をセットし直してください。
MPから印刷ができない	**給紙方法が自動、ホッパー、手差しのいずれかになっている。** →　プリンタードライバーの給紙方法をMPに設定し直してください。 **MPにセットした用紙サイズが正しく設定されていない。** →　A3、A4、A5、B4、B5サイズをセットした場合は用紙サイズ設定ダイヤルでセットした用紙サイズを設定してください。レターサイズ、はがき、往復はがき、封筒、定形外をセットした場合は、用紙サイズ設定ダイヤルを「＊」に設定して、［MP］スイッチで用紙サイズを設定してください。（89ページ参照） **用紙をセットしてください。** →　「MPに用紙をセットする」（89ページ）を参照して用紙をセットし直してください。
手差しから印刷ができない、または給紙方法を手差しとし、印刷したのに「テサシ　XX　セット」が表示される	**給紙方法が自動、ホッパー、MPのいずれかになっている。** →　プリンタードライバーの給紙方法を手差しに設定し直してください。 **手差しにセットした用紙サイズが正しく設定されてない。** →　［手差し］スイッチで用紙サイズを設定してください。（93ページ参照） **用紙をセットし直してください。** →　「手差しに用紙をセットする」（92ページ）を参照して用紙をセットし直してください。

アラーム表示が出ているときは

保守が必要な時期になったりエラーが発生したりすると、赤色のランプが点滅または点灯し、ディスプレイにその内容が表示（アラーム表示）されます。このとき、ブザーが30秒ごとに6回ずつ鳴ります。

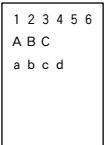
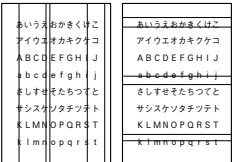
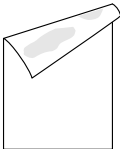
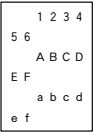
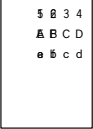
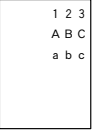
チェック

メモリースイッチ3-8の設定がONのときは、ブザーは鳴りません。

次の表に、アラーム表示とその内容、および処理方法を示します。それぞれの方法に従って処理してください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
ﾎｯﾊﾟ 1　A4ﾖｺ ﾎｷｭｳ ホッパーが増設されているときは、この位置にホッパー番号（1、2、3または4*）が表示されます。 MP　A4ﾖｺ ﾎｷｭｳ ﾌﾂｳｼ ﾃｻｼ　A4ﾖｺ ｾｯﾄ ﾌﾂｳｼ	**用紙がない。または印刷フォーマットで指定されたサイズの用紙がない。** → 標準カセット、MPカセット、または手差しのいずれかに表示されているサイズの用紙を補給してください。
ﾄﾚｰ　A4ﾀﾃ ﾎｷｭｳ ﾌﾂｳｼ	**用紙がない。または印刷フォーマットで指定されたサイズの用紙がない。（メモリースイッチ9-4がONの場合）** → MPカセット、または手差しのいずれかに表示されているサイズの用紙を補給してください。
ﾖｳｼｶｾｯﾄ ﾅｼ ﾎｯﾊﾟ	**用紙カセットが抜かれている。** → 用紙をセットし、表示された場所の用紙カセットをゆっくり戻してください。
MP　LT ﾎｷｭｳ ﾖｳｼｻｲｽﾞ ｦﾍﾝｺｳｼﾏｽ	**MPカセットの用紙サイズ設定ダイヤルが「＊」のときに設定の異なる用紙サイズを指定して印刷した。** → MPカセットを引き抜き、用紙サイズ設定を確認してください。 → MPカセットを引き抜き、用紙をセットし、用紙サイズ設定ダイヤルで用紙サイズを設定してください。 → [印刷可]スイッチを押してください。
72 ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ ﾎﾝﾀｲ 72 ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ ﾘｮｳﾒﾝ	**フロントユニット、トップカバー、フロントカバーが開いている。** → フロントユニット、トップカバー、フロントカバーをきちんと閉じてください。
73 EPｶｰﾄﾘｯｼﾞ ﾅｼ	**EPカートリッジが取り付けられていない。** → EPカートリッジを取り付け直してください。EPカートリッジを取り付けた後、フロントユニットをきちんと閉じてください。

*　MultiWriter 2850N/2850で増設ホッパ4を装着している場合に表示されます。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
74 カミツ゛マリ ホンタイ 紙づまりが発生した場所が表示されます。	**紙づまりが発生している。** → 「紙づまりのときは」(159ページ)を参照して、つまった用紙を取り除いてください。
75 ヨウシサイズエラー ホッパ゜1 増設ホッパーが選択されているときはホッパー番号（1、2、3または4*）、またはMP、テサシが右端に表示されます。	**指定サイズと異なる用紙がセットされている。** → 指定サイズの用紙をホッパーにセットして、[印刷可]スイッチを押してください。 → MPの場合、用紙サイズ設定ダイヤルと操作パネルの設定がセットされている用紙サイズとあっているか確認してください。
76 トナーナシ EPコウカン	**EPカートリッジの交換時期を示している。** → 「EPカートリッジの交換」(131ページ)に従って、EPカートリッジを交換後、フロントユニットとトップカバーをきちんと閉じてください。 EPカートリッジを交換しなくても、[印刷可]スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、少しの間は印刷を続けることができますが、トナーランプは点灯を続けます。目的の印刷が終了したら、すみやかに交換してください。また、この状態のままプリンターの電源をOFFにし、再び電源をONにしても“76　トナーナシ”アラームは解除できません。
77 テイキホシュ	**定期保守(定着ユニットなどの交換)の必要な時期を示している。** → 販売店にお問い合わせください。 このアラームが発生してもただちに印刷できなくなるわけではありませんので、[印刷可]スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、印刷を続けることはできます。しかし、なるべく早く定期保守を行ってください。“77　テイキホシュ”アラームは、電源をOFFにしても、次にONにしたときに再発生します。
78 ヨウシヒ゜ックミス ホッパ゜ ピックミスが発生した給紙口が表示されます。	**用紙ピックミスが発生している。** → この後の「紙づまりのときは」に従って、給紙できなかった用紙を取り除いて再度用紙をセットしてください。
82 メモリオーバ゛ー メモリヲゾ゛ウセツシテクダ゛サイ	**印刷データを蓄えるメモリーが不足している(メモリースイッチ6-2　OFFの場合のみ表示する)。** → [印刷可]スイッチを押してください。そのページのみ解像度を下げて印刷を行うか、“83　インサツフカ”のアラーム表示をします。 メモリーを増設してください。
83 インサツフカ メモリヲゾ゛ウセツシテクダ゛サイ	**メモリーオーバーで解像度を落として印刷しようとしたが、それでもメモリーが不足している。** → [印刷可]スイッチを押してください。解像度を落として印刷を行おうとしたページのデータを廃棄します。 メモリーを増設してください。
84 フォーム オーバ゛ーXXX	**フォーム登録に必要なメモリーが不足している。** → [印刷可]スイッチを押してください。アラームの対象となった番号(×××)のフォームデータが読み捨てられます。メモリーを増設してください。

* MultiWriter 2850N/2850で増設ホッパ4を装着している場合に表示されます。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
85 セツゾクエラー インタフェース2 「3」もしくは「2 3」が表示されます。	**[インタフェース2]または[インタフェース3]に不正なオプションが接続されている。** → オプションボードを正しいインターフェーススロットに取り付けてください。(9章の「オプション」を参照。) LANボードまたは無線LANボードは[インタフェース2]LANボード用スロットに取り付けてください。 取り付けた後に、テスト印刷を行ってください。(1章の「8 テスト印刷をする」を参照。)テスト印刷結果のLANボードの項目に「有線LAN」または「無線LAN」、I/F設定の項目に「インタフェース2」と記載されていることを確認してください。 **オプションの無線LANボードに無線LANカードが正しく挿入されていない。** → 一度プリンターの電源をOFFにして、無線LANカードを無線LANボードのPCカードスロットの奥までゆっくりと押し込んでください。(9章の「無線LANボードの取り付け」を参照。) 取り付けられたら、テスト印刷を行ってください。(1章の「8 テスト印刷をする」を参照。)テスト印刷結果のLANボードの項目に「無線LAN」、I/F設定の項目に「インタフェース2」と記載されていることを確認してください。
88 EPタイプチガイ EPコウカン	**EPカートリッジのタイプが違う。** → 正しいタイプのEPカートリッジを取り付けてください。「EPカートリッジの交換」(131ページ)に従って、EPカートリッジを取り付け後、フロントユニットとトップカバーをきちんと閉じてください。
89 EPジュミョウ EPコウカン	**EPカートリッジの寿命を示している。** → 「EPカートリッジの交換」(131ページ)に従って、EPカートリッジを交換後、フロントユニットとトップカバーをきちんと閉じてください。
XX コールXXX	**障害が発生している。** → 電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。 → ネットワークに接続されたプリンターに印刷しているときにプリンターフォルダーやプリントマネージャの画面から「印刷中止」や「印刷ドキュメントの削除」を行った場合、ネットワーク環境によっては印刷が中断されたことがプリンターに伝わらない場合があります。この場合はプリンター内に印刷データが残ったままとなり次の印刷データと混じることにより、アラームが表示されたり誤印字したりすることがあります。そのような環境でお使いの場合はPrintAgentのプリンタステータスウィンドウのジョブキャンセル機能を使って印刷を中止してください。
上記以外の表示	**障害が発生している。** → 電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。

印刷に異常が見られるときは

印刷にカスレや汚れなど異常が発生する場合は、次の表を参照して異常原因を取り除いてください。

症　状	原因と処理方法
用紙にしわが入ったり、文字の周りがにじむとき	**用紙が規格に合っていない。** → 「用紙の規格」(210ページ)を参照して、確認してください。 **サイドガイドが用紙の幅に合っていない。** → 「3章　用紙のセット」(83ページ)を参照して、もう一度用紙をセットし直してください。 **MPまたは手差し給紙の「用紙種類」の設定が、セットされている用紙に対して正しく設定されていない。** → プロパティダイアログボックス、メニューモードで正しい用紙種類を設定し直してください。 **設定濃度が濃すぎる。** → メニューモード、プリンタードライバーで濃度を設定し直してください。
用紙が汚れているとき	**プリンターの内部が汚れている。** → 「清掃」(141ページ)を参照して、よく清掃してください。
印刷が薄いとき	**トナーがない(トナーランプ点灯)。** → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(131ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。 **トナー節約機能を使用している。** → メニューモード、プリンタードライバーでトナー節約機能を解除してください。 **設定濃度が淡すぎる。** → メニューモード、プリンタードライバーで濃度を設定し直してください。 **EPカートリッジのトナーシールが引き抜かれていない。** → 「5　EPカートリッジを取り付ける」(22ページ)を参照して、トナーシールを引き抜いてください。 **MPまたは手差し給紙の「用紙種類」が、セットされている用紙に対して正しく設定されていない。** → プロパティダイアログボックス、メニューモードで正しい用紙種類を設定し直してください。
何も印刷されない	**トナーがない(トナーランプ点灯)。** → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(131ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。 **EPカートリッジのトナーシールが引き抜かれていない。** → 「EPカートリッジを取り付ける」(22ページ)を参照して、トナーシールを引き抜いてください。

症　状	原因と処理方法
真っ黒に印刷されたとき	**EPカートリッジが正しく取り付けられていない。** → 「EPカートリッジの交換」(131ページ)を参照して、EPカートリッジを取り付け直してください。 **EPカートリッジに問題がある。** → 「EPカートリッジの交換」(131ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
文字のグレー印刷ができない	**プリンタードライバーの設定が正しくない。** → Windows XP/2000：プリンタードライバーの[印刷設定]ダイアログボックスを開き、[その他]シートの[文字の表現]で[標準(グレースケール)]が選択されているかどうか確認してください。選択されていない場合は、選択してください。 Windows Me/98/95：プリンタードライバーの[プロパティ]ダイアログボックスを開き、[フォント]シートの[文字を白黒で印刷する]がチェックされているかどうか確認してください。チェックされている場合は、チェックを外してください。 Windows NT 4.0：プリンタードライバーの[ドキュメントの既定値]ダイアログボックスを開き、[その他]シートの[文字の表現]で[標準(グレースケール)]が選択されているかどうか確認してください。選択されていない場合は、選択してください。
印刷に縦線や横線が入るとき	**EPカートリッジが正しく取り付けられていない。** → 「EPカートリッジの交換」(131ページ)を参照して、EPカートリッジを取り付け直し、数枚テスト印刷をしてください。 **EPカートリッジに問題がある。** → 「EPカートリッジの交換」(131ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
印刷用紙の裏が汚れるとき	**転写ローラが汚れている。** → 数枚テスト印刷をしてください。 重要　転写ローラーを直接清掃すると用紙送り不良の原因となるおそれがあります。 **リブプレートが汚れている。** → 「清掃」(135ページ)を参照して、プリンターの内部を清掃してください。

症　状	原因と処理方法
部分的に白く抜けるとき	**用紙が湿気を吸収している可能性がある。** → 「3章　用紙のセット」(83ページ)を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。 **用紙が規格に合っていない。** → 「用紙の規格」(210ページ)を参照して、確認してください。 **プリンター内部が結露している可能性がある(冬期など)。** → 電源をONにしたまま30分〜1時間放置してから印刷してください。 **EPカートリッジに問題がある可能性がある。** → 「EPカートリッジの交換」(131ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
縦線の形状で白く抜けるとき	**EPカートリッジが正しく取り付けられていない。** → 「EPカートリッジの交換」(131ページ)を参照して、EPカートリッジを取り付け直し、数枚テスト印刷をしてください。 **EPカートリッジに問題がある。** → 「EPカートリッジの交換」(131ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
正しく印刷できずに文字が化ける	**プリンター切り替え器などを介して印刷している。** → 切り替え器などを介さずにプリンターを接続してください。 → LANボード接続に変更してください。
改行量(行の間隔)が2倍になる 1 2 3 4 5 6 A B C D E F a b c d e f 1行が2行にわたる 1 2 3 4 5 6 A B C D E F a b c d e f 各行の文字が重なって印刷されてしまう 用紙の途中から印刷が始まってしまう 1 2 3 A B C a b c	**アプリケーションで設定した用紙サイズと、使用する用紙サイズが異なっている。** → ソフトウエアの用紙サイズ設定と使用する用紙のサイズを合わせてください。 → 他の用紙サイズに印刷するか、メニューモードを使ってA4ポートレート桁数を80桁にしてください。 A4ポートレートの用紙に80桁分の印刷(パーソナルコンピューターの画面コピーなど)を行うと、このような症状になることがあります。 **アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンター」になっている。** → ページプリンターまたはレーザープリンターを選択してください。 → メニューモードを使ってプリンターの136桁モードを有効にしてください。 アプリケーションがシリアルプリンター専用に作られている場合には、136桁モードを有効にすることでこれらの症状は改善されます。特に、「用紙の途中から印刷が始まってしまう」場合には、136桁モードの用紙位置設定を中央合わせにすることで正しい印刷結果が得られるようになります。

思うように印刷できないときは

プリンターの動作がおかしくて思うように印刷ができないとき、プリンターまたはアプリケーションの設定を変えれば、ほとんどの場合は改善できます。

ここで説明する項目を参照して原因の確認と処置を行ってください。

症　状	原因と処理方法
正常に印刷できない	**他のプリンタードライバーが同一のポートを使用している。** → プリンタードライバーによっては接続先のポート(LPT1:、COM1:など)に対して常に通信を行おうとするため、同一ポートに接続されているプリンターに悪影響を与えることがあります。Windowsのヘルプを参照して、他のプリンタードライバーのポートを本プリンタードライバーと違うポートに変更するか、他のプリンタードライバーを削除してください。 **プリンターのメモリースイッチ5-1または9-1がONで、I/F設定が「ECP」になっている。** → お使いのプリンターをWindowsから印刷する場合は、メモリースイッチ5-1、または9-1をONのままメニューモードのI/F設定メニューの「ソウホウコウセッテイ」を「ニブル」に設定してください。プリンターのI/F設定を変更した場合は、プリンターの電源の再投入が必要となります。 **お使いのコンピューターのプリンタポート設定とプリンターのI/F設定が異なる。** → お使いのコンピューターのプリンタポート設定とプリンターのI/F設定の動作モードを同じ設定にしてください。詳しくは、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。 **PrintAgentが正しく動作していない。** → 活用マニュアル9章の「PrintAgentシステムが起動しないときは」を参照してください。 **プリンターと双方向通信ができない。** → 本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(156ページ)を参照してください。
斜線の太さが均一でない(線の角度によって、線の太さが違っている) 写真などの絵やグラデーションがおかしい	**SETの設定が「ON」になっている。** → プリンタードライバーのプロパティまたはメニューモードでSETの設定を「OFF」にしてください。SETは、印刷時の解像度を拡張して斜線や曲線の印刷品質を向上させるための機能ですが、印刷内容によってはこのような症状になることがあります。 **トナー節約機能がONになっている。** → プリンタードライバーのプロパティまたはメニューモードでトナー節約機能を「OFF」にしてください。トナー節約機能はトナーの使用を節約する試し印刷用の機能です。この機能を使うと細い線、濃度の薄い印刷、網かけ、グラデーションが不鮮明になることがあります。
印刷位置が以前使用していたプリンターと合わない	**アプリケーションの用紙・印刷に関する設定が間違っている。** → アプリケーションの説明書を見て正しく設定してください。アプリケーションによっては、わずかでも異なる設定項目があると、印刷位置がずれる場合があります。

症　状	原因と処理方法
印刷位置が以前使用していたプリンターと合わない（続き）	**プリンターのA4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている。** → メニューモードでA4ポートレート桁数を78桁にしてください。A4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている場合には、本来の印刷位置よりわずかに左にずれて印刷されます。したがって、80桁に設定されているプリンターとそうでないプリンターとでは印刷位置が異なります。 **使用している用紙がプリンターの規格に合っていない。** → 「用紙の規格」（210ページ）を参照して、規格に合っているか確認してください。本プリンターのようなレーザープリンターは、用紙送りをローラーの摩擦によって行っています。そのため、他のレーザープリンターと同様に縦方向、横方向とも多少の誤差が発生します。この誤差は用紙によっても異なります。 **以前使用していたプリンターと本プリンターとの間に印刷位置の互換性がない。** → プリンターの印刷位置は、PC-PR2000/6W等のNPDLまたはNPDL(Level2)対応のプリンターおよびPC-PR601、PC-PR602、PC-PR602Rに対して互換性があります。その他のプリンターに対しては印刷位置の互換性はありません。 従来互換の印刷範囲に設定するには、プリンタードライバーの以下に示すシートで設定を変更してください。 Windows XP/2000/NT 4.0：　［プロパティ］－［プリンタの設定］シート－［従来互換の印刷範囲］ Windows Me/98/95：　［プロパティ］－［印刷品質］シート－［従来互換の印刷範囲を使用する］
“データガノコッテイマス”を表示したまま印刷を開始しない	**改ページコードまたは排出コードがありません。** → ［印刷可］スイッチを押して印刷可ランプを消灯させてから、［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押してください。本プリンターはページ単位で処理するプリンターなので、1ページ分のデータが揃わないと印刷を開始しません。また、アプリケーションの中にはページの最後に排出コードなどのページの終わりを示す制御コードをプリンターに送らないものがあります。このような場合は上記の方法で処理してください。 なお、メニューモードで自動排出を有効にしておくと設定した時間内に印刷データが来ない場合、自動的に印刷・排出されます。ただしコンピューターからのデータ送信が長い時間途切れるような場合には、この機能を使用しないでください。 → プリンターの動作エミュレーションがプロッターエミュレーションの場合は、コンピューターから用紙送りコマンド「PG」を送り、用紙を排出してください。また、メニューモードの「プロッタセッテイメニュー」の「SPコマンドハイシュツ」を“SPコマンドハイシュツ　ON”に設定すれば、コマンド「SPØ;」または「SP;」で用紙を排出することができます。 **アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンター」になっている。** → ページプリンターまたはレーザープリンターを選択してください。ソフトウエアのプリンター設定がシリアルプリンターになっていると、排出コードをプリンターに送らないためにこのような症状が起こります。 また、新たにソフトウエアを作成する場合には、このような症状を防ぐため、各ページの最後に排出コード（0Ch）を付加するようにしてください。

症　状	原因と処理方法
“データガノコッテイマス”を表示したまま印刷を開始しない（続き）	**コンピューターからのデータ送信が途切れている。** → プリンターへのデータ送信について、プリンタードライバーの「タイムアウト設定」の設定時間を長くしてください。複雑なデータやアプリケーションによっては、設定時間が短いとデータ送信を中止することがあります。
ページの途中までしか印刷されない または1ページ分のデータが2ページにわたって印刷されてしまう	**自動排出機能が有効になっている。** → メニューモードで自動排出を無効にしてください。 プリンターには自動排出機能（コンピューターからのデータの送信が一定時間途切れると、そこまでのデータが自動的に印刷・排出する機能）があります。このとき、コンピューターからのデータ送信が設定した自動排出時間以上に途切れた場合には、ページの途中でもそれまでのデータを印刷・排出してしまいます。 また、各OSでプリンターへのデータ送信についてタイムアウト時間を設定できます。このタイムアウト設定の時間が短いと、複雑なデータなどでプリンターのビジー時間が長くなった場合、コンピューターが印刷データの送信を中止する場合があります。その場合にはプリンターの自動排出を無効にするだけでなく、タイムアウト設定の時間を長くしてください。タイムアウト設定の時間変更は各OSのマニュアルを参照してください。 **綴じしろが合っていない。** → 印刷範囲を確認してください。両面印刷のときにはクリップ機能を使うと印刷範囲を超えた分のデータを次のページに印刷しないようになります。詳細は「クリッピング機能について」（81ページ）参照してください。
用紙の左側が空白になる（印刷文字が用紙の右側にかたよって印刷される）	**一部のソフトウエアでは、用紙位置が異なる場合がある。** → メニューモードで136桁モードを有効にし、用紙位置を調整してください。
縮小すると、縮小前と印刷結果が異なる	**印刷データによっては、縮小すると印刷結果が異なる場合がある。** → プリンターでは、座標値などを縮小することにより縮小印刷を行っています。このときに、数値の丸め誤差が生じ、図形と図形の重なりなどが変わることにより、印刷結果が異なってしまう場合があります。
改行量がおかしくなり、徐々にずれてしまう	**一部のソフトウエアには、ソフトウエアの指定によって改行で用紙を排出するものがある。** → ソフトウエアの設定をシートフィーダー付きにするか、1ページの長さを67行(A4サイズの用紙の場合) に設定してください。
画面の文字と異なる文字が印刷された	**ご使用のコンピューター環境に最も適した方法でプリンターを指定していない。** → 「2章　プリンターソフトウエアのインストール」（47ページ）を参照して確認してください。 途中で長い時間中断させるような使い方をしている場合に自動排出機能が有効になっていると、ページの途中でもそれまでのデータを印刷・排出してしまうことがあります。 **適切なエミュレーションモードを選択していない。** → 「メニューモード」(112ページ) を参照して、エミュレーションモードを選択し直してください。 動作自動設定を選択している場合は、動作モード設定にて正しいエミュレーションを選択し直してください。

症　状	原因と処理方法
画面の文字と異なる文字が印刷された（続き）	**プリンターケーブルがきちんと接続されていない。** → プリンター側とコンピューター側の接続状態を確認してください。 **プリンターバッファーや切り替え器を使用している。** → プリンターバッファーや切り替え器を使用しない接続方法に変更してください。
白紙が出る	**ソフトウエアのプリンター設定がシートフィーダー付きになっている。** → シートフィーダー付きになっている場合は、メニューモードで「136桁モード」を有効にしてください。
両面印刷が正しく機能しない	**メニューモードが合っていない。** → メニューモードの両面印刷に関する設定を確認してください。 **セットされている用紙サイズが合っていない。** → 両面印刷は普通紙のA3、A4、A5、B4、B5、レターサイズでしか機能しません。セットされている用紙を確認してください。 **MPの用紙種類を普通紙以外に設定している。** → MPから両面印刷を行う場合、用紙の種類を普通紙に設定してください。 **MPの定形外用紙がONになっている。** → メニューモードで定形外用紙を「OFF」にしてください。 **メモリーが足りない。** → A3、B4サイズの用紙に両面印刷を行う場合、メモリーの増設が必要です。9章の「増設メモリー」（201ページ）をご覧になり、メモリーを増設してください。 **メモリースイッチ5-1、または9-1がONになっている。** → メモリースイッチ5-1、または9-1を「OFF」にしてください。特定の環境下で同期コードを有効にし、アプリケーションがページごとに同期を取っている場合には、正しく機能しないことがあります。
1200dpi印刷時に“82 メモリオーバー”が表示され、一部分が白紙で印刷される*	**プリンターのメモリーが足りない。** → メモリーの増設が必要です。活用マニュアルの付録の「増設メモリー対応表」をご覧になり、印刷保証容量のメモリーを増設してください。
解像度1200dpi時で用紙にしわが入る*	**メニューモードが正しく設定されていない。** → 400dpi、600dpiで印刷を行った後で1200dpiに解像度を切り替えて印刷した場合、用紙にしわができる場合があります。メニューモードのウンヨウメニューで「オンドセイギョキノウ」を「ON」に設定し直してください。ただし、この場合、印刷開始時間が通常よりも遅くなります。

* MultiWriter 2350N/2350のみ対象です。

症　状	原因と処理方法
丁合い印刷ができない または多部数印刷ができない	**プリンターと双方向通信ができない。** → 本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(次ページ)を参照してください。 → 双方向通信が行えない環境の場合は、電子ソート機能を有効にする必要があります。電子ソート機能を有効にするためにはプリンターにメモリーを増設し、プリンタードライバーの設定を変更する必要があります。詳しくは、活用マニュアル4章の「電子ソート機能」をご覧ください。 → アプリケーションの丁合い印刷、または部数印刷を設定してください。
印刷速度が遅い	**プリンターバッファーなどを取り付けている。** → コンピューター本体とプリンターを市販のプリンターバッファー、プリンター切り替え器、プリンター共有器、コピープロテクターなどで接続している場合には、プリンタードライバーの双方向通信機能を無効にする必要があります。本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(次ページ)を参照して、双方向通信機能を無効にしてください。 **プリンターと双方向通信ができない。** → 本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(次ページ)を参照してください。 **Microsoft Windowsのターミナルサービス環境で印刷している。** → 本章の「その他の注意事項」(157ページ)を参照してください。

1200dpiでの印刷について

MultiWriter 2350N/2350をお使いで、プロッターコマンドのパラメーターがセットした用紙の印刷範囲をはみ出すような結果となる座標を指定した場合に、解像度1200dpiでの印刷を行いますと、印刷したいイメージと相違が出る場合があります。この場合は、解像度を600dpi(23.6ドット/mm)または400dpi(15.7ドット/mm)に落として印刷することをお勧めします。

PrintAgentを正しく動作させるために

PrintAgentはネットワーク環境で使用することで、より効果を発揮します。以下はPrintAgentを正常に機能させるための注意事項についてネットワーク関連の設定を中心に説明します。

PrintAgentを動作させる前に

PrintAgentをインストール/アンインストールする時の注意事項

PrintAgentをインストールまたはアンインストールする時は以下のことに注意してください。

- インストールプログラムを実行する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- [PrintAgent セットアップ]のウィンドウが閉じるまで、CD-ROMやフロッピーディスクなどインストール元のメディアを取り出さないでください。
- PrintAgentのインストールまたはアンインストール終了後、再起動を促すメッセージが表示されることがあります。画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。
- インストール時に指定したPrintAgentソフトウェアのフォルダー(ディレクトリー)名を変更するとアンインストールできません。インストール時のフォルダー(ディレクトリー)名に戻してからアンインストールしてください。
- プリンターのプロパティダイアログボックスを表示している時、およびMultiWriterが印刷中の時、PrintAgentをアンインストールすることができません。プリンターのプロパティダイアログボックスを閉じ、印刷が終了してからアンインストールしてください。
- Windows XPで、インストールしようとしているコンピューターに他のユーザーがログオンしている場合は、インストールはできません。各ユーザーに切り替えてすべてのユーザーをログオフしてからインストールしてください。
- Windows XPにPrintAgentをインストールまたはアンインストールするユーザーは、アカウントの種類が[コンピュータの管理者]である必要があります。また、Windows 2000またはWindows NT 4.0にPrintAgentをインストールまたはアンインストールするには、[Administrators]または[Domain Admins]グループのメンバーである必要があります。
- Windows XP/2000、Windows NT 4.0でPrintAgentのインストールする場合、アクセス権により使用可能なユーザーが制限されているフォルダー(ディレクトリー)にインストールしないでください。
- Windows XP/2000、Windows NT 4.0で[プリンタの追加ウィザード]より、他のコンピューターに接続されたプリンターを指定してインストールしたプリンタードライバーをPrintAgentで使用している時に、さらに[プリンタの追加ウィザード]でローカル接続のプリンタードライバーをインストールする場合は、[現在のドライバを使う(推奨)]ではなく、[新しいドライバに置き換える]を選択してインストールしてください。

- Windows XPの場合は[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]より、Windows Me/98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]より起動したPrintAgentの追加と削除でPrintAgentオプションの追加をすると、セットアップに必要なファイル*を要求する画面が表示される場合があります。この場合は、以前にインストールで使用したプリンターソフトウエアCD-ROMを挿入するか、もしくはプリンターソフトウエアＣＤ-ＲＯＭよりインストールプログラムを実行しカスタムインストールにてPrintAgentのオプションを追加してください。

共有プリンターの利用/提供について

Windows XP/2000およびWindows NT 4.0で、共有プリンターの提供の設定は[コンピュータの管理者]およびAdministrators権限のある方が変更できます。
[共有プリンタを利用する]、[共有プリンタを提供する]は、通常はONのままで支障ありませんが、次の場合はOFFにすることをお勧めします。

- **ネットワークの回線速度が遅い**

  低速回線を経由する共有プリンターに対して、PrintAgentを使用すると、通信速度の関係でプリンタステータスウィンドウなどの操作がしにくかったり、状態の表示が遅れたりすることがあります。この場合は、[PrintAgentのプロパティ]で[共有プリンタを利用する]のチェックを外してください。ネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にすることができます。

- **転送データ量に応じて課金されるネットワーク環境**

  転送データ量に応じて課金される従量課金制のネットワークを経由してPrintAgentを使用している場合に、PrintAgentの双方向通信によってデータ転送が発生し、課金されることがあります。
  考慮すべきネットワーク環境の例としては以下のケースがあります。

  - ネットワークプリンターが、公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
  - プリントサーバー、DNSサーバー、WINSサーバーが公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
  - ローカルネットワークの通信自体が課金ネットワークの場合

  これを避けたい場合にも、上記操作によってネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にしてください。

- **コンピューターの処理能力が十分でない**

  コンピューターの性能があまり高くない場合、PrintAgentのご利用により、他の作業の処理速度に影響する可能性があります。この設定を外してもローカルに接続しているプリンターでは、引き続きPrintAgentがご利用になれます。

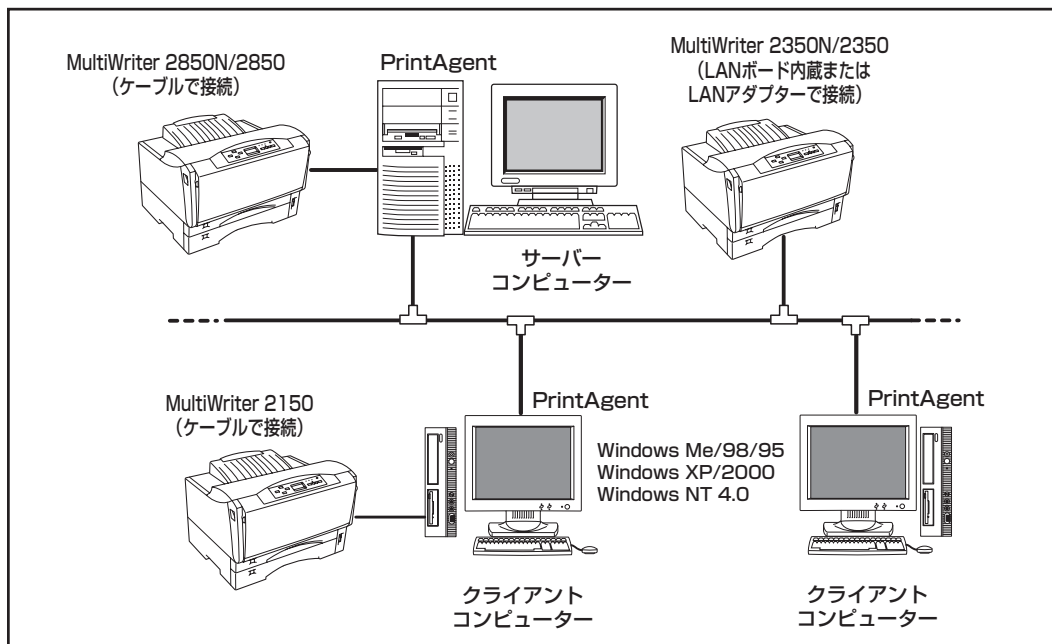
* フロッピーディスクをご利用の場合、メッセージに従ってNMPSディスクを挿入してください。

従量課金回線での課金を最小限(印刷時のみ)とするためには

- クライアントコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを利用する]のチェックを外します。
- サーバーコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを提供する]のチェックを外します。
- サーバーコンピューターがWindows Me/98/95の場合は、プリンターの[プロパティ]の[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタの双方向通信機能をサポートしない]を選択してご利用ください。
- サーバーコンピューターがWindows XP/2000の場合は[プリンタのプロパティ]、Windows NT 4.0の場合は[デバイスプロパティ]の[ポート]-[双方向サポートを有効にする]のチェックを外してご利用ください。

クライアント・サーバーシステムでお使いの場合

PrintAgentをクライアント・サーバーシステムでお使いの場合、以下のことに注意してください

- PrintAgentはローカルプリンターに対してもネットワーク上の共有プリンターに対しても使用できます。ただし、ネットワーク上で使われる場合PrintAgentソフトウエアはサーバーコンピューター、クライアントコンピューター両者にインストールされている必要があります。

- 1台のサーバーコンピューターに接続されたクライアントコンピューターの中でPrintAgentを使用するクライアントコンピューターは30台以下を推奨します。サーバーコンピューターの性能やネットワークトラフィックによっては、印刷時にプリンターの状態情報が取得できなくなる、クライアントコンピューターでオフライン作業になる、またはネットワークプリンターの状態が不明になる場合があります。このような場合、印刷時以外は[PrintAgentのプロパティ]の設定の[共有プリンタを利用する]のチェックを外してPrintAgentを動作させないようにするか、PrintAgentを終了させて運用してください。

- プリントサーバーコンピューターには64Mバイト以上のメモリーを搭載し、運用することを推奨します。(Windows XP/2000 日本語版をプリントサーバーコンピューターとしてご利用の場合には、256Mバイト以上を推奨します。)

PrintAgentの機能を十分に発揮させるために

PrintAgentの機能を十分に発揮させるために、双方向通信でお使いになることをお勧めします。

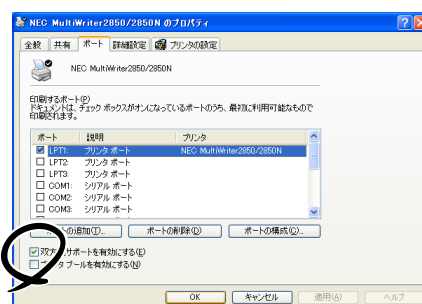
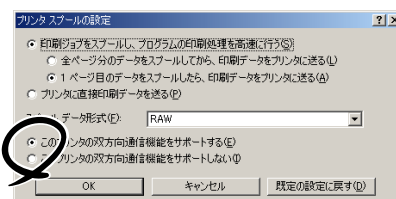
- 双方向通信が可能なポートに接続してください。

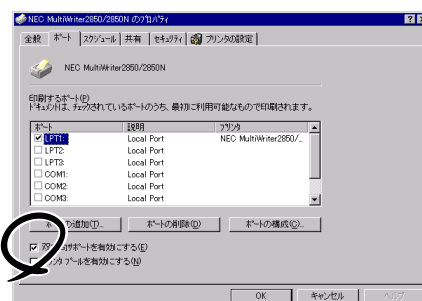
OS	パラレルインターフェース接続	USBインターフェース接続	LAN接続
Windows XP/2000	LPTx	USBxxx	NEC Network Port
Windows Me/98/95	LPTx	USBxxx*	NEC TCP/IP Printing System
Windows NT 4.0	LPTx	- - -	NEC Network Port

*　Windows 95には対応していません。

上記の表以外のポートでご利用の場合には双方向通信を無効に設定してください。PrintAgentの機能はご利用になれません。

- 双方向通信を有効にしてください。

＜Windows XP/2000の場合＞
[プロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートで[双方向サポートを有効にする]をチェックする。

＜Windows Meの場合＞
[プロパティ]ダイアログボックスの[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタの双方向通信機能をサポートする]を選択する。

＜Windows 98/95の場合＞
[プロパティ]ダイアログボックスの[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタで双方向通信機能をサポートする]を選択する。

＜Windows NT 4.0の場合＞
[プロパティ]ダイアログボックスで[ポート]シートの[双方向サポートを有効にする]をチェックする。

その他の注意事項

PrintAgentを動作させる前に、以下のことに注意してください。

- ネットワーク共有プリンターが直接つながっているコンピューターのOSがWindows XP/2000/NT 4.0の場合、プリンタープールはサポートしていません。サーバーコンピューター上ですべてのプリンターのプリンタープールを無効にする必要があります。サーバーコンピューターがWindows XP/2000の場合は[プリンタのプロパティ]、Windows NT 4.0の場合は[デバイスプロパティ]の[ポート]-[プリンタプールを有効にする]のチェックを外してください。[プリンタプールを有効にする]をチェックした場合、プリンターの状態が正しく表示されません。権限がない場合は管理者に連絡してください。

- PrintAgentがサポートしているネットワークプロトコルはTCP/IPです。また、LANボード／LANアダプターを装着したプリンターと接続する場合、サポートしているネットワークプロトコルもTCP/IPのみです。

- PrintAgentはWindows 2000 Advanced Server、Windows 2000 Datacenter Server、Windows NT Server,Enterprise Edition 4.0のクラスタ機能を使ったクラスタリングシステム、あるいはWindows NT Server 4.0,Terminal Server Edition、Windows 2000のTerminal Serviceを実装したシステムには対応していません。これらのシステムでは、PrintAgentが正常に動作しない場合がありますので、PrintAgentをインストールしないでご利用ください。またこれらのシステムでご使用の際には、双方向通信に対応していないプリンタードライバーをお使いください。双方向通信に対応していないプリンタードライバーは添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの以下に収録しています。

  ＜MultiWriter 2850N/2850の場合＞
  ーWindows 2000対応ドライバー　：¥MW2850¥WIN2KTS
  ーWindows NT 4.0対応ドライバー　：¥MW2850¥NT40TSE

  ＜MultiWriter 2350N/2350の場合＞
  ーWindows 2000対応ドライバー　：¥MW2350¥WIN2KTS
  ーWindows NT 4.0対応ドライバー　：¥MW2350¥NT40TSE

  ＜MultiWriter 2150の場合＞
  ーWindows 2000対応ドライバー　：¥MW2150¥WIN2KTS
  ーWindows NT 4.0対応ドライバー　：¥MW2150¥NT40TSE

  プリンタードライバーのインストール方法については、活用マニュアルの「3章　ターミナルサービス用プリンタードライバーのインストール」を参照してください。また、OSの「プリンタの追加」機能で上記のフォルダーを指定することでプリンタドライバーのインストールを行なうこともできます。

- PrintAgentをインストール時に指定するPrintAgentモジュールのフォルダー名（指定しなければ「PrintAgent」になります）はインストール終了後に変更しないでください。フォルダー名を変更するとアンインストールが正常に行えません。また、PrintAgentが正しく動作しません。Windows 3.1やDOS上でフォルダーの移動などを行うと、フォルダーの名前が「PRINTA~1」などに変わってしまう場合があります。

- プリンターソフトウエアをインストールする際に指定する出力ポート（インターフェースコネクター）に、プリンターインターフェース変換アダプターやプリンターバッファーを使用している場合、PrintAgentはご利用になれません。PrintAgentをインストールしないでご利用ください。また、PrintAgentを利用する場合は、出力ポート（インターフェースコネクター）からプリンターインターフェース変換アダプターやプリンターバッファーなどを取り外してお使いください。

- ドメインに参加していないWindows XPをプリントサーバーとしてご使用の場合、プリンタステータスウィンドウやリプリントが正しく動作しない場合があります。

- コンピューターのOSがWindows Me/98/95の場合でネットワークアダプターが他のインターフェースなどと同一の割り込み要求(IRQ)に設定されていると、Windows起動時にエラーが発生することがあります。このような場合は、使用していないインターフェースの割り込み要求(IRQ)を解放し、ネットワークアダプターで使用する割り込み要求(IRQ)と競合しないように設定を変更してください。割り込み要求(IRQ)の解放、変更についてはお使いのコンピューター、ネットワークアダプターの取扱説明書または各OSのヘルプ等を参照してください。

- PrintAgentはプリンタステータスウィンドウの表示に加えて音声メッセージを通知させることもできます。この機能を利用できるのはPCM録音・再生など「サウンド機能」を持ったコンピューターです。お手持ちのコンピューターが音声メッセージ機能を使用できるかどうかはコンピューターに添付のマニュアルをご覧ください。

PrintAgentの動作中は

コンピューターにPrintAgent対応プリンターが複数インストールされている場合、プリンタステータスウィンドウを表示させるとき、ダイアログボックスで「プリンタの選択」を要求されることがあります。

PrintAgentの制限事項

- PrintAgentとプリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティー(DMITOOLなど)を同時に使用すると正しく動作しない場合があります。このような場合は、お使いのユーティリティーに応じて、プリンターの監視を行わないように設定してください。

- プリンターとお使いのコンピューターのプリンターポート(パラレルポート)の設定が異なる場合、PrintAgentの動作に不具合が生じることがあります。(例えば、コンピューターはECPモード、プリンターはニブルモードといった場合です。)双方の設定を合わせてご使用ください。設定を変更する場合、お使いのコンピューターの取扱説明書を参照して、プリンターポート(パラレルポート)の設定を変更するか、プリンターの設定を変更してください。プリンターの設定を変更するには「メニューモード」(106～113ページ)を参照してください。

OSをアップグレードする場合

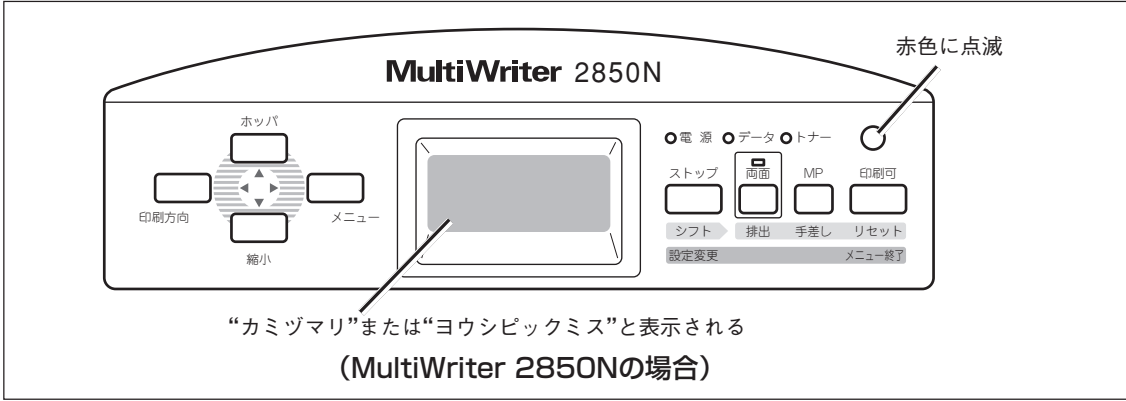
お使いのコンピューターのOSをアップグレードする場合、以下のことに注意してください。

- OSをアップグレードする前に、2章の「プリンタードライバーの削除」(73ページ)、「PrintAgentの追加・削除」(77ページ)の手順に従ってプリンタードライバーおよびPrintAgentを削除してください。OSをアップグレードした後に、再度プリンターソフトウエアをインストールしてください。

- 従来OS用のPrintAgentはWindows XP/2000では使用できません。Windows Me/98/95、Windows NT 4.0/3.51からWindows XP/2000にアップグレードする場合は、PrintAgentをアンインストールしてからWindows XP/2000へのアップグレードを行ってください。OSのアップグレードが正しく行えた後に、Windows XP/2000に対応したPrintAgentをインストールし、ご使用ください。

紙づまりのときは

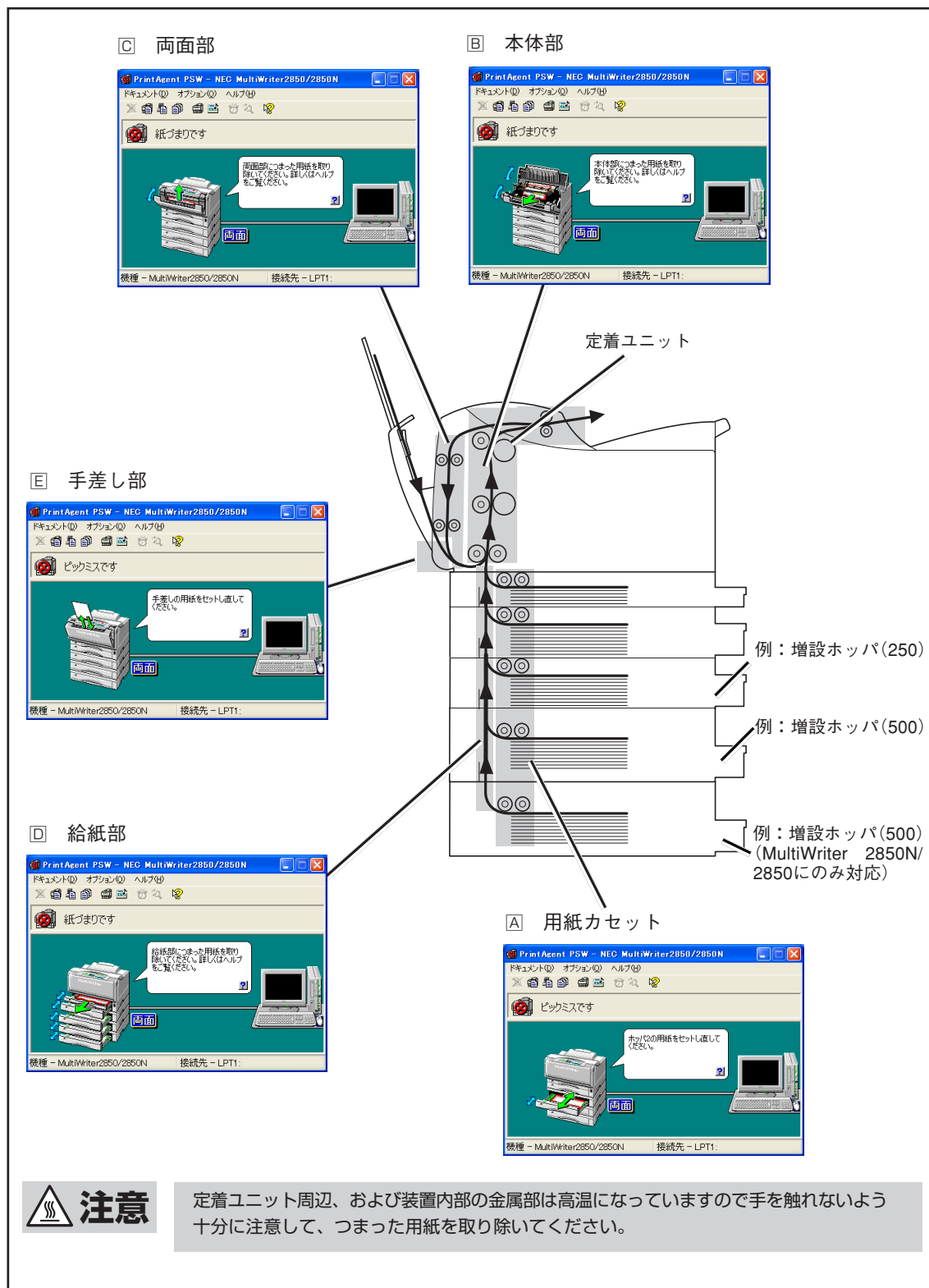
紙づまりが発生すると、操作パネルの印刷可(赤)ランプが点滅し、ディスプレイに“74　カミヅマリ　ホンタイ　リョウメン　キュウシ”、または“78　ヨウシピックミス　ホッパ　MP　テサシ”と表示されます。同時にプリンターは印刷を中止し、ディセレクト状態(印刷可ランプが赤色に点滅)になります。

(MultiWriter 2850Nの場合)

紙づまりの発生箇所

紙づまり、またはピックミス(用紙給紙ミス)のときのディスプレイ表示と発生箇所は次の表のとおりです。ディスプレイ下段の表示は紙づまり、またはピックミス(用紙給紙ミス)が発生している箇所を表しています。

ディスプレイ表示		紙づまり発生箇所
上段	下段	
“74　カミヅマリ”	“ホンタイ”	B 本体部 E 手差し部
	“リョウメン”	C 両面部
	“キュウシ”	D 給紙部
“78　ヨウシピックミス”	“ホッパ”	A 用紙カセット
	“MP”	
	“テサシ”	E 手差し部

次ページの図を参考にしてA、B、C、D、Eのいずれかを開けて、つまった箇所を調べてください。つまった箇所に応じて、161ページからの手順に従って用紙を取り除いてください。

Ⓐ～Ⓔで示す網掛け部分が紙づまり、またはピックミスの発生箇所です。処理手順については次ページ以降を参照してください。

紙づまり、ピックミスの発生箇所

ピックミス(用紙給紙ミス)の処理

発生箇所(A、E)に応じて、ピックミス(用紙給紙ミス)の処理をしてください。

給紙されなかった用紙を取り除くことができたら、カバー類を閉めてください。完全に取り除かれていればアラームは解除され、自動的に印刷は再開されます。

ピックミスが頻発するようでしたら、「ピックミス、紙づまり処理後の確認」(168ページ)を参照してピックミスを誘発させる事柄がないか確認してください。

給紙できなかった用紙は、このマニュアルの手順どおりに取り除いてください。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片がプリンターの正しい用紙送りを妨げることがあります。

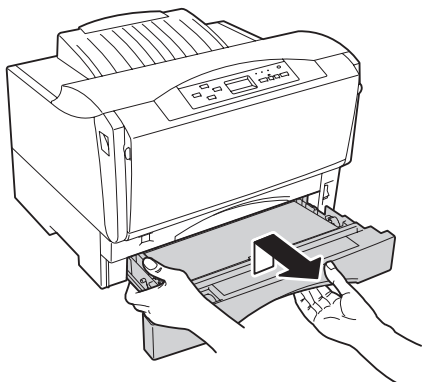
A 用紙カセット

用紙カセットでピックミスが発生した場合の処理方法を説明します。

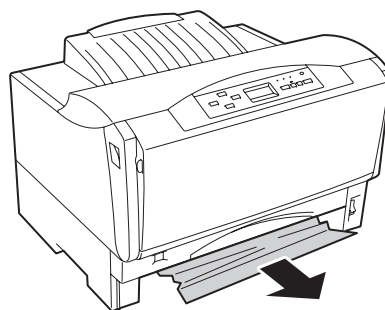
❶ 操作パネルの表示でピックミスが発生した箇所を確認する。

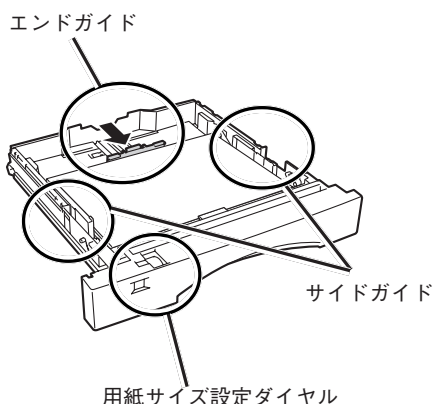
❷ プリンターの電源をONにしたまま、ピックミスが発生した箇所の用紙カセットをゆっくりと取り外す。

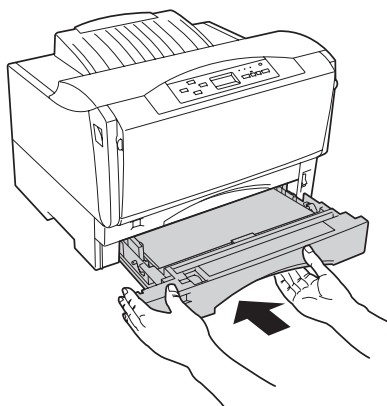
重要

用紙カセットを取り外すとき、用紙がセットされていると重くなっています。カセットを両手で上に軽く持ち上げ持って取り外してください。

❸ 給紙されなかった用紙を取り除く。

給紙されなかった用紙は用紙カセットから取り去って、再セットしないでください。

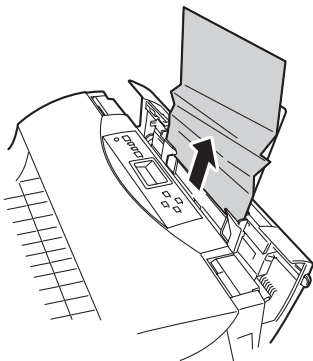
用紙の折れ曲がりなどにより紙づまりの原因となります。

❹ **用紙のセット方法、およびセットした用紙の種類が正しいか確認する。**

用紙カセットカバーを外し、エンドガイドとサイドガイドの位置が正しいか確認してください。
「3章　用紙のセット」(83ページ)を参照してください。

❺ **用紙カセットを取り付ける。**

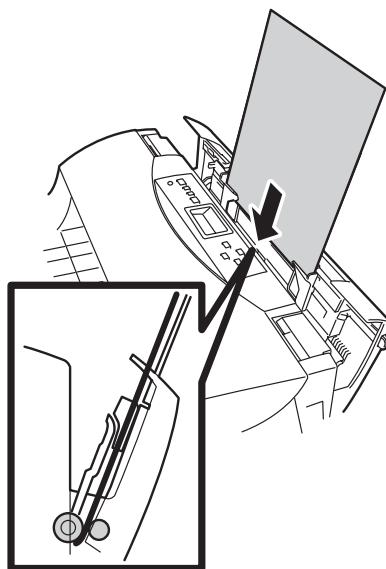
重要

用紙カセットを取り付けるとき、用紙がセットされていると重くなっています。両手で持って取り付けてください。

E　手差し部

手差し部でピックミスが発生した場合の処理方法を説明します。

❶ **プリンターの電源をONにしたまま手差し給紙できなかった用紙を取り除く。**

❷ **新しい用紙を手差しの奥まで確実にセットする。**

チェック

- セットする用紙の種類が正しいか確認してください。
- 給紙されなかった用紙は手差しから取り去って、再セットしないでください。用紙の折れ曲がりなどにより紙づまりの原因となります。

❸ **用紙のセット方法が正しいか確認する。**

手差し用紙ガイドの位置はセットした用紙に合わせてください。
3章の「手差しに用紙をセットする」(92ページ)を参照してください。

紙づまりの処理

発生箇所(B、C、D、E)に応じて、紙づまりの処理をしてください。

つまった用紙を取り除くことができたら、カバー類を閉めてください。完全に取り除かれていればアラームは解除され、自動的に印刷は再開されます。

紙づまりが頻発するようでしたら、「ピックミス、紙づまり処理後の確認」(168ページ)を参照して紙づまりを誘発させる事柄がないか確認してください。

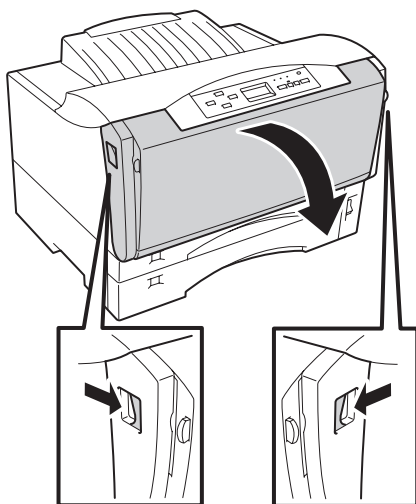
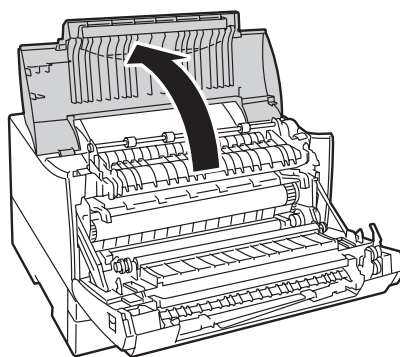
- つまった用紙は、このマニュアルの手順どおりに取り除いてください。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片がプリンターの正しい用紙送りを妨げることがあります。
- 紙づまりが発生した場合、つまった用紙が取り除かれると、紙づまりによって正しく排出されなかった用紙の印刷データから印刷を再開します。しかし、紙づまりが発生した位置によっては、正しく排出されなかった印刷データから印刷を再開できない場合があります。

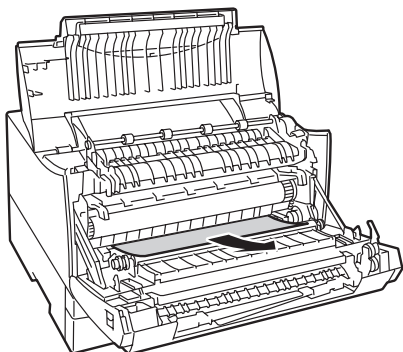
B　本体部の紙づまり

本体部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

注意　定着ユニット周辺、および装置内部の金属部は高温になっています。触れると火傷をするおそれがありますので、十分に注意してください。

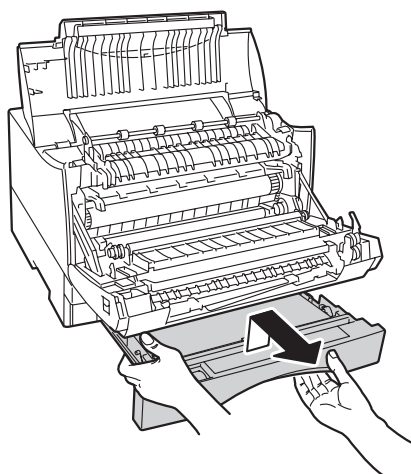
❶ プリンターの電源をONにしたまま左右のフロントユニット開閉レバーを押しながら手前に引いて、フロントユニットをゆっくりと開ける。

フロントユニットが開いて止まります。

❷ トップカバーの左右を持ち、ゆっくりと開ける。

❸ **つまった用紙の両端をつまんで、ゆっくりと手前に引き抜く。**

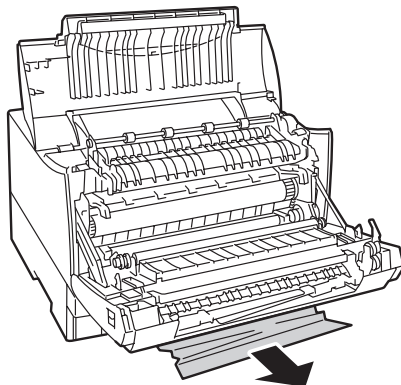
用紙がローラーにかかっていないときは、用紙をしっかりと持って手前にゆっくりと引き抜きます。つまった用紙が見つからない場合は、手順❻に進んでください。

❹ **トップカバーをゆっくりと閉じる。**

❺ **フロントユニットをゆっくりと閉じる。**

つまった用紙が取り除かれていれば、アラームが解除され、自動的に印刷は開始されます。これで終わりです。

❻ **標準カセット、またはMPカセットを両手で軽く上に持ち上げてゆっくりと取り外す。**

❼ **つまった用紙の両端をつまんで、ゆっくりと下方向に引き抜く。**

つまっている用紙が見つからなかった場合は、そのまま次の手順へ進んでください。

つまった用紙は用紙カセットから取り去って、再セットしないでください。
用紙の折れ曲がりなどにより紙づまりの原因となります。

❽ **トップカバーをゆっくりと閉じる。**

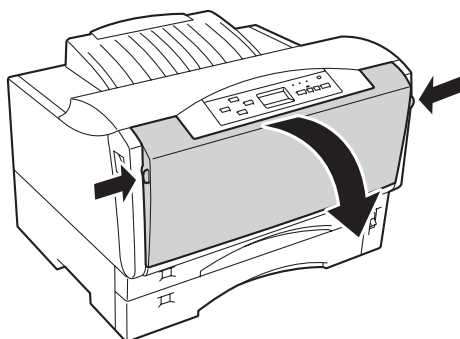
❾ **フロントユニットをゆっくりと閉じる。**

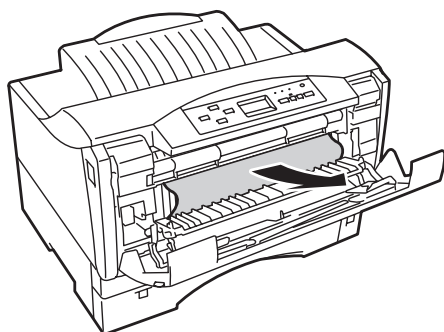
❿ **取り外した標準カセット、またはMPカセットを取り付ける。**

C　両面部の紙づまり

両面部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

❶ **プリンターの電源をONにしたまま左右のフロントカバー開閉ボタンを押しながら手前に引いて、フロントカバーをゆっくりと開ける。**

フロントカバーを60°くらいの位置まで開きます。操作パネルのディスプレイに「カバーオープン」と表示されます。

❷ **つまった用紙の両端をつまんで、ゆっくりと手前に引き抜く。**

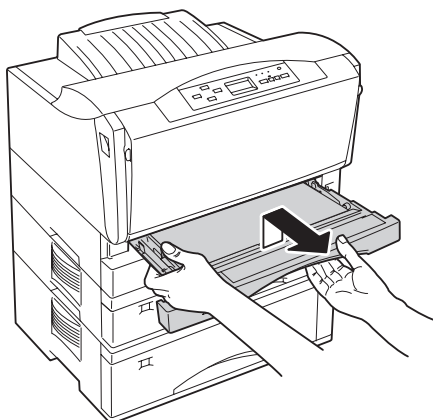
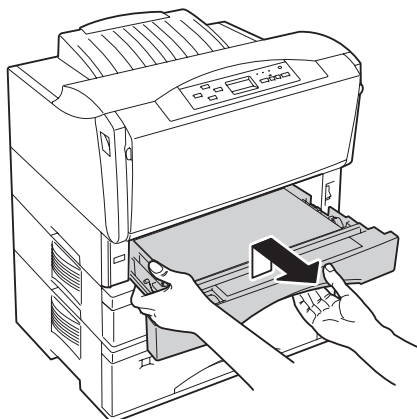
用紙が取れない、または見つからない場合はフロントカバーを閉じた後、「B　本体部の紙づまり」（163ページ）の手順に従って処理してください。

❸ **フロントカバーをゆっくりと閉める。**

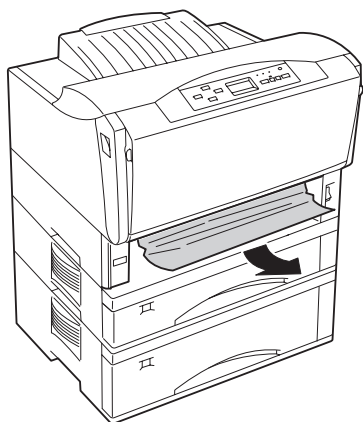
D　給紙部の紙づまり

給紙部で紙づまりが発生した場合の処理方法を、増設ホッパーを装着した場合を例にして説明します。

重要

- 用紙カセットを取り外すときは、両手で持ってください。
- 用紙カセットを取り外すときは、ゆっくりと引き出してください。用紙カセットを強く引き出すと、つまっている用紙が切れてしまい取り除けなくなるおそれがあります。

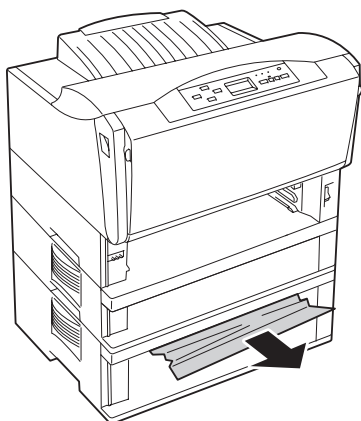
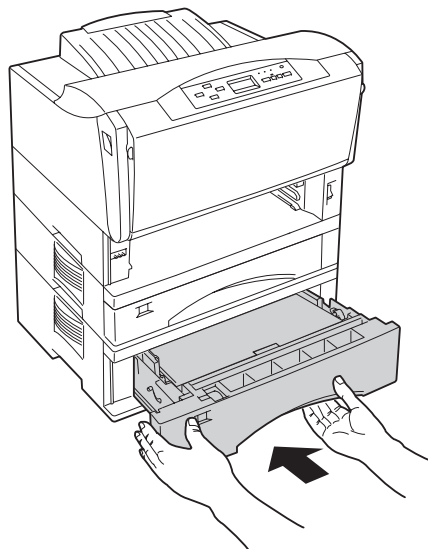
❶ **MPカセットを両手で軽く上に持ち上げてゆっくりと取り外す。**

❷ **標準カセットを両手で軽く上に持ち上げてゆっくりと取り外す。**

❸ **つまった用紙をゆっくり引き抜く。**

用紙を強く引っ張ると、途中で切れてしまい、用紙が取りづらくなりますのでゆっくりと引き抜いてください。
つまった用紙が見つからない場合は、手順❺に進んでください。

❹ **標準カセット、MPカセットを取り付ける。**

つまった用紙が取り除かれていれば、アラームが解除され、自動的に印刷は開始されます。これで終わりです。

❺ **つまった用紙が見つからない場合は、増設カセットを上から順番に取り外し、つまった用紙を取り除く。**

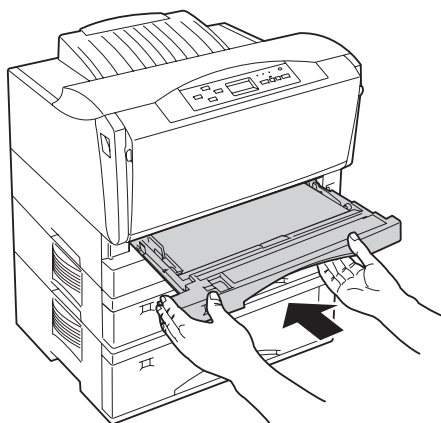
用紙を強く引っ張ると、途中で切れてしまい、用紙が取りづらくなりますのでゆっくりと引き抜いてください。

重要

用紙カセットを取り外すとき、用紙がセットされていると重くなっています。両手で持って取り外してください。

❻ **増設カセットを取り付ける。**

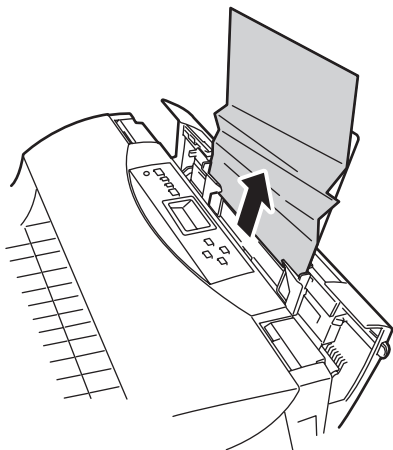
重要

用紙カセットを取り付けるとき、用紙がセットされていると重くなっています。両手で持って取り付けてください。

❼ **標準カセット、MPカセットを取り付ける。**

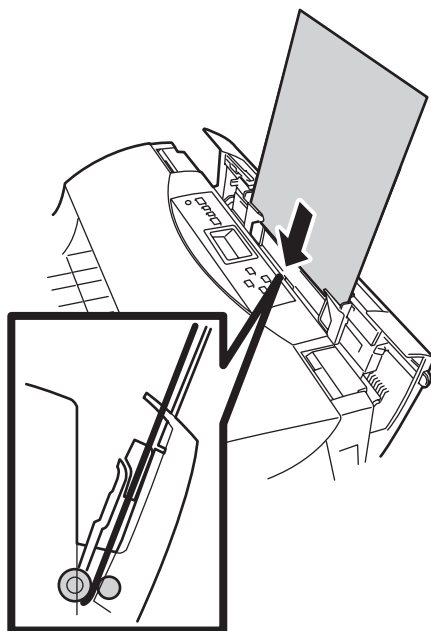
つまった用紙が取り除かれていれば、アラームが解除され、自動的に印刷は開始されます。これで終わりです。

E　手差し部の紙づまり

手差し部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

❶ **プリンターの電源をONにしたまま、フロントカバー開閉ボタンを押しながら手前に引いてフロントカバーを開けて、つまった用紙を取り除く。**

❷ **用紙が取れない、または見つからない場合は「B　本体部の紙づまり」(163ページ)の手順に従って処理する。**

このとき、フロントカバーは開けておいてください。

❸ **新しい用紙を手差しの奥まで確実にセットする。**

手差し用紙ガイドの位置はセットした用紙に合わせてください。
3章の「手差しに用紙をセットする」(92ページ)を参照してください。

✔チェック

- セットする用紙の種類が正しいか確認してください。
- 給紙されなかった用紙は取り去って、再セットしないでください。用紙の折れ曲がりなどにより紙づまりの原因となります。

ピックミス、紙づまり処理後の確認

給紙できなかった用紙または、つまっていた用紙を取り除いたら、紙づまりの再発を防止するために次の事項を確認してください。

□ 用紙の破片が紙づまりした場所に残っていませんか。

□ 用紙は正しくセットされていますか。

□ セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの設定は合っていますか。

□ 用紙は規格内のものを使用していますか。また、「用紙の規格」(210ページ)に記載されている事柄は守られていますか。

□ 用紙の量が多すぎませんか。エンドガイドおよびサイドガイドの最大積載表示(▽)以下にセットされていますか。(坪量64.0g/m²(連量55kg)の普通紙で、標準ホッパーの容量は約250枚です。)

□ 一度印刷した用紙を使用していませんか。

□ プレ印刷用紙(すでに罫線などが印刷されている用紙)を使用していませんか。

□ フロントユニット、トップカバー、フロントカバーは確実に閉じられていますか。

□ 標準カセット、MPカセット、または増設カセットが奥までまっすぐに差し込まれていますか。

□ 標準カセット、MPカセット、または増設カセット内のサイドガイドおよびエンドガイドが用紙サイズに合っていますか。

上記の確認後、「テスト印刷をする」(27ページ)に従って、印刷が正しく行われることを確認してください。(紙づまり処理直後はローラーなどに付着したトナーで用紙が汚れることがあります。数ページ、テスト印刷をしてください。)

プリンターを運搬するときは

引っ越しや修理などでプリンターを運搬するときは、次の手順でプリンターから付属品、消耗品、および
オプションを取り外してから行ってください。

❶ **付属品および消耗品（EPカートリッジ、用紙カセット、用紙、電源コード、プリンターケーブル）を取り付けたときと逆の手順で取り外す。（「1章　プリンターの設置」を参照してください。）**

重要

どの付属品を取り外すときも、電源がOFFになっていることを確認してください。

❷ **オプションを取り付けている場合は、各オプションの取扱説明書か、「9章　オプション」を参照して取り外す。**

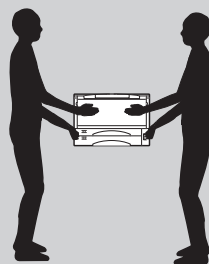
❸ **購入時の箱や緩衝材がない場合は、プリンターに衝撃を与えないよう柔らかいもので保護し、静かに運搬する。**

注意

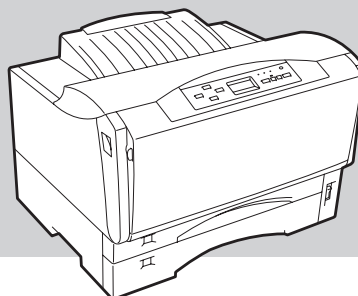
プリンターの質量はそれぞれ次のとおりです。
（EPカートリッジ含まず。）

- MultiWriter 2850N/2850：約17.7kg
- MultiWriter 2350N/2350/2150：約16.7kg

1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。

また、装置の重心は前面にありますので、前面方向へ倒れないように注意してください。

プリンター・消耗品を廃棄するときは

- プリンターの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。また、廃棄の際はEPカートリッジを取り外してお出しください。
- NEC製EPカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しています。ご使用済みのNEC製EPカートリッジは捨てずに、EPカートリッジ回収センターに直接お送りいただくか、お買い上げの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設まで、お持ち寄りください。なお、その際はEPカートリッジの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。回収については、6章の「EPカートリッジの回収と購入」(132ページ)を参照してください。
- 本書はリサイクルに配慮して製本されています。本書が不要となった際には、資源回収またはリサイクルにお出しください。

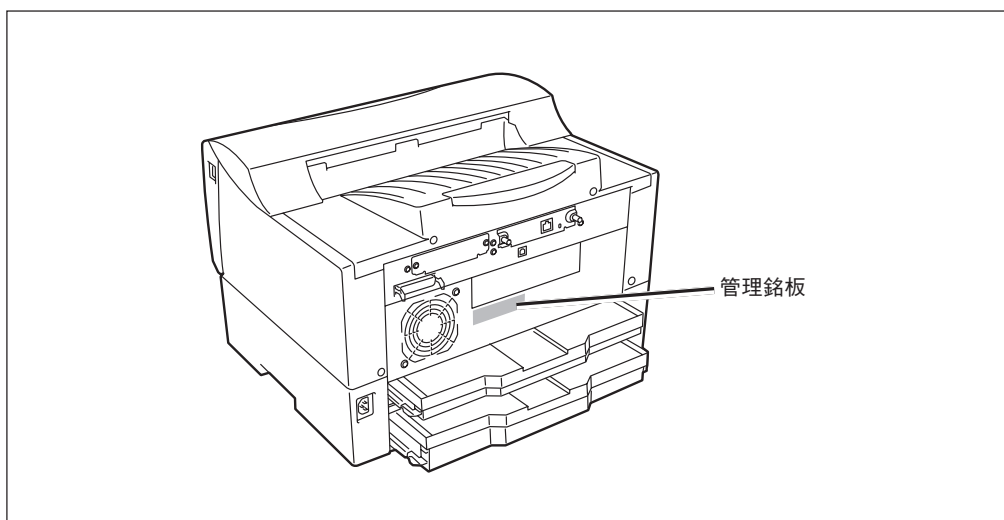
8章
ユーザーサービス

NECはMultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150の「お客様登録」をされた方々にさまざまなユーザーサービスを用意しています。ユーザーサポートをお受けになる前に、ここで説明している保証およびサービスの内容について確認してください。

お客様登録申込書について

添付の「お客様登録申込書」に記載されている事項をよくお読みになり、登録してください。

保証について

プリンターには「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理します。詳細については「保証書」、および次ページの「保守サービスについて」をご覧ください。また、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口へお問い合わせください。

本体の背面に、製品の型式、SERIAL No.(製造番号)、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります(下図参照)。販売店またはサービス窓口にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また、管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、万一プリンターが保証期間内に故障した場合でも保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。

管理銘板の位置

保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、当社指定の保守サービス会社をご利用ください。保守サービスには次のような種類があります。

- 契約保守 .... 年間一定料金で契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。
- 出張修理 .... サービス担当者がお客様のところに伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。
- 持ち込み修理 ..... お客様に修理品をサービス窓口にお持ち込みいただくシステムです。

保守サービスの種類

種　類	概　要	修理料金		お支払い方法	受付窓口*1
		保証期間内	保証期間外		
契約保守	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引き取りして修理する場合もありますのでご了承ください。) 保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。	機器構成、契約期間に応じた一定料金		契約期間に応じて一括払い	NECフィールディング(株)
出張修理	修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。 (原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、引き取りさせていただいて修理する場合もありますのでご了承ください。) ご契約は不要です。	無料*2	修理料 ＋ 出張料	そのつど清算	
持ち込み修理	修理を経済的に済ませたい場合の保守サービスです。お客様がご自身で、最寄りの修理受付窓口に修理品をお持ち込みください。修理後、修理完了品をお持ち帰りいただきます。	無料	修理料のみ		

*1　受付窓口の所在地、連絡先などは添付の「NECサービス網一覧表」もしくは、インターネットのホームページアドレス http://www.fielding.co.jp/per/index.htmをご覧ください。

*2　本製品は「出張修理対象品」ですので、保証期間内の出張修理は無料です。出張修理の対象となっていない製品は出張料のみ有料となります。

プリンターの寿命について

MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150の製品寿命は、印刷枚数が60万枚、または使用年数5年のいずれか早いほうです。MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150は、10万枚ごとに定期保守が必要です。定期保守については、販売店または「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口にご相談ください。

補修用部品および消耗品について

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は製造打ち切り後7年です。

ユーザーズマニュアルの再購入について

もしユーザーズマニュアルを紛失されたときは、下記のPCマニュアルセンターに品名を次のように指定してお申し込みください。ユーザーズマニュアル(コピー版)を実費で再度購入することができます。

品名　MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150　ユーザーズマニュアル

なお、ユーザーズマニュアルの紛失に備えて、品名をメモしておくようにしてください。

PCマニュアルセンター

URL：http://pcm.mepros.com/

電話：03-5476-1900
　受付時間　月曜から金曜　10：00～12：00/13：00～16：00
　（土曜、日曜、祭日は、ご利用になれません）

FAX：03-5476-1967
　受付時間　24時間(いただいたFAXに対するご回答は翌営業日以降となります。)

情報サービスについて

- プリンター製品に関する最新情報

  インターネット　「121ware.com」　URL：http://121ware.com/

- プリンターに関する技術的なご質問、ご相談

  NEC 121コンタクトセンター
  (電話番号、受付時間などについては、「NECサービス網一覧表」をご覧ください。)

プリンターソフトウエアをフロッピーディスクで必要な場合

通常プリンターソフトウエアのインストールは添付のCD-ROMから行いますが、フロッピーディスクを使ってインストールしたい場合は、いったんCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアをフロッピーディスクにコピーしてからインストールします。フロッピーディスクの作成手順については次ページの「FD作成」をご覧ください。

もし「CD-ROMドライブを持っていない」などでフロッピーディスクにコピーできない場合は、あらかじめ以下の必要事項を調べていただいた上で、最寄りのPCクリーンスポットまでご連絡ください。PCクリーンスポットの連絡先は、添付の「NECサービス網一覧表」をご覧ください。無償でご希望のフロッピーディスクをお送りします。

必要事項

① プリンターの名称	MultiWriter 2850N、MultiWriter 2850、MultiWriter 2350N、MultiWriter 2350、またはMultiWriter 2150
② プリンターの製造番号	保証書をご覧ください。9桁の英数字です。
③ フロッピーディスクタイプ	3.5インチ型の1.44MBタイプ*[1]、または3.5インチ型の1.2MBタイプ*[2]
④ ご住所	
⑤ ご氏名	
⑥ ご連絡先	昼間ご連絡がとれる電話番号をお知らせください。また自宅か勤務先かも明記してください。

*[1]　PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機(DOS/V対応機)に対応　*[2] PC-9800シリーズに対応

FD作成（インストール媒体の作成）

「FD作成」はプリンターソフトウエアCD-ROMの内容を任意の項目で構成し、フロッピーディスク、またはハードディスクなど任意の媒体にインストール用のプリンターソフトウエアをコピーする機能です。

コピーされる形式は次の2通りです。

- マスターとして　本プリンター用プリンターソフトウエアすべてコピーします。（1.44MBもしくは1.25MBでフォーマットされたフロッピーディスクが9枚が必要です）
- 「カスタム」インストール用として　機能を選択して、インストール用のプリンターソフトウエアをコピーします。（1.44MBもしくは1.25MBでフォーマットされたフロッピーディスクが9枚が必要です）

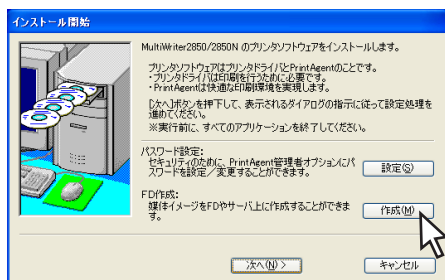
プリンターソフトウエアをコピーしたハードディスクを他のコンピューターも共有できるようにしておけば、CD-ROMを使わずにネットワークを介してプリンターソフトウエアをインストールすることができます。複数台のコンピューターに同じ内容のソフトウエアを短時間にインストールしたい場合などに便利です。

ここでは、MultiWriter 2850Nを例にとってWindows XP環境でFD作成をする手順を説明します。他のOSにおいても同様の手順です。

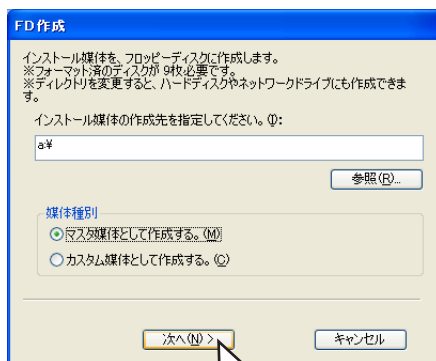
❶ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットし、メニュープログラムを立ち上げる。

メニュープログラムを立ち上げる手順はお使いになるコンピューターの環境によって異なります。各OSのインストール方法を参照してください。

① 左側のボタンから[インストール]を選択します。
② [MultiWriter2850/2850N]を選んで[インストール開始]をクリックします。

❷ FD作成の[作成]をクリックする。

❸ インストール媒体の作成先、媒体種別を指定し、[次へ]をクリックする。

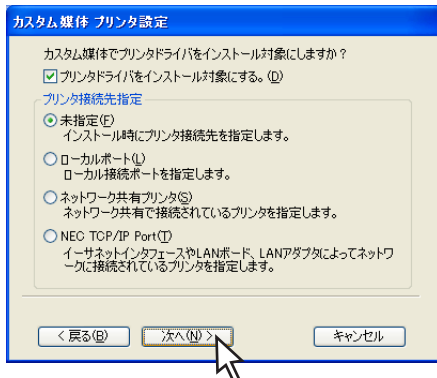
作成先にフロッピーディスクドライブを指定するとプリンターソフトウエアがフロッピーディスクにコピーされます。
インストール媒体作成先に、ハードディスク、ネットワークパスを指定することができます。

[マスタ媒体として作成する。]を選ぶとCD-ROMと、同様の内容をすべてコピーします。

<[マスタ媒体として作成する]を選んだ場合>

手順❼へ進んでください。

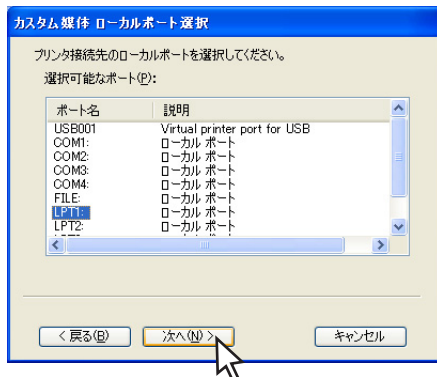
<[カスタム媒体として作成する]を選んだ場合>

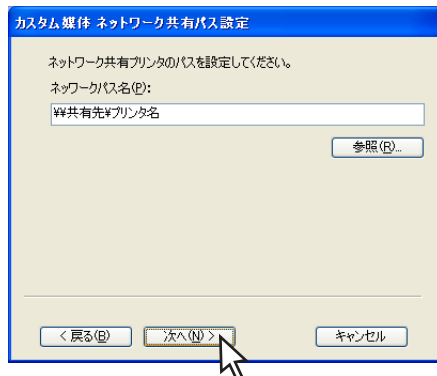
手順❹へ進んでください。

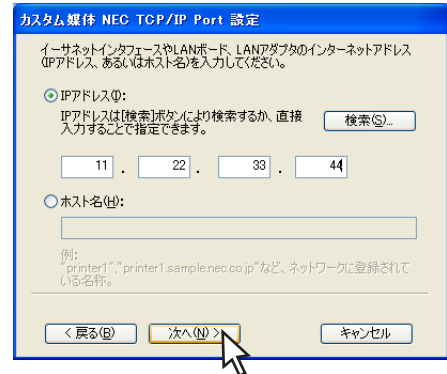
❹ プリンタードライバーのインストール、プリンターの接続先を選び、[次へ]をクリックする。

＜[未指定]を選んだ場合＞

手順❺に進んでください。

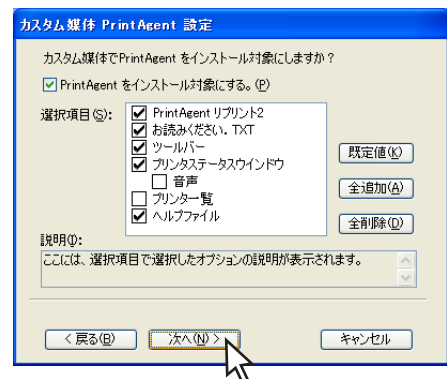
＜[ローカルポート]を選んだ場合＞

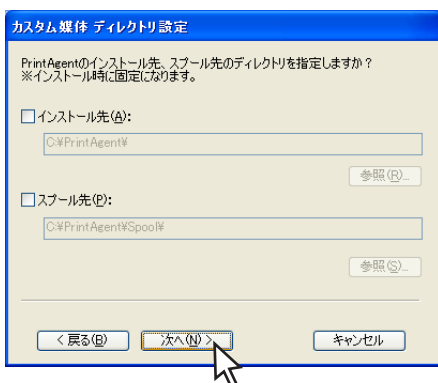
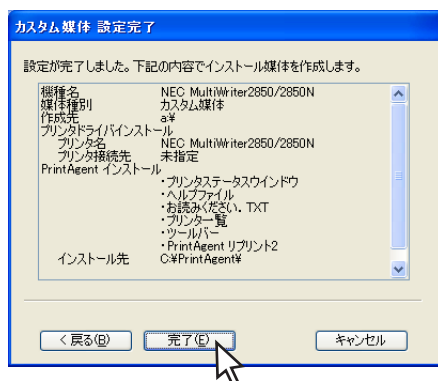
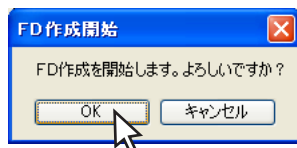
希望するポートを選び、[次へ]をクリックする。

＜[ネットワーク共有プリンタ]を選んだ場合＞

プリンターの接続先を指定し、[次へ]をクリックする。

＜[NEC TCP/IP Port]を選んだ場合＞

LANボード、またはLANアダプターのIPアドレスあるいは、ホスト名を設定して[次へ]をクリックする。

❺ 任意の機能を選ぶ。

[全追加]をクリックするとすべてチェックされます。[全削除]をクリックするとすべてチェックが外れます。

ここで選択されなかった機能はクライアントでインストールした後に、クライアントで追加を行おうとしても追加できません。インストールした機能のみ削除できます。

❻ **インストール先、スプール先を指定し、[次へ]をクリックする。**

ここであらかじめインストール先を固定しておけば、個々のコンピューターからインストールするときの手順が簡略化できます。

❼ **設定した内容を確認し、[完了]をクリックする。**

❽ **[OK]をクリックする。**

インストール媒体の作成が開始します。

❾ **[OK]をクリックする。**

FD作成によって作成されたフロッピーディスクは、以下のような構成になります。

Disk 1：インストールプログラム

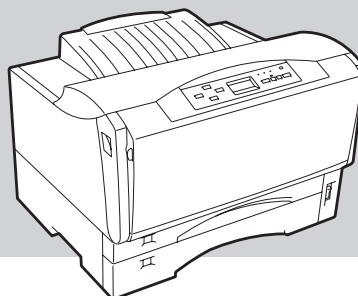
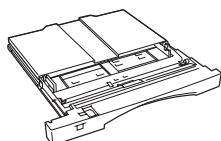
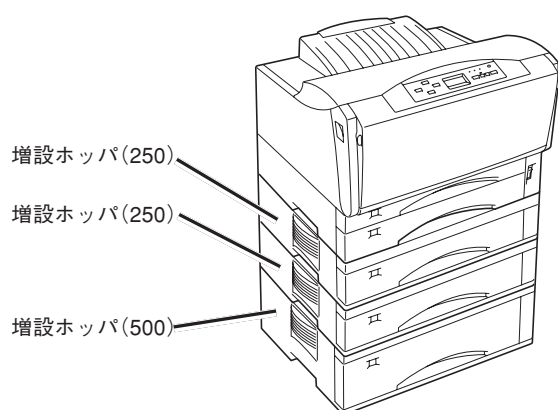
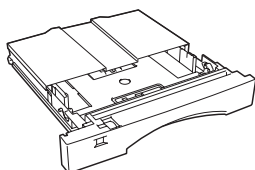
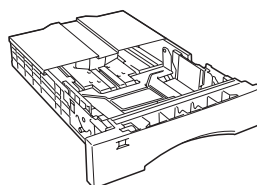
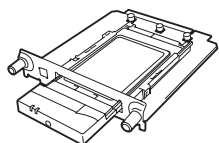
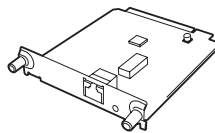
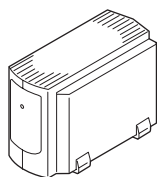
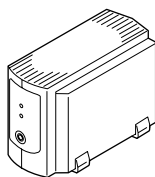
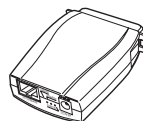
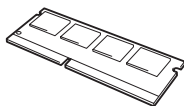
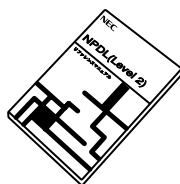
Disk 2：Windows Me/98/95
プリンタードライバー
（Windows Me/98用USBドライバーを含みます。）

Disk 3：Windows NT 4.0
プリンタードライバー

Disk 4：Windows XP/2000
プリンタードライバー

Disk 5〜Disk 9：PrintAgentソフトウエア

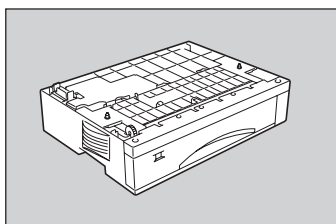
作成したフロッピーディスクでプリンターソフトウエアのインストールを行うには、Disk1にあるSETUP.EXEを実行してください。

9章
オプション

この章では、MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150用として提供される別売品(オプション)を紹介し、その取り付け、取り外し、テスト印刷の方法などについて説明します。

増設ホッパ（250）
増設ホッパ（250）
増設ホッパ（500）
MPカセット
用紙カセット（250）
用紙カセット（500）
無線LANボード
LANボード（TCP/IP）
（MultiWriter 2850/2350/2150のみ対応）
LANアダプタ（TCP/IP）
LANアダプタ（TCP/IP）
（リモート電源制御対応）
マルチプロトコル
LANアダプタ
増設メモリー
NPDL（Level 2）
リファレンスマニュアル

オプション一覧

オプション品の紹介

オプション品のご購入については、お買い求めの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口などにお問い合わせください。

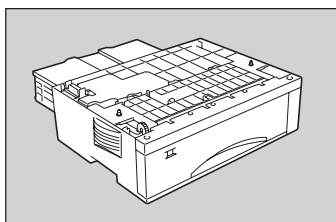
ホッパー・カセット

増設ホッパ(250) (型番 PR-L2300-02)

A3、A4、A5、B4、B5、レターサイズの用紙(普通紙)を250枚までセットすることができます。

PR2000/4R-02、PR2200X-02、PR-L2200X2-02、PR-L2650-02は使用できません。

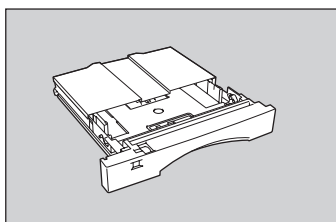
項目	型番 PR-2300-02
サイズ	459(W)×555(D)×104(H) mm (A3、B4サイズセット時、最大) 459(W)×420(D)×104(H) mm (A4、A5、B5、レターサイズセット時、最小で突起部含まないサイズ)
質量	約4.3kg
対応用紙	普通紙　A3、B4、A4、A5、B5、レター
備考	2段目、3段目、4段目*に増設可能

* MultiWriter 2850N/2850のみ増設ホッパー4段に対応しています。

増設ホッパ(500) (型番 PR-L2300-03)

A3、A4、B4、レターサイズの用紙(普通紙)を500枚までセットすることができます。PR2000/4R-03、PR2400-03、PR2200X-03、PR-L2200X2-03、PR-L2650-03は使用できません。

項目	型番 PR-L2300-03
サイズ	459(W)×562(D) ×139(H) mm (突起部を含まないサイズ)
質量	約5.5kg
対応用紙	普通紙　A3、B4、A4、レター
備考	2段目、3段目、4段目*に増設可能

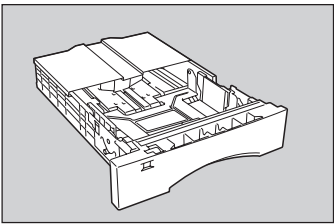
* MultiWriter 2850N/2850のみ増設ホッパー4段に対応しています。

用紙カセット(250) (型番 PR-L2300-04)

MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150の標準ホッパー、増設ホッパ(250)用の用紙カセットです。各用紙サイズごとにカセットを用意しておき、用紙サイズを変えるときにカセットごと交換することができて便利です。

サイズ　：　414(W)×555(D)×65(H)mm
(A3、B4サイズセット時、最大)
414(W)×420(D)×65(H)mm
(A4、A5、B5、レターサイズセット時、最小)

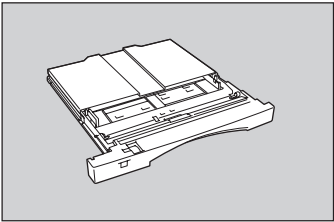
質量　：　約1.6kg

9 オプション

用紙カセット(500) (型番 PR-L2300-05)

増設ホッパ(500)用の用紙カセットです。用紙サイズを変えたいときに、その都度用紙を入れ替える必要がなく、カセットごと交換することができて便利です。

サイズ　：　414(W)×562(D)×100(H)mm

質量　：　約2.5kg

MPカセット (型番 PR-L2300-MP)

MP用の増設MPカセットです。用紙サイズを変えたいときに、その都度用紙を入れ替える必要がなく、カセットごと交換することができて便利です。

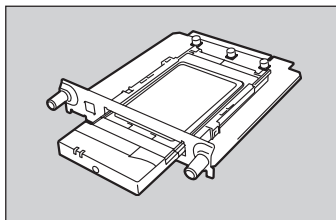
サイズ　：　414(W)×546(D)×39(H)mm
（A3、B4サイズセット時、最大）
414(W)×411(D)×39(H)mm
（A4、A5、B5、レターサイズセット時、最小）

質量　：　約1.1kg

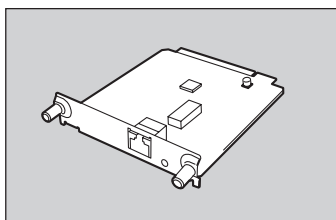
MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150のそれぞれが対応しているカセットは以下のとおりです。

カセット型番	増設ホッパ（250）	増設ホッパ（500）	本体給紙部	
	PR-L2300-02	PR-L2300-03	標準ホッパー	MP
PR-L2300-04	○	X	○	X
PR-L2300-05	X	○	X	X
PR-L2300-MP	X	X	X	○

ネットワークオプション

無線LANボード(型番 PR-WL-12)

IEEE 802.11b規格に準拠し、転送速度最大11Mbpsの無線LAN環境にプリンターを接続する内蔵型LANボードです。従来の有線LANシステムのようにネットワークケーブルが散乱することなく、ネットワークケーブル敷設工事の必要がないため、安価に、また手軽にＬＡＮ環境が構築できます。さらに、MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150と組み合わせることで世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによって、プリンターの管理が行えます。

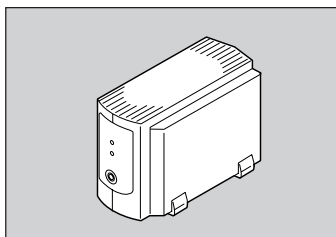
添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「無線LANプリンタ導入ウィザード」を使用すると、無線LAN環境を初めて構築する方や不慣れな方でも、設定項目ごとにウィザード画面上でサポートされている解説や操作手順により、簡単に分かりやすく設定を行なうことができます。

LANボード(TCP/IP)(型番 PR-NP-04T)MultiWriter 2850/2350/2150のみ対応

MultiWriter 2850/2350/2150に対応し、100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備しているプリンター内蔵型LANボードです。

ネットワーク対応環境

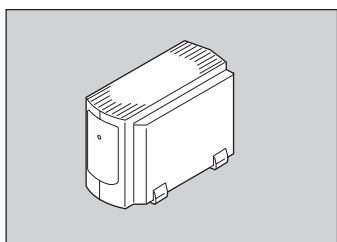
ネットワークOS	プロトコル	
	TCP/IP	IPP
Windows XP/2000	○	○
Windows Me/98/95	○*1	○*2
Windows NT 4.0/3.51/3.1	○	○*3
UNIX	○	×

*1　NEC TCP/IP Printing Systemにより対応します。
*2　Windows 98/95はNEC Internet Printing Systemにより対応します。
*3　Windows NT 4.0のみNEC Internet Printing Systemにより対応します。

LANアダプタ(TCP/IP)(型番 PR-NP-03TR2)

100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、SNMP(ネットワーク管理プロトコル)に対応している外置き型LANアダプターです。

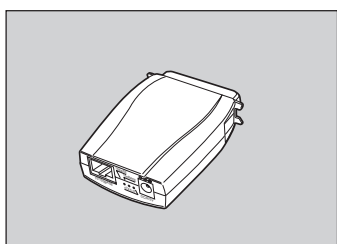
さらに、MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150と組み合わせることで、世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによってプリンターの管理が行えます。

PrintAgent(プリンタ管理ユーティリティ)のリモート電源制御機能を使って、コンピューターからプリンターの電源のON/OFFができます。(詳細は添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアル4章の「リモート電源制御」をご覧ください。)

LANアダプタ(TCP/IP)(型番 PR-NP-02T2)

100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、SNMP(ネットワーク管理プロトコル)に対応している外置き型LANアダプターです。

さらに、MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150と組み合わせることで、世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによってプリンターの管理が行えます。

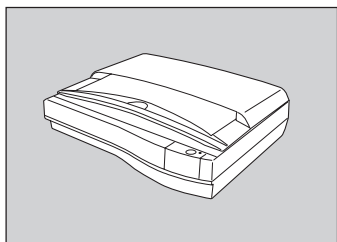
LANアダプタ(TCP/IP)(型番:PR-NP-02T2/PR-NP-03TR2)が対応しているPrinter-MIB、操作パネルによるIPアドレス設定などの機能を有効にするためには、プリンターの動作双方向をECPモードにする必要があります。詳しくは、1章の「Step4　IPアドレスとサブネットマスクを設定する」(34ページ)を参照してください。

マルチプロトコルLANアダプタ(型番 PR-NPX-05)

100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、プリンターのパラレルインターフェースに直接接続する外付けLANアダプターです。本LANアダプターはPrintAgent、SNMP(Printer MIB、Host Resourece MIB)には対応していません。詳しくはPR-NPX-05のセットアップガイドをご覧ください。

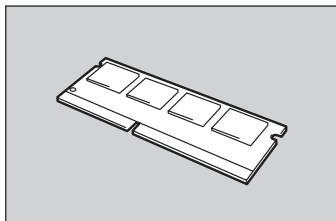
LANアダプターネットワーク環境

<table>
<tr><th colspan="2">PR-NP-02T2/PR-NP-03TR2</th><th colspan="2">PR-NPX-05</th></tr>
<tr><th>ネットワークOS</th><th>プロトコル</th><th>ネットワークOS</th><th>プロトコル</th></tr>
<tr><td rowspan="2">Windows XP/2000</td><td rowspan="6">TCP/IP</td><td>Windows XP</td><td>TCP/IP</td></tr>
<tr><td>Windows 2000</td><td rowspan="3">TCP/IP
NetBEUI</td></tr>
<tr><td>Windows Me/98/95
(NEC TCP/IP Printing Systemにより対応)</td><td>Windows Me/98/95
(NEC Network Printer Portにより対応)</td></tr>
<tr><td>Windows NT 4.0</td><td>Windows NT 4.0</td></tr>
<tr><td rowspan="2">UNIX</td><td>UNIX</td><td>TCP/IP</td></tr>
<tr><td>Netware　3.X/4.X/5.X</td><td>IPX/SPX</td></tr>
</table>

スキャナオプション

スキャナユニット(型番 PR-MW-SC10)

MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350に対応したネットワークスキャンや、コピーを可能とするスキャナユニットです。MultiWriter 2850/2350にスキャナユニットの接続をする場合は、オプションのLANボード(型番 PR-NP-04T)の増設が必要です。ほかに、ADFユニット(型番 PR-MW-SF10)、スキャナテーブル(型番 PR-MW-ST10)を別売りしています。詳しくは、スキャナユニット(型番 PR-MW-SC10) のユーザーズマニュアルまたは、「http://121ware.com」をご覧ください。

メモリー

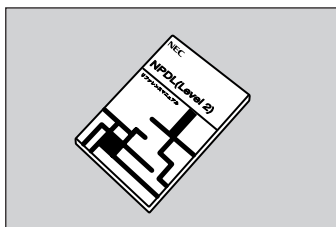
増設メモリ(64MB)、(128MB)、(256MB)
(型番 PR-MW-M012、PR-MW-M013、PR-MW-M014)

MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150には1枚だけ取り付けることができます。
取り付けることにより次の効果があります。

- 解像度1200dpiでの印刷時のメモリー不足の解消
  (MultiWriter 2350N/2350のみ)
- 電子ソート機能
- 複雑な印刷データの印刷性能向上
- メモリー不足で印刷できない両面印刷などの解消
- フォーム登録数の増加
- 受信バッファの拡大

増設メモリーが対応しているメモリー容量は以下のとおりです。

品名	型番	メモリー容量
増設メモリ(64MB)	PR-MW-M012	64MB
増設メモリ(128MB)	PR-MW-M013	128MB
増設メモリ(256MB)	PR-MW-M014	256MB

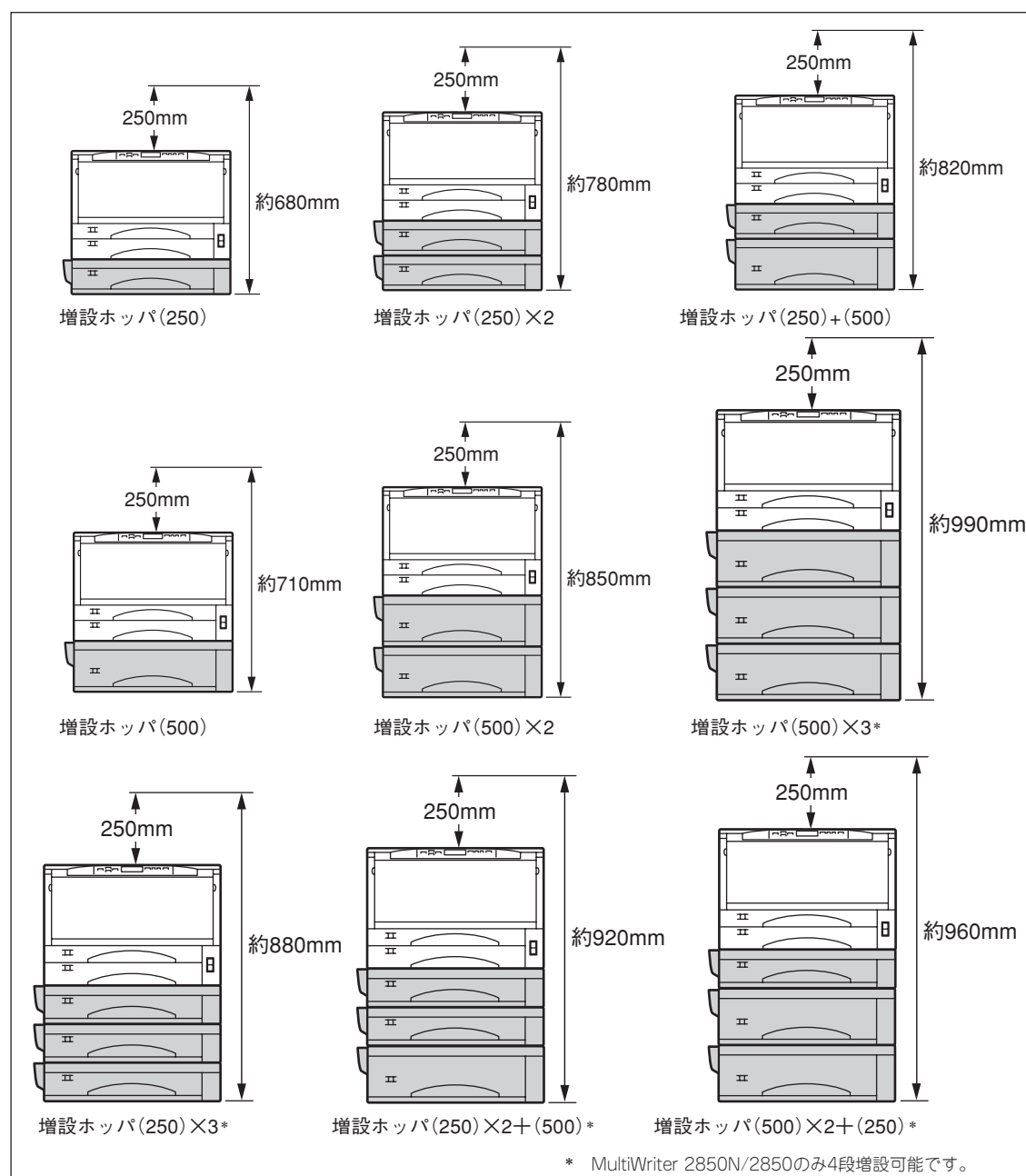
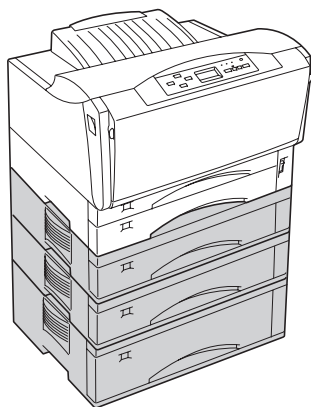
リファレンスマニュアル

日本語ページプリンタ言語NPDL(Level 2)リファレンスマニュアル
(型番 PC-PRNPDL2-RM)

ページプリンターの様々な動作を制御する命令およびプログラミングについての詳しい解説書です。

増設ホッパー

大量印刷をサポートするために、MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150には増設ホッパ(250)(型番 PR-L2300-02)と増設ホッパ(500)(型番 PR-L2300-03)の2種類の増設ホッパーがそれぞれ用意され、3段目まで増設が可能です。

増設ホッパーの設置に必要な高さ

増設ホッパーを設置するために必要な高さを示します。プリンターの周囲に必要な設置スペースについては15ページをご覧ください。

増設ホッパーの取り付け

増設ホッパ(250)/(500)は、上から2段目(ホッパー2)、3段目(ホッパー3)、4段目*(ホッパー4)のどちらにでも取り付けることができます。2段目、3段目、4段目に取り付ける方法は同じです。ここでは2段目に取り付ける方法を示します。

* MultiWriter 2850N/2850のみ4段増設可能です。

⚠ 注意

プリンターを移動する際は、装置側面の取っ手を持ち、装置前面に手を添えて2人以上で運んでください。プリンターの質量はそれぞれ次のとおりです。(EPカートリッジ含まず。)

- MultiWriter 2850N/2850：約17.7kg
- MultiWriter 2350N/2350/2150：約16.7kg

1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。取り付けは2名以上で行ってください。

また、装置の重心は前面にありますので、前面方向へ倒れないように注意してください。

重要

- 取り付け方法の詳細について、増設ホッパーに添付の取扱説明書を十分にお読みになってから取り付けてください。
- 増設ホッパーに添付の固定用ステーを必ず取り付けてプリンターと増設ホッパーを固定させてください。

1 プリンターの電源をOFFにする。

2 電源コードとプリンターケーブルをプリンターから取り外す。

重要

電源スイッチをOFFにしてください。ONにしたまま取り外すと故障の原因になることがあります。

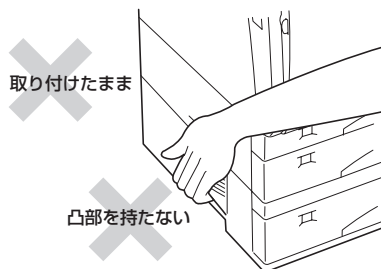
3 プリンターを一時的に移動させる。

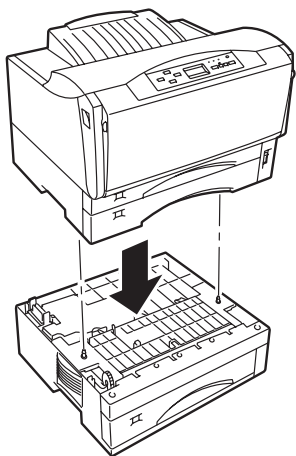
プリンターの左右の取っ手を持ち、しっかりした台や机の上に置いてください。

4 プリンターのあった場所に増設ホッパーを置く。

増設ホッパーの向きに注意してください。

重要

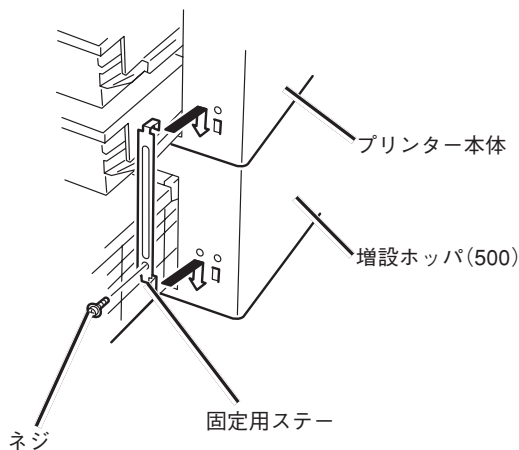
増設ホッパーを運ぶ際は、増設ホッパーの左右の取っ手を持って1段ずつ運んでください。左側にある凸部は持たないでください。

❺ **増設ホッパーの上にプリンターを取り付ける。**

取り付けピンに合わせて、プリンターを増設ホッパーの上に静かに置きます。

重要

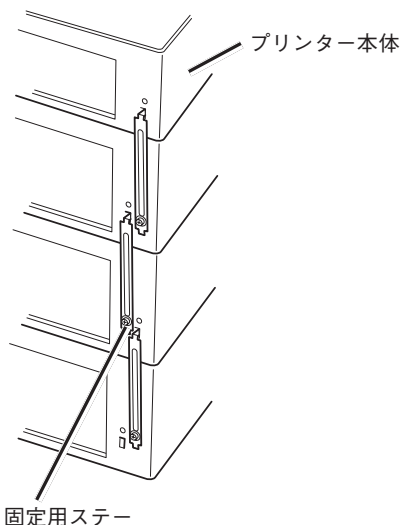
増設ホッパーを3段目(4段目*)にも取り付ける場合は、3段目(4段目*)の増設ホッパーを設置した後、2段目(3段目)の増設ホッパー、プリンターの順でひとつずつ載せてください。

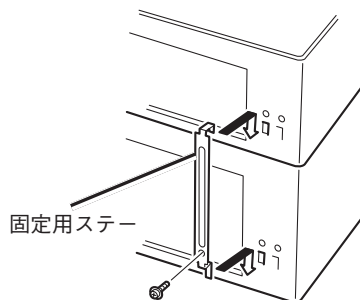
* MultiWriter 2850N/2850のみ4段増設可能です。

❻ **プリンター本体と増設ホッパーを固定用ステーで固定する。**

プリンター本体背面と増設ホッパー背面右側にある取り付け穴に固定用ステーの突起部を引っかけた後、ネジで1か所固定します。

❼ **増設ホッパーを2段、または3段増設する場合は、増設ホッパーの2段目と3段目、または3段目と4段目*を固定用ステーで固定する。**

* MultiWriter 2850N/2850のみ4段増設可能です。

増設ホッパー背面右側にある取り付け穴に固定用ステーの突起部を引っかけた後、ネジで1か所固定します。

MultiWriter 2850Nに
増設ホッパーを4段取り付けた例

固定用ステーとネジは増設ホッパーにそれぞれ添付されており、増設ホッパ(250)用と増設ホッパ(500)用では、長さが異なります。下の段に付けた増設ホッパー用のステーをお使いください。

❽ **電源コードとプリンターケーブルをプリンターに取り付ける。**

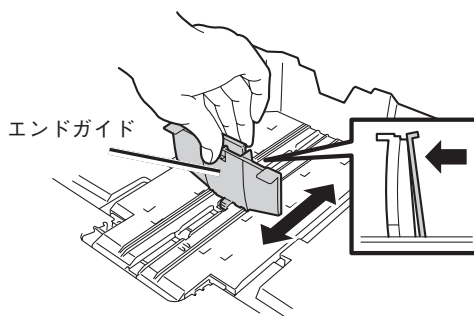
増設ホッパーへの用紙のセット

増設ホッパーへの用紙のセット方法は標準のホッパーと同じです。3章の「ホッパーに用紙をセットする」(92ページ)をご覧ください。

重要

用紙をセットし終えた用紙カセットは重くなっています。増設ホッパーに取り付ける際は増設カセットを両手で持ってプリンターに差し込んでください。

チェック

- 増設ホッパ(500)にセットできる用紙の種類、量は標準ホッパーとは異なります。増設ホッパ(500)にはA3、B4、A4、レターサイズを500枚までセットできます。また、増設ホッパ(500)の用紙カセットは縮めることはできません。
- 増設ホッパ(500)のエンドガイドは、標準のホッパー、増設ホッパ(250)のエンドガイドと形状が異なります。
- 増設ホッパ(500)のエンドガイドは右図のように左右のつまみを押しながら行ってください。

プリンターの設定

標準では増設ホッパ(250)に設定されています。次の場合は、プリンターのメモリースイッチ(MSW)の設定を変更する必要があります(手順は次ページ参照)。該当しない方は、次ページの「ホッパーの切り替え」へ進んでください。

- 増設ホッパ(500)を取り付けたとき
- 増設ホッパ(500)から増設ホッパ(250)に取り換えたとき

MultiWriter 2850N/2850の場合

位置	取り付けた増設ホッパー	MSWの設定
2段目	増設ホッパ（500）	MSW7-4　1
	増設ホッパ（250）	MSW7-4　0
3段目	増設ホッパ（500）	MSW7-5　1
	増設ホッパ（250）	MSW7-5　0
4段目	増設ホッパ（500）	MSW9-3　1
	増設ホッパ（250）	MSW9-3　0

MultiWriter 2350N/2350/2150の場合

位置	取り付けた増設ホッパー	MSWの設定
2段目	増設ホッパ（500）	MSW7-4　1
	増設ホッパ（250）	MSW7-4　0
3段目	増設ホッパ（500）	MSW7-5　1
	増設ホッパ（250）	MSW7-5　0

次の手順は2段目に増設ホッパ(500)を取り付けたときの操作パネルによる設定の変更方法です。3段目、4段目*に取り付ける場合も同様の手順で行います。

* MultiWriter 2850N/2850のみ4段増設可能です。

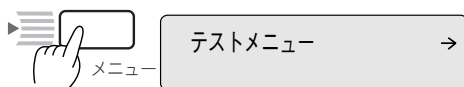
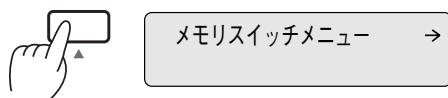
❶ **プリンターの電源をONにする。**

❷ **[印刷可]スイッチを押して、印刷可ランプを消灯させる。**

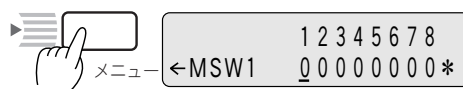
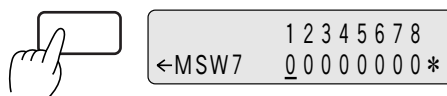
❸ **データランプが点灯していないことを確認する。**

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

❹ **[メニュー]スイッチを押す。**

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに"テストメニュー →"と表示します。

❺ **[▲]スイッチを1回押す。**

❻ **[▶]スイッチを1回押す。**

MSW1が表示されます。

❼ **[▲]スイッチまたは[▼]スイッチを押して、MSW7を表示させる。**

❽ **[▶]スイッチを3回押して、カーソルをMSW7-4に移動させる。**

❾ **[設定変更]スイッチを押して、MSW7-4を1に変更する。**

❿ **[印刷可]スイッチを押して、メニューモードを終了させる。**

これで設定完了です。

ホッパーの切り替え

取り付けた増設ホッパーから給紙するためには、操作パネル上でホッパー表示を「ホッパ2」、「ホッパ3」、または「ホッパ4」*にします。

* MultiWriter 2850N/2850のみ4段増設可能です。

ホッパーの選択には、選択した状態をどこまで維持させるかによって、2つの方法があります。

- プリンターが初期化されるまで維持する方法 .... [ホッパ]スイッチによる切り替え
- プリンターが初期化されても増設ホッパーが選択される方法 .... メニューモードによる切り替え

次ページにそれぞれの選び方について説明します。

プリンターが初期化されるまで維持する方法

操作パネルの[ホッパ]スイッチを使って増設ホッパーを選択します。

❶ **[印刷可]スイッチを押し、印刷可ランプを消灯させる。**

❷ **[ホッパ]スイッチを押し、ディスプレイの表示を“ホッパ2”、“ホッパ3”または“ホッパ4”*にする。**

```
ホッパ゜2　A4ヨコ ポ゜ート
```

* MultiWriter 2850N/2850のみ4段増設可能です。

❸ **[印刷可]スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。**

❹ **コンピューターからデータを送る。**

この状態は、以下の方法で変更しない限り、設定は維持されます。

- 同じ方法でホッパーの選択を変更する
- 手差し給紙に変更する
- 電源をOFFにする
- コンピューターから変更
- プリンターを初期化する

プリンターが初期化されても増設ホッパーが選択される方法

メニューモード内のプリンターの初期設定を変更します。

❶ **メニューモードに入る。**

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して“テストメニュー　→”を表示させせます。

```
テストメニュー　→
```

❷ **[▼]スイッチを2回押す。**

“ヨウシメニュー　→”と表示されます。

```
ヨウシメニュー　→
```

❸ **[▶]スイッチを2回押す。**

ホッパー初期設定の表示になります。

```
ホッパ゜ ショキセッテイ
←          ホッパ゜1*
```

❹ **[設定変更]スイッチを押して、ディスプレイ下段を “←　ホッパ2＊”、“←　ホッパ3＊”または“←　ホッパ4＊”*に変更する。**

```
ホッパ゜ ショキセッテイ
←          ホッパ゜2*
```

* MultiWriter 2850N/2850のみ4段増設可能です。

❺ **[印刷可]スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。**

ディスプレイ上段に“ホッパ2　××　×××”、“ホッパ3　××　×××”、または“ホッパ4　××　×××”*と表示されていれば設定は完了です。表示されていないときはもう一度最初からやり直してください。

```
ホッパ゜2　A4ヨコ ポ゜ート
            NPDL
```

* MultiWriter 2850N/2850のみ4段増設可能です。

この状態は、同じ方法でホッパーの選択を変更しないかぎり維持されます。

リレー給紙について

印刷しているホッパー、またはMPの用紙がなくなったときに、自動的に別の給紙先から用紙を吸入し印刷を続ける機能です。ホッパー、MP、または増設ホッパーを装着し、同じ用紙サイズおよび同じ用紙種別の用紙をセットした場合のみ実現できます。

リレー給紙を有効にするために、メニューモードのリレー給紙設定をする必要があります。以下の手順で印刷してください。

❶ **メニューモードに入る。**

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して"テストメニュー　→"を表示させます。

❷ **操作パネルの[▼]スイッチ、[▶]スイッチ、[設定変更]スイッチを押して、"リレーキュウシ"をONにする。**

リレー給紙させるホッパーまたはMPのすべてを"リレーキュウシ"ONにしてください。

❸ **[メニュー終了]スイッチを押す。**

❹ **設定が終わったら、リレー給紙を有効にしたホッパーまたはMPの用紙サイズ、用紙の種類、用紙のセット方向が同じになっているか確認する。**

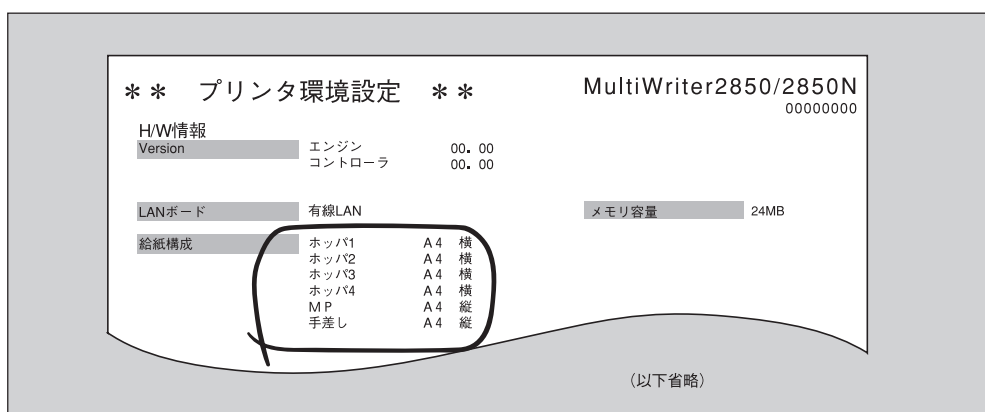
❺ **プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの[用紙]シートで、給紙方法が[自動]になっていることを確認する。**

❻ **[印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、[OK]をクリックして印刷する。**

テスト印刷

増設ホッパーが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順については1章の「8　テスト印刷をする」(27ページ)を参照してください。

2段目に増設ホッパーが取り付けられ、用紙が正常に給紙された場合、次のように「ホッパ2」と印刷されます。3段目に取り付けた場合は「ホッパ3」、4段目に取り付けた場合は「ホッパ4」*と印刷されます。

*　MultiWriter 2850N/2850のみ4段増設可能です。

増設ホッパーのステータス印刷の例

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで、増設ホッパーの取り付けは完了です。

増設ホッパーの取り外し

増設ホッパーを取り外す場合は次の手順で行ってください。2段目と3段目、4段目*の取り外し方法は同じです。ここでは2段目を取り外す方法を示します。

* MultiWriter 2850N/2850のみ4段増設可能です。

⚠注意

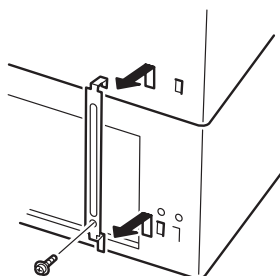
- プリンターを1人で持ち上げないでください。1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。プリンターを移動する時には、必ず2人以上で行ってください。プリンターの質量はそれぞれ MultiWriter 2850N/2850：約17.7kg、MultiWriter 2350N/2350/2150：約16.7kg　(EPカートリッジ含まず。)
- プリンターに増設ホッパーを取り付けたまま、運搬、移設しないでください。プリンターや増設ホッパーを落下させ、破損するおそれがあります。運搬および移設の際は、必ず固定用ステーを取り外し、プリンター、増設ホッパーの順にそれぞれ持ち上げてください。

重要

取り外し方法の詳細については、増設ホッパーに添付の取扱説明書を十分にお読みになってから取り外してください。

❶ プリンターの電源をOFFにし、電源コード、プリンターケーブルをプリンターから取り外す。

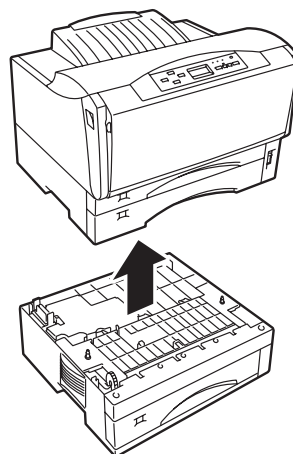
❷ 増設ホッパーを固定した固定用ステーを取り外す。

1か所のネジをそれぞれ外してから、固定用ステーを取り外します。

重要

取り外した固定用ステーとネジは増設ホッパーと一緒に大切に保管してください。

❸ プリンターを増設ホッパーから取り外し、一時的に台や机の上に置く。

重要

プリンターを持ち上げるとき、取っ手以外の場所を持たないでください。プリンターが破損することがあります。

❹ 増設ホッパーを台の上から外す。

3段目の増設ホッパーが取り付けられている場合は、プリンター、2段目の増設ホッパーを一時的に台や机の上に置いてから3段目を移動させてください。

重要

増設ホッパーを運ぶときは、増設ホッパーの左右の取っ手を持って運んでください。
左側にある凸部は持たないでください。

❺ プリンターを元の位置に置く。

❻ 電源コードとプリンターケーブルを取り付ける。

LANボード

MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150をネットワークに接続するためのLANボードはPR-NP-04T(MultiWriter 2850/2350/2150のみ対応)、PR-WL-12の2種類が用意されています(詳細は183ページ参照)。

それぞれのLANボードの取り付け・取り外し手順を説明します。

使い方や操作方法については、LANボードに添付の取扱説明書をご覧ください。

重要

- LANボードは大変デリケートな電子部品です。ボードを取り扱うときは、プリンター背面のコネクターが付いているフレームなどに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品には触れないようにしてください。
- LANボードは必ず[インタフェース2]に取り付けてください。誤って[インタフェース3]にLANボードを取り付けると、プリンター本体の故障や動作不良の原因となります。[インタフェース3]は将来の拡張用スロットです。
- MultiWriter 2850N/2350Nで無線LANボードを使用する場合は、あらかじめ[インタフェース2]のLANボード用スロットから標準装備のLANボードを取り外す必要があります。

無線LANボードの取り付け

ここでは、無線LANボード(型番:PR-WL-12)の取り付け手順を説明します。

1 プリンターの電源をOFFにし、電源コードとプリンターケーブルをプリンターから取り外す。

警告

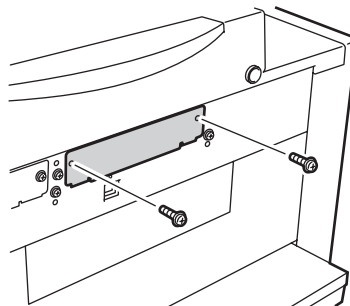
プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り付けると、故障の原因となるばかりでなく、感電のおそれがあります。

2 MultiWriter 2850N/2350Nに無線LANボードを取り付ける場合は、[インタフェース2]から標準装備のLANボードを取り外す。

取り外し手順はLANボード(TCP/IP)の取り外し手順(198ページ)をご覧ください。

3 「インタフェース2」と刻印されたLANボード用スロットからネジ2本を外して、プレートを取り外す。

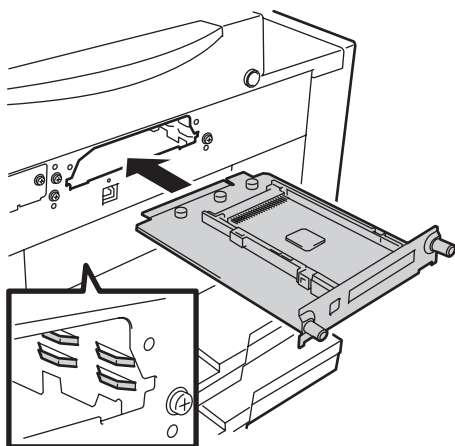
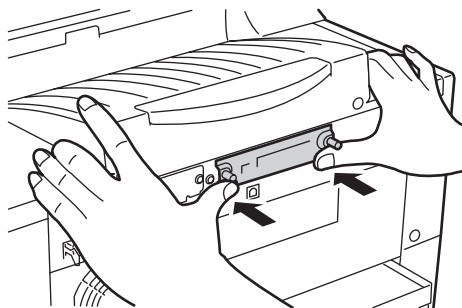
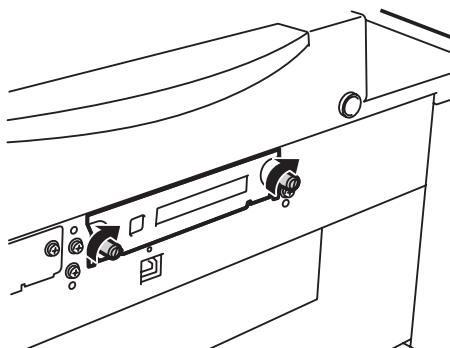
重要

無線LANボードは[インタフェース3]に取り付けないでください。故障や動作不良の原因となります。

チェック

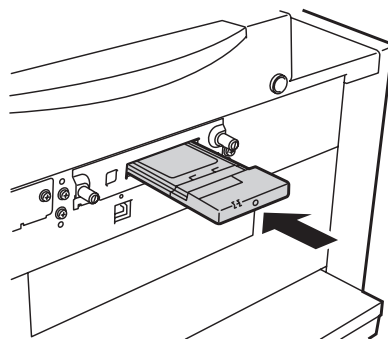
LANボード用スロットのプレートおよびネジは大切に保管しておいてください。ボードを取り外しプリンターを元に戻すときに必要です。

❹ **ネジがついている方を手前にして、図のようにガイドレールに沿って無線LANボードを両手で差し込む。**

手ごたえがあるまで押し込みます。

- 無線LANボードを差し込む際、指や手をはさまないようにゆっくり作業してください。
- 無線LANボードを強く押し込むと、プリンターが倒れてけがをするおそれがあるので注意してください。

図のようにプリンターのリアカバーに手をかけながら無線LANボードの下の方に親指をあてて、水平に押してください。

❺ **無線LANボードの前面にあるネジ2本でプリンターに固定する。**

❻ **無線LANカードを無線LANボードのスロットに差し込む。**

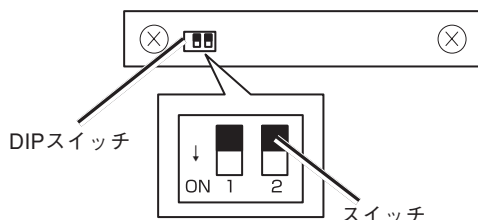
⚠ 注意

- 無線LANカードを差し込む際、指や手をはさまないようにゆっくり作業してください。
- MACアドレスが記載されているラベルが貼られている面を下にして、カードをスロットに差し込んでください。向きを間違うと故障や発火の原因となります。

次に、「ピア・ツー・ピアグループ接続の通信モードを設定する」(次ページ)に進んでください。

ピア・ツー・ピアグループ接続の通信モードを設定する

無線LANボードにある2極のDIPスイッチによるピア・ツー・ピアグループ接続の通信モードに設定手順を説明します。

❶ **プリンターの電源をOFFにする。**

重要

電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま設定変更すると、故障の原因となることがあります。

❷ **DIPスイッチを先の細いボールペンなどで切り替えて通信モードを設定する。**

SW番号	機能	OFF （工場設定値）	ON
SW1	ピア・ツー・ピア グループ接続時に「ピア・ツー・ピア グループ」と「アドホック」のいずれの通信モードで動作するかを設定します。通信モードは、無線LANボードと無線接続するコンピューターが使用している無線LANカードの種類によって決まります。	**ピア・ツー・ピア グループ** ネットワーク名（ESS-ID）を入力設定する無線LANカードを使用したコンピューターと接続します。	アドホック* 無線通信に使用するチャンネルバンドを選択設定する（ネットワーク名（ESS-ID）を設定しない）無線LANカードを使用したコンピューターと接続します。
SW2	（未使用）	−	−

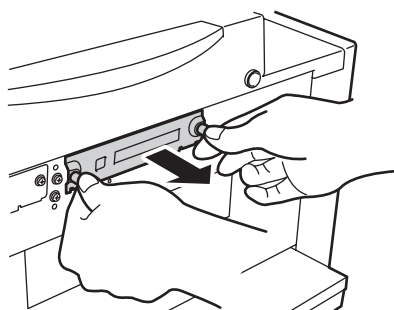
* アドホック設定時は、使用するチャンネルバンドが「チャンネル1」固定になります。また、無線LAN環境に関する設定の変更を行ったら、必ずプリンターの電源をON/OFFしてください。

重要

無線LANボードを装着したプリンターを無線LAN環境に接続するためには、無線に関する初期設定が必要です。詳しくは無線LANボードに添付のセットアップガイドをご覧ください。

無線LANボードの取り外し

無線LANボード（型番：PR-WL-12）を取り外すときは、プリンターの電源をOFFにしてから取り付け手順を逆に行ってください。

プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り付けると、故障の原因となるばかりでなく、感電のおそれがあります。

無線LANボードはネジが緩んで遊びができたら、取り外せます。ネジは完全に取り外さないで、図のようにネジ2本を持って無線LANボードを引き出してください。

LANボード(TCP/IP)(型番 PR-NP-04T)の取り付け

LANボード(TCP/IP)(型番 PR-NP-04T)はMultiWriter 2850/2350/2150にのみ対応しています。

❶ プリンターの電源をOFFにし、電源コードとプリンターケーブルをプリンターから取り外す。

警告

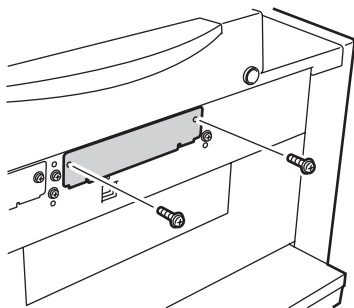
プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り付けると、故障の原因となるばかりでなく、感電のおそれがあります。

チェック

無線LANボードをお使いの場合は、インターフェース2から無線LANボードを取り外してください。取り外し手順は「無線LANボードの取り外し」(前ページ)をご覧ください。

❷ 「インタフェース2」と刻印されたLANボード用スロットからネジ2本を外して、プレートを取り外す。

重要

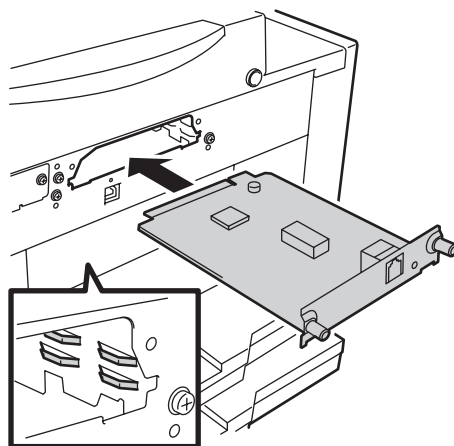
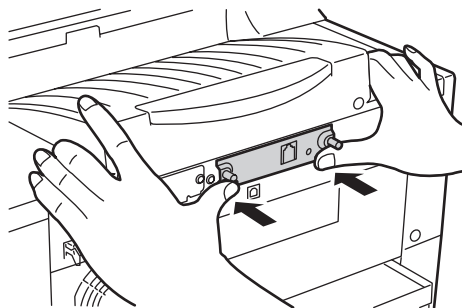
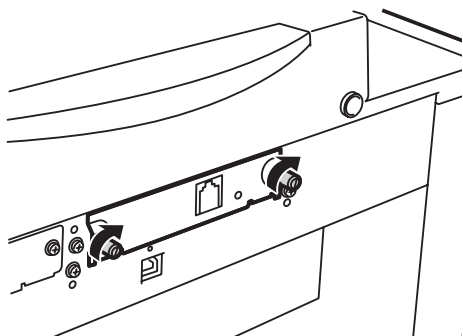
LANボードは[インタフェース3]に取り付けないでください。故障や動作不良の原因となります。

チェック

LANボード用スロットのプレートおよびネジは大切に保管しておいてください。ボードを取り外しプリンターを元に戻すときに必要です。

❸ イーサネットコネクター側を手前にして、図のようにガイドレールに沿ってLANボードを両手で差し込む。

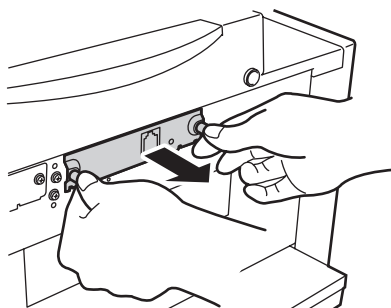
手ごたえがあるまで押し込みます。

注意

- LANボードを差し込む際、指や手をはさまないようにゆっくり作業してください。
- LANボードを強く押し込むと、プリンターが倒れてけがをするおそれがあるので注意してください。

図のようにプリンターのリアカバーに手をかけながらLANボードの下の方に親指をあてて、水平に押してください。

❹ LANボードの前面にあるネジ2本でLANボードを固定する。

次の手順は、1章の「10　ネットワークに接続する」（30ページ）をご覧ください。

LANボード(TCP/IP)(型番 PR-NP-04T)の取り外し

LANボード（PR-NP-04T）を取り外すときは、プリンターの電源をOFFにしてから取り付けの手順を逆に行ってください。

プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り付けると、故障の原因となるばかりでなく、感電のおそれがあります。

LANボードはネジが緩んで遊びができたら、取り外せます。ネジは完全に取り外さないで、図のようにネジ2本を持ってLANボードを引き出してください。

LANアダプター

MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150をネットワークに接続するためにLANアダプターはPR-NP-02T2、PR-NP-03TR2、PR-NPX-05の3種類が用意されています。（183〜184ページ参照）

LANアダプターの取り付け・取り外し手順を説明します。なお、PR-NP-02T2、PR-NP-03TR2、PR-NPX-05の取り付け手順は異なります。詳しくは各LANアダプターに添付の取扱説明書をご覧ください。

使い方や操作方法については、LANアダプターに添付の取扱説明書をご覧ください。

LANアダプターのコネクター部には手を触れないでください。手を触れると、コネクター部の接点が汚れ、接触不良になることがあります。

LANアダプターの取り付け

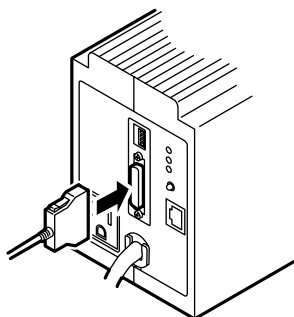
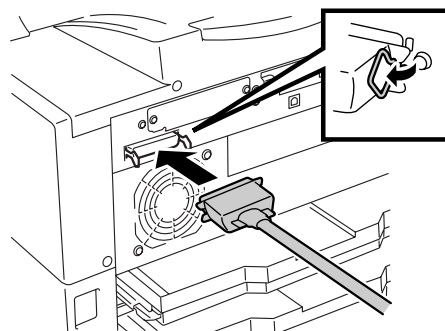
ここでは、PR-NP-03TR2を例に取り付け手順を説明します。

❶ プリンターの電源をOFFにし、電源コード、プリンターケーブルをプリンターから取り外す。

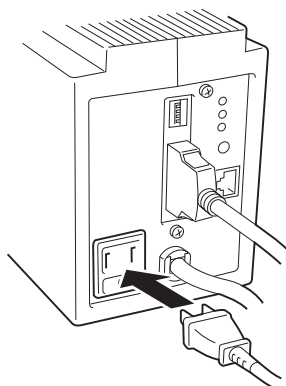
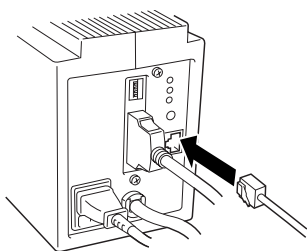
重要

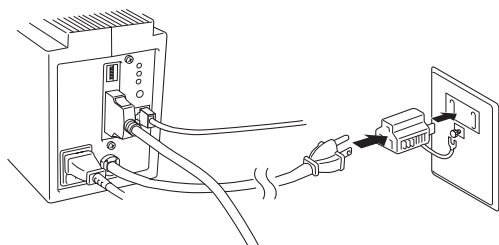
電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

❷ LANアダプターの電源をOFFにし、LANアダプターの電源コードを抜く。

❸ LANアダプターのインターフェース用ソケットとプリンターのインターフェースコネクターをLANアダプター添付のプリンターケーブルで接続する。

LANアダプター

プリンターの[インタフェース1]コネクター

❹ プリンターの電源コードのプラグをLANアダプター背面のACコンセントに差し込む。

LANアダプタ（型番 PR-NP-02T2）の場合は、プリンターの電源コードをACコンセントに差し込んでください。

❺ ネットワークケーブルのコネクターをLANアダプターのEthernet用コネクターに差し込む。

❻ LANアダプターの電源コードをコンセントに差し込む。

LANアダプターの電源コードは3極プラグです。2極の壁付きACコンセント(AC100V、電源容量15A以上)に差し込む場合は、3極/2極変換プラグをご使用ください。

❼ LANアダプター前面のランプが緑色に点灯することを確認する。

❽ プリンターの電源を入れてからLANアダプター前面のスイッチを押す。

LANアダプターの取り外し

LANアダプターを取り外すときは、LANアダプターがデータの受信中でないことを確認してから、取り付け手順❻から逆に行ってください。

増設メモリー

増設メモリーを取り付けることで、次のような効果があります。

- 電子ソート機能を有効にする
- フォーム登録数の増加
- 受信バッファーの拡大
- 両面印刷や解像度1200dpiでの印刷時のメモリー不足の解消
- 複雑な印刷データの印刷性能向上

MultiWriter 2350N/2350をお使いのお客様へ

MultiWriter 2350N/2350は、標準メモリー(16MB)でも1200dpiでの印刷は可能です。さらに印刷性能の向上のためにメモリー増設をお勧めいたします。

重要

指定のSO-DIMMタイプの増設メモリーを使用してください。指定以外の増設メモリーを使用すると、故障の原因となることがあります。

増設メモリーの取り付け

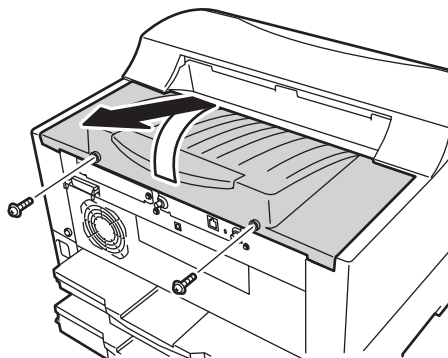
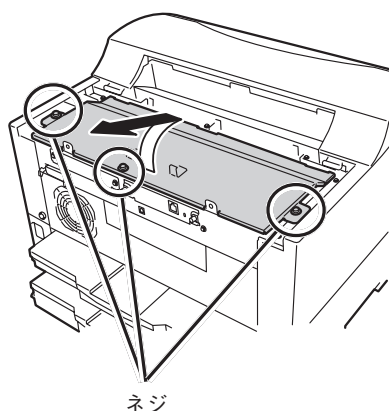
重要

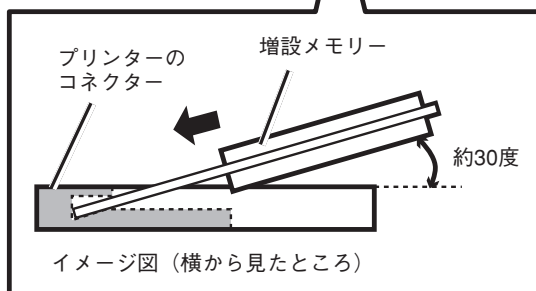
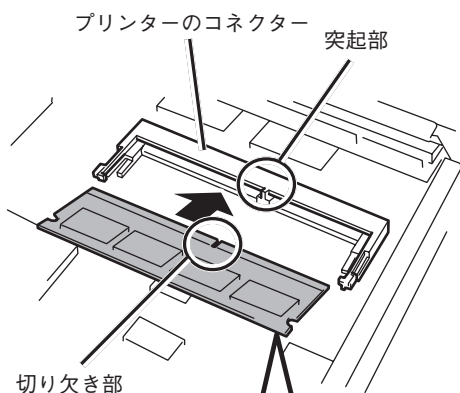
増設メモリーは大変デリケートな電子部品です。増設メモリーを取り扱うときは、プリンター背面のインターフェースコネクターが付いているフレームなどに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品には触れないようにしてください。

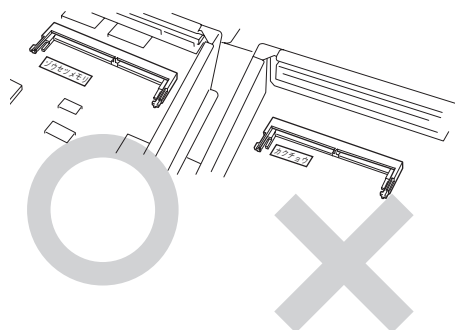
❶ **プリンターの電源をOFFにし、電源コードとプリンターケーブルをプリンターから取り外す。**

警告

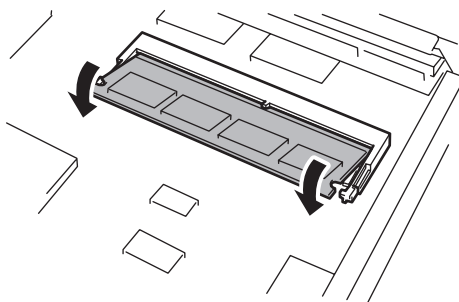
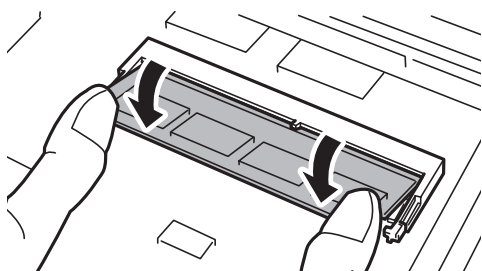
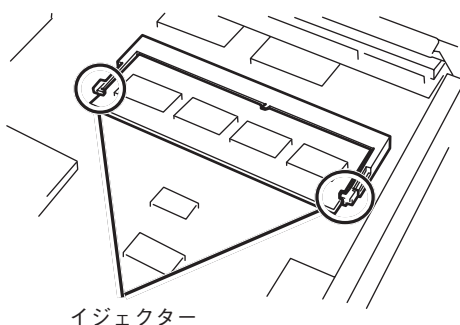
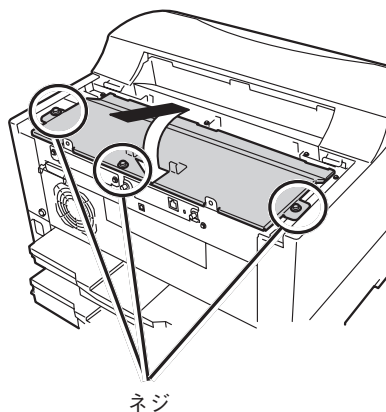
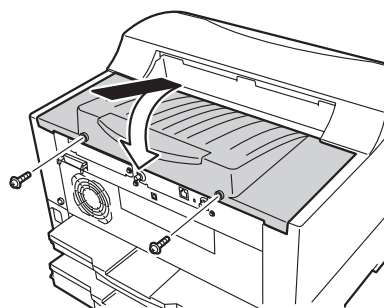
プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り付けると、故障の原因となるばかりでなく、感電のおそれがあります。

❷ **ネジ2本を外して、プリンター上部にあるリアカバーを取り外す。**

❸ **コントロールカバーに刻印された矢印で示すネジ(3か所)をゆるめ、軽く手前を持ち上げてコントロールカバーを取り外す。**

❹ **増設メモリーをプリンタボードの左側にあるコネクターに取り付ける。**

増設メモリーの切り欠き部をプリンターボードのコネクター突起部に合わせ、プリンターのコネクターに対して約30度の挿入角度で増設メモリーの端子が当たるまで挿入します。

重要

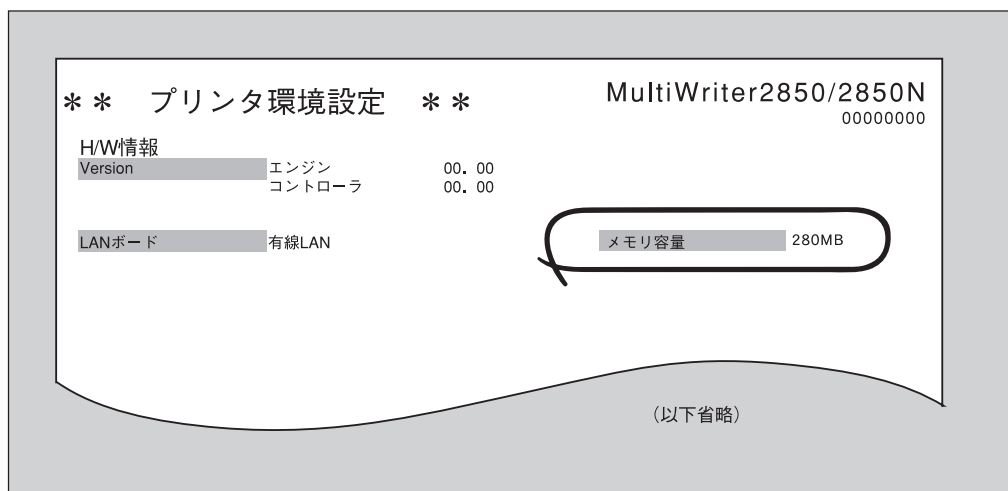
- 増設メモリーの切り欠き部の向きがとコネクターの突起部と正しく合っていることを確認してください。逆の場合は増設メモリーの切り欠き部とコネクターの突起部の位置が合わず、挿入することができません。
- 奥まで確実に押し込んでください。
- 増設メモリーはプリンター背面に向かって左側の「ゾウセツメモリ」と印刷されているコネクターに取り付けてください。右側の「カクチョウ」と印刷されたコネクターも同じ形ですが、誤って取り付けると故障の原因となります。(MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350のみ)

❺ **「カチッ」という音がするまでソケットに倒し込む。**

重要

奥までしっかり倒し込んでください。しっかり押し込まずに次の手順を行うと、コネクターまたは増設メモリーを破損するおそれがあります。

倒し込みが固いときは、増設メモリーの左右の角に親指を添えて倒し込んでください。

❻ **イジェクターが立ち上がり、しっかり固定できたことを確認する。**

❼ **コントロールカバーを取り付け、表面から刻印された矢印で示すネジ(3か所)で固定する。**

❽ **リアカバーを取り付け、ネジ2本で固定する。**

❾ **電源コードとプリンターケーブルを取り付ける。**

テスト印刷

増設メモリーが正しく取り付けられたかを確認するためにテスト印刷のステータス印刷を行います。手順については、1章の「8　テスト印刷をする」(27ページ)を参照してください。

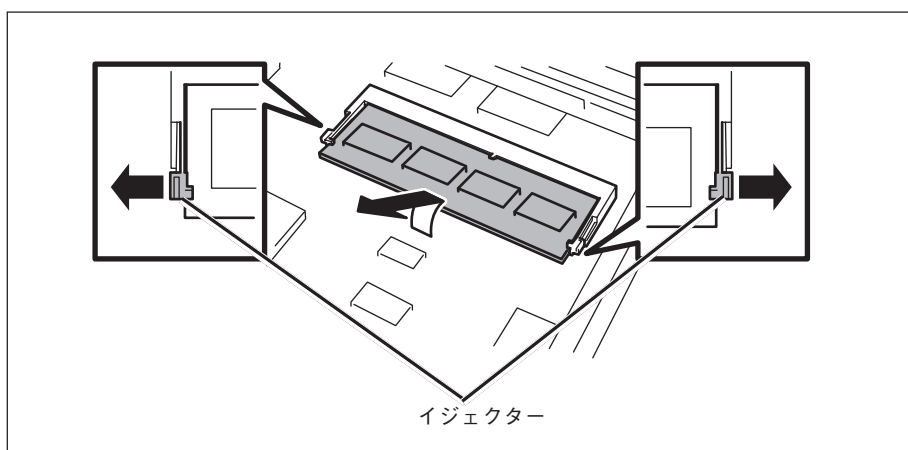
次ページのように印刷されていれば、増設メモリーは正しく取り付けられたことになります。

増設メモリーを増設したステータス印刷の例
（標準メモリー24MBに256MBメモリーを増設した場合）

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで増設メモリーの取り付けは完了です。

増設メモリーの取り外し

増設メモリーを取り外すときは、プリンターの電源をOFFにし、電源コードをプリンターから取り外し、取り付けの手順を逆に行ってください。

プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り付けると、故障の原因となるばかりでなく、感電のおそれがあります。

なお、増設メモリーを取り外すときはコネクターのイジェクターを横に押し広げて斜めに引き抜いてください。

使用できるプリンターケーブル

MultiWriter 2850N/2850/2350N/2350/2150で使用できるプリンターケーブルは次の表のとおりです。
お使いになっているコンピューターによって使用できるプリンターケーブルが異なります。

コンピューター		プリンターケーブル*[1]
PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）	PC98-NXシリーズ	PC-PRCA-01 PC-CA205*[2] PR-UC-01*[3]
	IBM、富士通、東芝、DELL、その他各社	PC-PRCA-01 PR-UC-01*[3]
PC-9800シリーズ デスクトップタイプ ミニタワータイプ	98MATEシリーズ（除くAp・As・Ae・Af） 98MATEサーバシリーズ 98FELLOWシリーズ（除くBA・BX） 98MULTiシリーズ（除くCe） 98MULTi CanBeシリーズ VALUE STARシリーズ CEREB 98FINE PC-H98シリーズ *[5]	PC-CA202*[4] PC-CA204*[2]
	PC-98XA・XL・XL[2]・RL*[5]	PC-PR801-21 （パソコン本体に標準添付）
	上記以外の14ピンパラレルインターフェースを持つデスクトップタイプ	PC-CA203*[2]
98サーバシリーズ	SV-H98シリーズ *[5] SV-98シリーズ	PC-CA202*[4] PC-CA204*[2]
98NOTEシリーズ	Lavieシリーズ Aileシリーズ 98NOTE Light PC-9821Nf・Np・Nx・Nd・Nm・Ne3・Ne2・Nd2 PC-9801NL/A・NS/A	PC-CA202*[4] PC-CA204*[2]
	上記以外の20ピンパラレルインターフェースを持つ98NOTEシリーズ	PC-9801N-19
PC-9800シリーズ ラップトップタイプ	PC-9821Ts	PC-CA202*[4] PC-CA204*[2]
プリンタ増設インタフェースボード（PC-9801-94）		PC-CA202*[4] PC-CA204*[2]

*[1] 他社のケーブルをお使いになる場合、運用した結果の影響については責任を負いかねます。
*[2] PC-CA203、PC-CA204、PC-CA205のケーブルの長さは4.0m。
*[3] PR-UC-01のケーブルの長さは2.0m。
*[4] ケーブルの長さは1.5m。
*[5] ハイレゾリューションモードでは、プリンタステータスウィンドウ機能、音声メッセージ機能は利用不可。

付録
技術情報

仕　様

項目	内容		
	MultiWriter 2850N/2850	MultiWriter 2350N/2350	MultiWriter 2150
印刷方式	電子写真記録方式 露光方式：レーザーダイオード＋ポリゴンスキャナー 現像方式：1成分乾式		
印刷速度* （A4サイズ横置き、ホッパー給紙片面印刷時）	約28ページ/分（600dpi時） ＜補足＞ ● はがき、往復はがき横置き給紙で連続印刷30枚までの場合は、約12ページ/分になります。ただし、30枚を超える連続給紙印刷を行った場合は約6ページ/分になります。	約21ページ/分（600dpi時） 約12ページ/分（1200dpi時） ＜補足＞ ● A4サイズ縦置き給紙で連続印刷100枚までの場合は、約15.1ページ/分になります。ただし、100枚を超える連続印刷を行った場合は約10～12ページ/分になります。 ● はがき、往復はがき横置き給紙で連続印刷30枚までの場合は、約9ページ/分になります。ただし、30枚を超える連続給紙印刷を行った場合は約4.5ページ/分になります。	約17ページ/分（600dpi時） ＜補足＞ ● A4サイズ縦置き給紙で連続印刷100枚までの場合は、約13.3ページ/分になります。ただし、100枚を超える連続印刷を行った場合は約10～12ページ/分になります。 ● はがき、往復はがき横置き給紙で連続印刷30枚までの場合は、約7.5ページ/分になります。ただし、30枚を超える連続給紙印刷を行った場合は約4.5ページ/分になります。
ウォームアップの待ち時間（室温20℃）	電源投入時：21秒以下 節電時：9秒以下	電源投入時：15秒以下 節電時：8秒以下	電源投入時：15秒以下 節電時：9.5秒以下

* 印刷速度は連続印刷の場合の最大値です。最初のページ、また印刷データの内容あるいはコンピューターからのデータの送り方などによって異なります。

項目		内容		
		MultiWriter 2850N/2850	MultiWriter 2350N/2350	MultiWriter 2150
ファーストプリントタイム（600dpi時）	片面印刷時	A4サイズ：約6.5秒 （横置き、ホッパー給紙） A3サイズ：約8.5秒 （ホッパー給紙） B4サイズ：約8秒 （ホッパー給紙）	A4サイズ：約7秒（横置き、ホッパー給紙） A3サイズ：約9.5秒（ホッパー給紙） B4サイズ：約9秒（ホッパー給紙）	
	両面印刷時	A4サイズ：約14秒 （横置き、ホッパー給紙） A3サイズ：約16秒 （ホッパー給紙） B4サイズ：約15秒 （ホッパー給紙）	A4サイズ：約15秒（横置き、ホッパー給紙） A3サイズ：約18.5秒（ホッパー給紙） B4サイズ：約17秒（ホッパー給紙）	
用紙容量		標準ホッパー： 250枚、坪量64.0g/m^2の普通紙（連量55kg相当）の場合 MP： 100枚、坪量64.0g/m^2の普通紙（連量55kg相当）の場合 手差し： 1枚、坪量64.0g/m^2の普通紙（連量55kg相当）の場合		
スタック容量		250枚、坪量64.0g/m^2の普通紙（連量55kg相当）の場合		
ドット間隔		0.0423×0.0423mm （1/600×1/600インチ） 0.0635×0.0635mm （1/400×1/400インチ）	0.0212×0.0212mm （1/1200×1/1200インチ） 0.0423×0.0423mm （1/600×1/600インチ） 0.0635×0.0635mm （1/400×1/400インチ）	0.0423×0.0423mm （1/600×1/600インチ） 0.0635×0.0635mm （1/400×1/400インチ）
CPU		RC64574（200MHz）		
メモリー		標準24MB、最大280MB （オプション増設時）	標準16MB、最大272MB（オプション増設時）	
オプションメモリーソケット		1ソケット（SO-DIMM用）		
インターフェース		セントロニクス仕様に準拠*[1]（背面に1つ装備） USB1.1に準拠*[2]（背面に1つ装備） イーサネット*[3]（10BASE-T/100BASE-TX） IEEE802.11b規格準拠の無線LAN（オプション）		
環境		動作温度：10〜32.5℃ 動作湿度：20〜80%（RH）ただし結露しないこと 保管温度：0〜35℃ 保管湿度：10〜80%（RH）ただし結露しないこと 塵埃量： 一般事務室程度 ガス成分：一般事務室程度 気　圧： 1.013×10^5 〜 0.7524×10^5 Pa（海抜0〜2500m）		
騒音（音圧レベル、A補正）		動作時：53dB以下 待機時：36dB以下	動作時：50dB以下 待機時：36dB以下	
電源		電　圧：AC 100V± 10% 周波数：50/60Hz± 1Hz		

*[1] IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェース

*[2] USBインターフェースは、すべてのUSB対応機器について動作を保証するものではありません。

*[3] MultiWriter 2850/2350/2150には対応していません。

項目		内容		
		MultiWriter 2850N/2850	MultiWriter 2350N/2350	MultiWriter 2150
消費電力*1	動作時最大*2	プリンター単体時：920W以下（930VA以下） フルオプション時：930W以下（940VA以下）	プリンター単体時：830W以下（840VA以下） フルオプション時：850W以下（860VA以下）	
	動作時平均	プリンター単体時：520W以下	プリンター単体時：420W以下	プリンター単体時：400W以下
	節電モード時	30W以下（節電モード0：工場出荷時） 15W以下（節電モード1）	20W以下（節電モード0：工場出荷時） 15W以下（節電モード1）	
外形寸法		カセット伸長時、最大：459（幅）x 583（奥行き）x 319mm（高さ） カセット縮小時、最小：459（幅）x 448（奥行き）x 319mm（高さ）		
質量		約17.7kg（消耗品、オプション含まず）	約16.7kg（消耗品、オプション含まず）	
製品寿命*3		印刷枚数60万枚または使用年数5年のいずれか早い方		
消耗品寿命		EPカートリッジ（本体添付）：　約6,000枚（印刷枚数） （ただしA4用紙、画像面積比5%印刷時）		
言語		● NPDL Level 2（201PLエミュレーション含む） ● ESC/Pエミュレーション ● プロッターエミュレーション（HP 7550A準拠）		
内蔵フォント		明朝体-Lアウトラインフォント、ゴシック体-Mアウトラインフォント、OCR-B相当文字*4、バーコード*4、*6（カスタマバーコード、JAN（8桁、13桁）、Code 39、NW-7、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、UCC/EAN-128*5）		
対応OS		● Microsoft Windows XP 日本語版*8 ● Microsoft Windows Millennium Edition 日本語版*8 ● Microsoft Windows 98 日本語版*8 ● Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版*8 ● Microsoft Windows 95 日本語版 ● Microsoft Windows 2000 日本語版*8 ● Microsoft Windows NT 4.0 日本語版 ● 日本語MS-DOS （ver 3.3以上）、MS-DOS 5.0/V以上またはIBM DOS Ver. J5.0/V以上（DOS/V） ● Mac OS日本語版*7		

*1 電源プラグがコンセントに差し込まれていても、電源スイッチが切れた状態では電力の消費はありません。

*2 最大値は瞬間的ピークを除いた値です。

*3 10万枚印刷毎に定期交換部品の交換が必要です。

*4 OCR-B相当印刷やバーコード印刷の読みとりについては、OCR装置、バーコードスキャナでの評価が必要です。ご使用の前にあらかじめご確認されることをお勧め致します。

*5 MultiWriter 2850N/2850のみ対応。

*6 MS-DOSなどのアプリケーションがプリンターの制御コードを発行できる環境で使用できます。

*7 Macintosh対応プリンタードライバーは、「http://121ware.com/」で提供予定です。詳細は、同ホームページをご覧ください。

*8 USBインターフェース接続において、OSのアップグレードの組み合せによっては、正常に動作しない場合があります。また、PC-9821シリーズのUSBインターフェース接続には対応していません。

用紙の規格

用紙の種類	寸法	坪量	表面電気抵抗
片面印刷時			
普通紙 **（乾式PPC用紙）**	A3判（297 x 420mm） A4判（210 x 297mm） A5判（148 x 210mm） B4判（257 x 364mm） B5判（182 x 257mm） レターサイズ （約216 x 約280mm） 定形外用紙 （100～297 x 148～420mm） （定形外用紙はMP、手差しのみ）	ホッパー給紙：64～81.4g/m^2 （連量*55～70kg） MP給紙：64～81.4g/m^2 （連量*55～70kg） 手差し給紙：64～81.4g/m^2 （連量*55～70kg）	1 x 10^{9}～1 x 10^{12}Ω
厚紙		MP給紙：81.4～128g/m^2 （連量*70～110kg） 手差し給紙：81.4～128g/m^2 （連量*70～110kg）	
はがき 官製はがき、官製往復はがきと同等の寸法、坪量のものを使用してください。ただし、往復はがきは折り目がないものを使用してください。	官製はがき （100 x 148mm） 官製往復はがき （200 x 148mm）	MP給紙：157g/m^2 （連量*135kg） 手差し給紙：157g/m^2 （連量*135kg）	－
OHPフィルム 乾式PPC用、表面処理されているものを使用してください。	A4判（210 x 297mm）	厚さ：0.1mm± 0.025mm （100µm± 25µm）	－
ラベル紙 乾式PPC用、台紙全体がラベルで覆われたものを使用してください。	A4判（210 x 297mm） B4判（257 x 364mm）	－	－
封筒 洋形4号、内カマス、のりなしのものを使用してください。ただし材質によってご使用になれない場合があります。	105 x 235mm	－	－
両面印刷時			
普通紙 **（乾式PPC用紙）**	A3判（297 x 420mm） A4判（210 x 297mm） A5判（148 x 210mm） B4判（257 x 364mm） B5判（182 x 257mm） レターサイズ （約216 x 約280mm）	ホッパー給紙：64～81.4g/m^2 （連量*55～70kg） MP給紙：64～81.4g/m^2 （連量*55～70kg）	1 x 10^{9}～1 x 10^{12}Ω

* 連量とは、用紙788×1091mm（四六判）のサイズの用紙1000枚あたりの重さを示します。

一般的に使用されている連量55kg相当の用紙に関して弊社で推奨している紙質特性を以下に示します。用紙メーカーに用紙を発注するときは下記の値を参照ください。

- 坪量　64～67g/m^2(JIS P8124)
- 紙厚　0.085～0.092mm(JIS P8118)
- 平滑度 25～50sec(JIS P8119)
- 剛度　60cm^3/100以上(クラーク式：JIS P8143)
- 表面電気抵抗 1×10^{9}～1×10^{12}Ω

印刷範囲

定形用紙

以下に示す印刷範囲は、理論印刷範囲を表しています。実際の印刷範囲と使用環境、プリンター設定により多少異なる場合があります。

Windows環境

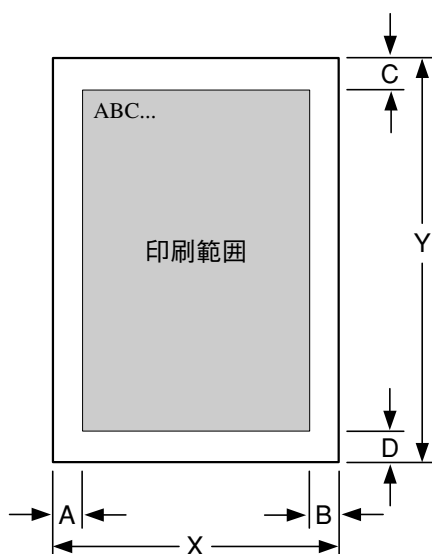
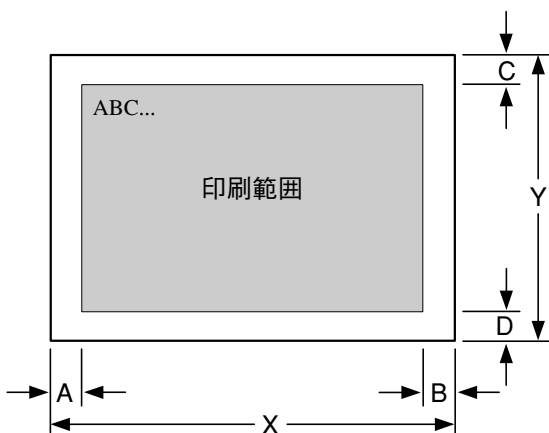
Windows環境において添付のプリンタードライバーのプロパティ上で[従来互換の印刷範囲を使用する]をチェックした場合は、MS-DOS環境と同じ印刷設定となります。詳しくは添付のCD-ROM収録されている活用マニュアルの「付録　技術情報」をご覧ください。

添付のプリンタードライバーの標準設定では、ドライバーの機能により余白量はすべて約5mmです。

- ポートレート

- ランドスケープ

付録

● Windows環境

ポートレート

用紙	X (用紙幅) mm	Y (用紙長) mm	A (左余白) mm	B (右余白) mm	C (上余白) mm	D (下余白) mm
A2	420	594	5.00	5.00	5.00	5.00
A3	297	420	5.00	5.00	5.00	5.00
A4	210	297	5.00	5.00	5.00	5.00
A5	148	210	5.00	5.00	5.00	5.00
B4	257	364	5.00	5.00	5.00	5.00
B5	182	257	5.00	5.00	5.00	5.00
はがき	100	148	5.00	5.00	5.00	5.00
往復はがき	200	148	5.00	5.00	5.00	5.00
封筒洋形4号	105	235	5.00	5.00	5.00	5.00
レター	216	280	5.00	5.00	5.00	5.00
帳票	381	279.4	17.78	17.78	0	0
ユーザー定義	–	–	5.00	5.00	5.00	5.00
A3→A4	297	420	5.00	5.00	5.00	5.00
A3→B4	297	420	5.00	5.00	5.00	5.00
A4→A3	210	297	5.00	5.00	5.00	5.00
A4→B4	210	297	5.00	5.00	5.00	5.00
A4→B5	210	297	5.00	5.00	5.00	5.00
A4×2→A4	297	420	5.00	5.00	5.00	5.00
B4→A3	257	364	5.00	5.00	5.00	5.00
B4→A4	257	364	5.00	5.00	5.00	5.00
B4→B5	257	364	5.00	5.00	5.00	5.00
B5→A4	182	257	5.00	5.00	5.00	5.00
B5→B4	182	257	5.00	5.00	5.00	5.00
B5×2→B5	257	364	5.00	5.00	5.00	5.00
LP→A4	–	–	–	–	–	–
LP→B4	–	–	–	–	–	–

ランドスケープ

用紙	X (用紙幅) mm	Y (用紙長) mm	A (左余白) mm	B (右余白) mm	C (上余白) mm	D (下余白) mm
A2	594	420	5.00	5.00	5.00	5.00
A3	420	297	5.00	5.00	5.00	5.00
A4	297	210	5.00	5.00	5.00	5.00
A5	210	148	5.00	5.00	5.00	5.00
B4	364	257	5.00	5.00	5.00	5.00
B5	257	182	5.00	5.00	5.00	5.00
はがき	148	100	5.00	5.00	5.00	5.00
往復はがき	148	200	5.00	5.00	5.00	5.00
封筒洋形4号	235	105	5.00	5.00	5.00	5.00
レター	280	216	5.00	5.00	5.00	5.00
帳票	279.4	381	0	0	17.78	17.78
ユーザー定義	–	–	5.00	5.00	5.00	5.00
A3→A4	420	297	5.00	5.00	5.00	5.00
A3→B4	420	297	5.00	5.00	5.00	5.00
A4→A3	297	210	5.00	5.00	5.00	5.00
A4→B4	297	210	5.00	5.00	5.00	5.00
A4→B5	297	210	5.00	5.00	5.00	5.00
A4×2→A4	420	297	5.00	5.00	5.00	5.00
B4→A3	364	257	5.00	5.00	5.00	5.00
B4→A4	364	257	5.00	5.00	5.00	5.00
B4→B5	364	257	5.00	5.00	5.00	5.00
B5→A4	257	182	5.00	5.00	5.00	5.00
B5→B4	257	182	5.00	5.00	5.00	5.00
B5×2→B5	364	257	5.00	5.00	5.00	5.00
LP→A4	381	279.4	17.78	17.78	0	0
LP→B4	381	279.4	17.78	17.78	0	0

用語解説

英数字

[?]ボタン

Windows XP/Me/98/95/2000/NT 4.0で、ダイアログボックスの項目についてのヘルプ画面を表示するためのボタン。[?]ボタンをクリックしてからウィンドウ内の項目をクリックすると項目の説明が表示される。

10BASE-T/100BASE-TX

ネットワークの伝送路に関する規格。伝送速度は10BASE-Tが10Mbps、100BASE-TXが100Mbps。本プリンターではこれらの規格のケーブルを使ってネットワークに接続することができる。

16進ダンプ印刷

プリンターが受信したデータを処理せず、そのまま16進数で印刷すること。プリンターの動作を調べるときに使用する。(→ステータス印刷)

```
1B 48 1C 30 36 46 31 2D 30 30 30 1B 73 30 1B 24
20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2A 2B 2C 2D 2E 2F
30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 3A 3B 3C 3D 3E 3F
40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 4A 4B 4C 4D 4E 4F
50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 5A 5B 5C 5D 5E 5F
60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 6A 6B 6C 6D 6E 6F
70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 7A 7B 7C 7D 7E 7F
80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 8A 8B 8C 8D 8E 8F
90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 9A 9B 9C 9D 9E 9F
A1 A2 A3 A4 A5 A6 A7 A8 A9 AA AB AC AD AE AF B0
B1 B2 B3 B4 B5 B6 B7 B8 B9 BA BB BC BD BE BF C0
C1 C2 C3 C4 C5 C6 C7 C8 C9 CA CB CC CD CE CF D0
D1 D2 D3 D4 D5 D6 D7 D8 D9 DA DB DC DD DE DF E0
E1 E2 E3 E4 E5 E6 E7 E8 E9 EA EB EC ED EE EF F0
                      .
                      .
```

201PL

NECのシリアルプリンター用標準コードのこと。

AppleTalk

米国アップルコンピュータ社が開発したMacintosh専用のネットワーク用ソフトウエアまたはプロトコル。

CR

Carriage Return(キャリッジリターン)の略。改行を表す文字コード。もともとはタイプライターのキャリッジを左端に戻すという意味。プリンターの制御コード(コマンド)のひとつ。

CSV形式

データベースソフトや表計算ソフトのデータをテキストファイルとして保存する場合の形式のひとつ。データを区切り符号で仕切ることで異なるアプリケーション間でのデータの共有を図ることができる。

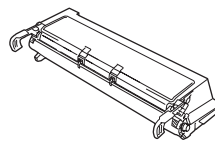
DHCP

Dynamic Host Configuration Protocolの略。ネットワーククライアントにIPアドレスなどのパラメーターを配布するプロトコル。DHCPサーバーにおいてIPアドレスなどを一括管理し、クライアントは起動時にDHCPサーバーにIPアドレスの貸し出しを要求する。IPアドレスの一括管理によりアドレスの重複を避け、容易にネットワークの構築ができる。

DPI(dpi)

Dots Per Inchの略。1インチ当たりのドット数。プリンターの解像度などを表す単位。(→解像度)

EPカートリッジ

OPCドラム、現像ユニットなどが一体化された部品。ドラムにトナーを付着させ印刷イメージを形成させるはたらきをする(→OPC)。消耗品のため「76 トナーナシ EPコウカン」が表示されたら交換が必要。1本で印刷できる枚数はカートリッジの種類、印刷するデータによって異なる(詳細は「6章日常の保守」参照)。

ECP

Extended Capabilities Portの略。コンピューターとプリンターをつなぐパラレルインターフェースであるIEEE1284が使用する、データ転送モードのひとつ。米マイクロソフト社と米ヒューレット・パッカード社が中心となって提案した。データ転送速度は従来のセントロニクスの最大150KB/秒に比べ、2MB/秒と高速である。また、双方向通信機能やデータ圧縮機能を備える。使用するにはコンピューターとプリンターなど周辺機器の両方が対応している必要がある。

ESC/P

セイコーエプソン株式会社が開発したプリンターを制御する命令(コマンド)の集まり。

FF

Form Feedの略。プリンター制御命令のひとつで、改ページを行うためのもの。

IPアドレス

IPはInternet Protocolの略。インターネット上で個々のユーザーを認識する符号(アドレス)。インターネットに接続したコンピューターにはすべてIPアドレスが割り振られる。

IPP

Internet Printing Protocolの略。Windows 2000で標準にサポートされたインターネット印刷プロトコル。イントラネットやインターネットを通じてURLの指定を受けたプリンターに印刷することができる。

IPX/SPX

NetWareをネットワークOSとしてインストールしたコンピューターが使用するプロトコル。

ISO 9660

ISO(International Organization for Standardization:国際標準化機構)が定めたCD-ROM用のファイル形式。多くのCDはこの方式を採っており、OSによって異なるフォルダーやファイルの名前の規則を守ればMacintoshやUNIXマシンでも読み出すことが可能。

LAN

Local Area Networkの略。構内情報通信網のこと。

LAN Manager

マイクロソフト社が開発したネットワークOS。NetBEUIプロトコルを用いる。

Macintosh

米国アップルコンピュータ社が開発したパーソナルコンピューターの総称。Mac OSには、あらかじめAppleTalkソフトウェアが組み込まれており、LocalTalkケーブルシステムやEtherTalkケーブルシステムを使ってネットワークを構築する。

Mac OS

米国アップルコンピュータ社が開発したパーソナルコンピューターのMacintoshのOSのこと。個々の名称はSystem(日本語では漢字Talk)であるが、総称としてMac OSと呼ぶようになった。

MIB

Management Information Baseの略。TCP/IP通信でのネットワーク管理用プロトコルのSNMPで、コンピューター間でやり取りされる管理情報を定義したもの。

MOPYING

Multiple Original coPY and printINGの略。NECが提唱するコピー機の代わりにプリンターでオリジナル印刷する新しい「印刷スタイル」。

MP

Multi Purposeの略。いろいろなサイズの用紙をセットできる給紙機構のこと。

MS-DOS

Microsoft Disk Operating Systemの略。マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。現在のパソコンの基礎となったオペレーティングシステム。

NetBEUI

ネットビューイと読む。IBMによって開発された小規模LAN用のプロトコル。主にLAN ManagerをネットワークOSにしたときに用いられる。

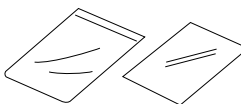
NetWare

ノベル社が開発したネットワークOS。プロトコルにはIPX/SPXが用いられる。

NPDL

NEC Printer Description Languageの略。NECプリンター記述言語。

OHPフィルム

OHP(オーバーヘッドプロジェクター)用の透明なシート。プレゼンテーションなどに使用する。本プリンターで印刷するときは、MPまたは手差しを用いる。

OPC

Organic Photo Conductorの略。有機光電導体。ドラムカートリッジのドラムに用いられる有機材。一様に帯電させ、表面に光を照射すると照射量に応じて電荷が失われる現象を利用して潜像を形成する。

OS

Operating System(オペレーティングシステム)の略。コンピューターのハードウエア、ソフトウエアを有効に利用するために総合的管理を行うソフトウエアのこと。本書では特に区別して説明する場合、MS-DOSやWindowsなどプログラムの実行管理などを行う基本的なソフトウエアを「基本OS」、Windows XP/2000、Windows NTやNetWareなどネットワークを強く意識したOSを「ネットワークOS」と呼ぶことがある。

PrintAgent

双方向通信により、コンピューターの画面上で印刷状況の確認、プリンターの設定をすることを実現したソフトウエア。MultiWriterシリーズに搭載。

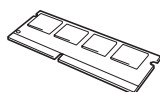
RGBガンマ

Red Green Blueガンマ
使用しているモニターで中間トーンをどの程度調整する必要があるかを示すもの。専門的にはモニターの特性曲線を線形にするのに使用される指数。

SET

Sharp Edge Technologyの略。MultiWriterシリーズに採用されている高精細印字機能。

SO-DIMM

Small Outline-Dual In-line Memory Moduleの略。コンピューターやプリンターなどに使われるメモリーの一種。

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。ネットワークのプロトコルのひとつ。UNIXをはじめWindows XP/Me/98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0、Macintoshなど、主要なOSでサポートされる世界的な標準プロトコルになっている。

TrueType

米国アップルコンピュータ社と米国マイクロソフト社が開発したソフトウエアで、Macintosh/Windows用のアウトラインフォントを用いた画面表示と印刷を行う。どんなアプリケーションソフトからでも利用できるアウトラインフォントが使えるので、文字サイズが大きくなってもギザギザにならない。

UNIX

AT&T社のベル研究所で開発された一般的にワークステーションで用いられるOS。プロトコルはTCP/IPを用いるのが標準的。クライアント・サーバシステムにおいてはUNIXマシンをサーバーにする例が多い。

USB

Universal Serial Busの略。キーボード、マウス、スピーカー、モデム、プリンターなどの周辺機器とコンピューターの間を統一したコネクターとケーブルで接続できるインターフェース。

WAN

Wide Area Networkの略。広域情報通信網。離れた場所のLAN同士を接続するネットワークのこと。一般の電話回線や専用回線などを介して接続する。

Windows XP

マイクロソフト社が開発したOS。ビジネスユーザー向けとされるWindows 2000の安定性を受け継ぐ。ただし製品としては、Windows 2000の他、家庭向けのWindows Me/98後継にも位置づけられ、インターネット接続性の機能強化が図れた。

Windows 2000

マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。Windows NTの堅牢性とWindows 98の機能を合わせ持つ、ローエンドからハイエンドまですべての領域をカバーするOS。Windows NT 4.0の後継にあたる。

Windows 95

マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 3.1の後継にあたる。

Windows 98

マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 95の後継にあたる。不具合の修正と機能の強化を図ったアップデート版としてWinodws 98 Second Editionもある。

Windows Me

マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 98の後継にあたる。主にマルチメディア、ネットワークなどの機能強化が図られた。

Windows NT

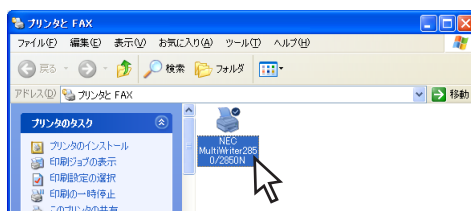
マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。サーバーとして用いられることが多い。

WWW

World Wide Webの略。インターネットに公開されている情報を検索するためのシステムのひとつ。ユーザーはWebブラウザーを通して情報の検索や閲覧を行う。

五十音順

アイコン

アプリケーションやドキュメントなどWindowsのいろいろな要素を表す小さな絵。

アウトラインフォント

文字の形を直線や曲線で表された輪郭として記憶し、出力時にその文字データを論理的に処理して表現すること。文字サイズの自由な設定や文字の変形が可能となり、ドット密度に関係なく美しい文字を表現できる。

アクセスポイント

ネットワークに外部から接続(アクセス)するための受け口。MultiWriterのオプション品である無線LANボードは、アクセスポイント経由の接続に対応する。

アドホック(ad hoc)

無線LAN機器が備える動作設定のひとつ。無線親機(アクセスポイント)なしに、無線LANボードなどの無線子機同士が相互に通信できる。

アドミニストレーター(Administrators)

管理者という意味。ネットワークやシステムの管理を行う最高の権限を持っている人。システムアドミニストレーターと呼ぶこともある。(→システム管理者)

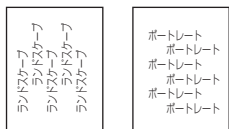
アプリケーション
文書作成や作図など特定の作業に使うプログラム。

アンインストール
インストールしたソフトウエアを削除し、インストール前の状態に戻すこと。

イーサネット(Ethernet)
LANの伝送路に関する規格。米ゼロックス社と米ディジタルイクイップメント(DEC)社と米インテル社が協同で開発、規格した。3社の頭文字をとってDIX規格と呼ぶこともある。IEEE802.3標準の伝送速度10Mbpsの規格とほぼ同義。コンピューター同士をどのようなケーブルで結び、どのような信号で、どうやり取りするかなどを決めている。同軸ケーブル上で電波を使って通信する仕組みで、複数の端末が通信するために、CSMA/CDという信号制御方式を採用している。現在では同軸ケーブルではなくツイストペアケーブルを使うことが多い。

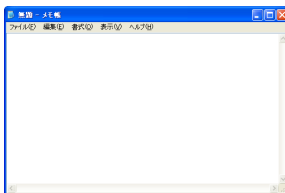
イニシャライズ
初期状態にすること。例えば、メモリーの内容を全部ゼロにしたり、プログラム中のカウンターをゼロにしたりすること。

印刷ジョブ
アプリケーションで作成された文書を印刷する作業単位のこと。スプールされて印刷待ちに追加されるか、直接プリンターに送られる。

印刷の向き
用紙に対して文字やグラフィックが印刷される方向。横長(ランドスケープ)と縦長(ポートレート)がある。

印刷範囲
プリンター用紙に印刷ができる限界のこと。用紙の上下および左右の余白部分を除いた印刷可能領域を指す。

インストール
一般にはシステムや装置を設置するという意味。ソフトウエアではOSやアプリケーションをコンピューターに組み込むという意味。

インターフェース
2つの装置〈デバイス〉を通信できるように接続するための仕様、ケーブルシステム。

ウィンドウ
アプリケーションやドキュメントが表示される画面上の領域で、開いたり、閉じたりすることができる。

ウォームアップ
プリンターの電源をONにした後、ヒートローラーが一定の温度になり印刷が可能になるまでの状態をいう。

エミュレーション機能
他のプリンターのために開発されたソフトウエアの制御コードを本プリンターで使用できるようにする機能。たとえば、PC-PR201系シリアルプリンターの制御コードが使用できる場合を201PLエミュレーションと呼ぶ。この機能を実現するためのプログラムをエミュレーターと呼ぶ。

エリート文字
1インチ当たり12文字の等間隔で印刷する文字のこと。タイプライターが使われていた頃からの用語。

解像度
プリンターが文字や画像を印刷するときの細かさのこと。1インチ(25.4mm)当たりのドット数で表す。

拡張子
MS-DOS、Windowsなどでファイル名の最後に付加する文字列で、ファイルの種類を表すためのもの。ピリオドに続けて表記される。「.txt」や「.jpg」など。

拡張制御コード
制御コードのうち、ESC(1BH)、FS(1CH)、のように後に続くコードと組み合わせて機能を表すコードをいう。(↔基本制御コード)

紙づまり
用紙がつまってプリンターが動作しなくなった状態をいう。

かんたん設定
Windows XP/2000/NT 4.0のプリンタードライバーでのみ使える機能。[印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シート右上のリストビュー。リストビューのアイコンをクリックすると、プリンターで登録済みの設定や、ユーザーが用途に合わせて登録した設定が読み込まれる。

輝度
モニターなどの画面の明るさ。

機能選択バー

Windows XP/2000/NT 4.0のプリンタードライバーでのみ使える機能。[印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シート左側にある縦向きのバー。ボタンをクリックすると[複数ページレイアウト]、[リプリント]などの機能の設定項目が[メイン]シート右下に表示される。

基本制御コード

制御コードのうち、CR（0DH）、LF(0AH)のように単独で機能を表すコード。(↔拡張制御コード)

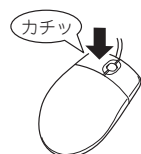
クライアント

ネットワークを介して他のコンピューター(またはサーバー)にアクセスしている利用者、または利用者のコンピューター。

クライアント・サーバー(システム)

中規模/大規模のネットワークに適した接続形態。専用のコンピューター(サーバー)が共有の資源(ハードディスクやプリンター)を管理し、接続を許されたコンピューター(クライアント)が利用できるようにしたもの。本書ではクライアント・サーバー型ネットワークとも呼んでいる。(→ピア・ツー・ピア)

クリック

マウスのボタンを押して素早く放す操作のこと。

グレースケールイメージ

白黒写真のように色彩情報がなく、ドットの多少により明暗を表現するグラフィックスイメージ。
(→ハーフトーン)

現像ユニット

OPCドラム上に形成された潜像に、負帯電させたトナーを付着させる役目を持つ。ドラムカートリッジに内蔵されている。

コマンド

コンピューターに行わせたい作業を実行するために選択または入力する命令。

コンデンス文字

1インチ当たり約17文字で印刷する文字のこと。タイプライターが使われていた頃からの用語。

コントラスト

グラフィックなどの明るい部分と暗い部分の差の度合い。

コントロールパネル

Windowsで、キーボードやマウスの使用条件、スピーカーの音量、スクリーンセーバーの種類などパソコンのさまざまな設定を行うための画面をいう。

サスペンド機能

データやプログラムを作業時の状態のままにしてパソコンの動作を一時停止させる機能。

システム管理者

コンピューターシステムを管理する人。
あるグループ全体のコンピューターや周辺装置、ソフトウエアなどシステムを構成する様々な要素に関する情報をもとに、システムが効果的に運用できるように管理する。

自動給紙

カット紙(単票用紙)を連続して自動的に給紙することをいう。

自動排出

コンピューターからのデータが一定時間なかったとき、プリンター内のデータを自動的に印刷して排出する機能。

シリアルプリンター

文字単位で印刷を行うプリンターの総称。

ジョブ結合

PrintAgent リプリント2で実現する機能。これを利用すると一度印刷してスプールしてあるドキュメントを組み合わせて、一つにまとめて印刷することができる。再印刷のために複数のアプリケーションを起動する手間を省くことができる。

[スタート]ボタン

Windows XP/Me/98/95/2000/NT 4.0でアプリケーションソフトの選択、起動、ファイルの検索、Windowsの終了などを行うことができるボタン。

ステータス印刷

テスト印刷のうちのひとつ。給紙構成や動作モード、メモリースイッチの設定状態などプリンターの状態を印刷するもの。

スプール

ドキュメント(文書)を印刷する場合に印刷データをコンピューターのハードディスクにファイルとしていったん保存して、保存した順にプリンターに送ること。これによりプリンターが印刷を終了するのを待たずにコンピューターでは別の作業を行うことができるようになる。プリンターに送り終えたファイルは自動的に消去される。

制御コード

プリンターの動作を制御するためのコード。印刷データと異なり印刷されない。たとえば、CR(改行コード)やFF(改ページ)など。

セントロニクス・インターフェース

旧セントロニクス社が開発したプリンターとコンピューター間の通信仕様。仕様名として当時の会社名がそのまま使われ続けている。8ビットパラレルデータに制御信号を加えてプリンター用のインターフェース規格として広く使用されている。本プリンターは標準の36ピン・パラレルコネクターで使用できる。

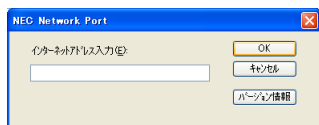
双方向通信

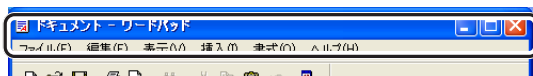
コンピューターとプリンターの間で、情報のやり取りをする通信形態のこと。PrintAgent機能を実現するための必須条件。コンピューターから印刷データが送られるだけでなく、プリンターからもコンピューターに情報を送ることができるので、印刷の状況がプリンタステータスウィンドウのアニメーションと音声で、正確にわかる。双方向通信には、セントロニクスインターフェースか双方向通信可能なプリンターインターフェースを装備したコンピューターである、またはUSBやネットワークで接続されていることが必要。

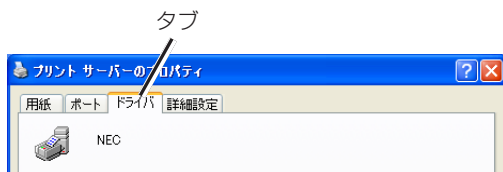
ソフトウエア

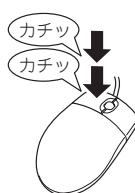
コンピューターやプリンターなどハードウエアに作業を実行させるための命令の集まり。プログラム、アプリケーション、オペレーティングシステム、プリンタードライバーなどの総称。(↔ハードウエア)

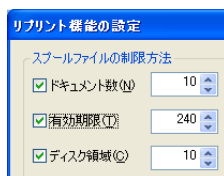
ダイアログボックス

設定や操作のために画面に表示されるボタンやリストボックスを持ったウィンドウ。

タイトルバー

ウィンドウやダイアログボックスのタイトルを示す、横向きのバー。多くのウィンドウでは、[コントロールメニュー]ボックスや[最大表示]、[アイコン化]、[最小化]ボタンなどもついている。

タブ

Windowsで、ダイアログボックスの中に複数の設定画面(シート)がある場合に表示されるインデックスタイプのつまみのこと。

ダブルクリック

マウスのポインター(矢印)を動かさず、マウスのボタンを素早く2回押して放す動作。アプリケーションを起動するときなどに使う。

チェックボックス

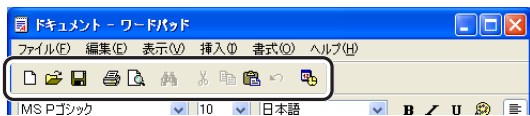
ダイアログボックスの中の小さな正方形で、ON/OFFの切り替えができるオプション(機能)を示す。オンにするとチェックボックスに×や✓印が表示される。

通常使うプリンタ

アプリケーションで[印刷]コマンドを実行し、プリンターの指定を省略したときにその印刷データを印刷するプリンター。

坪量

用紙の重さを表す単位。用紙1枚1m^{2}単位の重さをいう。(本マニュアルで使用している用紙の坪量は、64.0g/m^2)。

ツールバー

ウィンドウのメニューバーの下のボタンがついている部分。

定着ユニット

用紙上のトナーを熱によって溶かし、圧力を加えて用紙に固定させるためのもの。ヒートローラーとプレッシャーローラーで構成されている。

テスト印刷

プリンターが正常に動作していることを確認するためのもの。

電子ソート

複数部数を印刷する場合にコンピューターから一部目だけ印刷データを送り、二部目以降はプリンターのメモリー上で印刷データ処理を行う機能。オプションの増設メモリーをプリンターに取り付けることで実現する。

動作環境

ソフトウエアや周辺機器が正しく動作するために必要な環境条件。

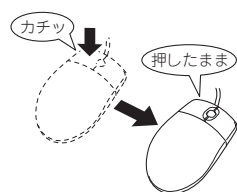
ドライバー

周辺装置やそのインターフェースをコントロールするプログラム。
(→プリンタードライバー)

ドライブ名

ハードディスク内やフロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブなどの領域に割り当てられている文字。「A」や「C」など。

ドラッグ

マウスのボタンを押したまま、マウスを動かす動作。例えば、ウィンドウのタイトルバーをドラッグするとウィンドウを移動させることができる。

ネットワーク

複数のコンピューターや周辺機器をケーブルまたは他の手段を用いて接続し、情報交換したり機器を共有したりできるようにしたコンピューターの集団。

バーコード

白と黒の縞模様を線の太さと間隔を変えながら書き並べてデータを表し、印刷されたコード。国名、商品名、価格など、主として流通や商品管理で必要な管理情報、POS用のコードを表すのに使われる。本製品は、カスタマバーコード、NW-7、JAN、CODE 39、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5に対応する。MultiWriter 2850N/2850は、UCC/EAN-128にも対応しています。

ハードウエア

コンピューター本体、キーボード、マウス、コンピューターやプリンターなどコンピューターシステムを構成する個々の機器またはそれらの総称。(↔ソフトウエア)

ハーフトーン

画像を表示・出力する際に、一定間隔の点(網点)に分解し、それぞれの黒い点の大きさを変えることで濃淡を表現する。大きい点は濃いグレー、小さい点は薄いグレーになる。

バッファーフル

ページバッファーに1ページ分の印刷データがたまることをバッファーフルという。バッファーフルになると、自動的にそのページの印刷を行う。

ハブ

LANでコンピューターなどの端末を放射線状に配線する際、中心に配置する集線装置。一般には10BASE-Tや100BASE-TXのLANケーブルを接続する集線装置を指す。RJ-45のジャックを4〜32口程度持つ箱で、各コンピューターのLANボードとツイストペアケーブルで接続して使う。動作によってリピーターハブとスイッチングハブ(スイッチ)に大別できる。

パラレルインターフェース

同時に複数の信号を並列に送るデータ転送方式、あるいは物理的な接続コネクターのこと。MultiWriterとコンピューター間ではセントロニクス仕様に準拠した方式(IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェース)が用いられる。

ピア・ツー・ピア

小規模のネットワークに適した接続形態。専用のサーバーコンピューターを必要とせず、コンピューターどうし、コンピューターとプリンター間で相互に通信が可能となる。本プリンターをピア・ツー・ピア接続して使用するためにはLANボード/LANアダプターが必要。本書ではピア・ツー・ピア型ネットワークとも呼んでいる。(↔クライアント・サーバー)

ヒートローラー

定着ユニットにあり、プレッシャーローラーとともに熱と圧力でトナーを定着させる働きをする。

ピクセル

Pixel(Picture elementからの合成語)。画素とも言う。ディスプレイの画面に表示できる情報の最小単位。

ビットマップ

画面やプリンターに出力されるイメージを表す連続した点の集合。

フォーム印刷

見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文章データと重ね合わせて印刷すること。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要。

フォント

同じ外観、サイズ、スタイルの文字、数字、記号またその他のシンボル等の集合。

不揮発性メモリー

電源をOFFにしても記憶した内容が消えないメモリー。

ブラウザー

インターネット上のWebページを閲覧（ブラウズ）するためのソフトウエア。WWWブラウザーとも呼ぶ。主なものに、Microsoft Internet Explorer やNetscape Navigatorがある。

ブラシパターン

図形を塗りつぶすためのある一定のパターン。

プリンターケーブル

コンピューターとプリンターを接続するケーブル。

プリンタードライバー

コンピューターとプリンターの間のやり取りを仲介するプログラム。インターフェースやフォントの指定、インストールされたプリンターの機能などの情報を、OSに提供する。

プリンターバッファー

一般にコンピューターの処理速度は速くプリンターの処理速度は遅い。したがって、プリンターでの印刷をしている間コンピューターは何もしないで待つという状態が発生する。そこで、コンピューターから送られたデータをいったん記憶装置に蓄え、プリンターの処理に合わせて順次その記憶装置からプリンターに印刷データを送ることにする。これによってコンピューターは印刷の終了を待たずに印刷処理から解放され、別の仕事をすることができる。この記憶装置をプリンターバッファーと呼ぶ。

プリンタープール

複数の同じ印刷装置をひとつの論理プリンターとして関連づけて印刷を行うこと。

プロトコル

コンピューターが他のコンピューターや周辺機器と通信するための規約。

プロパティ

ファイルやソフトウエアなどの固有の情報。フォントやウィンドウの色などさまざまな情報の設定、状態などを表す。プリンターの設定状態などを示す用語として広く使われている。

プロポーショナル文字

印刷される文字ごとに、文字幅が異なる文字のこと。

ページ記述言語

１ページ分のテキスト（文字）やグラフィック（図形）のデータ、位置情報などを正確に表すための言語。

ページプリンター

ページ単位で印刷を行うプリンター。1ページ分のデータをプリントイメージとしてメモリー上に展開（作成）して印刷を行うプリンターのこと。

ポイント（マウスの）

マウスのポインターを目的の項目の上に置く動作。

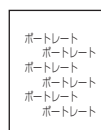
ポイント（文字の）

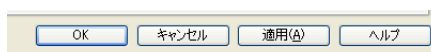
印刷される活字の大きさの単位で、1ポイントは1/72インチ。

ポート

コンピューターが外部とデータをやり取りするときに使用するケーブルの接続部分。

ポートレート

用紙を縦長にした内容で印刷する印刷フォーマットのこと。（↔ランドスケープ）

ボタン

ダイアログボックス中のボタンの絵。選択した動作の実行やキャンセルを行う。[OK]ボタンや[キャンセル]ボタンなどがある。

マウスポインター

マウスの動きに応じて画面上を移動する矢印の形をしたマーク。ポインターの形は設定やアプリケーションによって異なる。

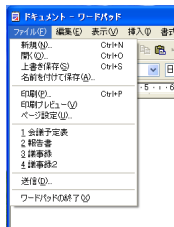
丸め誤差

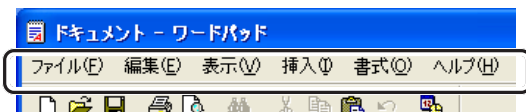
四捨五入や切り捨て、切り上げなどで、切りのいい数字にすることによって生じた誤差。

無線LAN

ケーブルの代わりに電波などを利用してネットワーク（LAN）を構成するシステム。IEEE802委員会がIEEE802.11標準として勧告しているシステムが代表例。MultiWriterのオプション品である無線LANボードは、IEEE802.11bに準拠している。

メニュー

ウィンドウで使用できるコマンドの一覧。メニュー名をクリックするとメニュー名に関連するコマンドの一覧が表示される。

メニューバー

すべてのメニュー名が表示されるバー。ほとんどのアプリケーションで、このバーは、タイトルバーの下に表示される。

メモリー

データを保存する装置。または情報やプログラムの一時的な記憶場所。

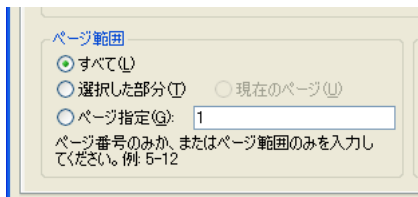
メモリースイッチ（MSW）

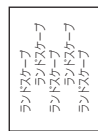
不揮発性メモリーを利用してプリンターのさまざまな設定を行うスイッチ。機械的にON／OFFを切り替えるスイッチではなく、電気的に切り替えるスイッチ。

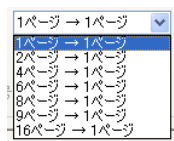
メモリースイッチ設定モード

プリンターの設定をプリンターの操作パネルを使ってメニュー形式で行うモード。

ラジオボタン

ダイアログボックスで複数の項目の中から一つを選ぶためのボタン。どれかを選択すると、それまでONだったものが連動してOFFになる。

ランドスケープ

用紙を横長にした内容で印刷する印刷フォーマットのひとつ。（↔ポートレート）

リストボックス

ユーザーに対して項目の一覧を表示するためのボックス。通常、現在選択されている項目を表示している。

リブプレート

転写後の用紙を定着ユニットまで正しく送り込むための用紙ガイド。

リプリント

一度印刷した印刷データのスプールファイルを利用して再印刷する機能。この機能を使うと、いちいちアプリケーションを再起動する必要がない。標準シートとジョブ結合シートがある。

Windows XP/Me/98/95/2000/NT 4.0の場合、PrintAgent リプリント2のウィンドウを使って実現し、その際に、丁合い、ジョブセパレート、両面印刷の設定も可能。

PrintAgent リプリント2のウィンドウ
（MultiWriter 2850N）

連量

用紙の重さを表す単位。一般に788×1091mmのサイズの用紙1000枚当たりの重さをいう（本マニュアルで使用している用紙の連量は、70kg）。

ローカルプリンター

コンピューターと直接プリンターケーブルで接続しているプリンター。

索引

記号

A

C

D

E

F

H

I

L

M

N

O

P

S

T

U

W

ア

イ

ウ

エ

オ

カ

キ

ク

ケ

コ

サ

シ

ス

セ

ソ

タ

チ

ツ

テ

ト

ニ

ネ

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

高調波ガイドライン適合品

この装置は、経済産業省通知の家電・汎用品
高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
本書に従って正しい取り扱いをしてください。

なお、ネットワークオプション*(PR-WL-12 無線LANボードを除く)を取り付けた場合、この装置は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。ただし、LANボード（TCP/IP）（型番：PR-NP-04T）のみを取り付けた場合、クラスB情報技術装置です。

* ネットワークオプションについては本書の183ページを参照してください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しています。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

MultiWriter 2850N／2850 2350N／2350 2150

レーザープリンター